

佐倉市
子どもの生活状況調査及び資源量調査
結果報告書

令和4年3月

佐 倉 市

目 次

<u>I</u>	<u>子どもの生活状況調査及び資源量調査からみる特徴や課題</u>	<u>1</u>
1	児童・生徒調査の特徴や課題	1
2	保護者調査の特徴や課題	3
3	資源量調査の特徴や課題	5
4	特徴や課題からの今後の方向性	6
<u>II</u>	<u>子どもの生活状況調査の概要</u>	<u>8</u>
1	調査の目的	8
2	調査対象	8
3	調査期間	8
4	調査方法	8
5	回収状況	8
6	調査結果の表示方法	8
7	等価世帯収入の水準別による分類方法について	9
<u>III</u>	<u>子どもの生活状況調査結果</u>	<u>10</u>
1	児童・生徒	10
2	保護者	90

IV 資源量調査の概要..... 208

<u>1 調査の目的</u>	208
<u>2 調査対象</u>	208
<u>3 調査期間</u>	208
<u>4 調査方法</u>	208
<u>5 回収状況</u>	208
<u>6 調査結果</u>	209

V 資源量調査におけるヒアリング調査..... 223

<u>1 調査の目的</u>	223
<u>2 調査対象</u>	223
<u>3 調査期間</u>	223
<u>4 調査方法</u>	223
<u>5 ヒアリング内容について</u>	224

I 子どもの生活状況調査及び資源量調査からみる特徴や課題

1 児童・生徒調査の特徴や課題

①学習状況や今後の進路希望について

ふだんの学校の授業以外での1日あたりの時間勉強について、学校がある日（月～金曜日）では、中学生で「1時間以上、2時間より少ない」が等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で低くなっています。

学校の授業がわからないことがあるかについて、中学生になると、「教科によってはわからないことがある」の割合が増加し、また小学生、中学生ともに、等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で「わからないことが多い」の割合が高くなっています。

将来の進路希望については、全体では、「大学またはそれ以上」の割合が4割半ばと最も高くなっていますが、等価世帯収入の水準が低くなるにつれ、小学生、中学生ともに「大学またはそれ以上」の割合が低くなってきており、子どもの学年が上がるにつれ、現在の生活状況や立場を理解してきていることが原因であると考えられます。

また、保護者の希望進路別でみると、保護者が希望する進路の割合が高いものについても、子どもの希望するものも高くなっている傾向にあります。子どもが希望する進路に比べ、保護者がそれ以下の進路を希望するケースもあり、親子間でのギャップがあることもうかがえます。

等価世帯収入の水準が低い状態の子どもも、十分に学校以外でも学習をすることのできる環境を整えていく必要があることがうかがえます。

②食事の摂取状況について

朝食の摂取状況について、小学生、中学生ともに、等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で「毎日食べる（週7日）」の割合が低くなっています。また、夏休みや冬休みなどの期間の昼食の摂取状況は、等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満の中学生で「毎日食べる（週7日）」の割合が低くなっています。食生活を始め、就寝時間などは、保護者の生活習慣が子どもの生活に影響を与えていると考えられます。子どもの規則正しい生活習慣とともに、保護者の働き方や生活状況などのへの支援を行っていく必要があることがうかがえます。

③困っていることや悩みごとがあるときの相談について

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手について、小学生では「親」の割合が高く、中学生では「学校の友達」の割合が高くなっています。一方で「だれにも相談できない・相談したくない」の割合は、小学生、中学生ともに1割弱となっています。また、中学生では、等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、「だれにも相談できない・相談したくない」の割合が高くなっています。

子どもが困っていることや悩みごとを相談できる場所を整備するとともに、子どもがSOSなどを発信することができる教育と、そのSOSを周りの人が察知し、必要なところにつながり仕組みが求められていることがうかがえます。

④最近の生活の満足度及び思いや気持ちについて

最近の生活の満足度について、等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で中学生は「10点」の割合は高くなっているものの、一方で、小学生、中学生ともに、満足度の点数が5点以下の割合が高くなっています。

また、思いや気持ちについて、中学生の等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『がんばれば、むくわれる』、『自分は価値のある人間だ』、『積極的に色々な人と話したい』、『自分の将来が楽しみだ』、『自分のことが好きだ』のすべての項目において、“思う”の割合が低くなっています。

小学生、中学生の等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする』で、「あてはまる」の割合が高くなっています。また、小学生の等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『私は、落ち込んでしずんできたり、涙ぐんだりすることがよくある』、『私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい』で、「あてはまる」の割合が高くなっています。一方、中学生では大きな差異は見られません。

等価世帯収入の水準が低い子どもは、自己肯定感が低く、自分に自信が持てない状況がうかがえます。等価世帯収入の水準に関係なく、子どもが安心して、地域で生活することができ、そして、子どもが自分に自信が持てるような環境を整えていくことが必要です。

⑤ヤングケアラーについて

ふだん（月曜日～日曜日）家族のお世話をしているかについて、全体では、「していない」の割合が最も高くなっています。一方で「親」や「きょうだい」の世話をしていると回答しているもののうち、「6時間以上」と回答しているのが、児童・生徒の回答で3.5%、保護者の回答で0.7%となっており、長時間家族の世話をしている子どもが少なからずいることがうかがえます。

6時間以上、家族の世話をしている子どもは、学校以外の勉強については、「家の人に教えてもらう」の割合が低くっており、また、「自分で勉強をする」の割合も低くなっています。

社会的にもヤングケアラーが問題となっている中で、子どもの勉強や学習にも少なからず影響がでていることもうかがえ、ヤングケアラーに対する支援策についても検討していくことが必要です。

⑥生理の貧困について

社会的にも問題となっている生理の貧困について、本市でも、生理になったときに、家に生理用品が用意されていなくて困ったことが「ある」の割合が1割となっており、少なからず、生理の貧困への対策に困った子どもがいることがうかがえます。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値の1／2未満において、若干高くなっているものの、中央値以上の子どもであっても、困ったことがあると回答しています。すべての子どもに対して、生理の貧困への対策を検討していくことが必要です。

⑦新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、全体でも『学校の授業以外で勉強する時間』、『夜遅くまで起きている回数』、『親以外の大人や友達と話をすること』、『イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと』の割合が4割程度と高くなっています。特に、等価世帯収入の水準が低くなるにつれ、小学生、中学生ともに『学校の授業が分からないと感じること』の割合が高くなっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、子どもの日常生活の中に、大きく影響してきていることがうかがえます。学習支援とともに、子どもの精神的な支援等も行っていくことが必要となります。

⑧利用したことのある施設及び今後利用したいと思う施設について

小学生、中学生ともに、『(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童保育所など)』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、施設を利用したことによっての変化について、全体では、「友だちが増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が高くなっています。

今後、利用したい施設として、小学生、中学生ともに、『勉強を無料でみってくれる場所』の割合が高く、小学生では、『(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)』の割合も高くなっています。

特に、小学生では、等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、これらの施設を利用したことがある、もしくは利用したい割合が高くなっていることから、子どもの安全・安心の居場所づくりが求められていることがうかがえます。

2 保護者調査の特徴や課題

①子どもと保護者の関わりについて

等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満の中学生保護者において、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』、『お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる』で“あてはまらない”の割合が高くなっています。

また、『授業参観や運動会などの学校行事への参加』、『PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加』において、小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、「よく参加している」の割合が低くなっています。

等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満の小学生保護者において、『テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』で“あてはまらない”の割合が高くなっています。

等価世帯収入の水準が低い家庭においては、水準が高い家庭に比べ、子どもと接する時間や子どもに関する行事やイベントへの参加が少ないことがうかがえます。

保護者と子どもとのコミュニケーション、関わり方の質に課題があることが考えられます

②子どもへの将来の進学希望について

保護者の希望として、お子さんを将来どの段階まで進学させたいかについて、全体では、「大学またはそれ以上」の割合が最も高くなっていますが、小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が低くなるにつれ、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。

学歴が就職に影響されると考えていますが、早く家計を支えてほしいと考えている保護者も多く、理想と現実のギャップが浮き彫りとなっており、子どもが将来望んでいる進路等の希望を実現することのできる経済的支援や学習支援が必要となっています。

また、保護者と子どもとの進学希望については、大きなギャップはないものの、保護者の進路希望が、子どもの進路希望以下の世帯もあることがうかがえました。

子どもの進路は、将来に大きな影響を及ぼすことから、すべての子どもが希望する進路に進めることができるよう支援をしていくことが必要となります。

③相談相手について

相談や援助で頼りになる人については、全体では、「家族・親族」、「友人・知人」の割合が高くなっていますが、「民生委員・児童委員」や「相談・支援機関や福祉の人」の割合は低くなっています。

また、小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、『子育てに関する相談』、『重要な事柄の相談』、『いざという時のお金の援助』で「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。

子どもの貧困等も含めた、子どもに関する相談機関や体制は行政を始めさまざまな機関が連携をしていますが、これらの機関や団体へ相談する人が少ない状況となっています。相談機関の周知とともに、気軽に相談できる体制づくりが求められていることがうかがえます。

また、子どもが困ったことや悩みごとがあるときに相談する相手として、「親」の割合が最も高くなっています。保護者と子どもとのコミュニケーションの課題も上がっている中で、子どもの相談に対し、保護者が適切に対応できるよう、子育てとともに、「親育て」への支援も重要であると考えます。

④現在の暮らしの状況や子どもにしていることについて

小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、現在の暮らしが“苦しい”の割合が高くなっています。

過去1年間で、お金が足りず、家族が必要とする食料や衣服、整理用品が買えない時が“あった”の割合が小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で高くなっています。

小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1/2未満で、『毎月お小遣いを渡す』、『習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる』、『学習塾に通わせる（家庭教師、通信教育を含む）』、『1年に1回くらい家族旅行に行く』で、「経済的にできない」の割合が高くなっています。

また、小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『キャンプやバーベキューに行く』、『スポーツ観戦や劇場に行く』、『遊園地やテーマパークに行く』で、子どもに体験をさせたことが「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

経済的理由により、子どもに対し体験等をさせることのできない家庭もいることから、保護者に対する生活支援、就労支援等を行っていく必要があります。

⑤保護者の気持ちについて

小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『世帯全体の収入の変化』、『生活に必要な支出の変化』、『お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと』、『家庭内で言い争ったり、もめごとが起きること』、『あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと』などで、新型コロナウイルス感染症の拡大影響を受けている割合が高くなっています。

また、小学生保護者、中学生保護者ともに等価世帯収入の水準が中央値の1／2未満で、『神経過敏(かびん)に感じた』、『絶望的だと感じた』、『そわそわ、落ち着かなく感じた』、『気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた』、『何をするのも面倒だと感じた』、『自分は価値のない人間だと感じた』で、「まったくない」の割合が低くなっています。

保護者の気持ちが不安定であると、子どもの生活等にも大きな影響を及ぼすことがあることから、保護者に対する精神的な支援等を行っていく必要があります。

3 資源量調査の特徴や課題

①貧困状況にある家庭や子どもの状況について

貧困状況にある家庭では、家族が子どもに虐待している、保護者が子どもへの関心が薄いなどの状況がみえます。これらの家庭では、保護者自身に生活能力がない、保護者が不安定な就労状況にあることが原因となっています。

貧困状況にある子どもは、健全な生活習慣や、心の状態の安定性・心身の健康に問題を抱えていることが多いことがうかがえます。

保護者の生活や就労状況が子どもに大きな影響を与えることが考えられるため、子どもへの支援とともに、保護者への生活支援、就労支援を行っていく必要があります。

②関係機関との連携について

子どもの貧困に関わる関係機関の約8割が、年に数回は他機関と連携を図っており、3割以上が月に数回の連携を図っています。

しかし、連携を図っていく上で、各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の観点から、連携をとることの難しさを感じています。

関係機関との連携を図っていくことは重要なことですが、これらの課題等を明確にするとともに、各機関が連携を取りやすい環境や体制づくりを進めていく必要があります。

③支援にあたっての課題や、今後市が行っていくべき施策について

貧困状況にある家庭への支援にあたっては、保護者との接触、信頼関係の構築の難しさや、支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れないなどの課題があがっています。また、訪問による早期発見や生活支援が、市が行っていくべき施策として意見があがってきています。

子どもの貧困に対する支援としては、早期の支援を行っていくことが必要となり、そのためにも、貧困状況にある家庭のＳＯＳを早い段階で掴むことのできる体制や、人材育成が必要であることがうかがえます。

4 特徴や課題からの今後の方向性

①小学生・中学生における支援

経済的に困難な環境に置かれている子どもは、周りが気づきにくい様々な理由で、学習環境、生活環境が阻害されていることがあるため、学校内外で子どもが落ち着いて学習できる環境を整えることや適切なアドバイスをしてくれる他者と接する機会を通じて、学習だけではなく、生活力や自らＳＯＳを出す力を身に付けることも重要となります。

そのため、学校で子どもが安心して学習ができる環境づくりを行っていくことを基本としつつ、放課後における子どもの居場所事業や学校以外での学習支援の取組み、生活の支援のための取組みを充実・強化していくことが必要と考えます。

また、これら子どもの居場所のほか、不登校の状況など、様々な課題を抱えている子どもへの支援の取組みを行っていくことも必要となります。

②保護者への支援

本調査において、等価世帯収入の水準別に割合を算出し、「中央値の1／2未満」の割合は、国に比べ低いものの、1割程度が貧困と考えられる世帯であることが分かりました。

経済的な困難を抱えている家庭では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、安定的な収入が得られないといった問題や、子どもに関わる時間が取れないなどの課題を抱えていることが多くなっています。

保護者等に対して、給付金や貸付金等の経済的支援を行うと同時に、生活困窮者自立支援法等の制度を活用するなどして、家計管理等を学ぶことができる機会の充実を図っていくことが必要と考えます。

また、現在行っている就労支援等を強化していくとともに、子育て世代の貧困家庭の女性をターゲットとした就労支援など、継続的に働き、収入を得ることのできるようライフステージやライフサイクルに応じた支援も重要となります。

③気兼ねなく問題を打ち明けられる相談支援

保護者も子どもも、厳しい困窮状況に置かれた当事者は、他の人に相談したり、助けを求めたりできないことが多くあります。何か困りごとがあっても周囲に相談できない場合もあり、自分の課題を相談してもよいのかと、ためらう人も多く、相談窓口で嫌な思いをすると、二度と足を運んでもらえなくなることもあります。

行政等の相談窓口など、いわば「構えた」場所だけではなく、子どもが気兼ねなく利用することができる場所や保護者が普段からよく利用している場所において、雑談等の中から打ち明けてもらったり、SNS等を活用した相談窓口の設置や環境を整備していくことが必要と考えます。

④ 関係機関との連携体制の構築

貧困状況にある家庭などの発見は、子どもと常に接している関係機関や団体からの相談や通報によるものが多くなっています。

市内には、子育て支援施策に関する機関や団体の他にも、さまざまな福祉や医療に関する関係機関があり、これらの方々の気づきが、早期発見につながっていきます。しかし、各機関や団体は、それぞれに関連する研修は実施していますが、子どもの貧困等に関する研修を行っておらず、どのように接し、どこにつなげばいいのかわからないという声が多くあります。

今後は、さまざまな機関や団体に対し、子どもの貧困に関する研修を実施するほか、発見した場合の明確な連携ネットワークを構築していくことが必要と考えます。

Ⅱ 子どもの生活状況調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子どもがいる世帯の生活状況や子どもの状況などを把握し、子育て世帯等への施策に役立てることを目的として実施したものです。

2 調査対象

佐倉市に在住する小学生5年生・中学2年生およびその保護者、計2,805世帯

3 調査期間

令和4年1月11日から令和4年1月31日

4 調査方法

- (1) 学校による配布・回収
- (2) 郵送による配布・回収
- (3) 電子申請システムによる回答

5 回収状況

	配 布 数 (令和4年1月1日時点)	有効回答数	有効回答率
小学5年生児童	1,360通(23校)	1,328通	97.6%
中学2年生生徒	1,445通(11校)	1,353通	93.7%
児童・生徒 計	2,805通(34校)	2,681通	95.6%
小学5年生保護者	1,360通(23校)	978通	71.9%
中学2年生保護者	1,445通(11校)	866通	60.0%
保護者 計	2,805通(34校)	1,844通	65.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。(無回答を除く)

7 等価世帯収入の水準別による分類方法について

【算出方法】

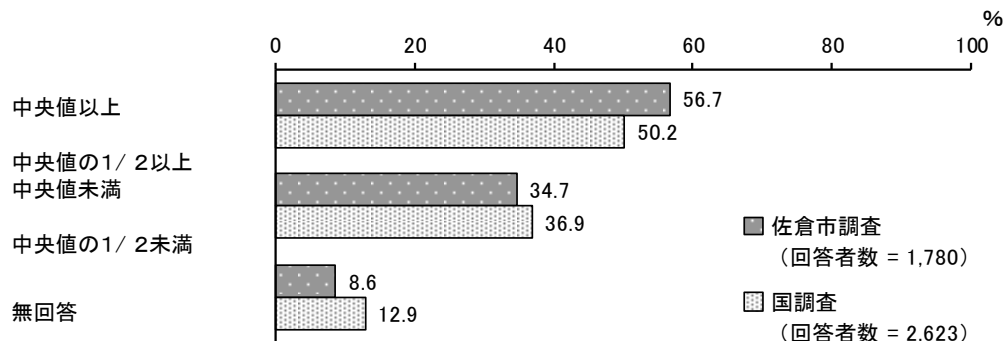
- ・年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお「1000 万円以上」は 1050 万円とする。）
- ・上記の値を、保護者調査で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- ・上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その 2 分の 1 未満であるか否かで分類する。

【分類内容】

- ・中央値以上
- ・中央値の 1 / 2 以上中央値未満
- ・中央値の 1 / 2 未満

【国比較】

国調査と比較すると、「中央値以上」の割合は、佐倉市では 56.7%、国では 50.2%、「中央値の 1 / 2 未満」の割合は、佐倉市では 8.6%となっており、国に比べ、佐倉市では「中央値以上」の割合が高く、「中央値の 1 / 2 未満」の割合が低くなっています。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

※国調査と比較するために、無回答を除いて集計しています。

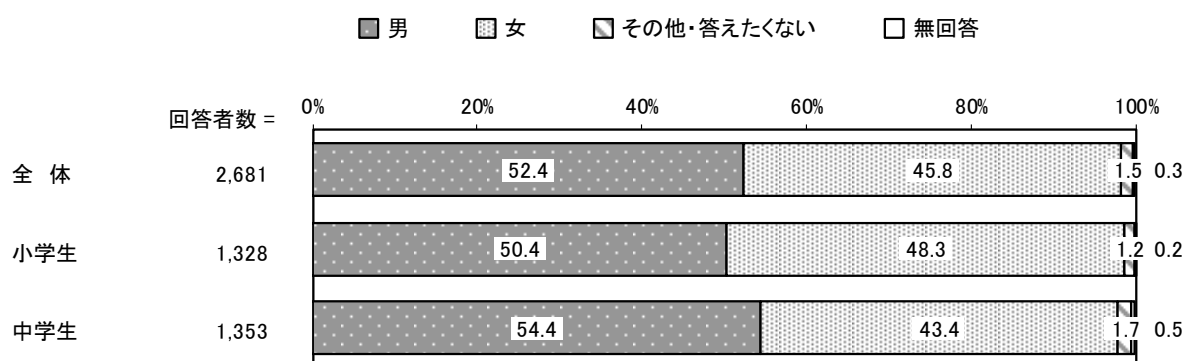
Ⅲ 子どもの生活状況調査結果

1 児童・生徒

問 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

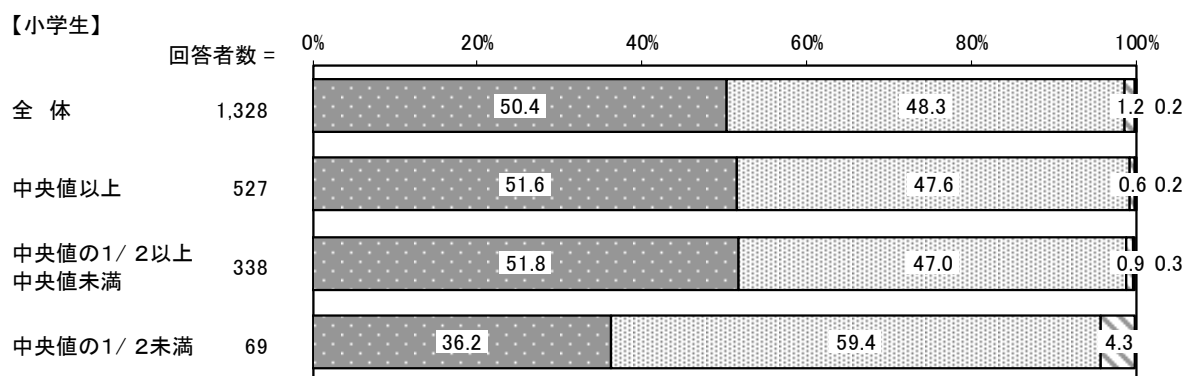
[小学生：問1、中学生：問1]

全体では、「男」の割合が52.4%、「女」の割合が45.8%となっています。
小学生では、「男」の割合が50.4%、「女」の割合が48.3%となっています。
中学生では、「男」の割合が54.4%、「女」の割合が43.4%となっています。

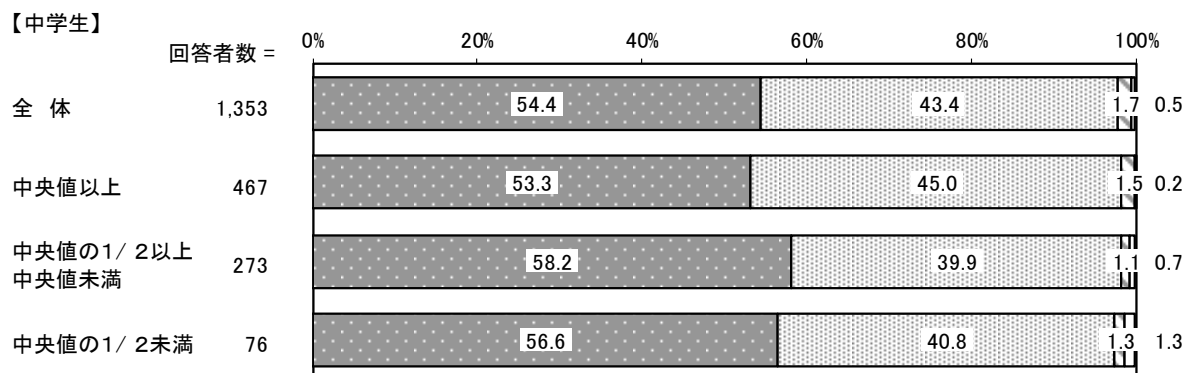


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「女」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



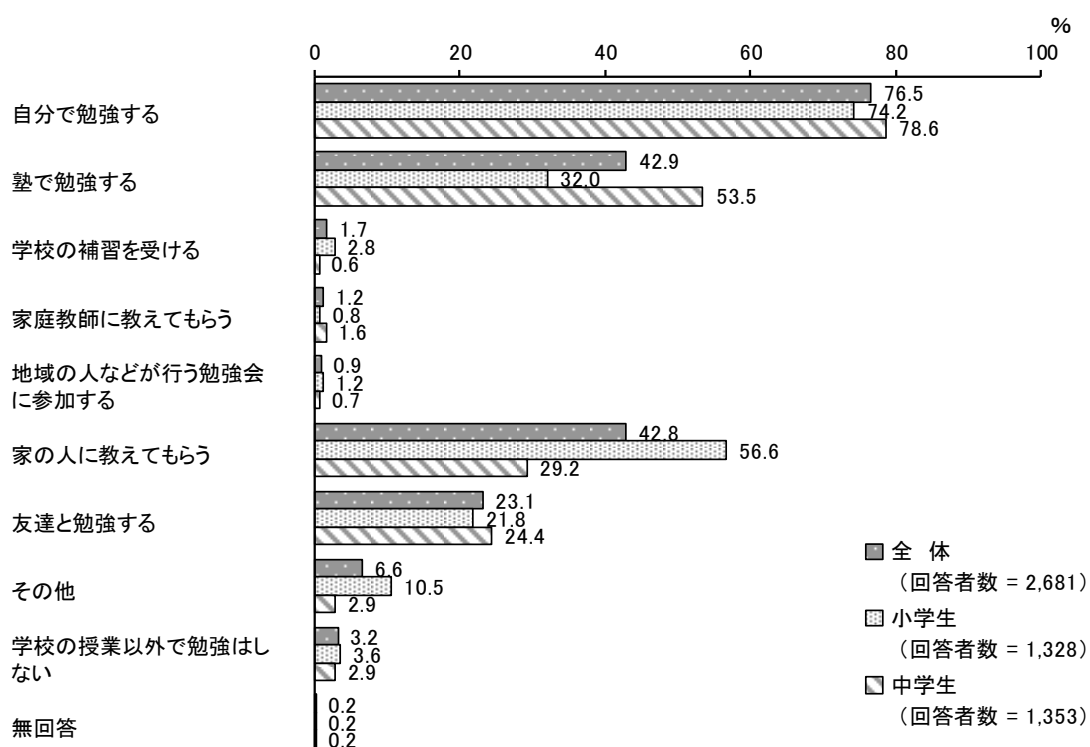
問 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)

[小学生：問2、中学生：問2]

全体では、「自分で勉強する」の割合が76.5%と最も高く、次いで「塾で勉強する」の割合が42.9%、「家の人に教えてもらう」の割合が42.8%となっています。

小学生では、「自分で勉強する」の割合が74.2%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」の割合が56.6%、「塾で勉強する」の割合が32.0%となっています。

中学生では、「自分で勉強する」の割合が78.6%と最も高く、次いで「塾で勉強する」の割合が53.5%、「家の人に教えてもらう」の割合が29.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「塾で勉強する」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生】	回答者数（件）	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人が行う勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全 体	1,328	74.2	32.0	2.8	0.8	1.2	56.6	21.8	10.5	3.6	0.2
中央値以上	527	76.3	40.6	2.1	0.9	0.6	56.5	19.2	12.7	3.2	0.6
中央値の1/2以上 中央値未満	338	75.7	26.9	3.8	0.9	1.8	59.8	26.0	8.6	4.1	—
中央値の1/2未満	69	69.6	21.7	2.9	1.4	1.4	47.8	21.7	11.6	2.9	—

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「塾で勉強する」の割合が高くなっています。中央値の1/2未満で「学校の授業以外で勉強はしない」の割合が高くなっています。

また、中央値の1/2未満では、小学生に比べ、中学生で「家の人に教えてもらう」の割合が低くなっています。

単位：％

【中学生】	回答者数（件）	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人が行う勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全 体	1,353	78.6	53.5	0.6	1.6	0.7	29.2	24.4	2.9	2.9	0.2
中央値以上	467	79.4	62.7	0.2	0.9	0.2	34.0	22.1	3.0	1.5	0.2
中央値の1/2以上 中央値未満	273	80.2	49.5	0.4	1.8	0.7	31.5	25.6	1.8	2.2	0.4
中央値の1/2未満	76	81.6	36.8	—	2.6	—	17.1	30.3	5.3	7.9	1.3

【家族のお世話をする時間別】

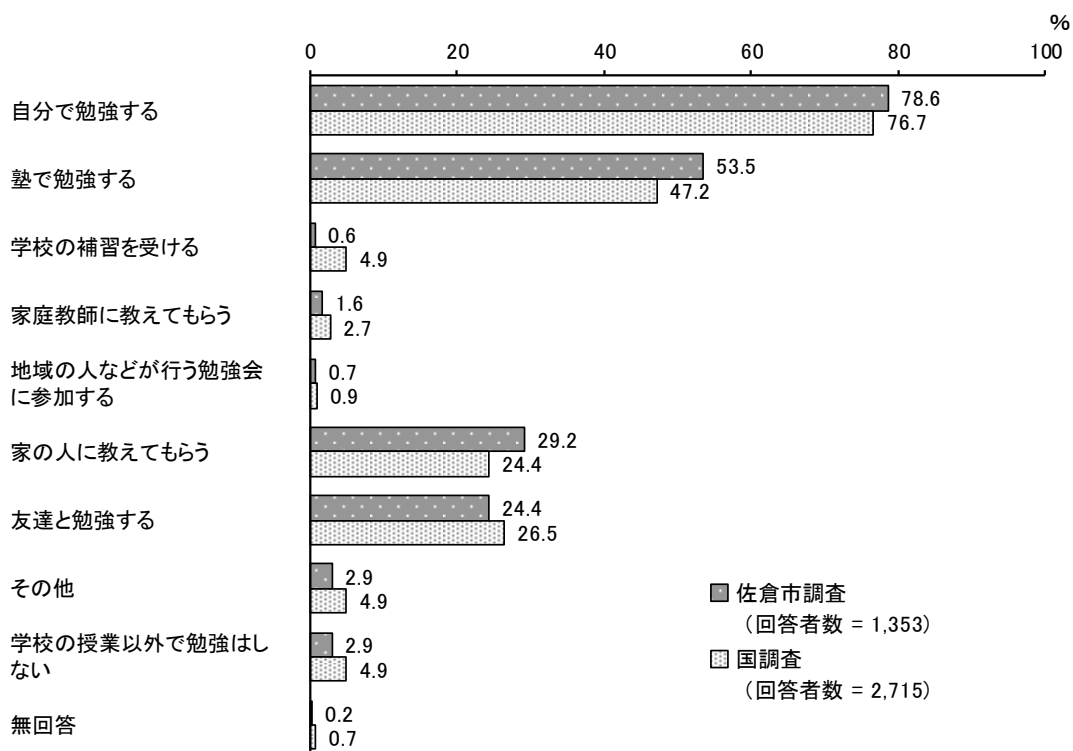
家族のお世話をする時間別でみると、他に比べ、2時間～6時間で「自分で勉強する」「友達と勉強する」の割合が高くなっています。また、6時間以上で「家の人に教えてもらう」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
30分より少ない	518	78.2	43.4	0.8	1.0	0.8	46.7	23.9	7.1	1.9	0.4
30分～1時間	402	78.4	40.0	1.7	1.7	0.2	48.8	29.1	8.5	2.2	—
1時間～2時間	155	73.5	39.4	2.6	2.6	0.6	49.7	25.2	5.2	3.9	—
2時間～6時間	73	86.3	26.0	4.1	—	1.4	50.7	34.2	12.3	—	—
6時間以上	42	71.4	28.6	4.8	—	2.4	35.7	28.6	2.4	4.8	—

【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、「塾で勉強する」の割合が高くなっています。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

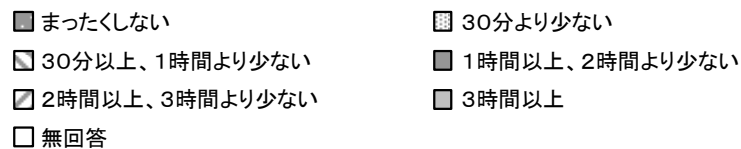
問 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
 (a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

[小学生：問3、中学生：問3]

全体では、『a)学校がある日(月～金曜日)』で「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。また、『b)学校がない日(土・日曜日・祝日)』で「まったくしない」の割合が高くなっています。

小学生では、『a)学校がある日(月～金曜日)』で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。『b)学校がない日(土・日曜日・祝日)』で「まったくしない」の割合が高くなっています。

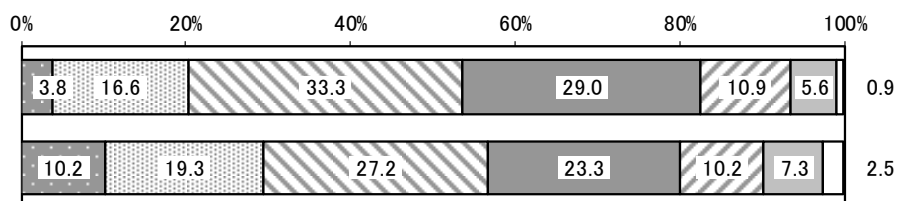
中学生では、『a)学校がある日(月～金曜日)』で「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。また、『b)学校がない日(土・日曜日・祝日)』で「まったくしない」の割合が高くなっています。



【全体】

回答者数 = 2,681

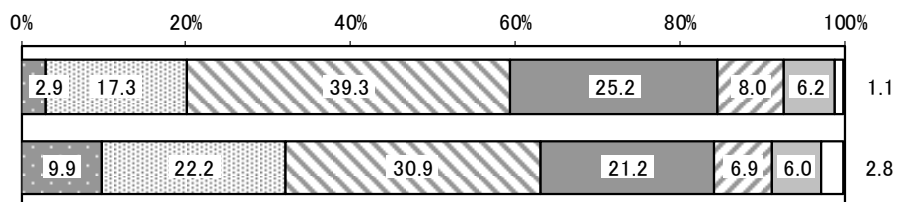
- a) 学校がある日
(月～金曜日)
- b) 学校がない日
(土・日曜日・祝日)



【小学生】

回答者数 = 1,328

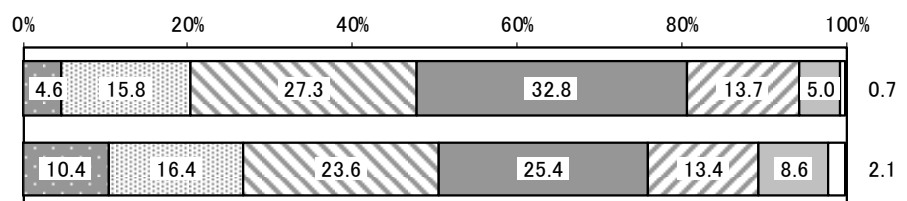
- a) 学校がある日
(月～金曜日)
- b) 学校がない日
(土・日曜日・祝日)



【中学生】

回答者数 = 1,353

- a) 学校がある日
(月～金曜日)
- b) 学校がない日
(土・日曜日・祝日)

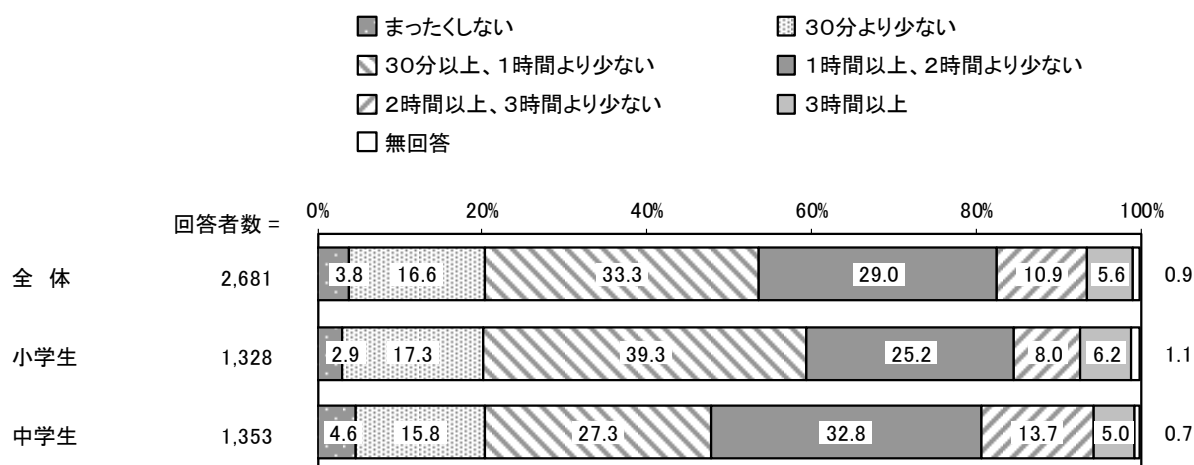


a) 学校がある日（月～金曜日）

全体では、「30分以上、1時間より少ない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が29.0%、「30分より少ない」の割合が16.6%となっています。

小学生では、「30分以上、1時間より少ない」の割合が39.3%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が25.2%、「30分より少ない」の割合が17.3%となっています。

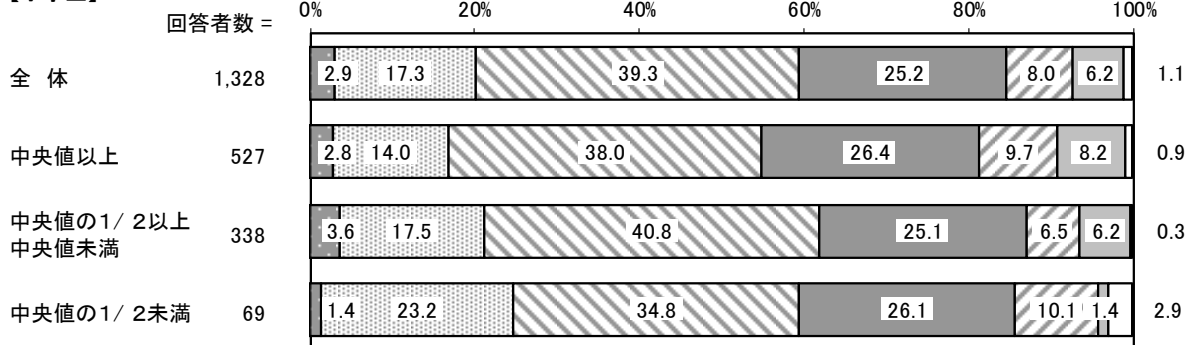
中学生では、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が32.8%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」の割合が27.3%、「30分より少ない」の割合が15.8%となっています。



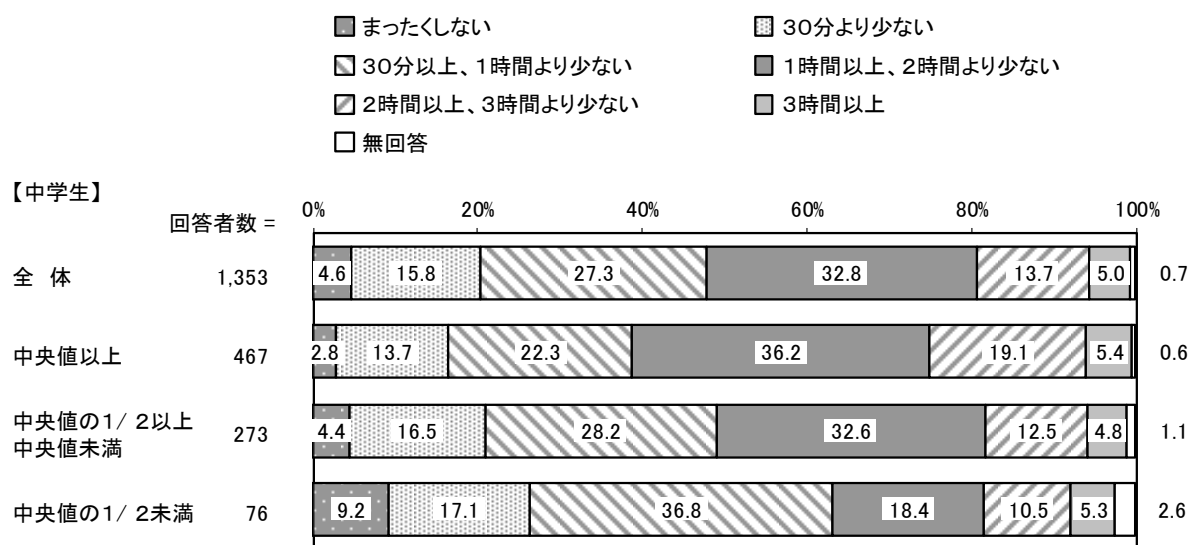
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「30分より少ない」の割合が高くなっています。

【小学生】

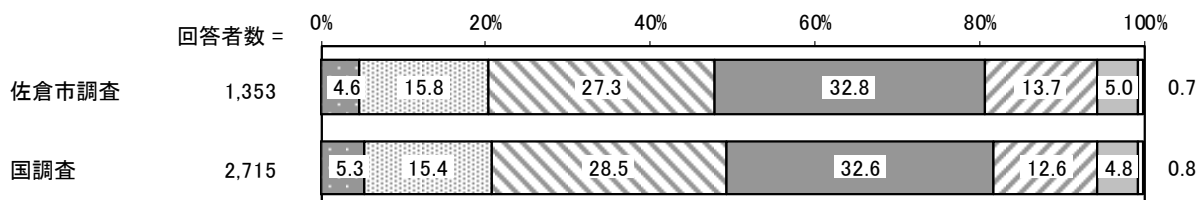


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「2時間以上、3時間より少ない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



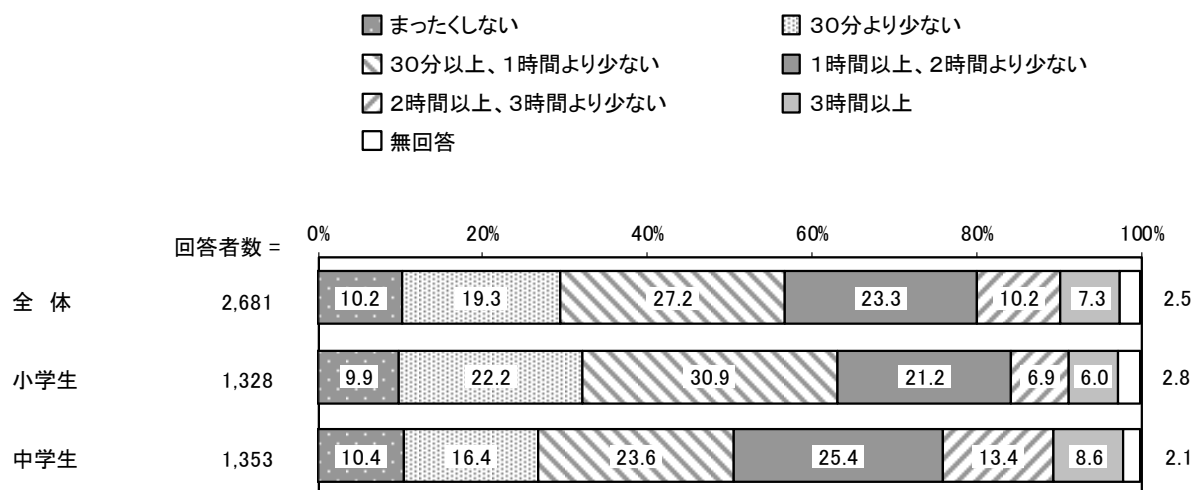
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

全体では、「30分以上、1時間より少ない」の割合が27.2%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が23.3%、「30分より少ない」の割合が19.3%となっています。

小学生では、「30分以上、1時間より少ない」の割合が30.9%と最も高く、次いで「30分より少ない」の割合が22.2%、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が21.2%となっています。

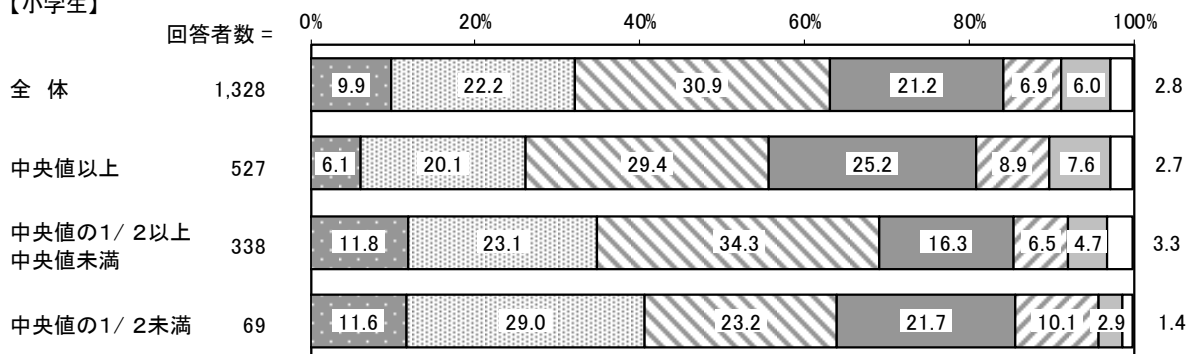
中学生では、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が25.4%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」の割合が23.6%、「30分より少ない」の割合が16.4%となっています。



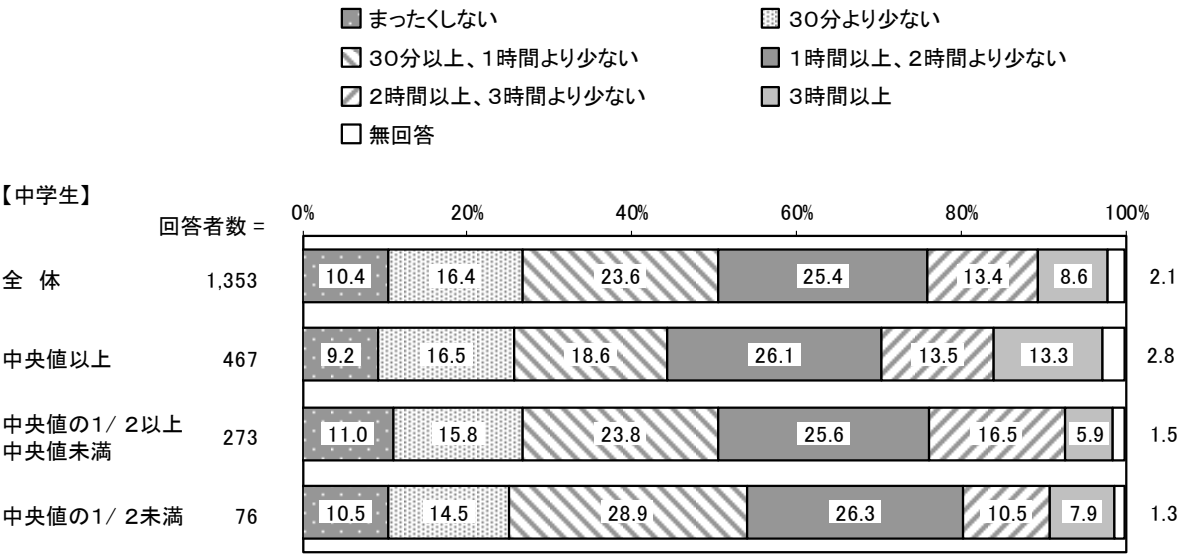
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「30分より少ない」の割合が高くなっています。

【小学生】

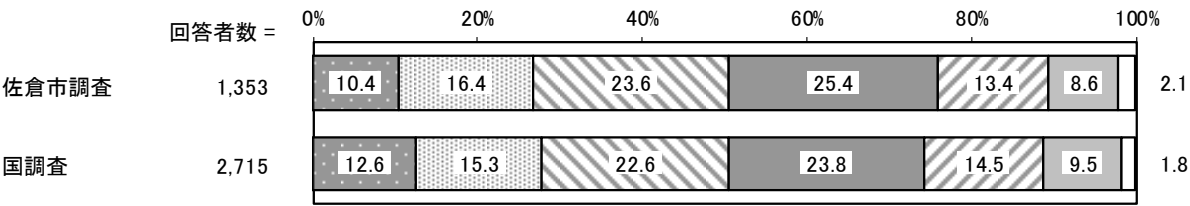


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

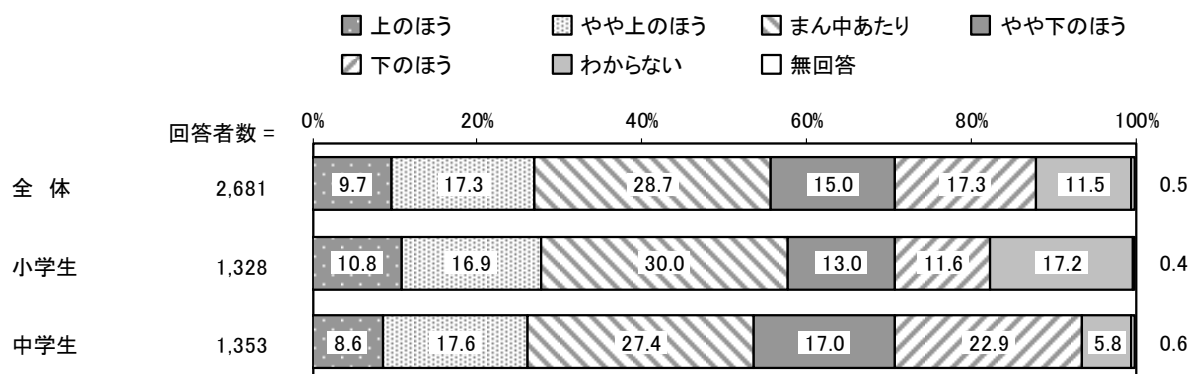
問 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

[小学生：問4、中学生：問4]

全体では、「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた“上のほう”の割合が27.0%、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた“下のほう”の割合が32.3%となっています。

小学生では、“上のほう”の割合が27.7%、“下のほう”の割合が24.6%となっています。

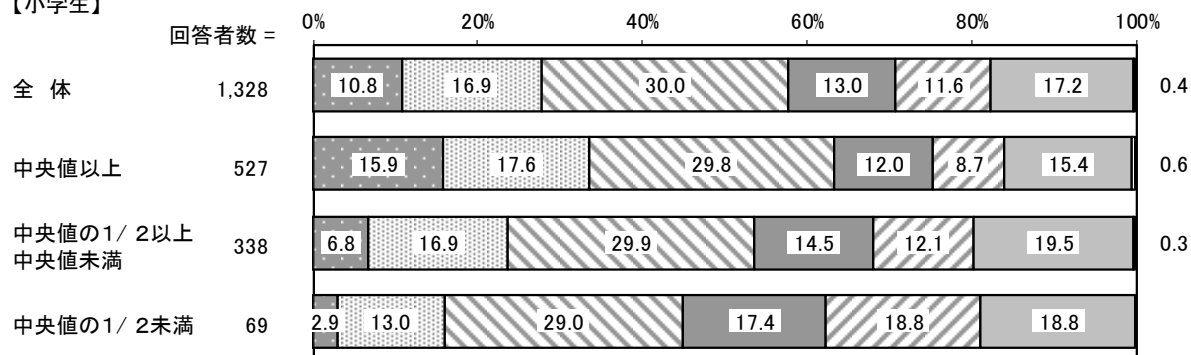
中学生では、“上のほう”の割合が26.2%、“下のほう”の割合が39.9%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

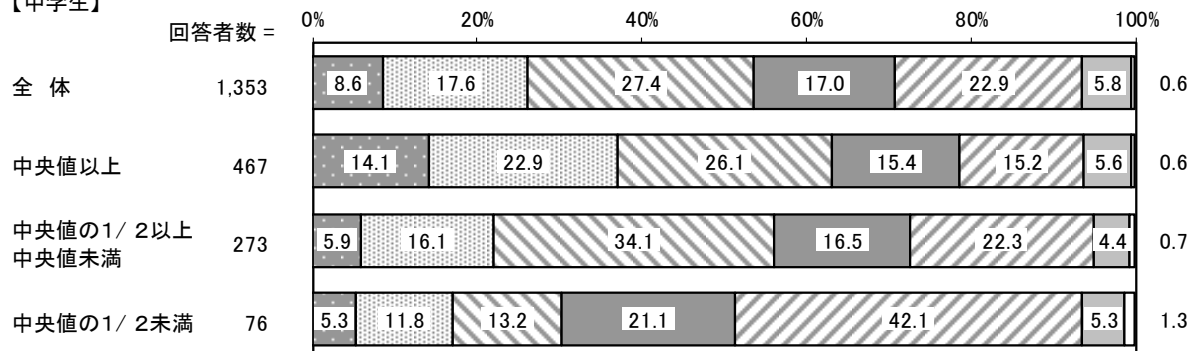
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“上のほう”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“下のほう”の割合が高くなっています。

【小学生】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“上のほう”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“下のほう”の割合が高くなっています。

【中学生】



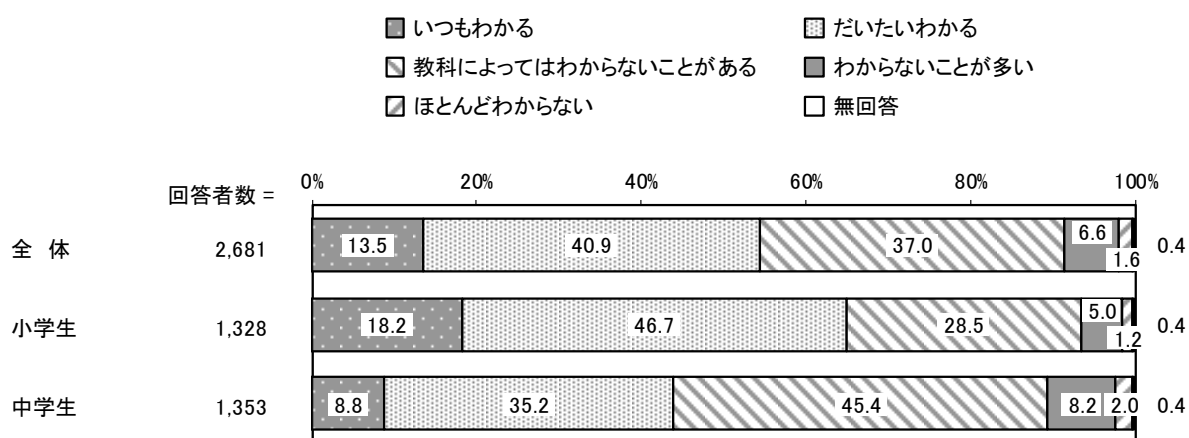
問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

[小学生：問5、中学生：問5]

全体では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が54.4%、「教科によってはわからないことがある」の割合が37.0%、「わからないことが多い」の割合が6.6%となっています。

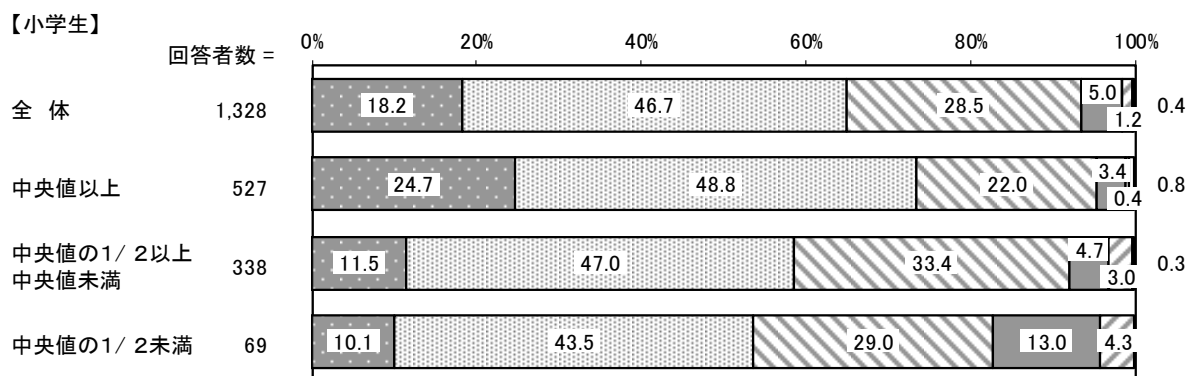
小学生では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が64.9%、「教科によってはわからないことがある」の割合が28.5%、「わからないことが多い」の割合が5.0%となっています。

中学生では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が44.0%、「教科によってはわからないことがある」の割合が45.4%、「わからないことが多い」の割合が8.2%となっています。

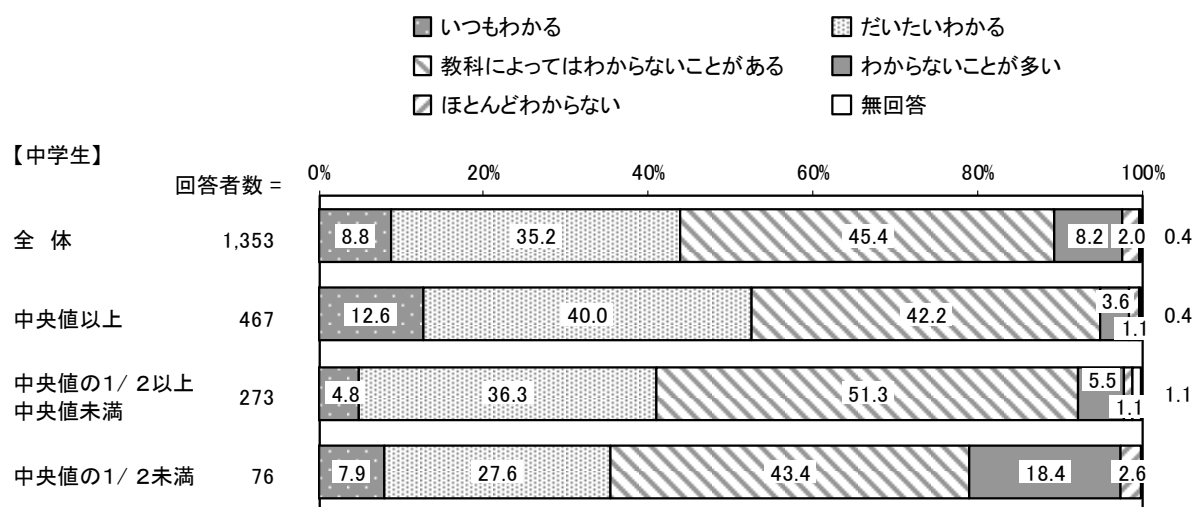


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“わかる”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「わからないことが多い」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“わかる”の割合が、中央値の1/2以上中央値未満で「教科によってはわからないことがある」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「わからないことが多い」の割合が高くなっています。

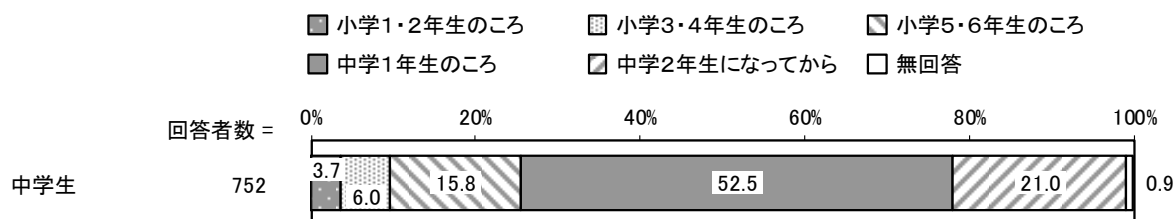
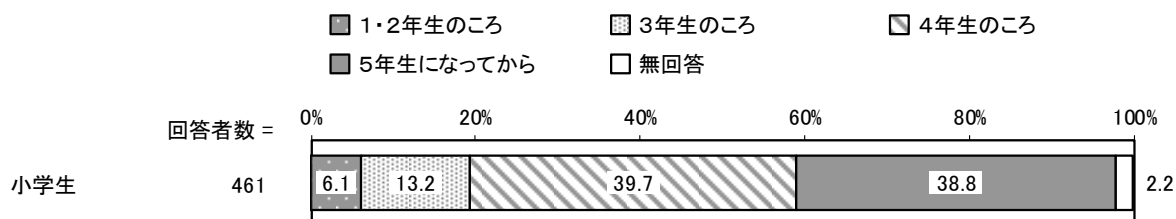


問 前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
(あてはまるもの1つに○)

[小学生：問6、中学生：問6]

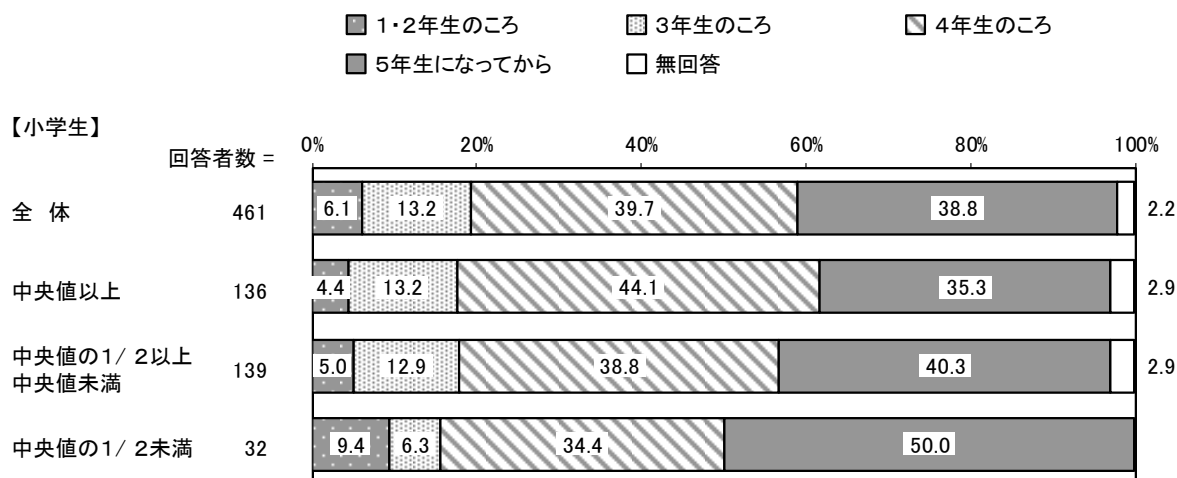
小学生では、「4年生のころ」の割合が39.7%と最も高く、次いで「5年生になってから」の割合が38.8%、「3年生のころ」の割合が13.2%となっています。

中学生では、「中学1年生のころ」の割合が52.5%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」の割合が21.0%、「小学5・6年生のころ」の割合が15.8%となっています。

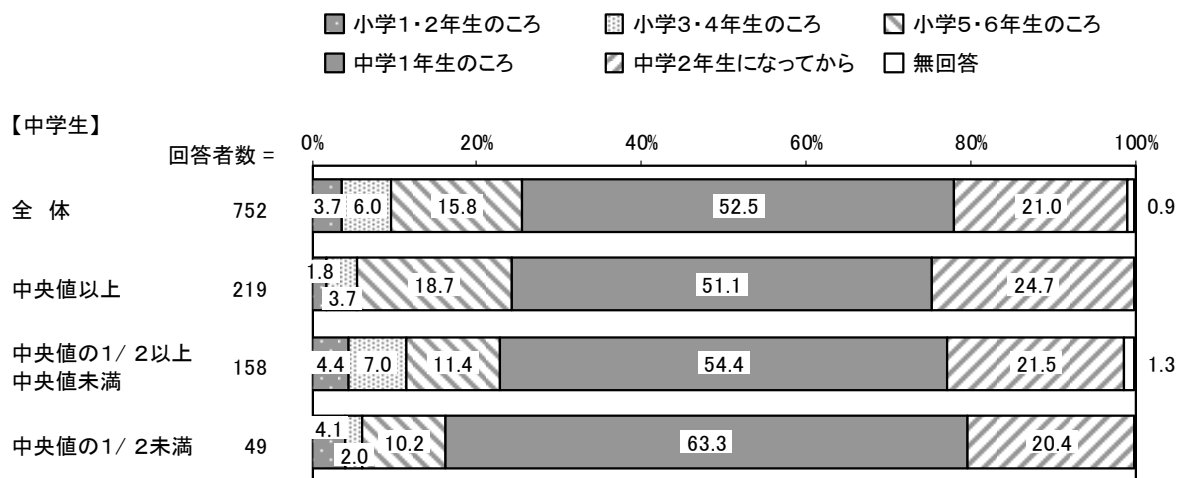


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「4年生のころ」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「5年生になってから」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「中学1年生のころ」の割合が高くなっています。



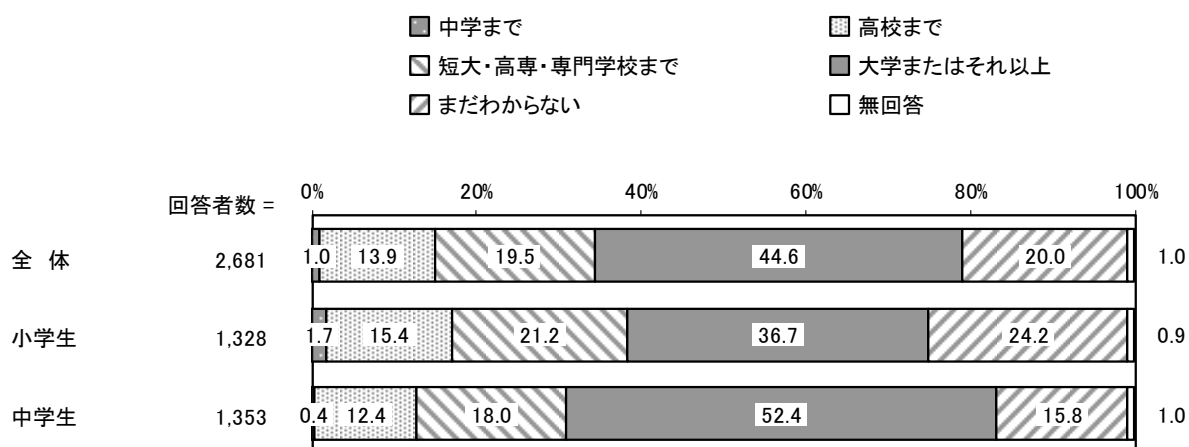
問 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

[小学生：問7、中学生：問7]

全体では、「大学またはそれ以上」の割合が44.6%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が20.0%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が19.5%となっています。

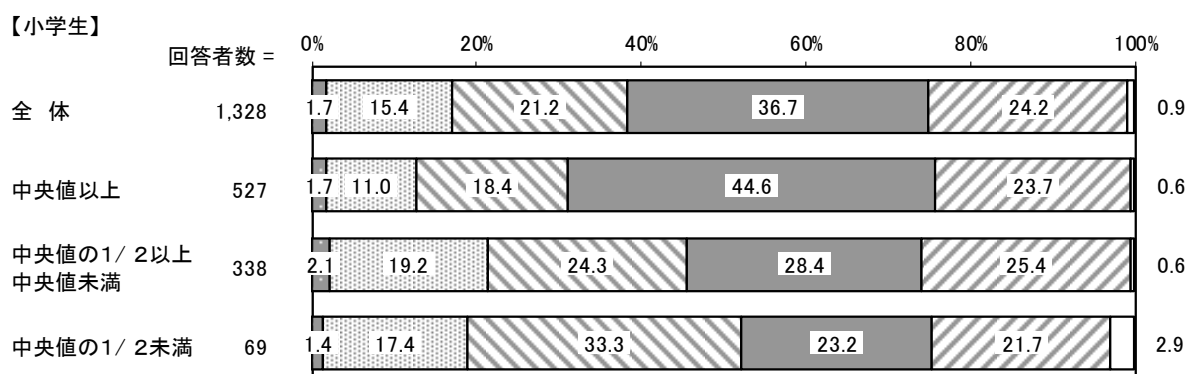
小学生では、「大学またはそれ以上」の割合が36.7%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が24.2%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が21.2%となっています。

中学生では、「大学またはそれ以上」の割合が52.4%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が18.0%、「まだわからない」の割合が15.8%となっています。

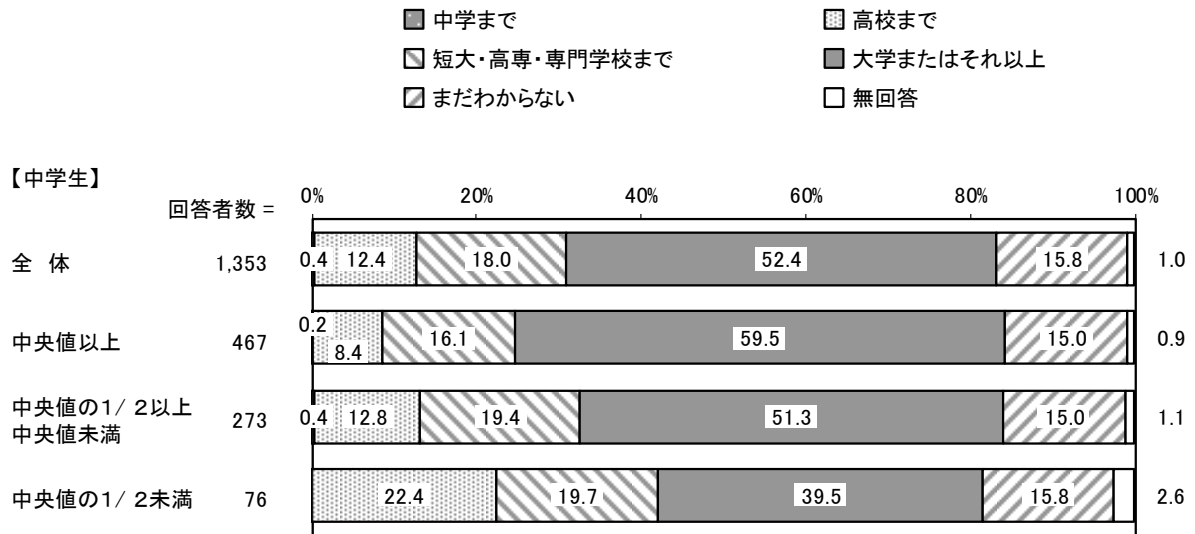


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「短大・高専・専門学校まで」の割合が高くなっています。

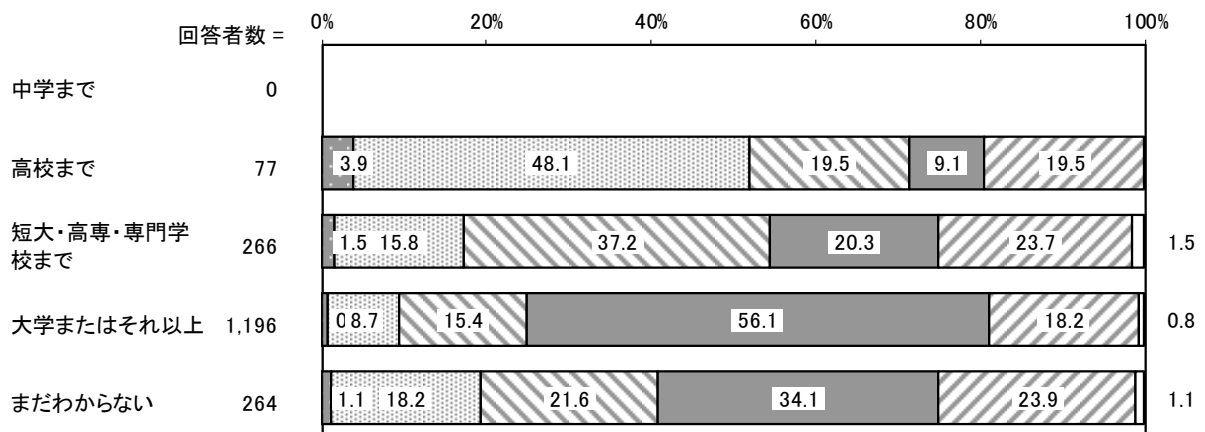


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「高校まで」の割合が高くなっています。



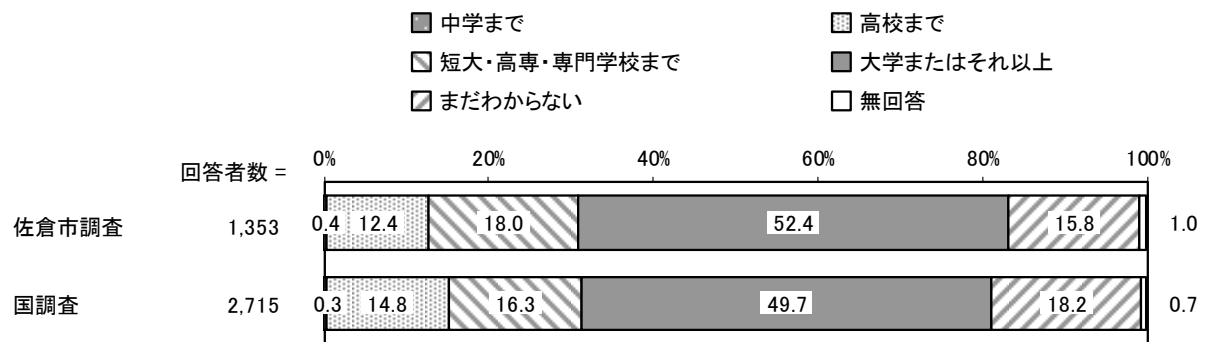
【保護者の希望進路別】

保護者の希望進路別でみると、他に比べ、高校までで「高校まで」の割合が、短大・高専・専門学校までで「短大・高専・専門学校まで」の割合が高くなっています。また、大学またはそれ以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

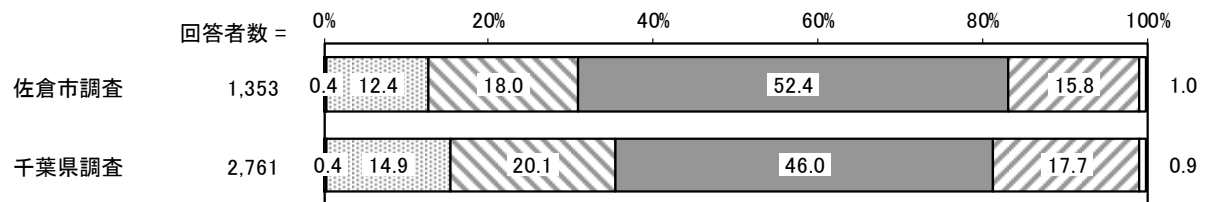
国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

【県比較（中学生）】

千葉県調査と比較すると、「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

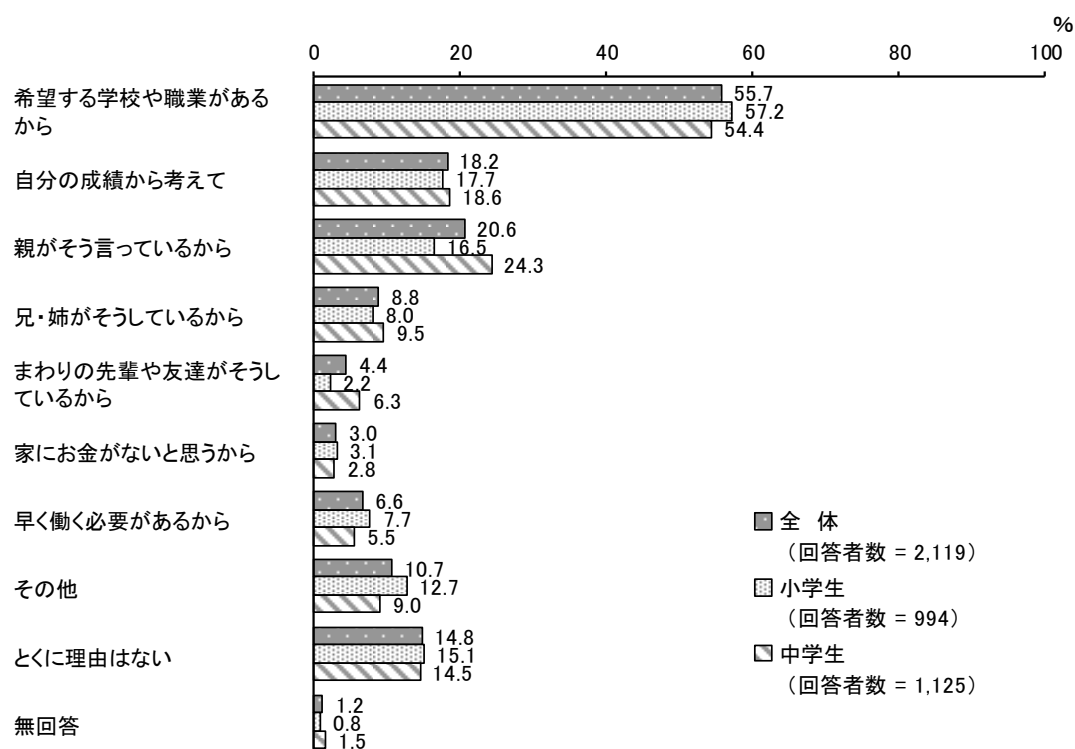
問 前の質問で「中学まで」～「大学またはそれ以上」と答えた場合、その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

[小学生：問8、中学生：問8]

全体では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」の割合が 20.6%、「自分の成績から考えて」の割合が 18.2%となっています。

小学生では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 17.7%、「親がそう言っているから」の割合が 16.5%となっています。

中学生では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」の割合が 24.3%、「自分の成績から考えて」の割合が 18.6%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「親がそう言っているから」「兄・姉がそうしているから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、等価世帯収入の水準が低くなるにつれ「家にお金がないと思うから」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

【小学生】	回答者数（件）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全 体	994	57.2	17.7	16.5	8.0	2.2	3.1	7.7	12.7	15.1	0.8
中央値以上	399	59.1	16.5	18.0	10.0	2.0	1.3	7.3	12.0	15.5	0.5
中央値の1/2以上 中央値未満	250	53.2	20.0	16.4	6.0	3.6	5.2	10.4	14.0	18.8	1.6
中央値の1/2未満	52	61.5	11.5	5.8	1.9	—	7.7	7.7	13.5	11.5	—

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「希望する学校や職業があるから」「まわりの先輩や友達がそうしているから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、等価世帯収入の水準が低くなるにつれ「家にお金がないと思うから」の割合が高くなる傾向がみられます。

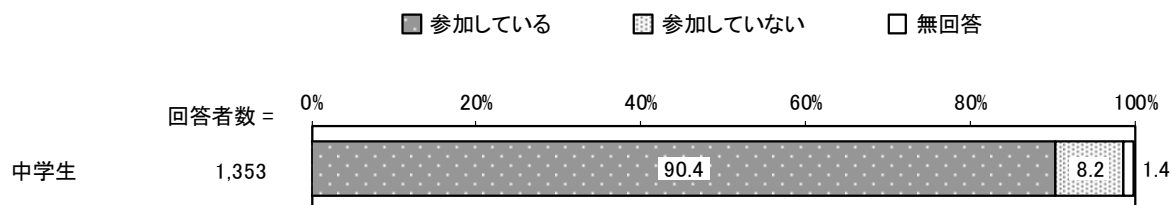
単位：％

【中学生】	回答者数（件）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全 体	1,125	54.4	18.6	24.3	9.5	6.3	2.8	5.5	9.0	14.5	1.5
中央値以上	393	55.2	21.6	26.0	11.7	7.4	1.0	3.1	9.2	14.8	1.3
中央値の1/2以上 中央値未満	229	52.4	18.8	26.2	9.6	5.7	3.5	6.6	9.2	15.3	1.3
中央値の1/2未満	62	46.8	21.0	27.4	9.7	4.8	6.5	6.5	6.5	17.7	—

問 (中学生のみ) あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

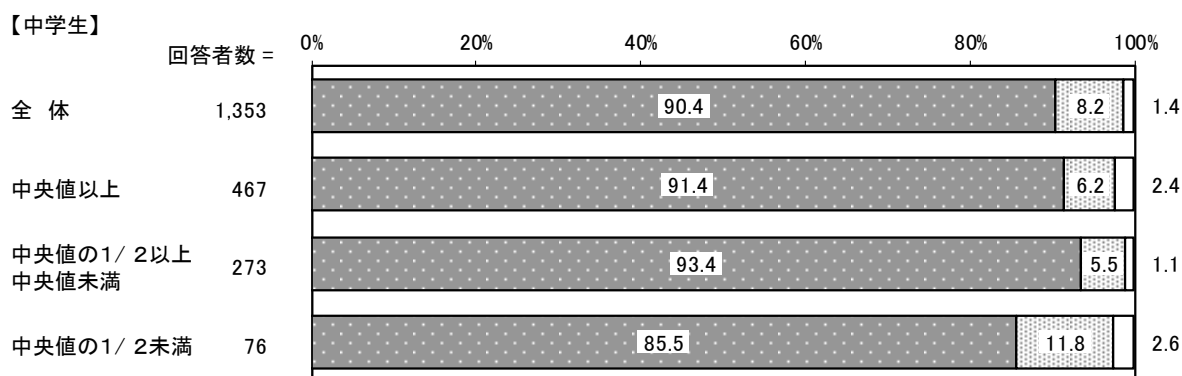
[中学生：問9]

「参加している」の割合が90.4%、「参加していない」の割合が8.2%となっています。



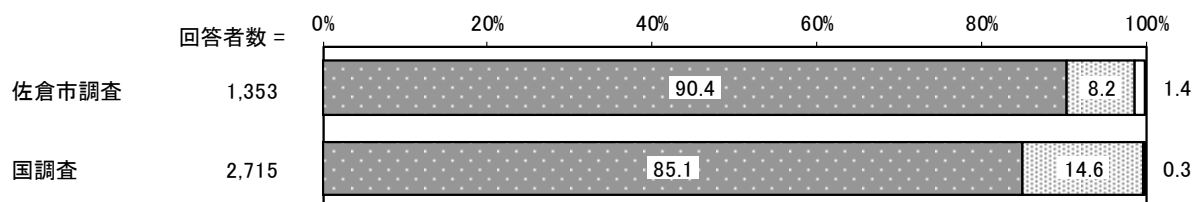
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「参加していない」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、「参加している」の割合が高くなっています。



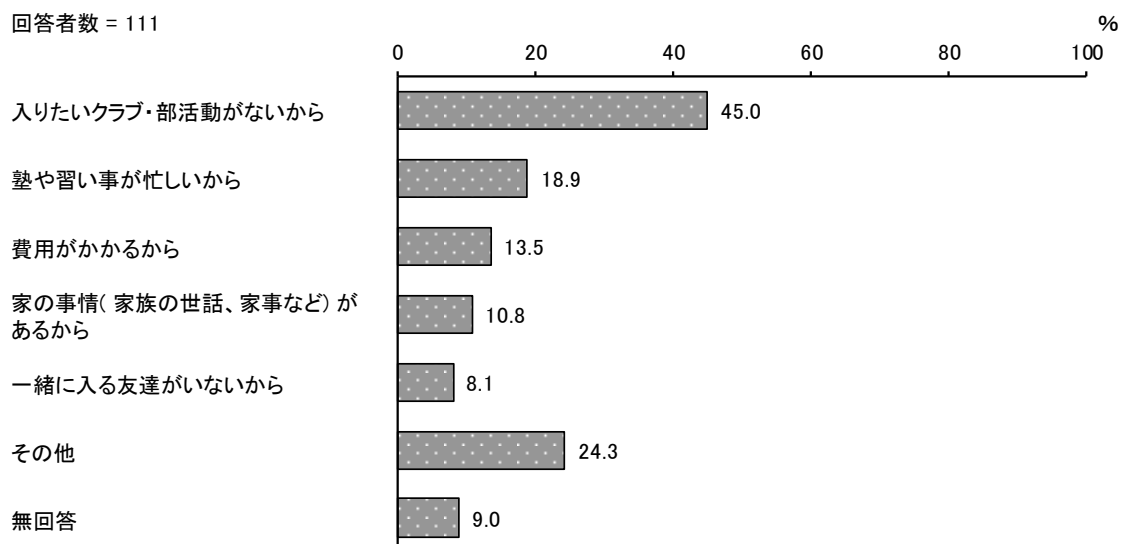
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

問 (中学生のみ) 前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

[中学生：問 10]

「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」の割合が 18.9%、「費用がかかるから」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 111



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「塾や習い事が忙しいから」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合、中央値の1/2未満で「費用がかかるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	入りたいクラブ・部活動がないから	塾や習い事が忙しいから	費用がかかるから	家の事情(家族の世話、家事など)があるから	一緒にいる友達がいないから	その他	無回答
全 体	111	45.0	18.9	13.5	10.8	8.1	24.3	9.0
中央値以上	29	37.9	31.0	6.9	10.3	3.4	34.5	3.4
中央値の1/2以上 中央値未満	15	46.7	—	13.3	13.3	6.7	13.3	20.0
中央値の1/2未満	9	44.4	—	33.3	—	—	11.1	11.1

問 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

[小学生：問9、中学生：問11]

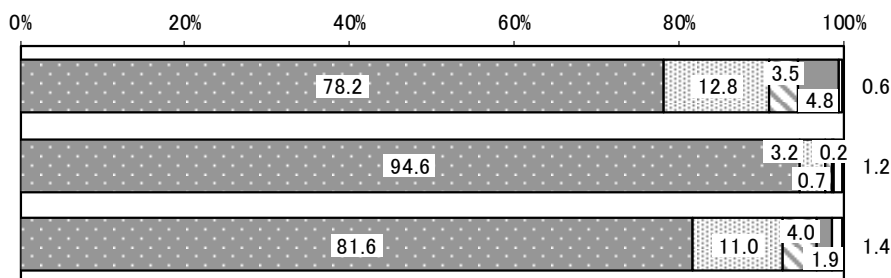
全体、小学生、中学生ともに、『b)夕食』で「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなっています。

■ 毎日食べる(週7日) ■ 週5～6日
■ 週3～4日 ■ 週1～2日、ほとんど食べない
□ 無回答

【全体】

回答者数 = 2,681

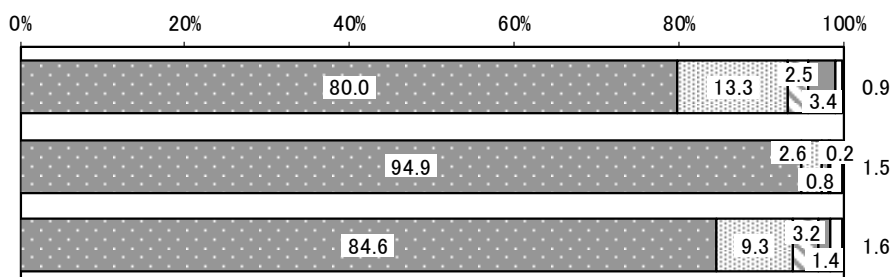
a) 朝食



【小学生】

回答者数 = 1,328

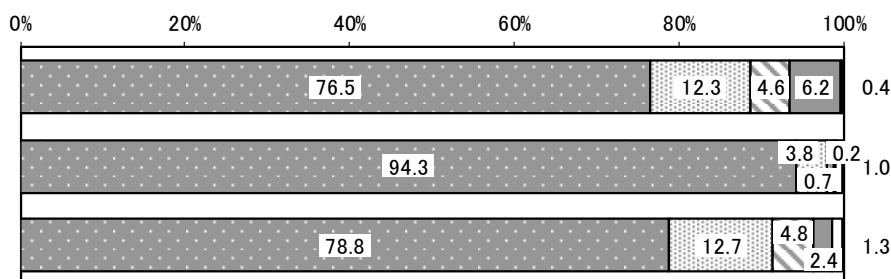
a) 朝食



【中学生】

回答者数 = 1,353

a) 朝食

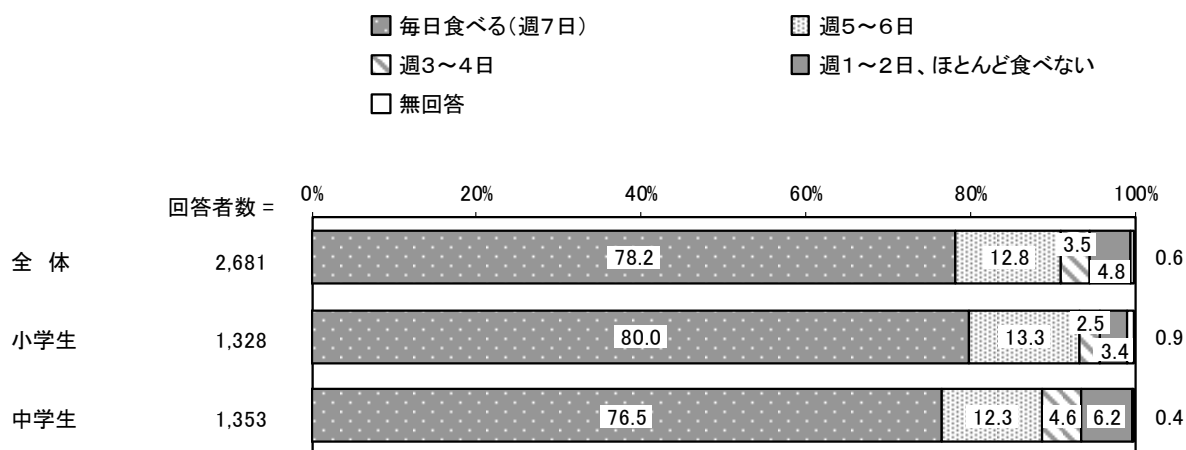


a) 朝食

全体では、「毎日食べる（週7日）」の割合が78.2%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が12.8%となっています。

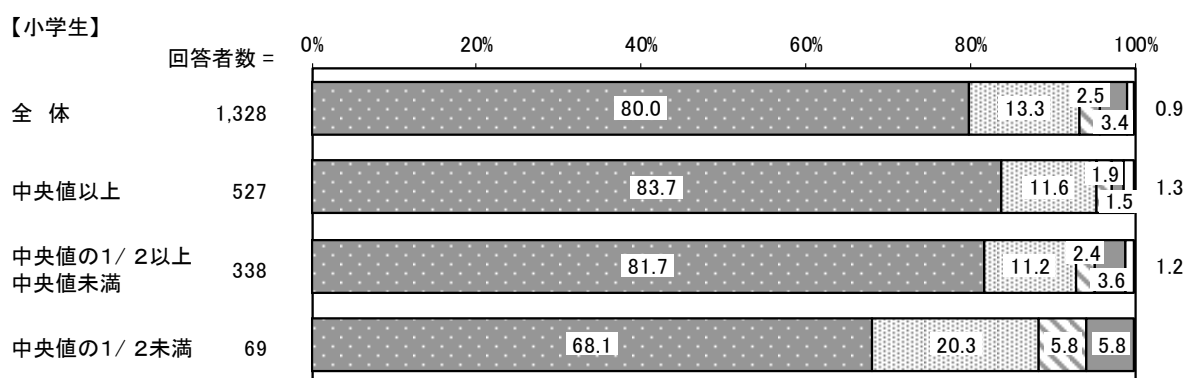
小学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が80.0%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が13.3%となっています。

中学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が76.5%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が12.3%となっています。

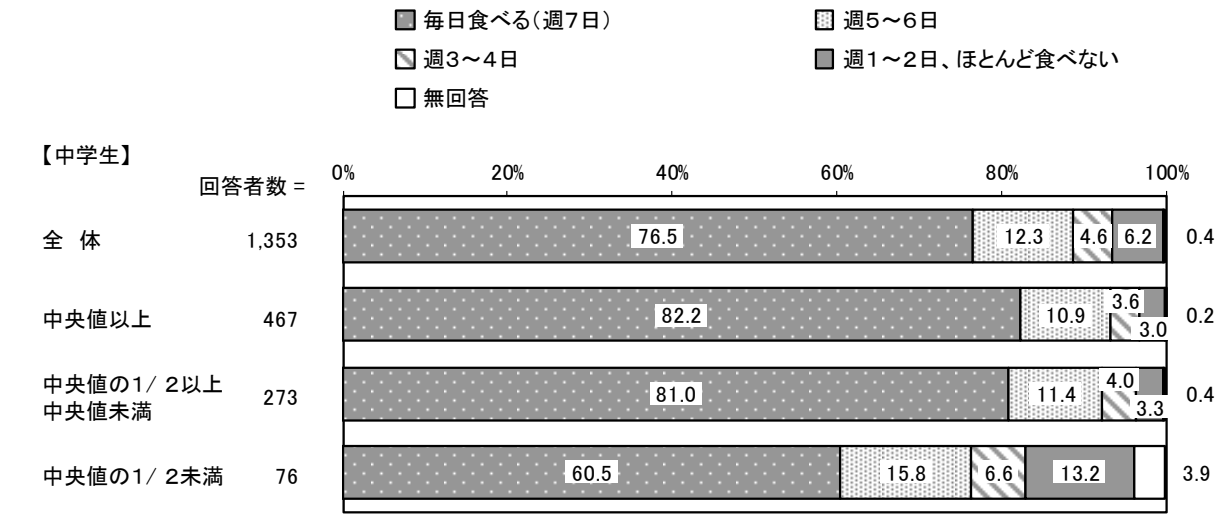


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「週5～6日」の割合が高くなっています。

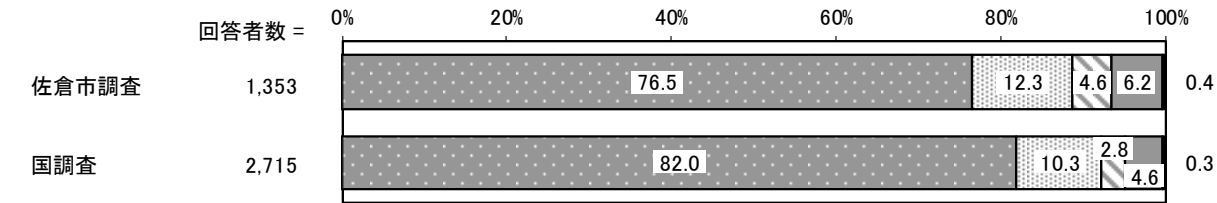


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「週1～2日、ほとんど食べない」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

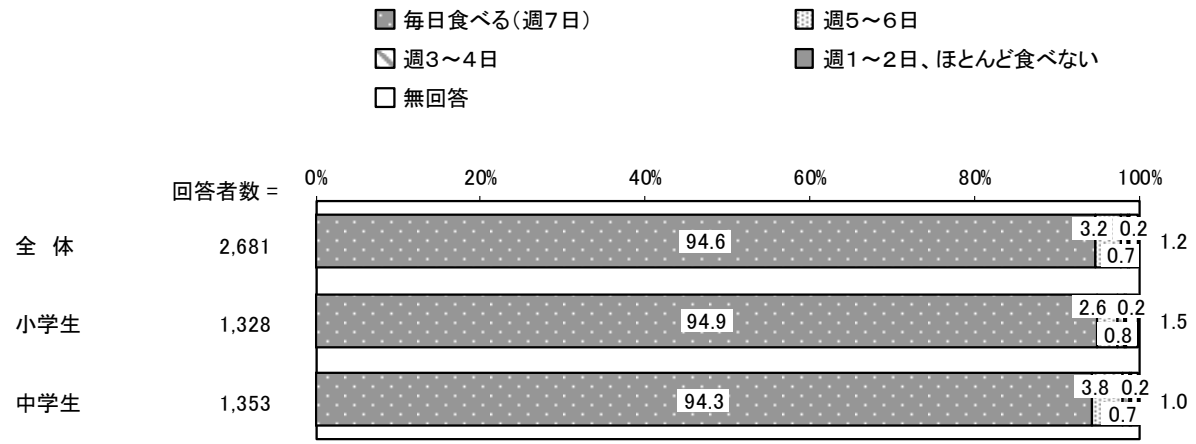
国調査と比較すると、「毎日食べる（週7日）」の割合が低くなっています。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

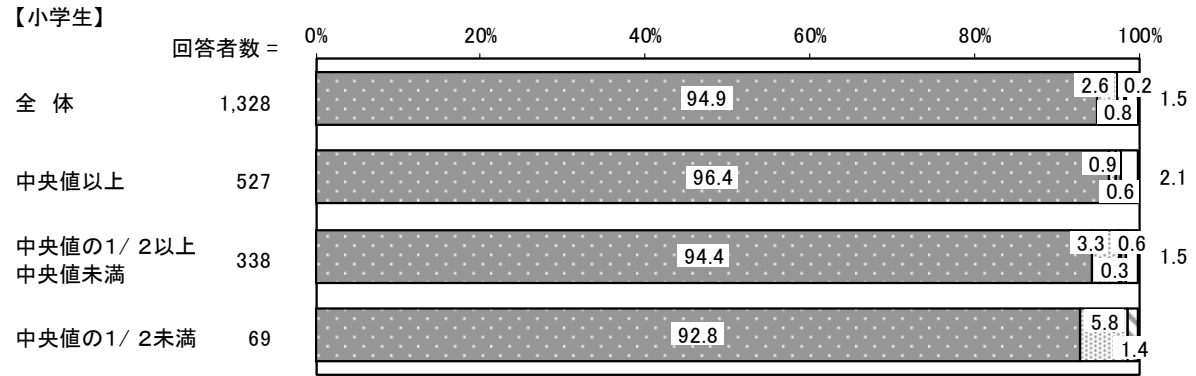
b) 夕食

全体では、「毎日食べる（週7日）」の割合が94.6%と最も高くなっています。
 小学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が94.9%と最も高くなっています。
 中学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が94.3%と最も高くなっています。

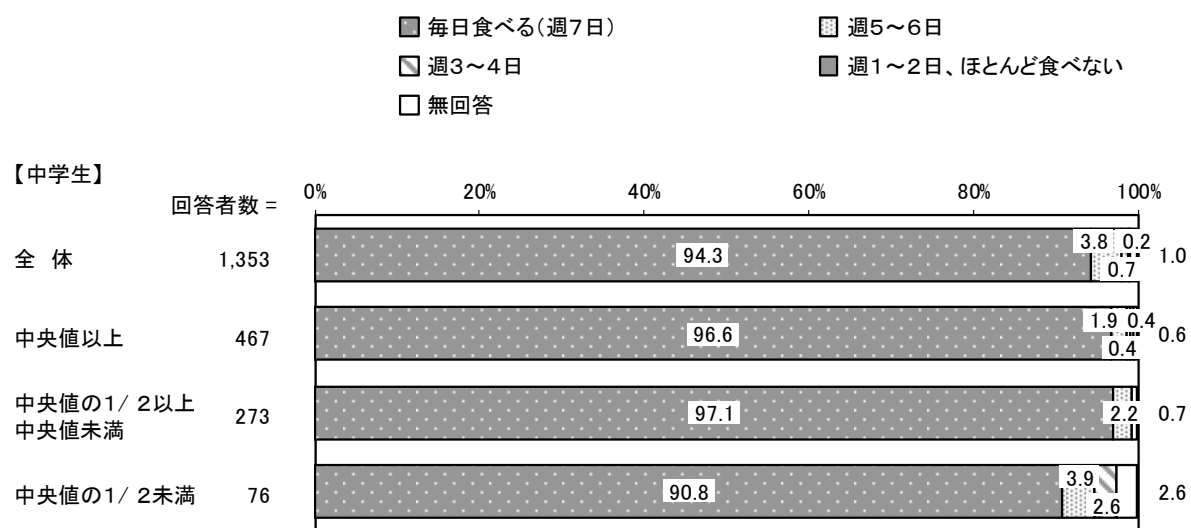


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

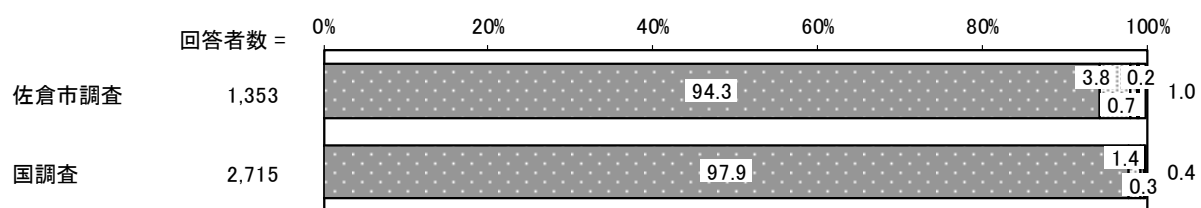


等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



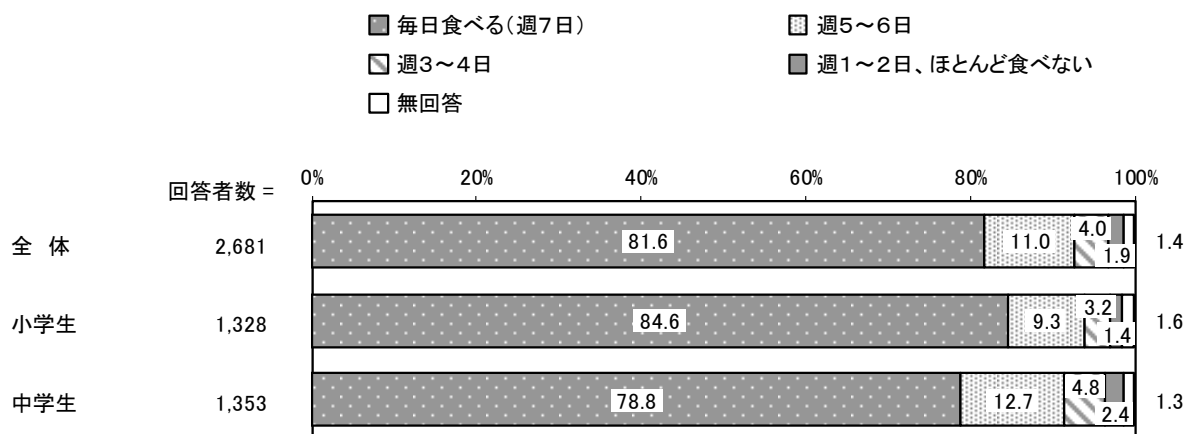
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

全体では、「毎日食べる（週7日）」の割合が81.6%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が11.0%となっています。

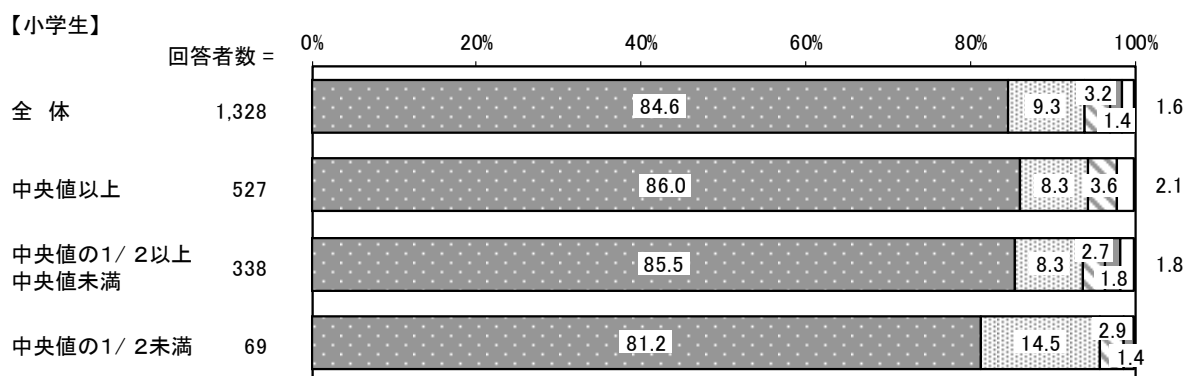
小学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が84.6%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が9.3%となっています。

中学生では、「毎日食べる（週7日）」の割合が78.8%と最も高く、次いで「週5～6日」の割合が12.7%となっています。

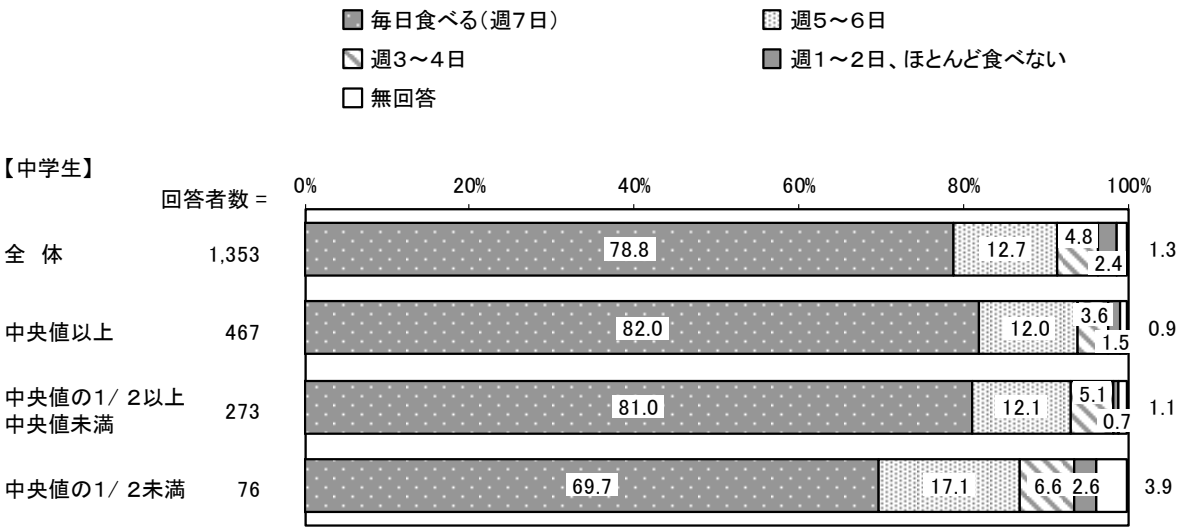


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「週5～6日」の割合が高くなっています。

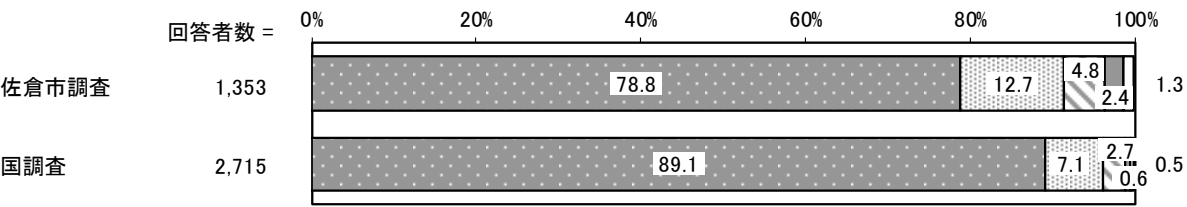


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「週5～6日」の割合が高くなっています。



【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、「週5～6日」の割合が高くなっています。一方、「毎日食べる(週7日)」低くなっています。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

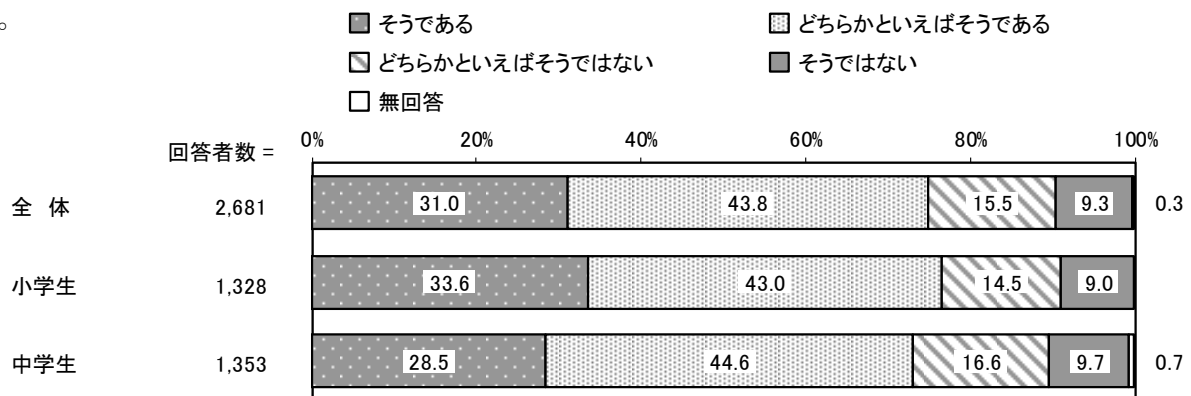
問 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

[小学生：問 10、中学生：問 12]

全体では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」をあわせた“そうである”の割合が74.8%、「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」をあわせた“そうではない”の割合が24.8%となっています。

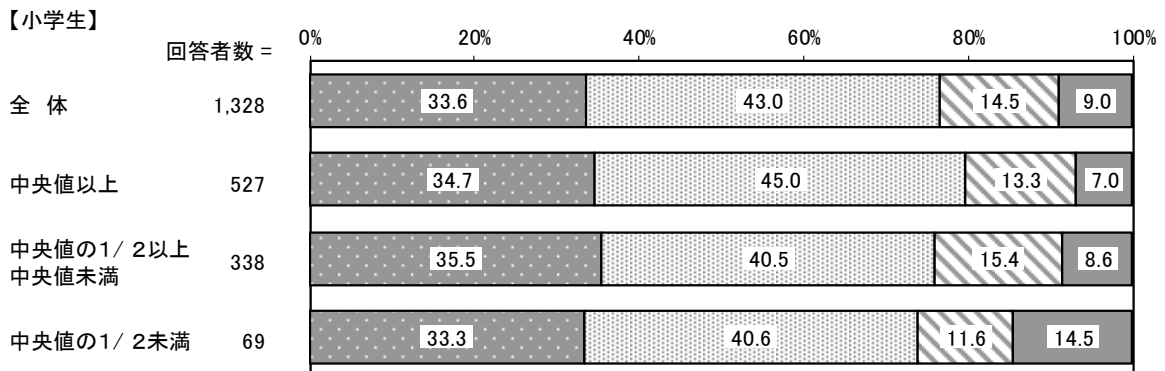
小学生では、“そうである”の割合が76.6%、“そうではない”の割合が23.5%となっています。

中学生では、“そうである”の割合が73.1%、“そうではない”の割合が26.3%となっています。

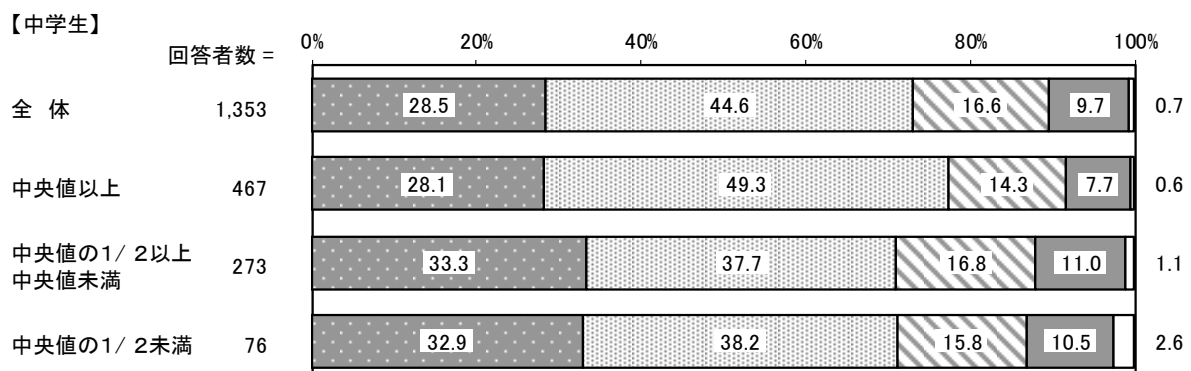


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“そうである”の割合が高くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“そうである”の割合が高くなっています。



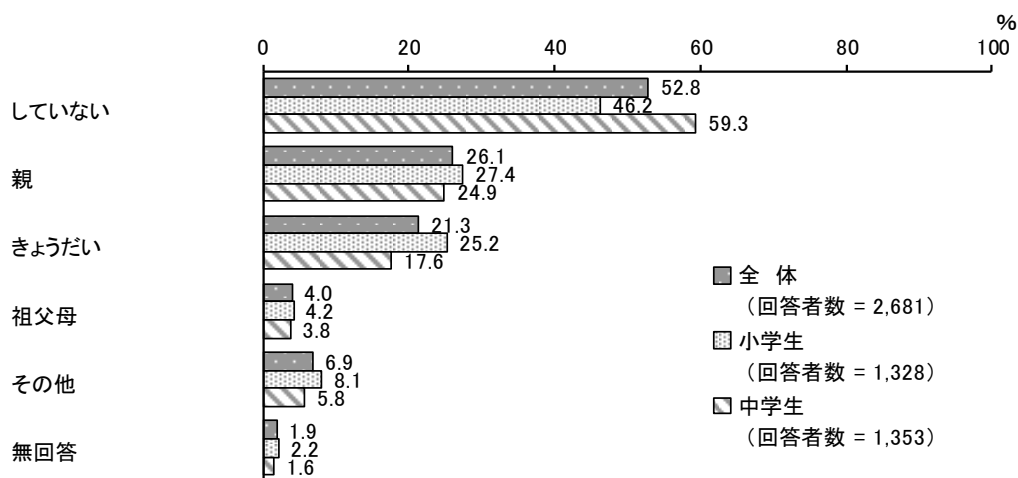
問 あなたは、ふだん（月曜日～日曜日）家族のお世話をしていますか。
 している場合、誰に対してお世話をしていますか。（あてはまるもの全てに○）

[小学生：問 11、中学生：問 13]

全体では、「していない」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「親」の割合が 26.1%、「きょうだい」の割合が 21.3%となっています。

小学生では、「していない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「親」の割合が 27.4%、「きょうだい」の割合が 25.2%となっています。

中学生では、「していない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「親」の割合が 24.9%、「きょうだい」の割合が 17.6%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

【小学生】	回答者数 (件)	していない	親	きょうだい	祖父母	その他	無回答
全 体	1,328	46.2	27.4	25.2	4.2	8.1	2.2
中央値以上	527	48.4	29.6	21.3	4.0	7.6	2.3
中央値の1/2以上 中央値未満	338	47.9	21.9	27.8	4.4	6.8	2.1
中央値の1/2未満	69	47.8	27.5	24.6	8.7	10.1	—

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「していない」の割合が高くなっています。

単位：％

【中学生】	回答者数 (件)	していない	親	きょうだい	祖父母	その他	無回答
全 体	1,353	59.3	24.9	17.6	3.8	5.8	1.6
中央値以上	467	67.0	23.8	12.8	1.5	4.5	1.1
中央値の1/2以上 中央値未満	273	52.4	29.7	22.7	5.9	4.0	2.2
中央値の1/2未満	76	51.3	34.2	22.4	10.5	3.9	2.6

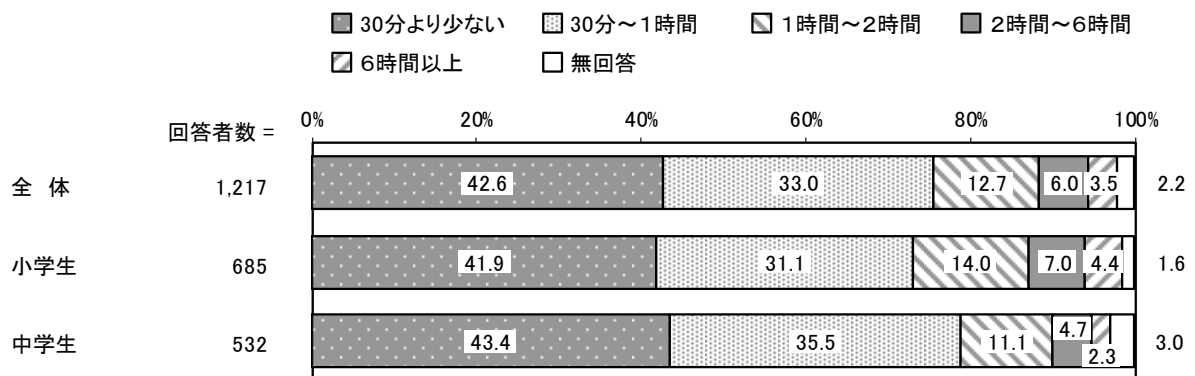
問 前の質問で「親」～「その他」と答えた人にお聞きします。
お世話する１日の時間はどれくらいですか。（あてはまるもの１つに○）

〔小学生：問 12、中学生：問 14〕

全体では、「30 分より少ない」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「30 分～1 時間」の割合が 33.0%、「1 時間～2 時間」の割合が 12.7%となっています。

小学生では、「30 分より少ない」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「30 分～1 時間」の割合が 31.1%、「1 時間～2 時間」の割合が 14.0%となっています。

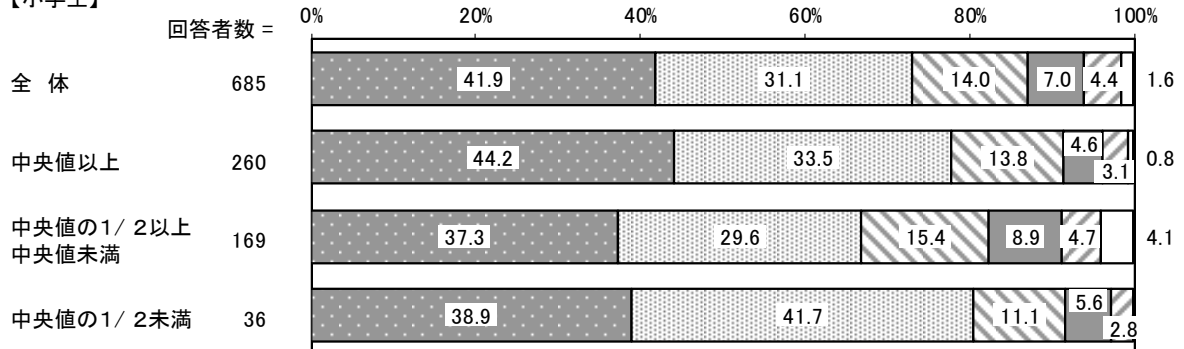
中学生では、「30 分より少ない」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「30 分～1 時間」の割合が 35.5%、「1 時間～2 時間」の割合が 11.1%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

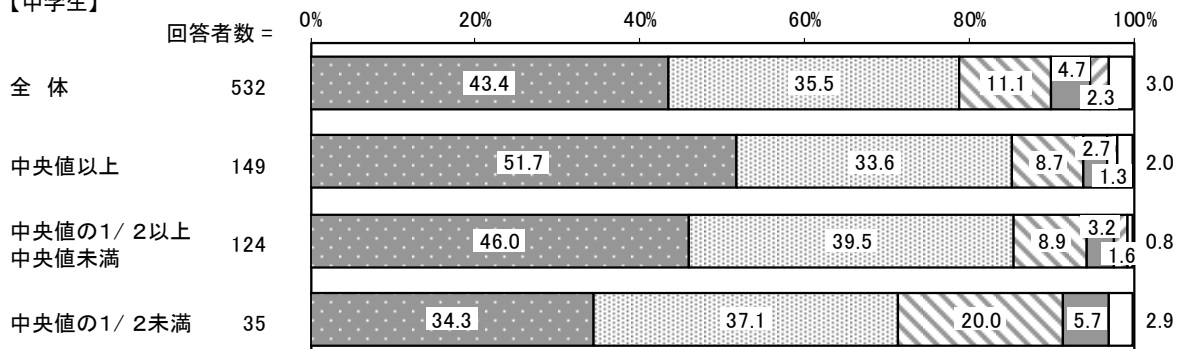
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「30 分より少ない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「30 分～1 時間」の割合が高くなっています。

【小学生】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「30 分より少ない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「1 時間～2 時間」の割合が高くなっています。

【中学生】

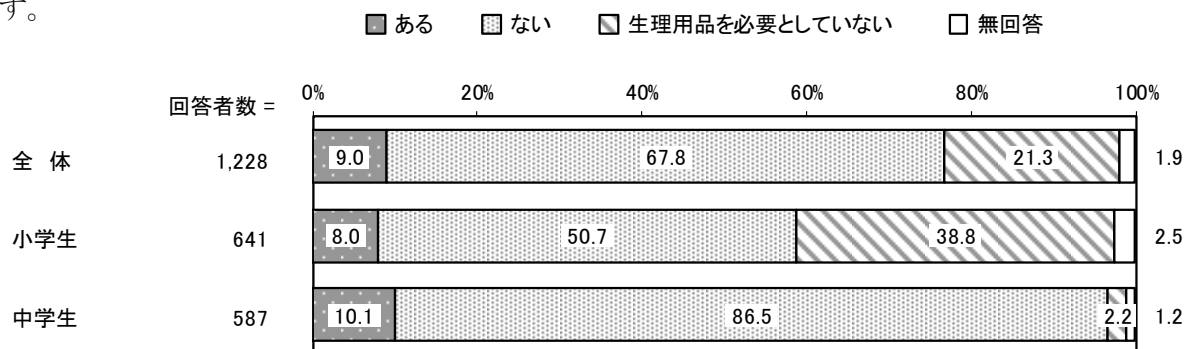


問 女性にお聞きします。生理になったときに、家に生理用品が用意されていなくて困ったことはありますか。男性は回答せず、すすんで下さい。
(あてはまるもの1つに○) [小学生：問 13、中学生：問 15]

全体では、「ない」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「生理用品を必要としていない」の割合が 21.3%となっています。

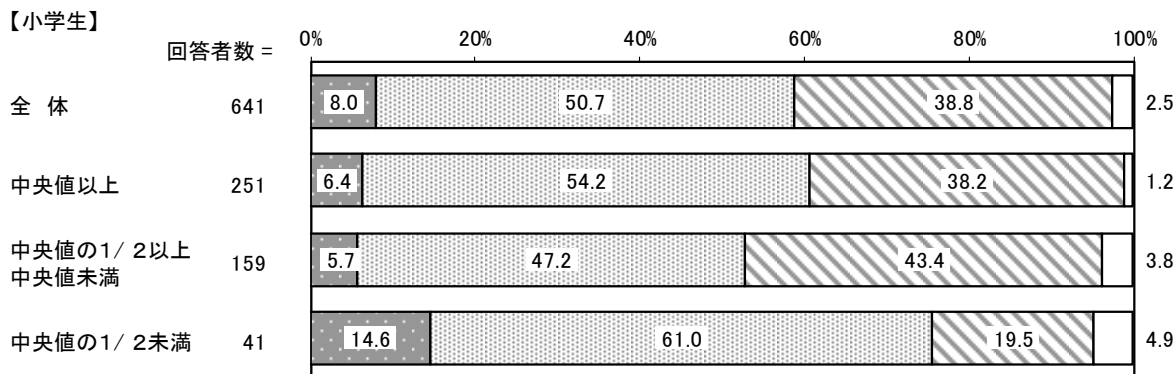
小学生では、「ない」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「生理用品を必要としていない」の割合が 38.8%となっています。

中学生では、「ない」の割合が 86.5%と最も高く、次いで「ある」の割合が 10.1%となっています。

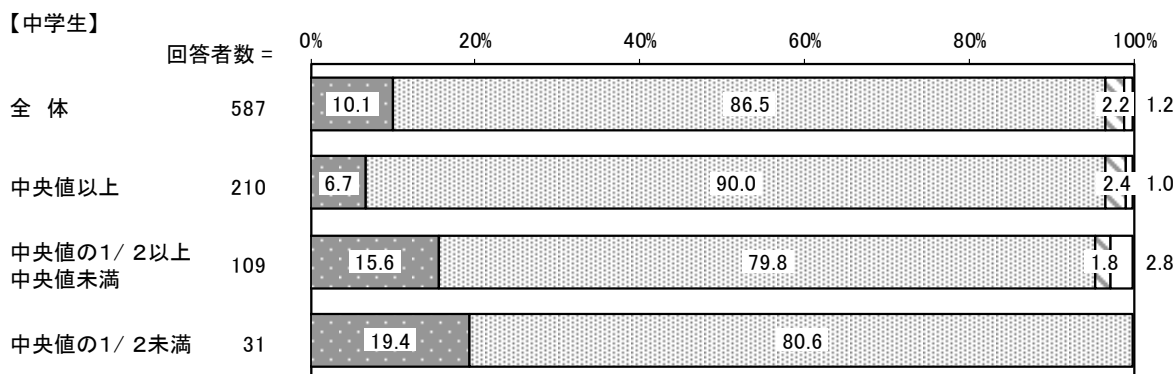


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「ある」「ない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ない」の割合が高くなっています。



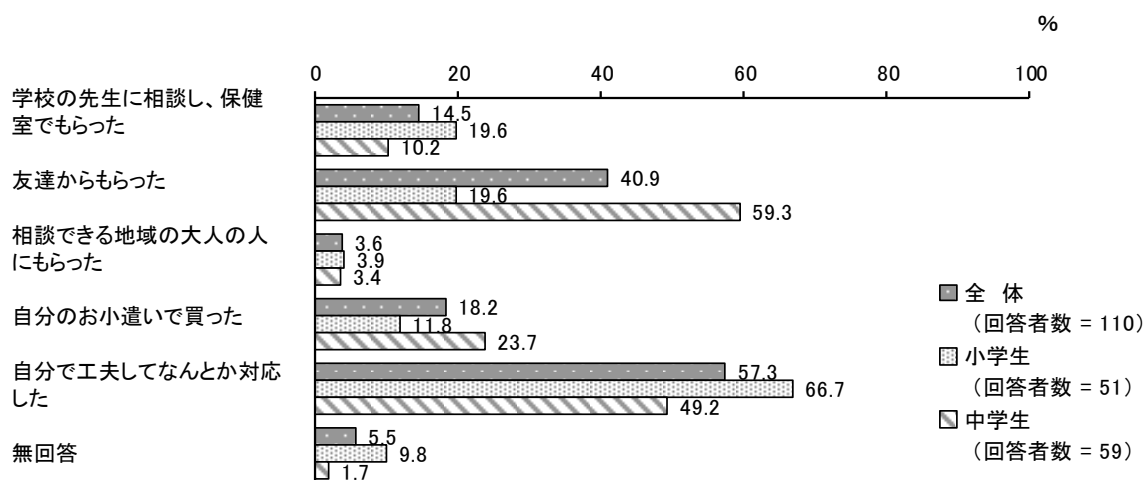
問 前の質問で「ある」と答えた人にお聞きします。
その時どの様に対応しましたか。(あてはまるもの全てに○)

[小学生：問 14、中学生：問 16]

全体では、「自分で工夫してなんとか対応した」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「友達からもらった」の割合が 40.9%、「自分のお小遣いで買った」の割合が 18.2%となっています。

小学生では、「自分で工夫してなんとか対応した」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「学校の先生に相談し、保健室でもらった」、「友達からもらった」の割合が 19.6%となっています。

中学生では、「友達からもらった」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「自分で工夫してなんとか対応した」の割合が 49.2%、「自分のお小遣いで買った」の割合が 23.7%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：％

【小学生】	回答者数（件）	学校の先生に相談し、 保健室でもらった	友達からもらった	相談できる地域の大人の 人にもらった	自分のお小遣いで買った	自分で工夫してなんとか 対応した	無回答
全 体	51	19.6	19.6	3.9	11.8	66.7	9.8
中央値以上	16	18.8	18.8	—	6.3	81.3	—
中央値の1/2以上 中央値未満	9	22.2	11.1	—	11.1	55.6	22.2
中央値の1/2未満	6	16.7	50.0	—	16.7	50.0	16.7

有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：％

【中学生】	回答者数（件）	学校の先生に相談し、 保健室でもらった	友達からもらった	相談できる地域の大人の 人にもらった	自分のお小遣いで買った	自分で工夫してなんとか 対応した	無回答
全 体	59	10.2	59.3	3.4	23.7	49.2	1.7
中央値以上	14	14.3	64.3	—	7.1	64.3	—
中央値の1/2以上 中央値未満	17	11.8	47.1	—	23.5	47.1	—
中央値の1/2未満	6	16.7	50.0	16.7	33.3	66.7	—

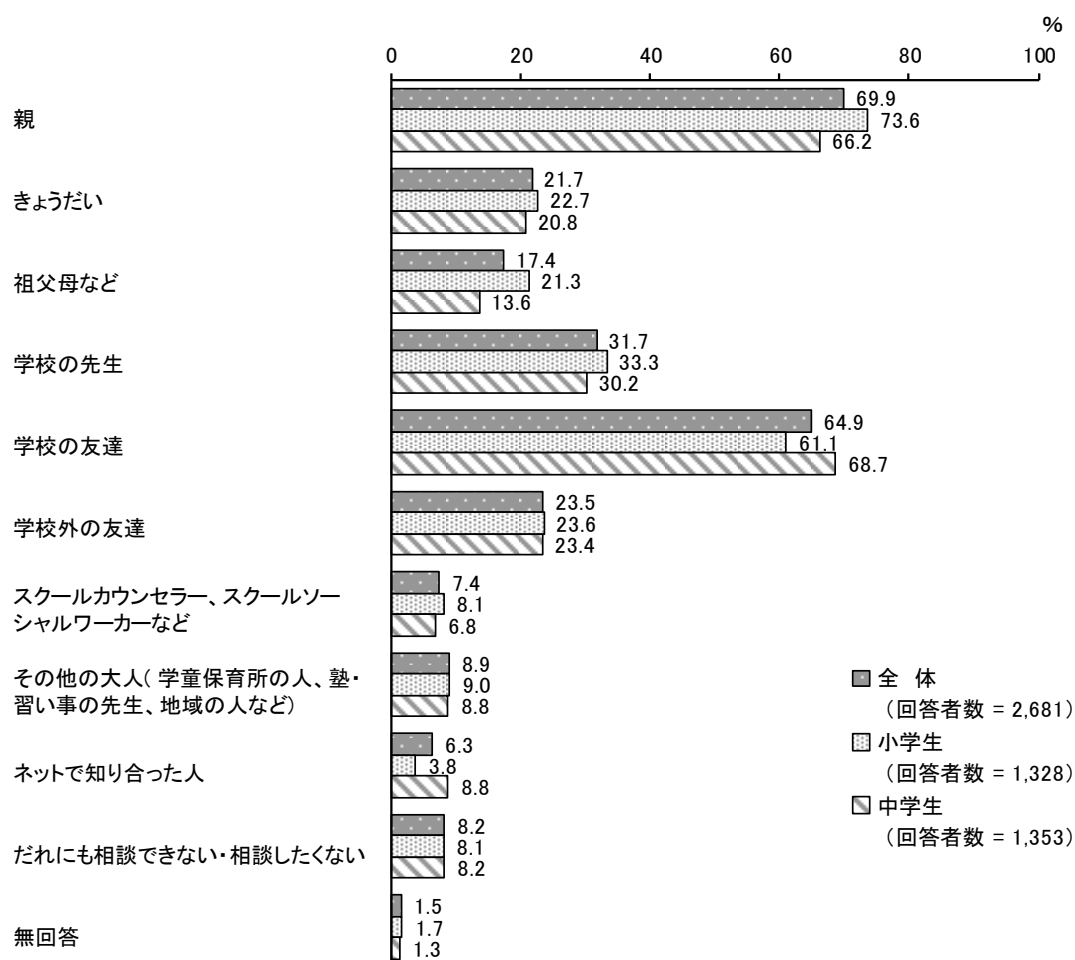
問 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

[小学生：問 15、中学生：問 17]

全体では、「親」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が 64.9%、「学校の先生」の割合が 31.7%となっています。

小学生では、「親」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が 61.1%、「学校の先生」の割合が 33.3%となっています。

中学生では、「学校の友達」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「親」の割合が 66.2%、「学校の先生」の割合が 30.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「親」の割合が高くなる傾向がみられ、等価世帯収入の水準が低くなるにつれて「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

【小学生】	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、 塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	だれにも相談できない・ 相談したくない	無回答
全 体	1,328	73.6	22.7	21.3	33.3	61.1	23.6	8.1	9.0	3.8	8.1	1.7
中央値以上	527	75.3	23.5	21.6	31.5	63.8	24.7	8.5	9.3	3.6	8.3	2.1
中央値の1/2以上 中央値未満	338	73.1	21.6	21.0	37.9	65.4	26.3	9.2	9.2	3.0	8.9	1.5
中央値の1/2未満	69	71.0	27.5	21.7	40.6	53.6	21.7	11.6	10.1	2.9	7.2	—

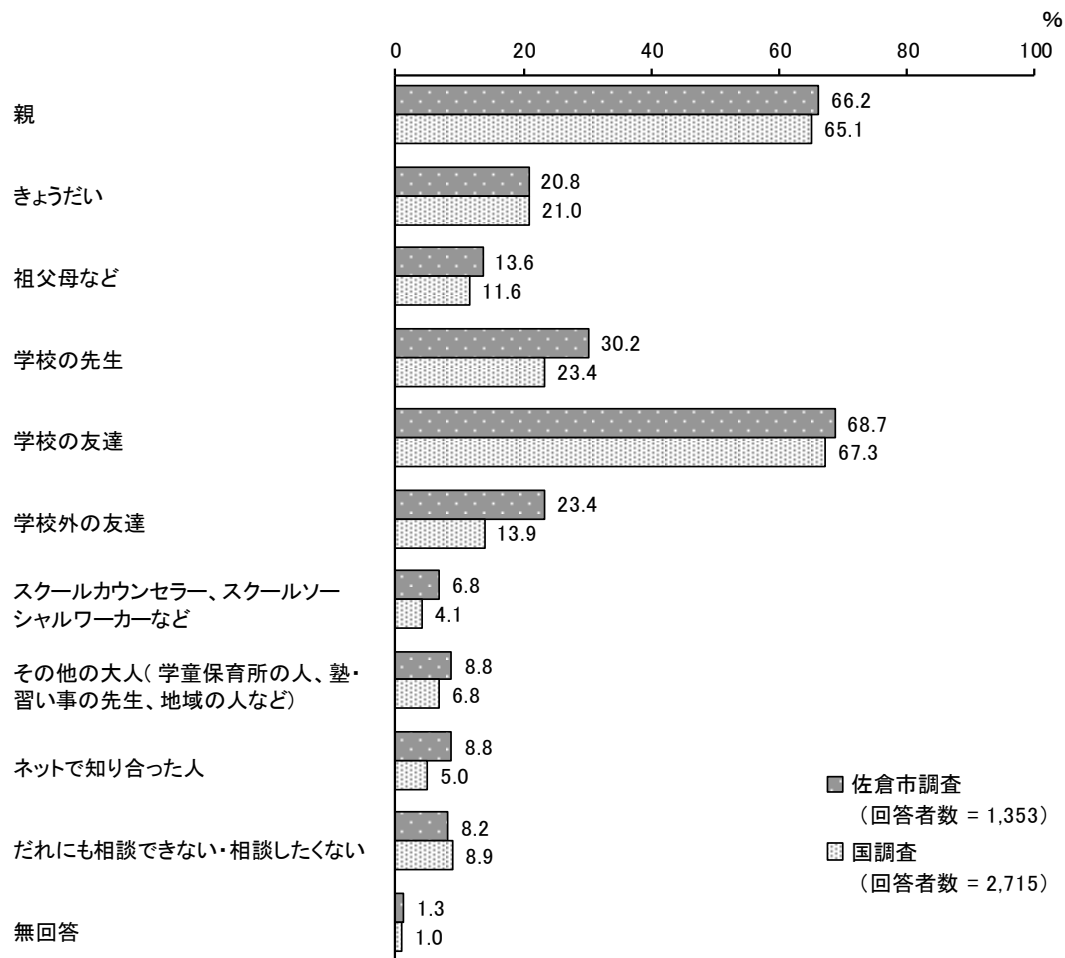
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「だれにも相談できない・相談したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

【中学生】	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、 塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	だれにも相談できない・ 相談したくない	無回答
全 体	1,353	66.2	20.8	13.6	30.2	68.7	23.4	6.8	8.8	8.8	8.2	1.3
中央値以上	467	70.4	23.3	13.5	32.1	69.0	21.0	7.9	9.2	7.5	8.8	0.6
中央値の1/2以上 中央値未満	273	68.9	20.1	16.5	34.4	72.2	22.3	8.1	12.8	9.5	5.9	0.7
中央値の1/2未満	76	51.3	18.4	11.8	25.0	64.5	23.7	3.9	3.9	7.9	14.5	1.3

【国比較（中学生）】

国調査と比較すると、「学校の先生」「学校外の友達」の割合が高くなっています。



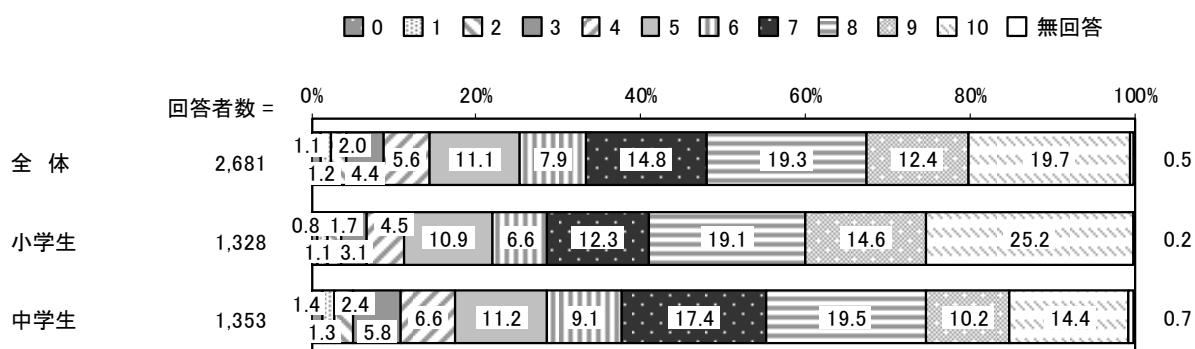
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答え
てください。（あてはまるもの1つに○）[小学生：問16、中学生：問18]

全体では、「10」の割合が19.7%と最も高く、次いで「8」の割合が19.3%、「7」の割合が14.8%となっています。

小学生では、「10」の割合が25.2%と最も高く、次いで「8」の割合が19.1%、「9」の割合が14.6%となっています。

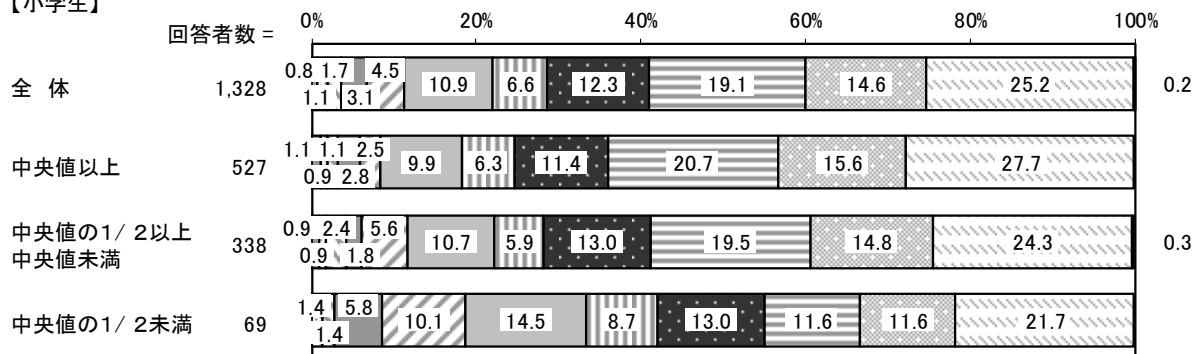
中学生では、「8」の割合が19.5%と最も高く、次いで「7」の割合が17.4%、「10」の割合が14.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

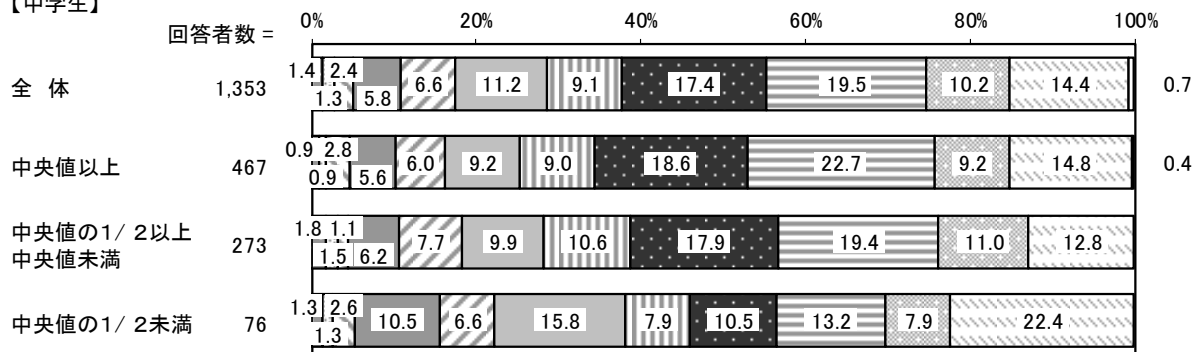
等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「8」「9」「10」の割合が高くなる傾向がみられます。

【小学生】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「5」「10」の割合が高くなっています。

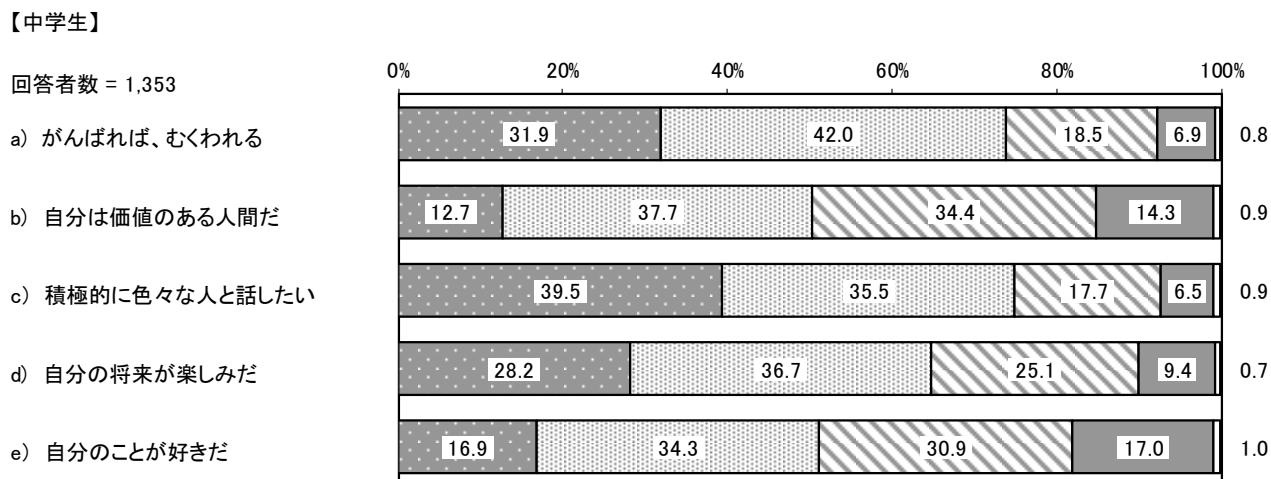
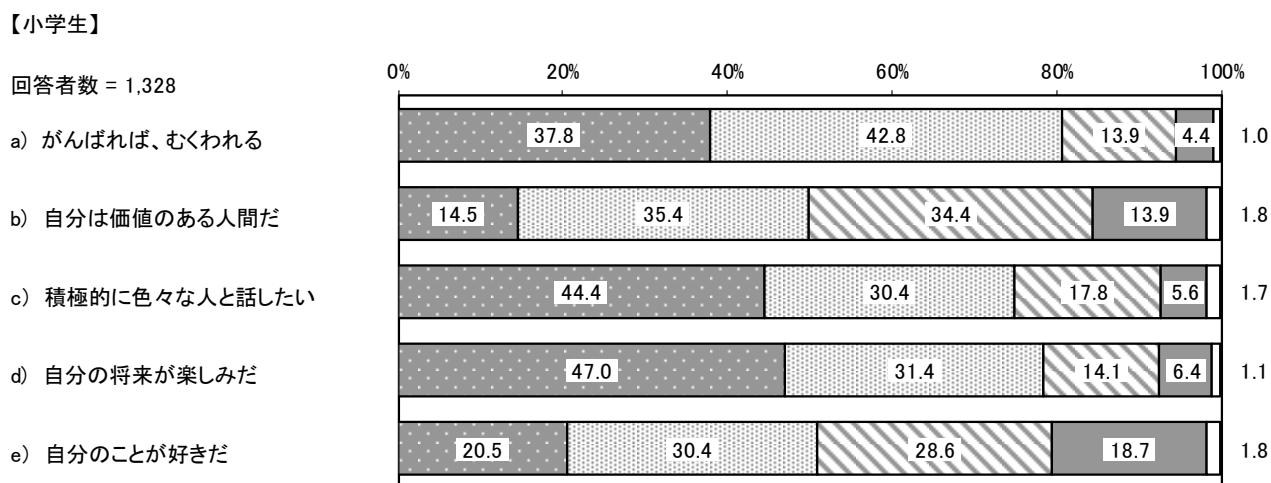
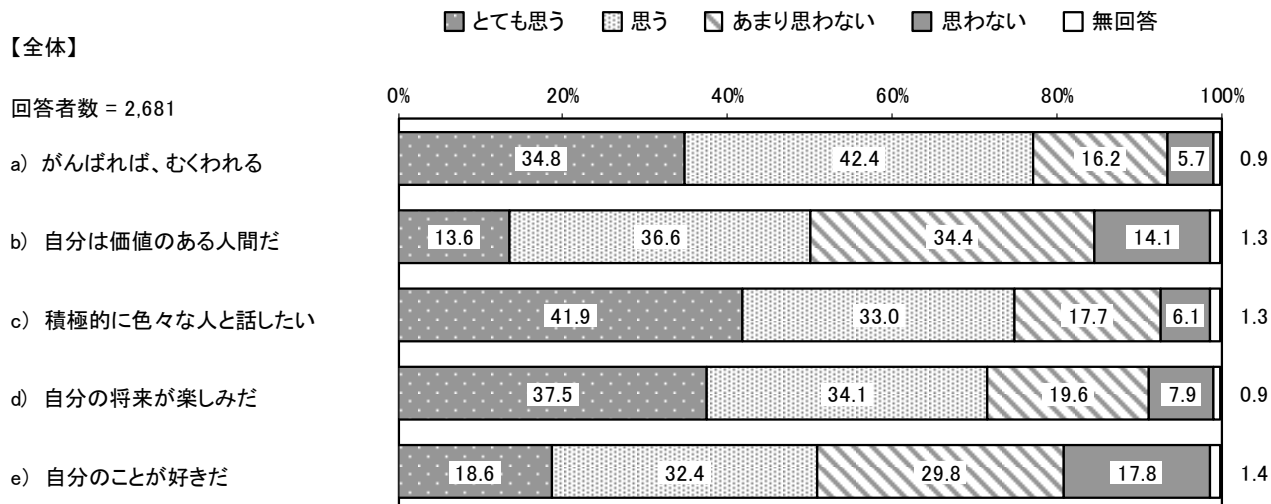
【中学生】



問 あなたの思いや気持ちについてもっとも近いものはどれですか。
(あてはまるもの1つに○) [小学生：問 17、中学生：問 19]

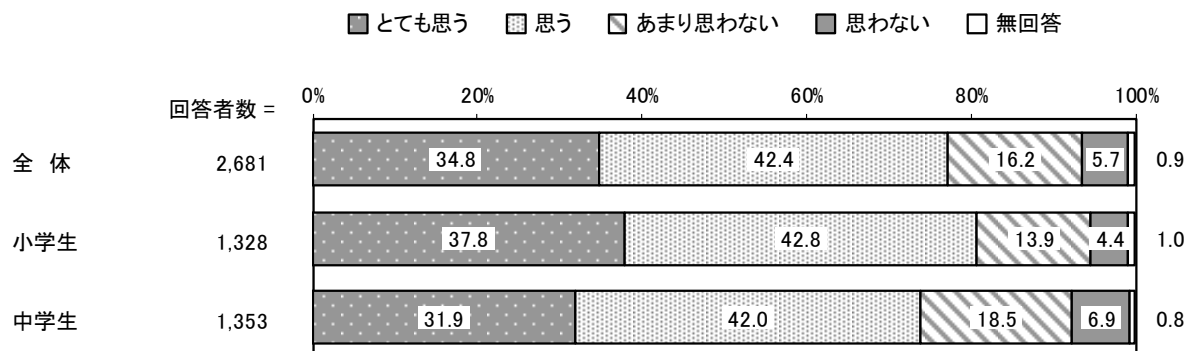
全体、小学生ともに、『a)がんばれば、むくわれる』『c)積極的に色々な人と話したい』『d)自分の将来が楽しみだ』で「とても思う」と「思う」を合わせた“思う”の割合が、『b)自分は価値のある人間だ』『e)自分のことが好きだ』で「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が高くなっています。

中学生では、『a)がんばれば、むくわれる』『c)積極的に色々な人と話したい』で“思う”の割合が、『b)自分は価値のある人間だ』『e)自分のことが好きだ』で“思わない”の割合が高くなっています。



a) がんばれば、むくわれる

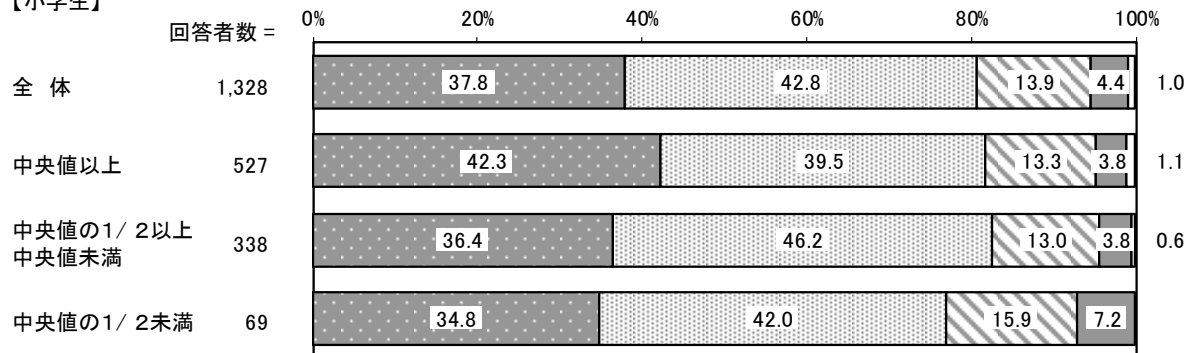
全体では、“思う”の割合が77.2%、“思わない”の割合が21.9%となっています。
 小学生では、“思う”の割合が80.6%、“思わない”の割合が18.3%となっています。
 中学生では、“思う”の割合が73.9%、“思わない”の割合が25.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

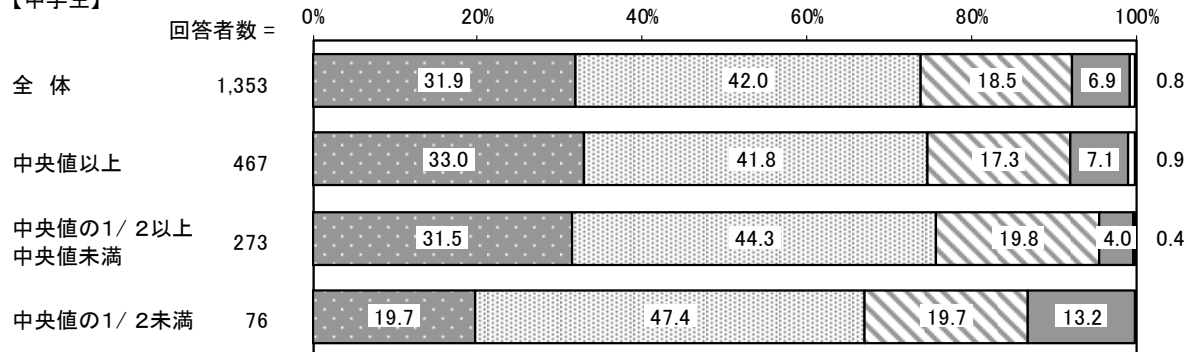
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。

【小学生】



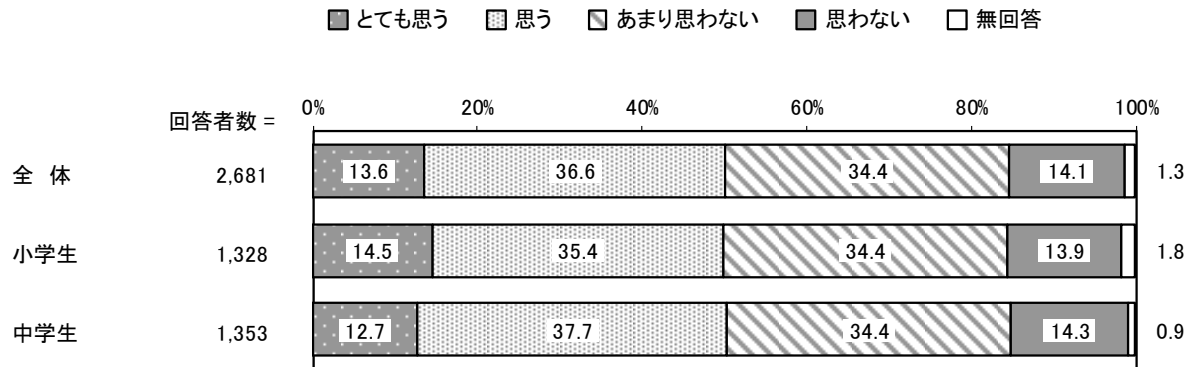
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。

【中学生】



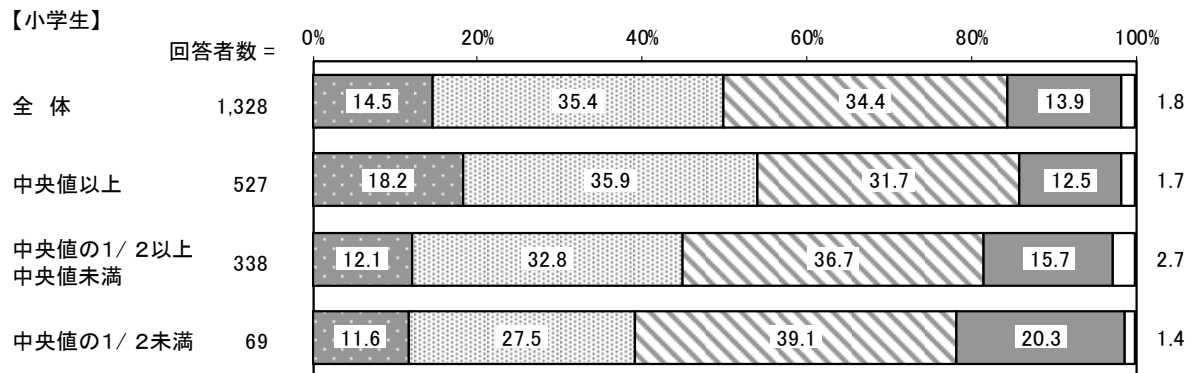
b) 自分は価値のある人間だ

全体では、“思う”の割合が50.2%、“思わない”の割合が48.5%となっています。
 小学生では、“思う”の割合が49.9%、“思わない”の割合が48.3%となっています。
 中学生では、“思う”の割合が50.4%、“思わない”の割合が48.7%となっています。

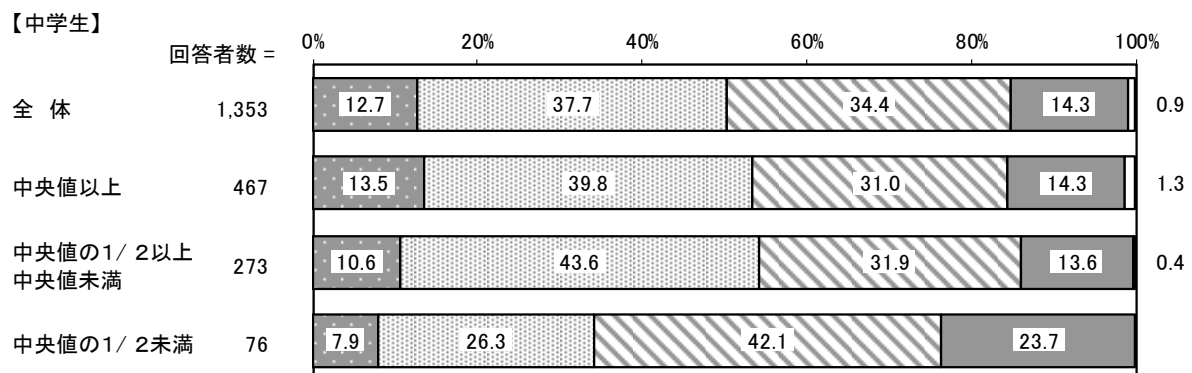


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。

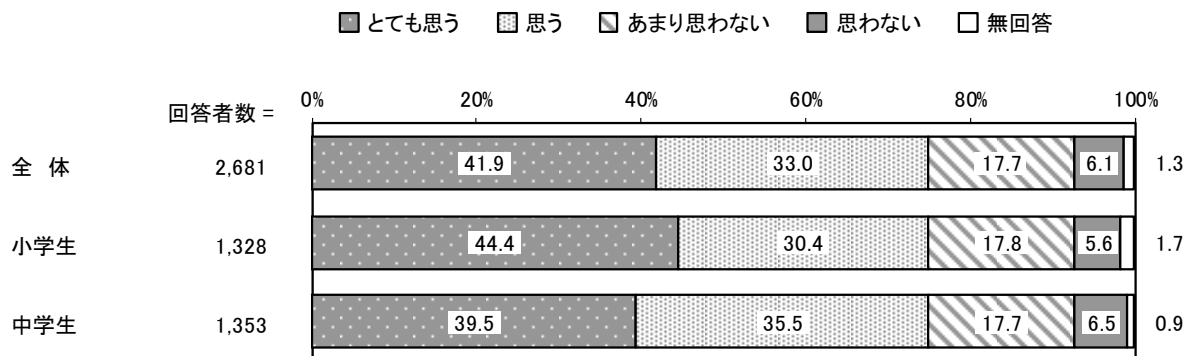


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。



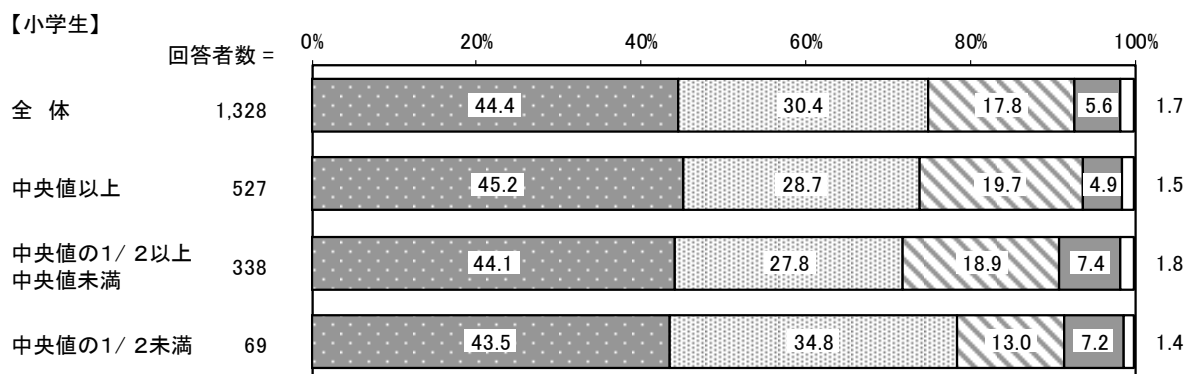
c) 積極的に色々な人と話したい

全体では、“思う”の割合が74.9%、“思わない”の割合が23.8%となっています。
 小学生では、“思う”の割合が74.8%、“思わない”の割合が23.4%となっています。
 中学生では、“思う”の割合が75.0%、“思わない”の割合が24.2%となっています。

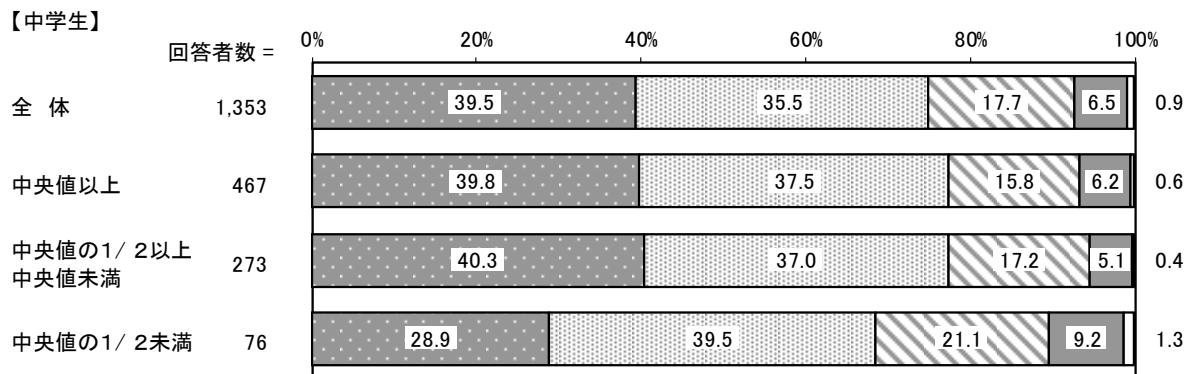


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

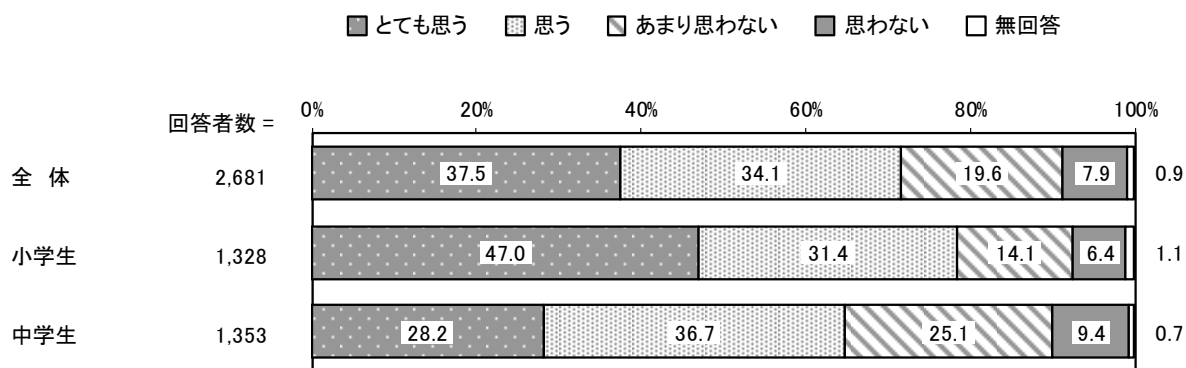


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。



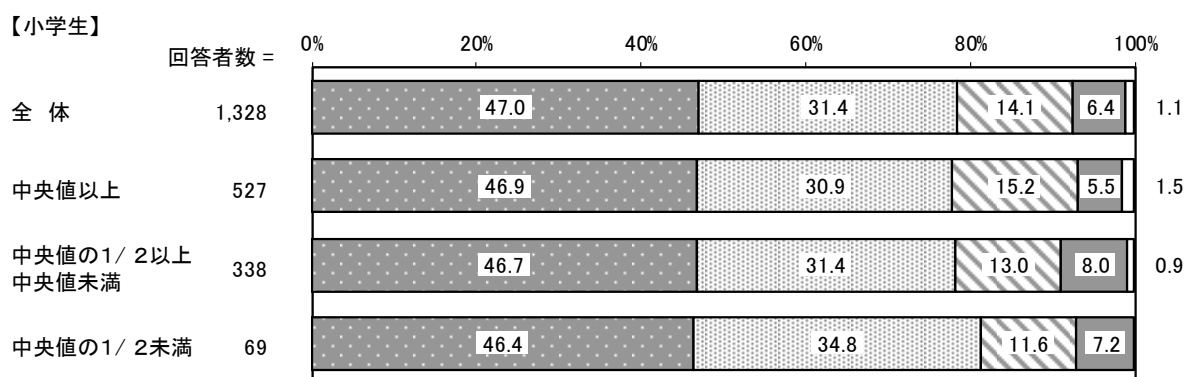
d) 自分の将来が楽しみだ

全体では、“思う”の割合が71.6%、“思わない”の割合が27.5%となっています。
 小学生では、“思う”の割合が78.4%、“思わない”の割合が20.5%となっています。
 中学生では、“思う”の割合が64.9%、“思わない”の割合が34.5%となっています。

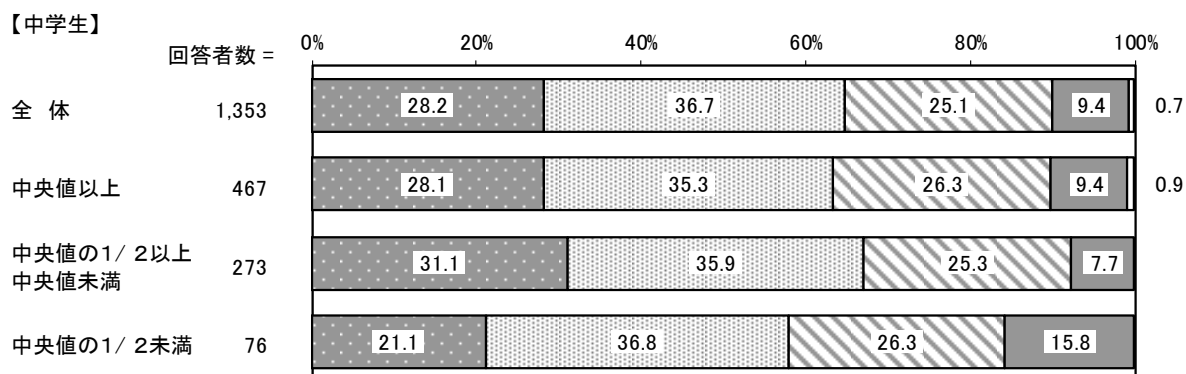


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“思う”の割合が低くなる傾向がみられます。

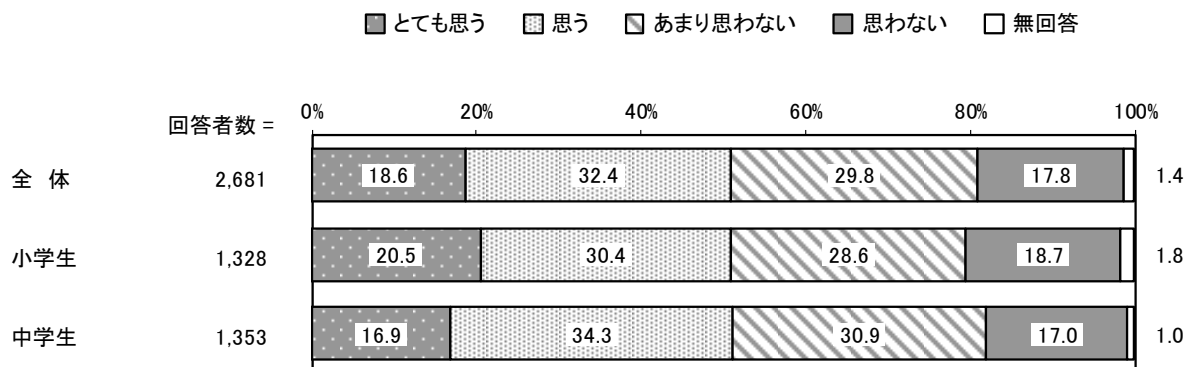


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。



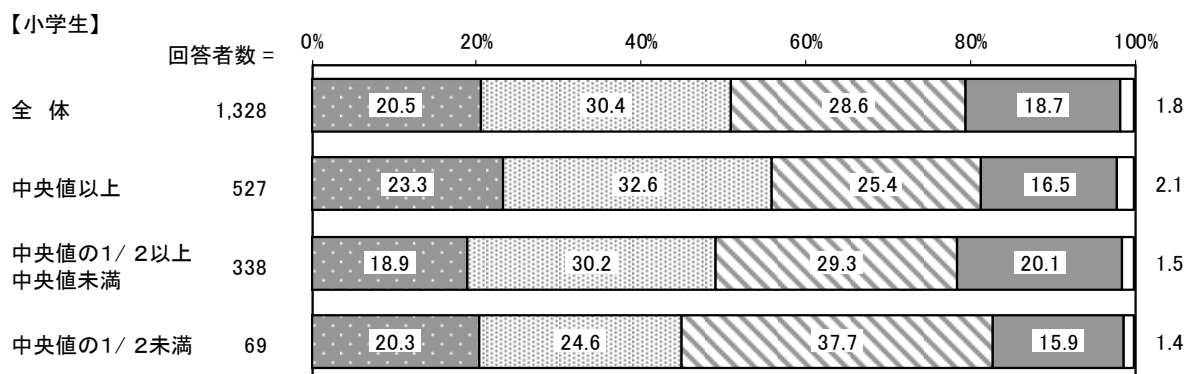
e) 自分のことが好きだ

全体では、“思う”の割合が51.0%、“思わない”の割合が47.6%となっています。
 小学生では、“思う”の割合が50.9%、“思わない”の割合が47.3%となっています。
 中学生では、“思う”の割合が51.2%、“思わない”の割合が47.9%となっています。

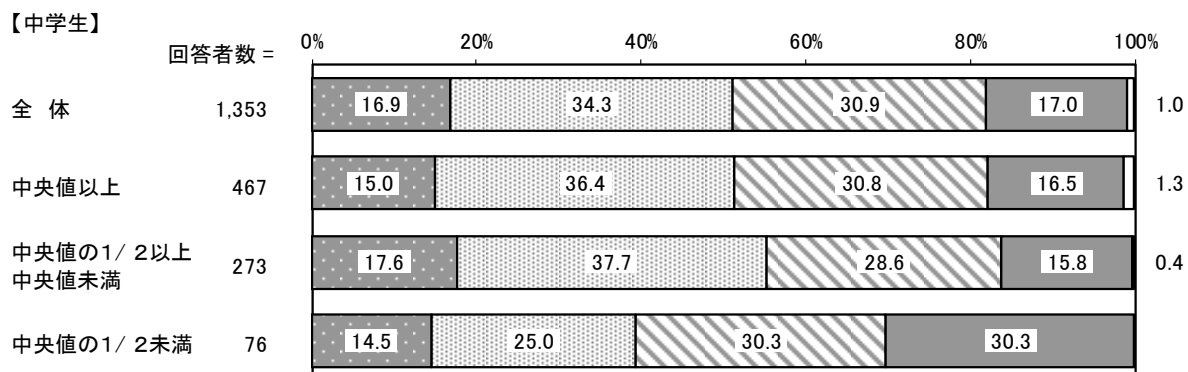


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“思う”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“思わない”の割合が高くなっています。



問 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、できるだけ全部の質問に答えてください。
あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。
(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

[小学生：問 18、中学生：問 20]

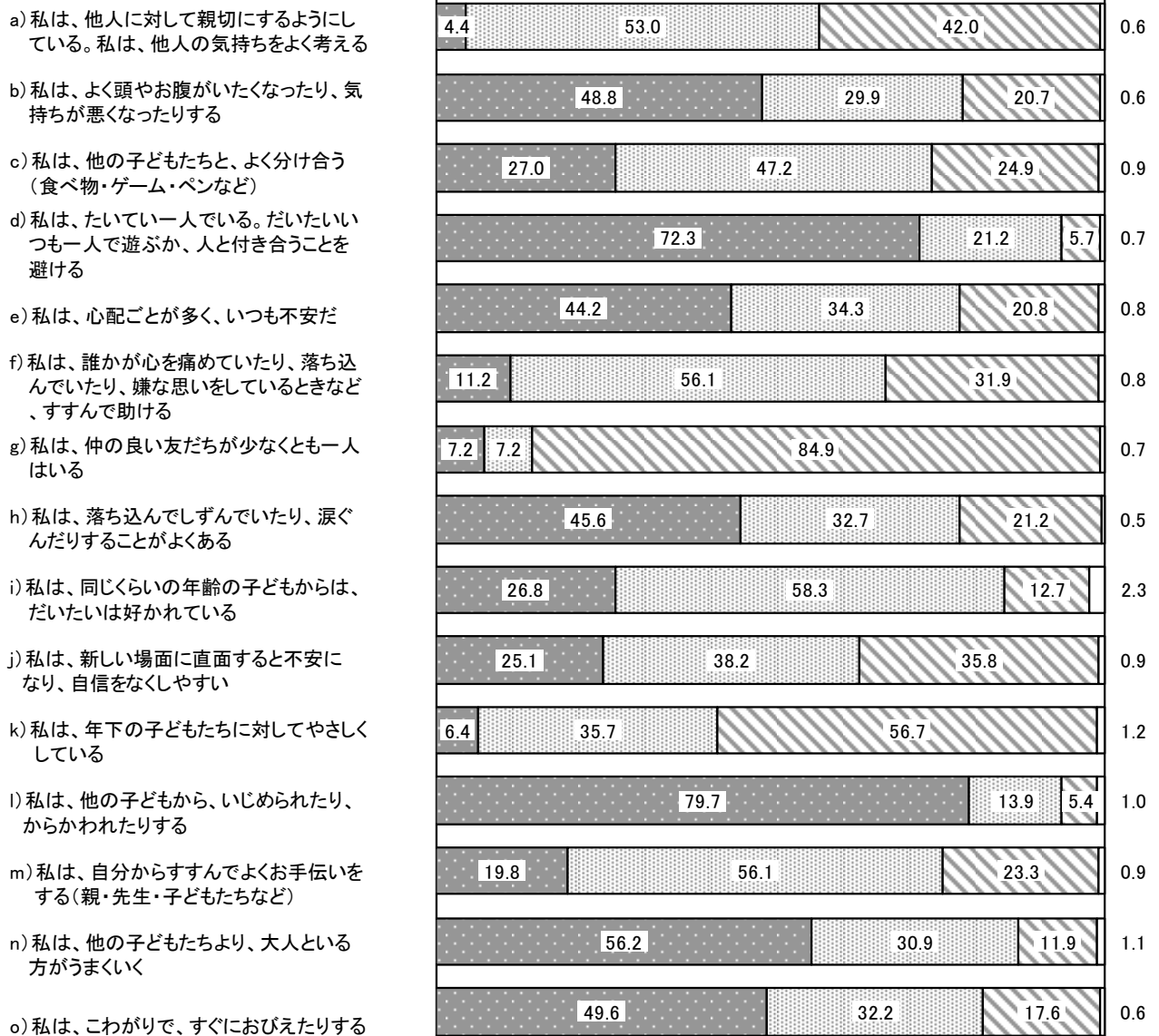
全体、中学生ともに、『a)私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える』『g)私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる』『k)私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている』で「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合が高くなっています。

小学生では、『a)私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える』『k)私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている』で“あてはまる”の割合が高くなっています。

■ あてはまらない ■ まああてはまる ■ あてはまる □ 無回答

【全体】

回答者数 = 2,681

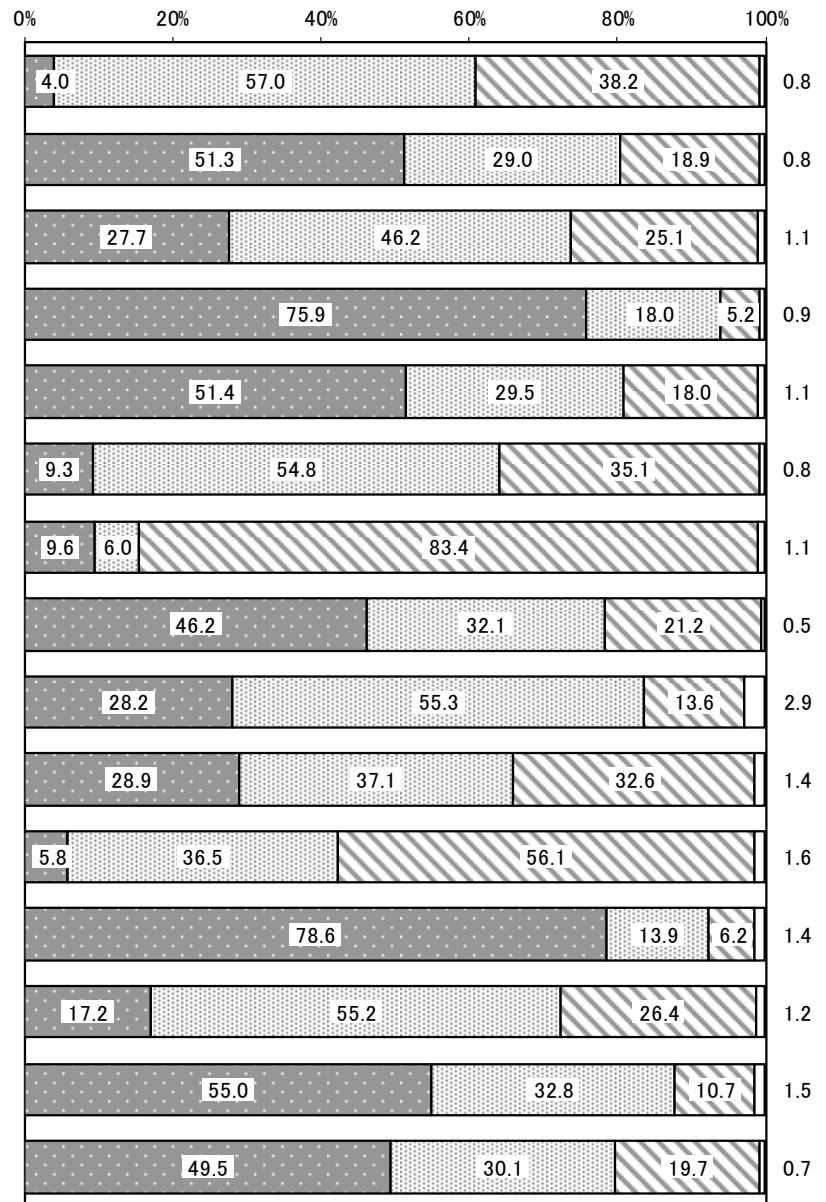


【小学生】

回答者数 = 1,328

- a) 私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える
- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする
- c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）
- d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける
- g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある
- i) 私は、同じくらい年齢の子どもからは、だいたい好かれている
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい
- k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている
- l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）
- n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする

■ あてはまらない ■ まああてはまる ■ あてはまる □ 無回答

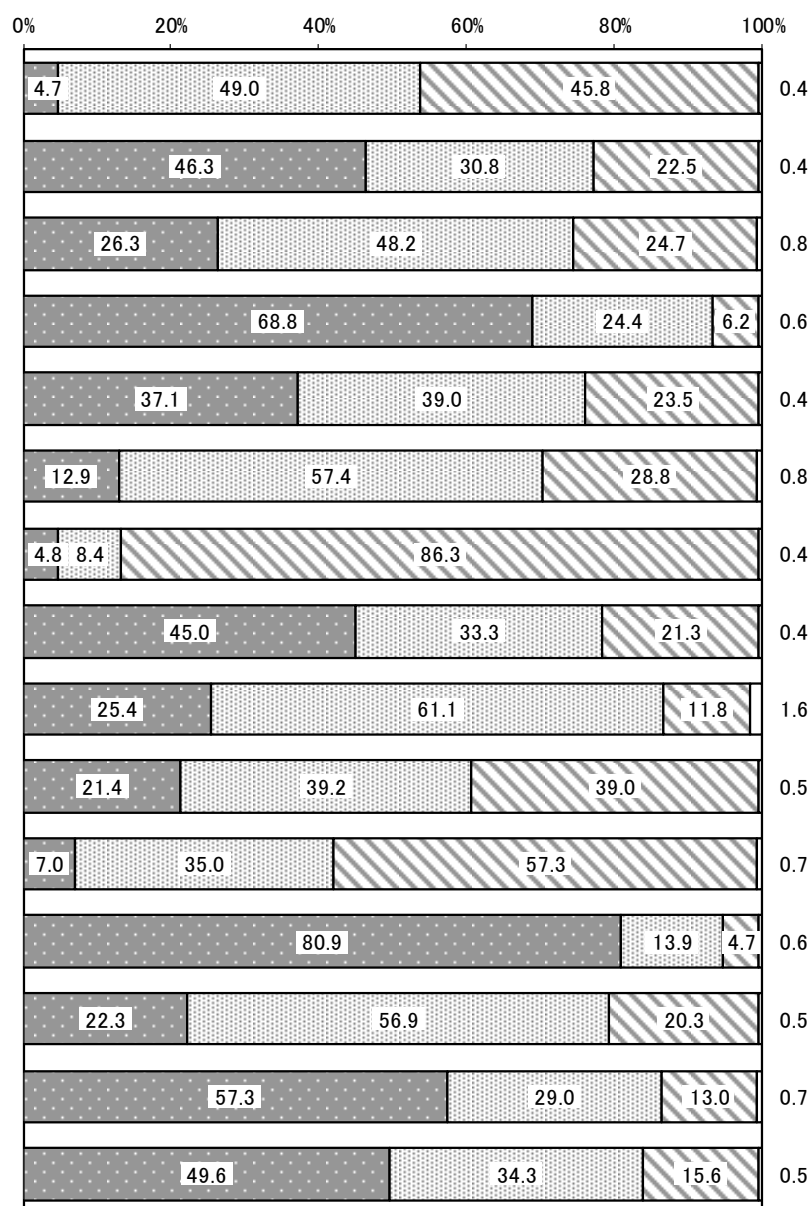


【中学生】

回答者数 = 1,353

- a) 私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える
- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする
- c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）
- d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶが、人と付き合うことを避ける
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける
- g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある
- i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい
- k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている
- l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）
- n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする

■ あてはまらない ■ まああてはまる ■ あてはまる □ 無回答

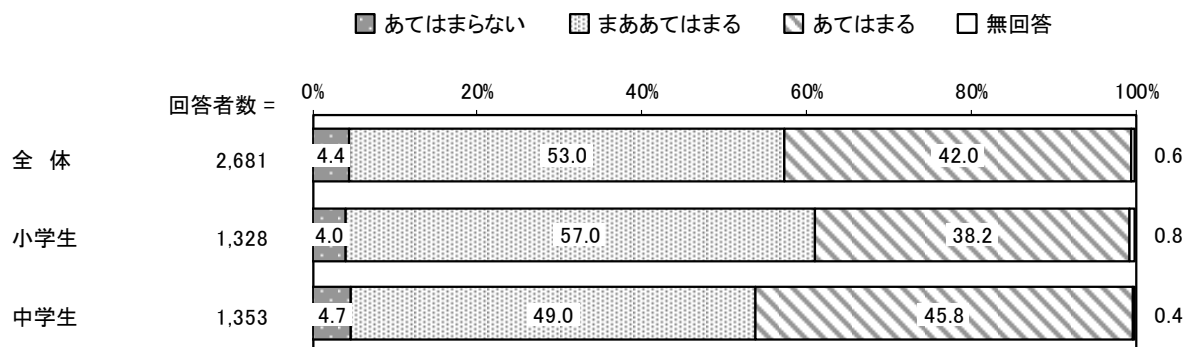


a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える

全体では、「あてはまらない」の割合が 4.4%、「あてはまる」の割合が 95.0%となっています。

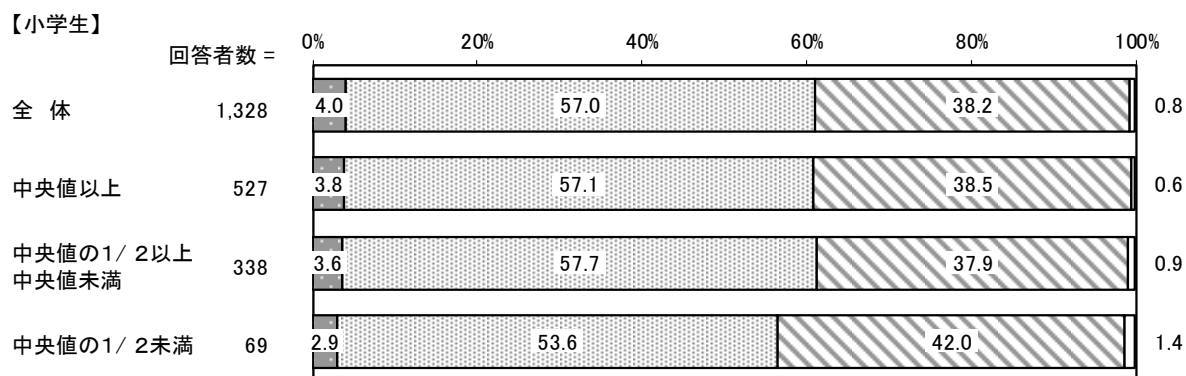
小学生では、「あてはまらない」の割合が 4.0%、「あてはまる」の割合が 95.2%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 4.7%、「あてはまる」の割合が 94.8%となっています。

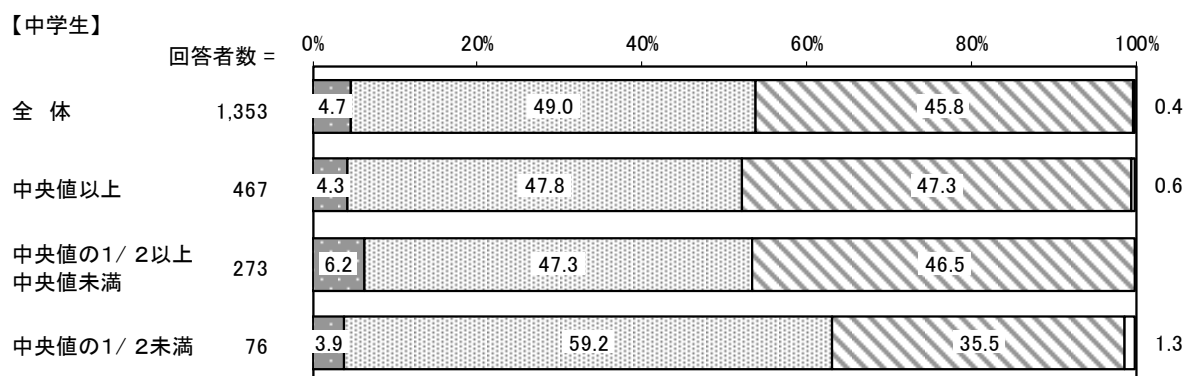


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

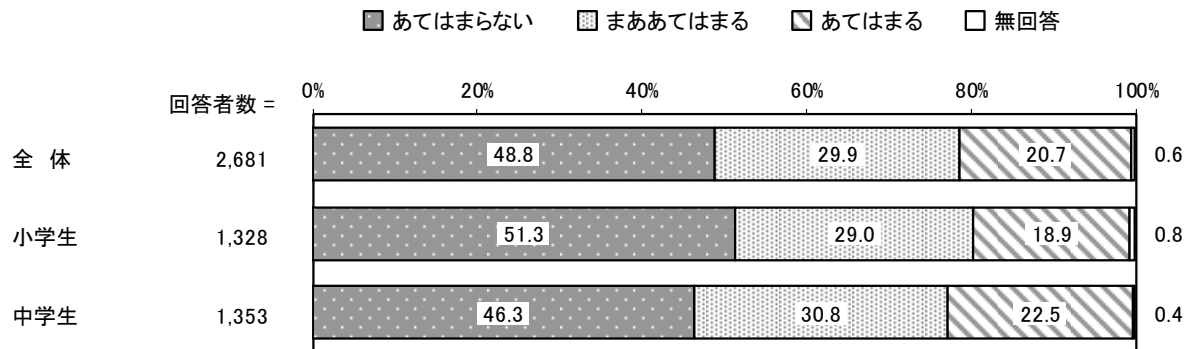


b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする

全体では、「あてはまらない」の割合が 48.8%、「あてはまる」の割合が 50.6%となっています。

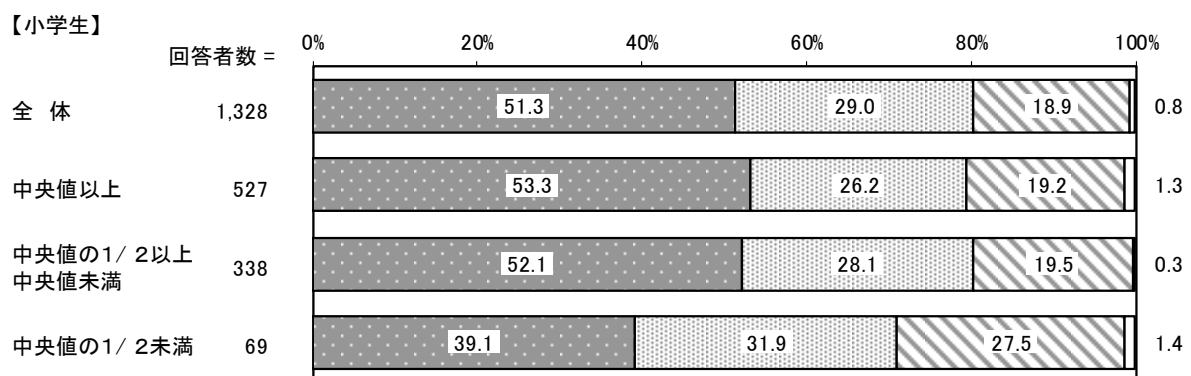
小学生では、「あてはまらない」の割合が 51.3%、「あてはまる」の割合が 47.9%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 46.3%、「あてはまる」の割合が 53.3%となっています。

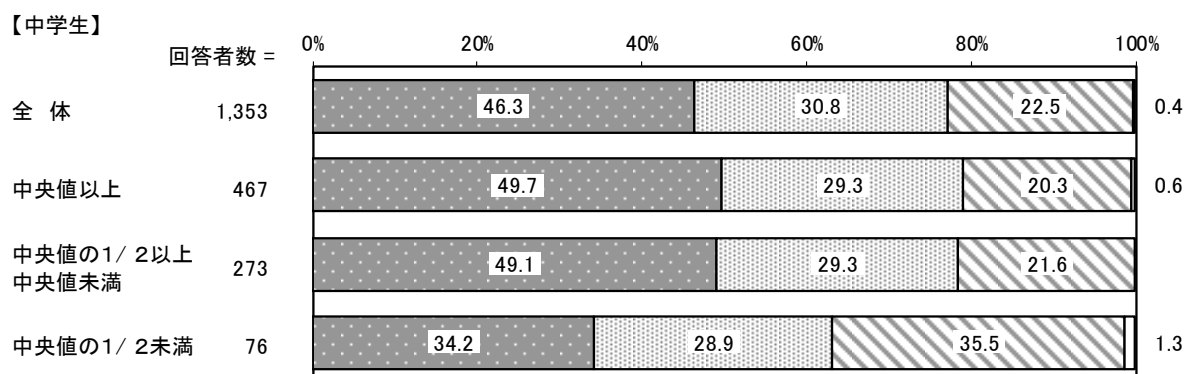


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。

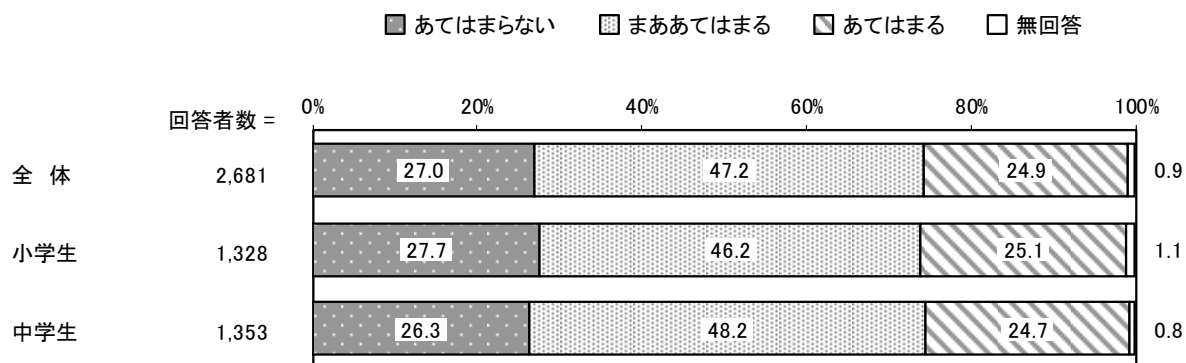


c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）

全体では、「あてはまらない」の割合が 27.0%、「あてはまる」の割合が 72.1%となっています。

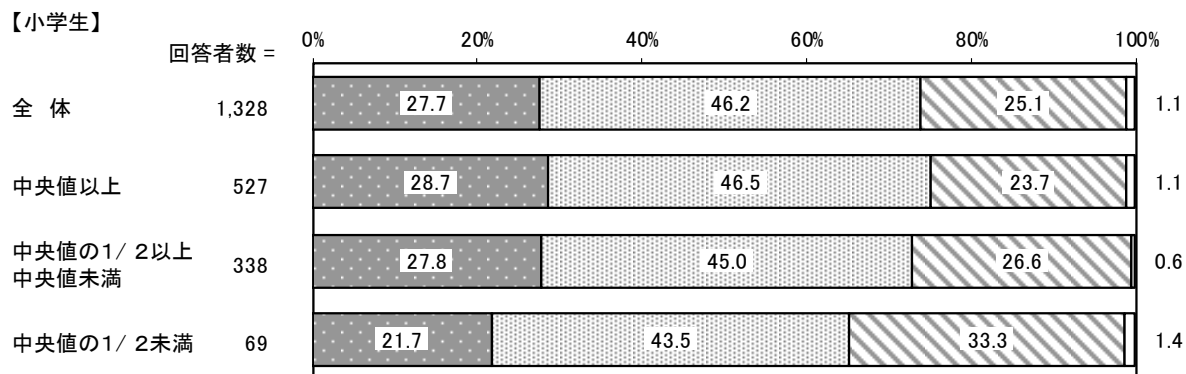
小学生では、「あてはまらない」の割合が 27.7%、「あてはまる」の割合が 71.3%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 26.3%、「あてはまる」の割合が 72.9%となっています。

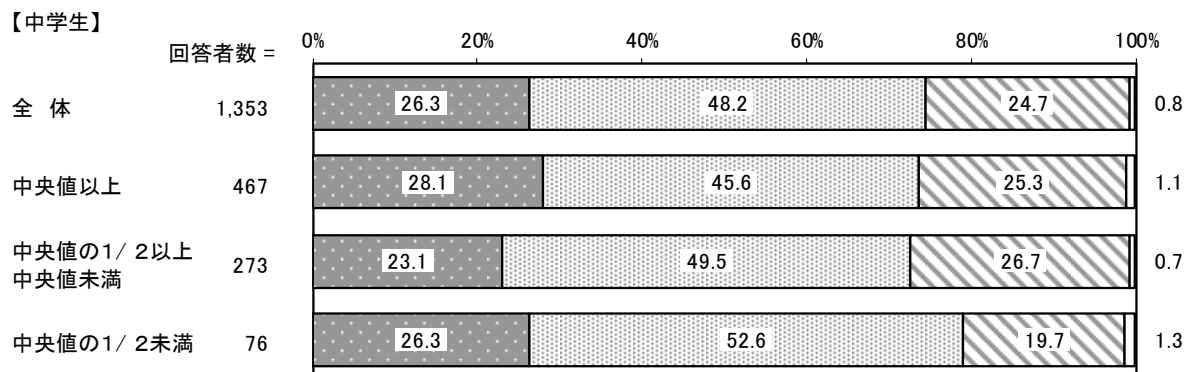


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

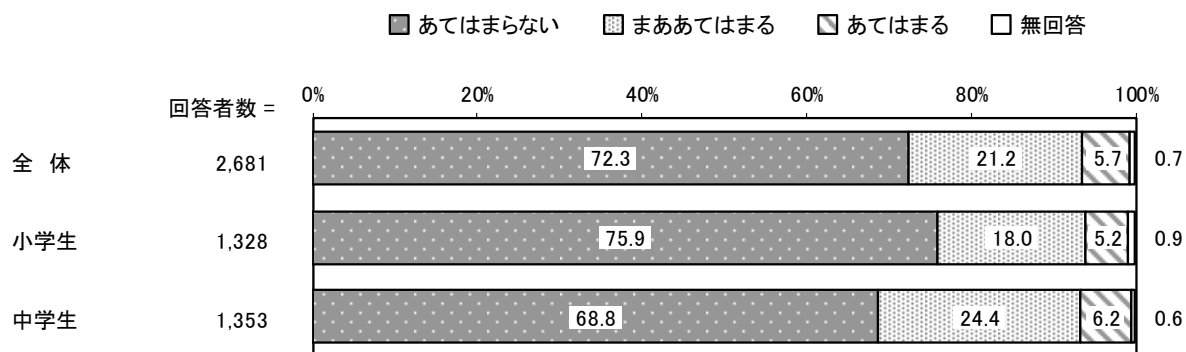


d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける

全体では、「あてはまらない」の割合が 72.3%、「あてはまる」の割合が 26.9%となっています。

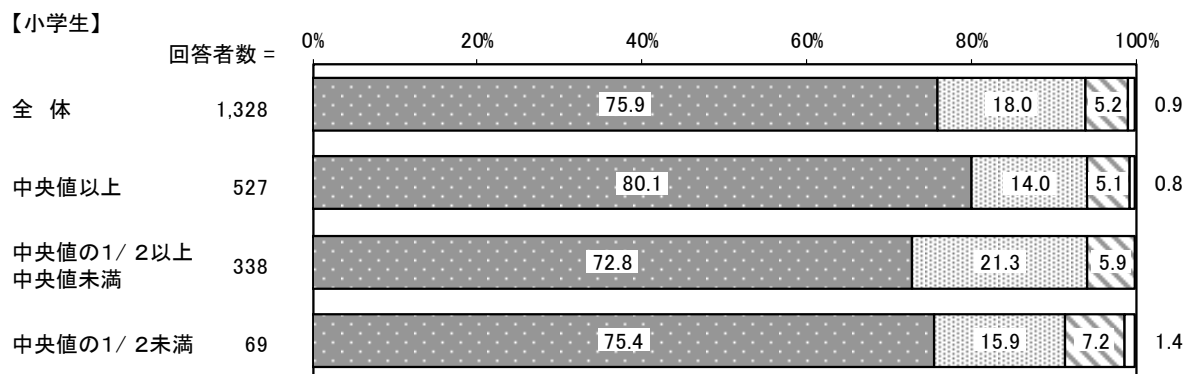
小学生では、「あてはまらない」の割合が 75.9%、「あてはまる」の割合が 23.2%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 68.8%、「あてはまる」の割合が 30.6%となっています。

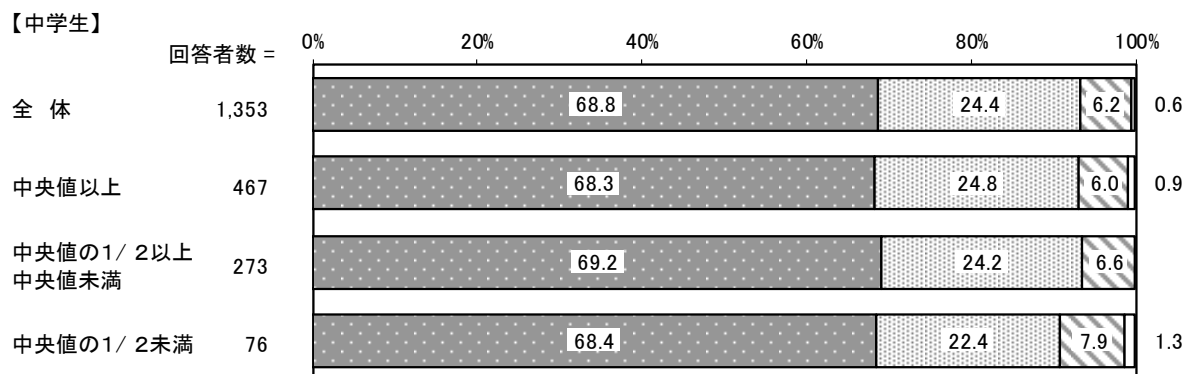


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

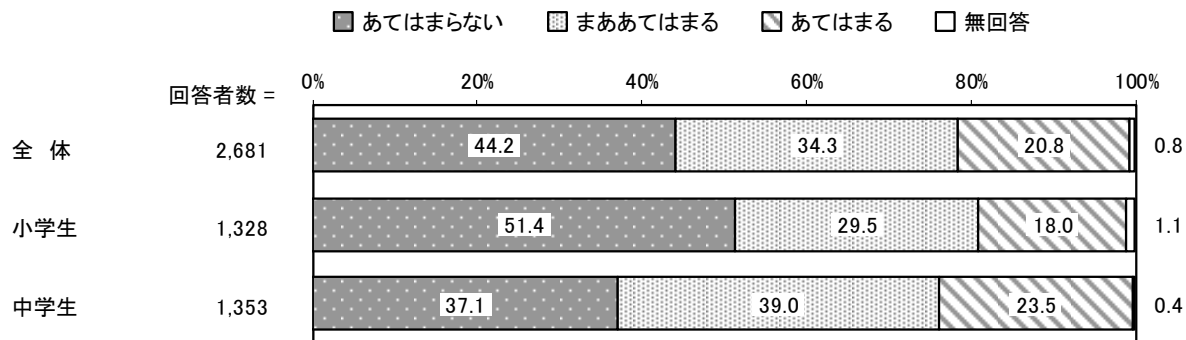


e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ

全体では、「あてはまらない」の割合が 44.2%、「あてはまる」の割合が 55.1%となっています。

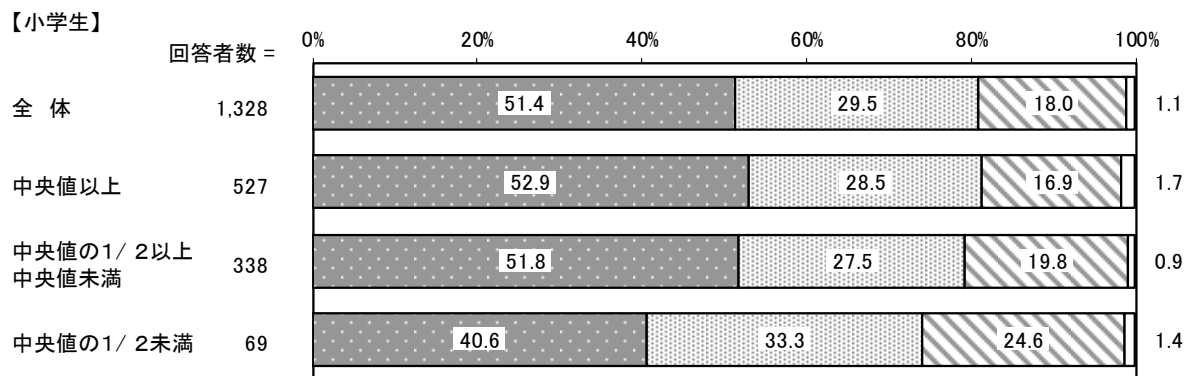
小学生では、「あてはまらない」の割合が 51.4%、「あてはまる」の割合が 47.5%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 37.1%、「あてはまる」の割合が 62.5%となっています。

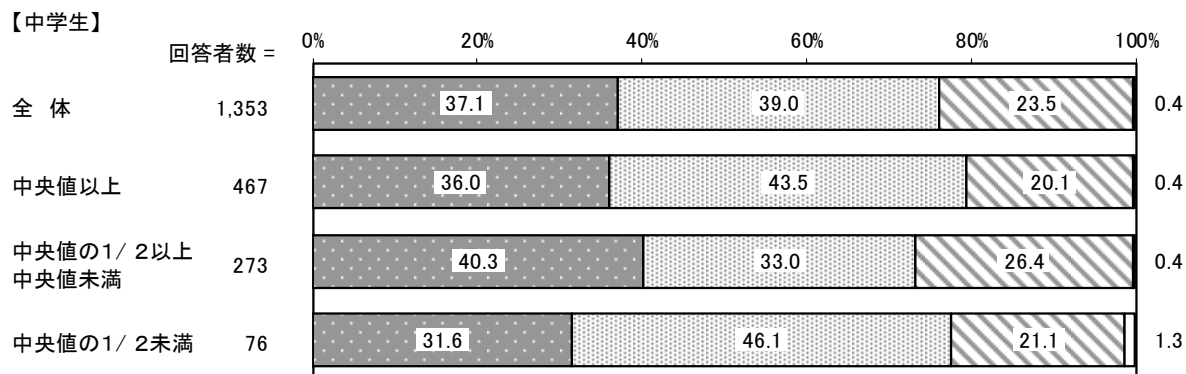


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

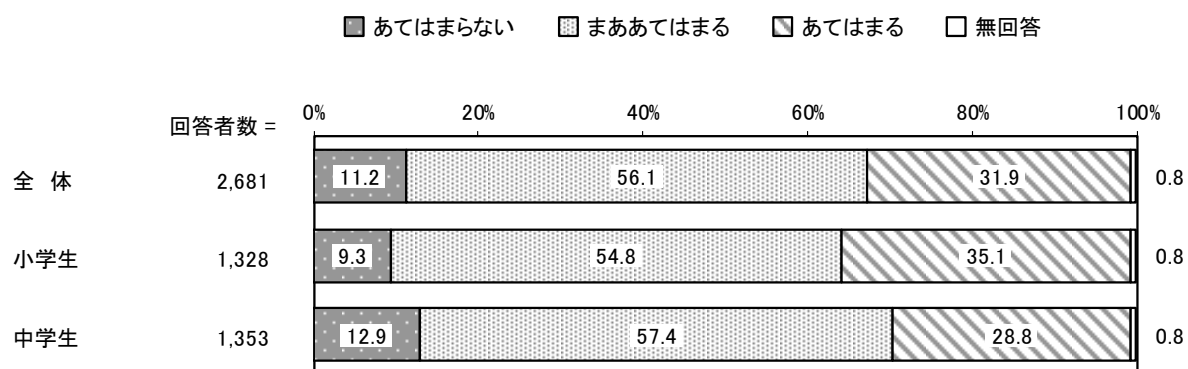


f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける

全体では、「あてはまらない」の割合が 11.2%、「あてはまる」の割合が 88.0%となっています。

小学生では、「あてはまらない」の割合が 9.3%、「あてはまる」の割合が 89.9%となっています。

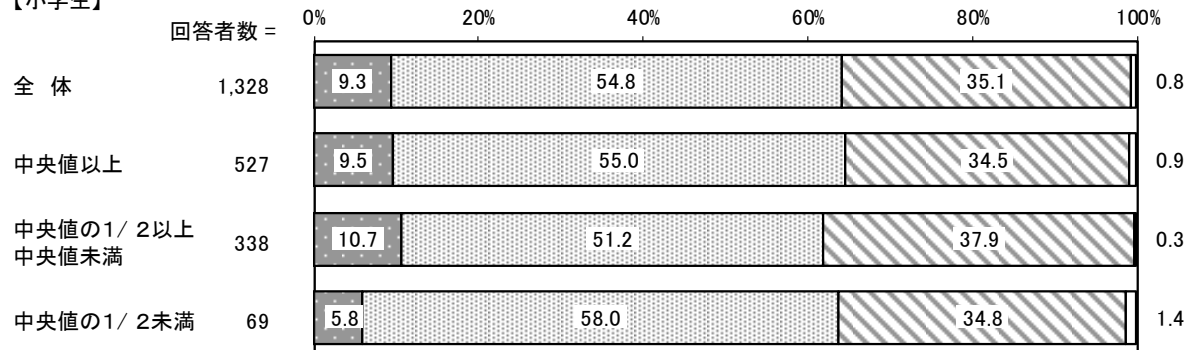
中学生では、「あてはまらない」の割合が 12.9%、「あてはまる」の割合が 86.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

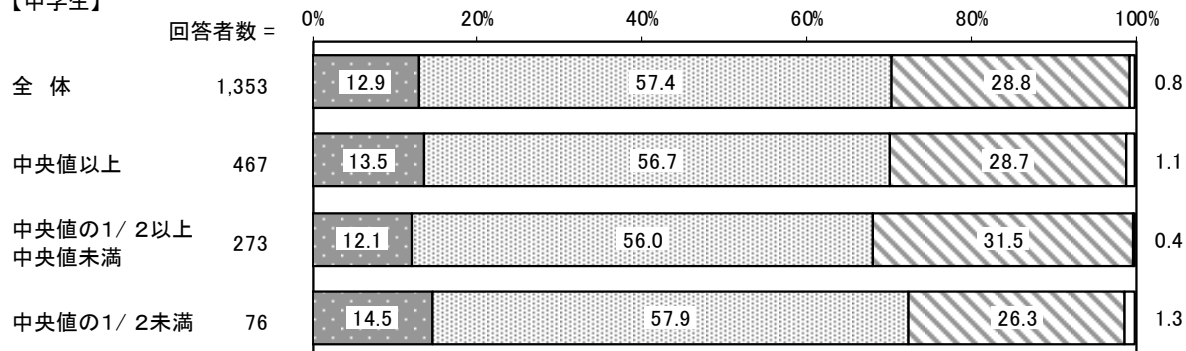
等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【小学生】



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【中学生】

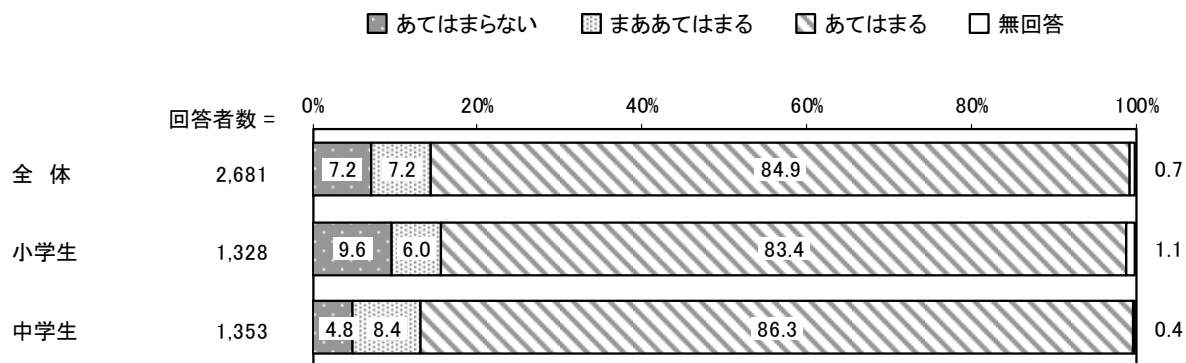


g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる

全体では、「あてはまらない」の割合が 7.2%、「あてはまる」の割合が 92.1%となっています。

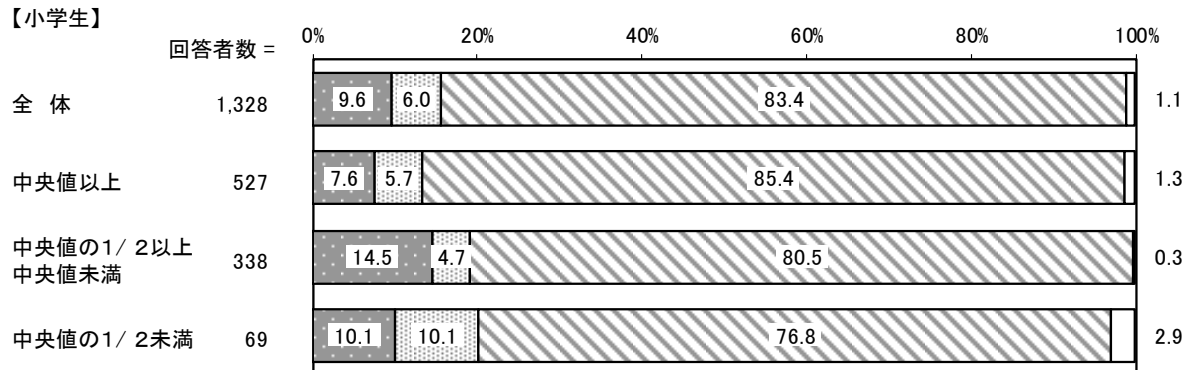
小学生では、「あてはまらない」の割合が 9.6%、「あてはまる」の割合が 89.4%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 4.8%、「あてはまる」の割合が 94.7%となっています。

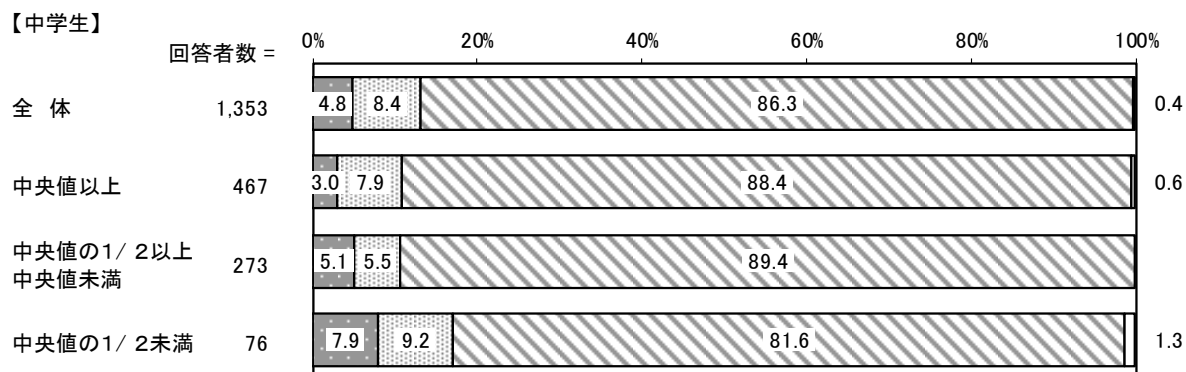


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「あてはまらない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「あてはまる」の割合が高くなる傾向がみられます。

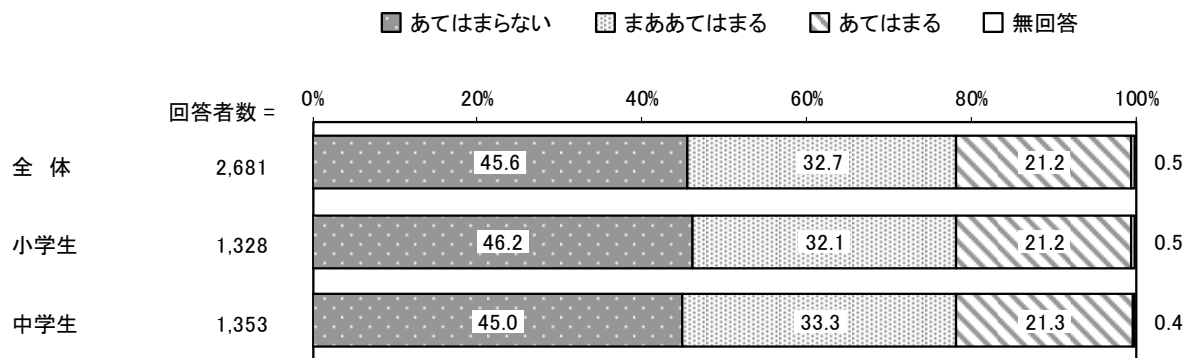


h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある

全体では、「あてはまらない」の割合が 45.6%、「あてはまる」の割合が 53.9%となっています。

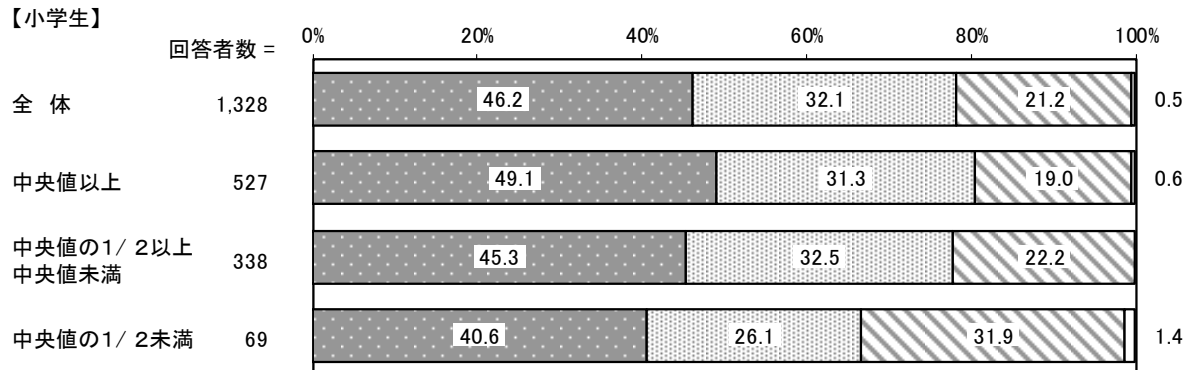
小学生では、「あてはまらない」の割合が 46.2%、「あてはまる」の割合が 53.3%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 45.0%、「あてはまる」の割合が 54.6%となっています。



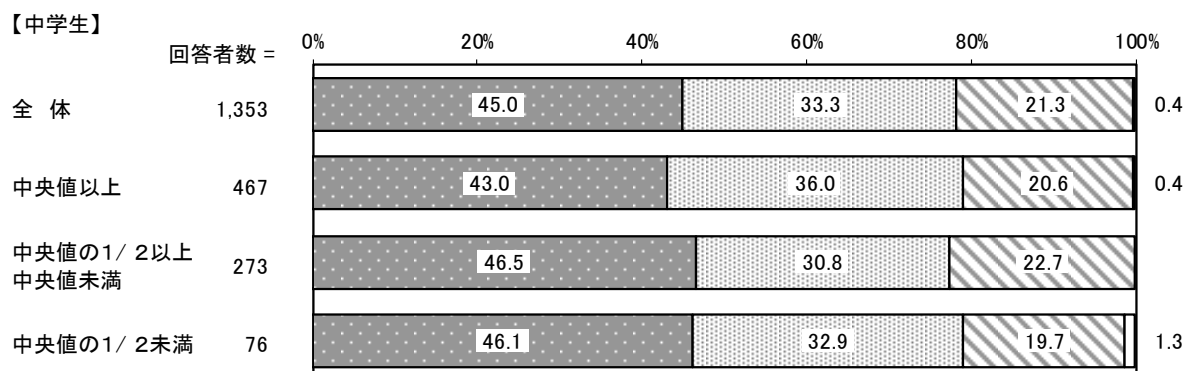
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が低くなる傾向がみられます。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が高くなる傾向がみられます。

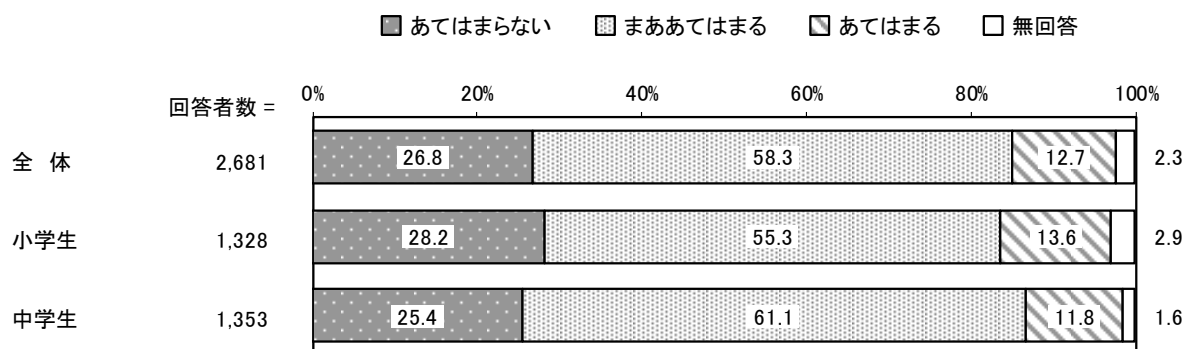


i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている

全体では、「あてはまらない」の割合が 26.8%、「あてはまる」の割合が 71.0%となっています。

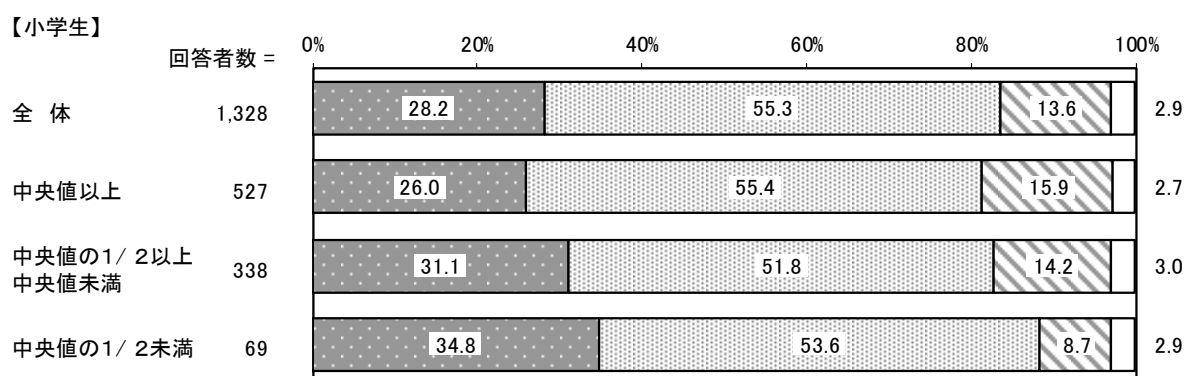
小学生では、「あてはまらない」の割合が 28.2%、「あてはまる」の割合が 68.9%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 25.4%、「あてはまる」の割合が 72.9%となっています。

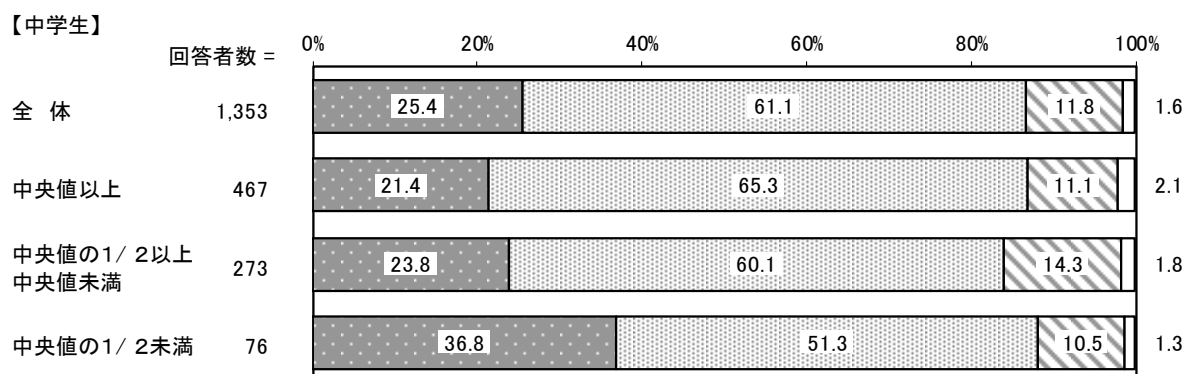


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が高くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が高くなる傾向がみられます。

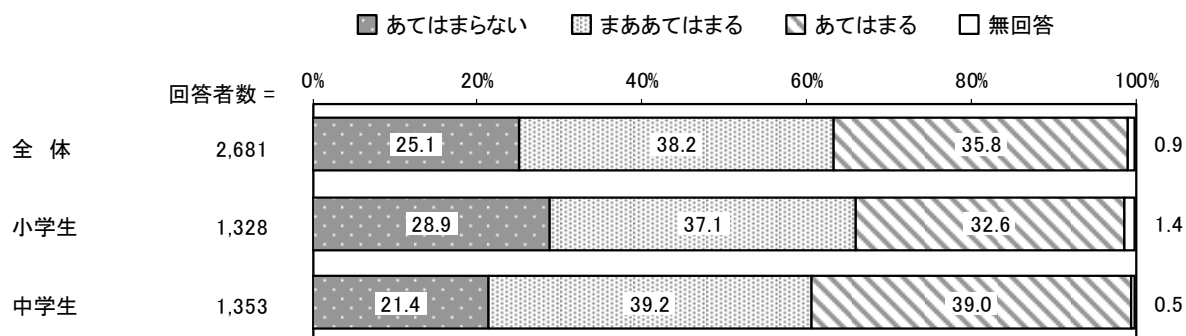


j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい

全体では、「あてはまらない」の割合が 25.1%、「あてはまる」の割合が 74.0%となっています。

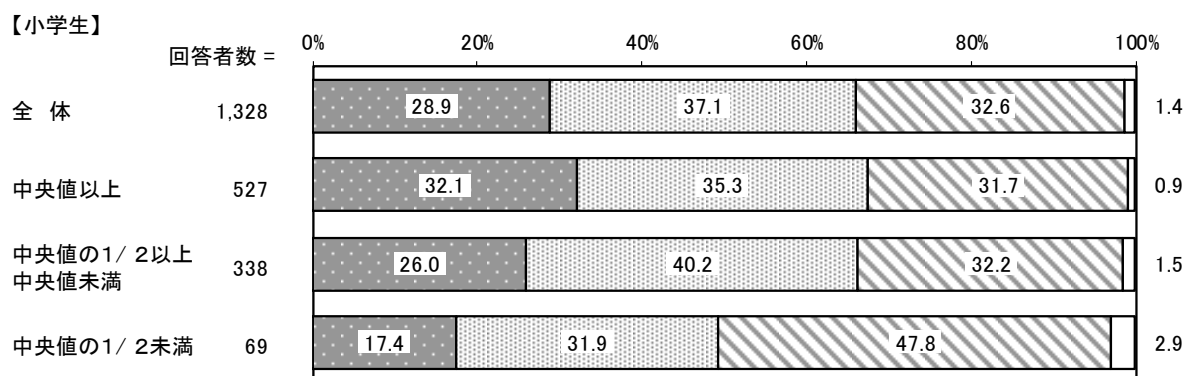
小学生では、「あてはまらない」の割合が 28.9%、「あてはまる」の割合が 69.7%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 21.4%、「あてはまる」の割合が 78.2%となっています。

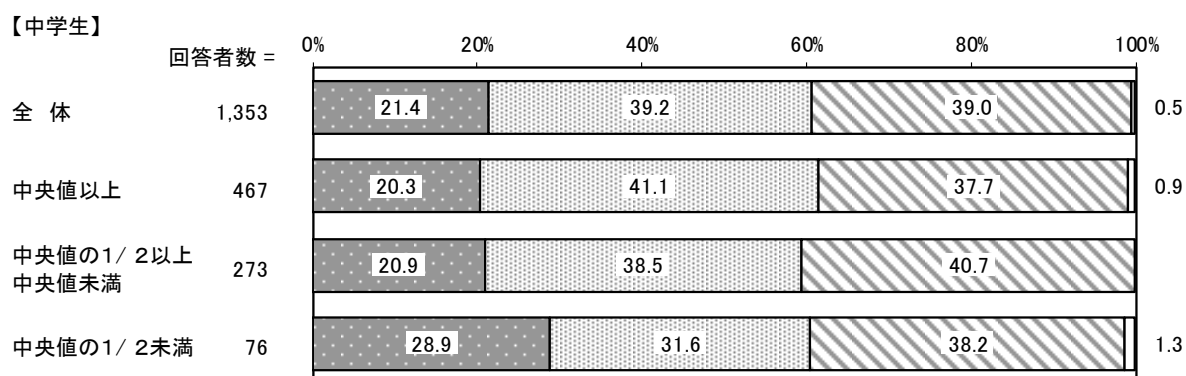


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が高くなる傾向がみられます。

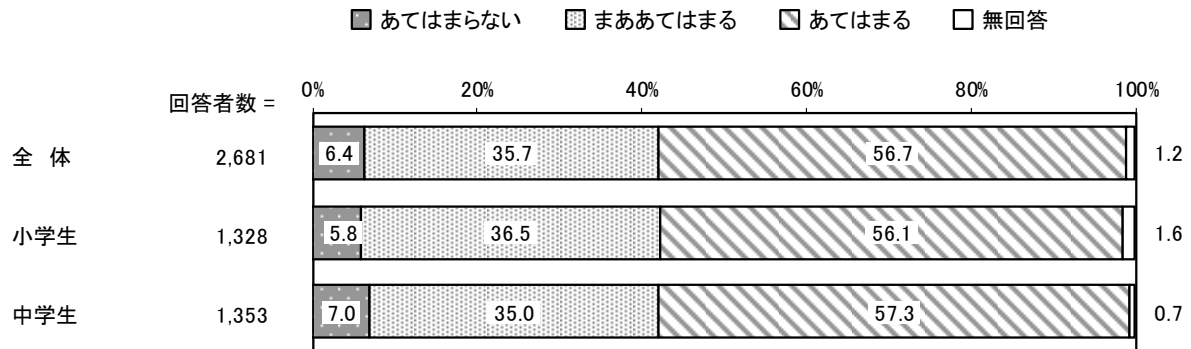


k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている

全体では、「あてはまらない」の割合が 6.4%、「あてはまる」の割合が 92.4%となっています。

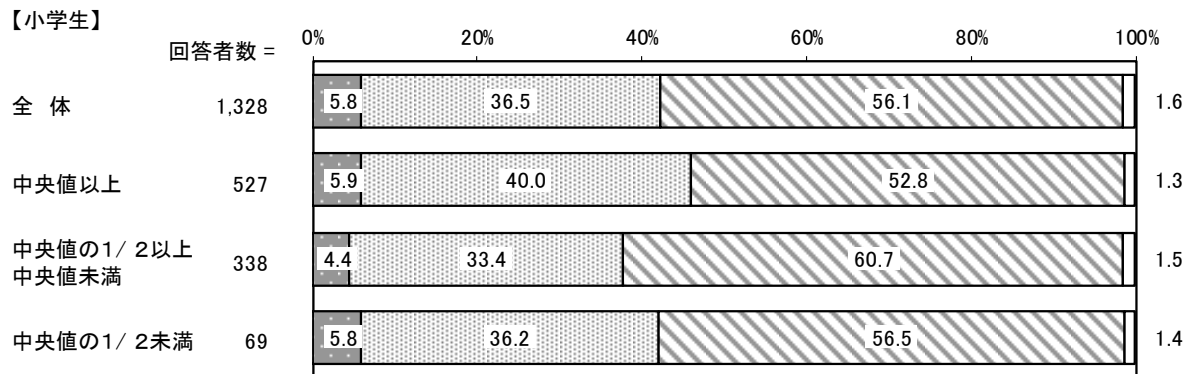
小学生では、「あてはまらない」の割合が 5.8%、「あてはまる」の割合が 92.6%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 7.0%、「あてはまる」の割合が 92.3%となっています。

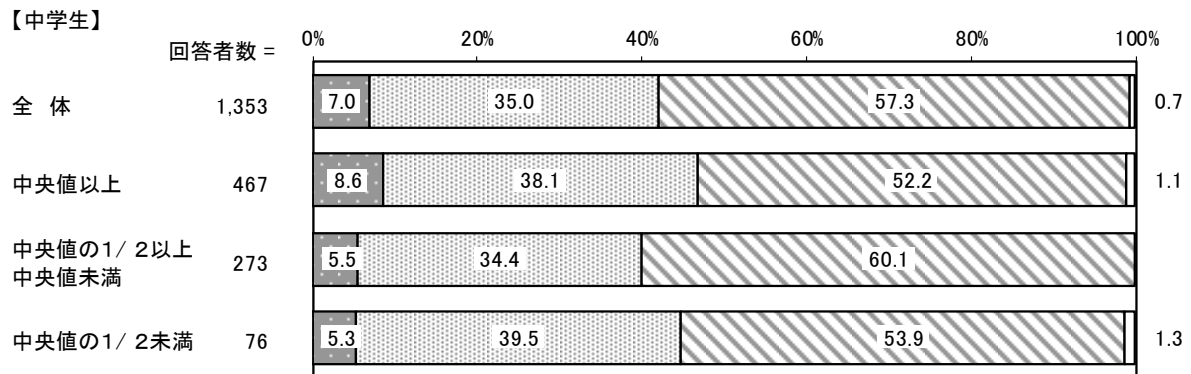


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

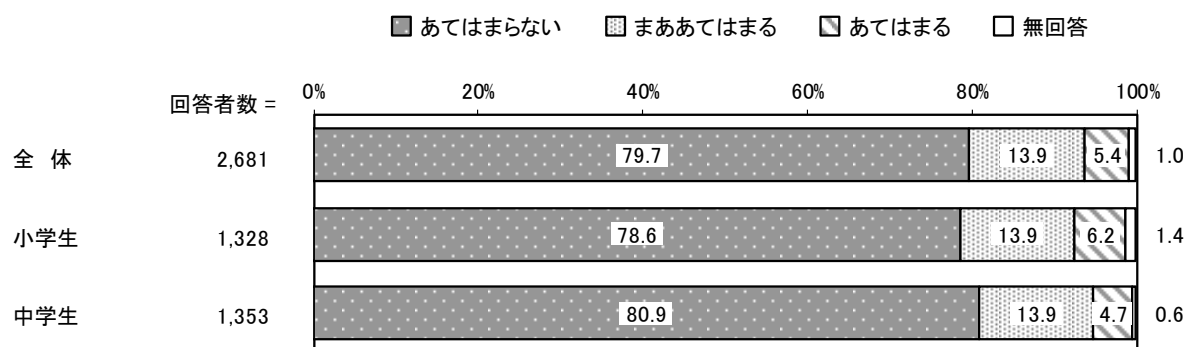


1)私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする

全体では、「あてはまらない」の割合が 79.7%、「あてはまる」の割合が 19.3%となっています。

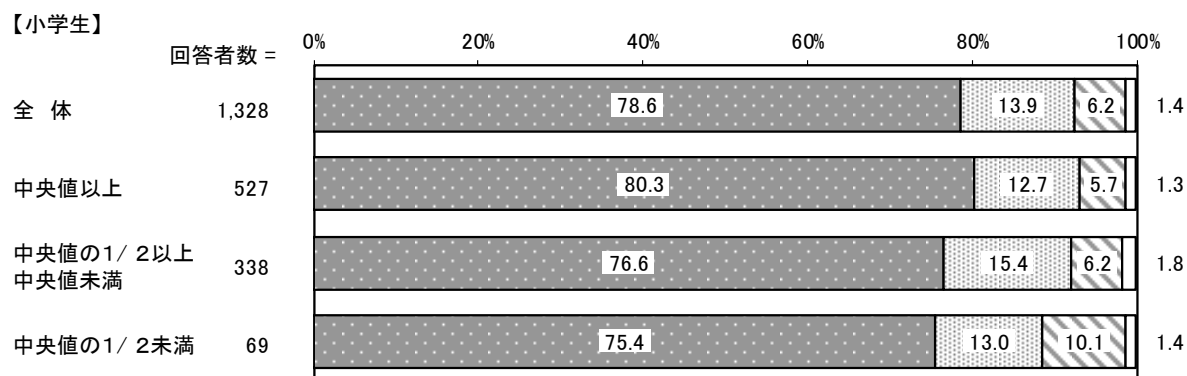
小学生では、「あてはまらない」の割合が 78.6%、「あてはまる」の割合が 20.1%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 80.9%、「あてはまる」の割合が 18.6%となっています。

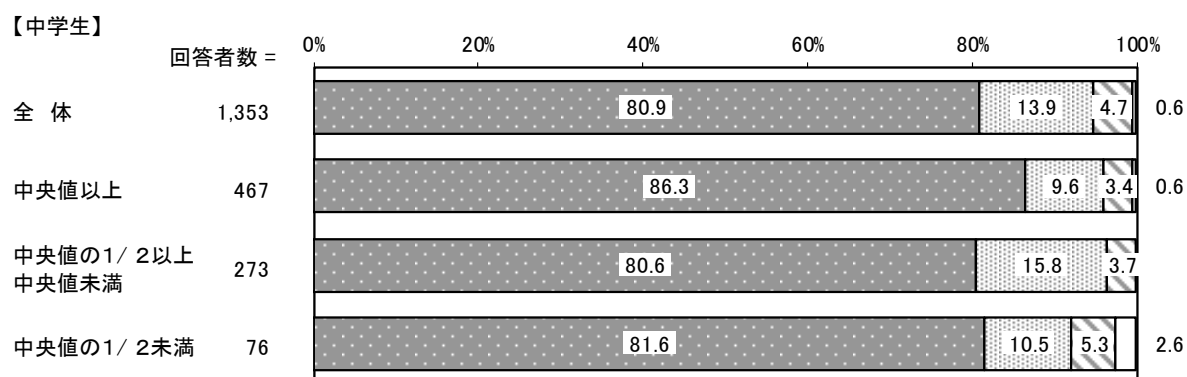


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が低くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると大きな差異はみられません。

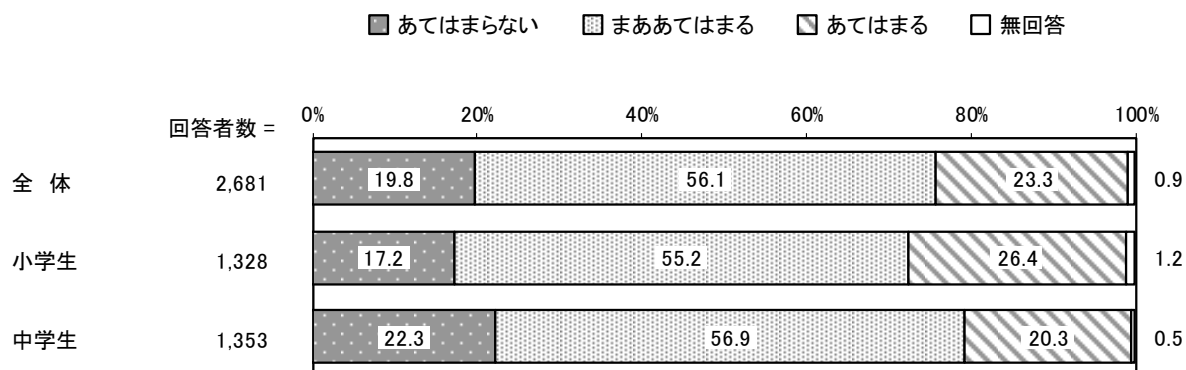


m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）

全体では、「あてはまらない」の割合が 19.8%、「あてはまる」の割合が 79.4%となっています。

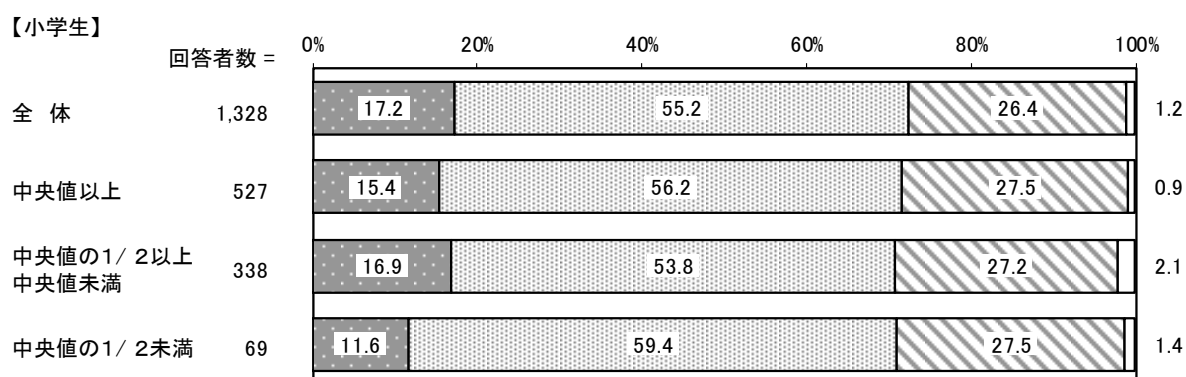
小学生では、「あてはまらない」の割合が 17.2%、「あてはまる」の割合が 81.6%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 22.3%、「あてはまる」の割合が 77.2%となっています。

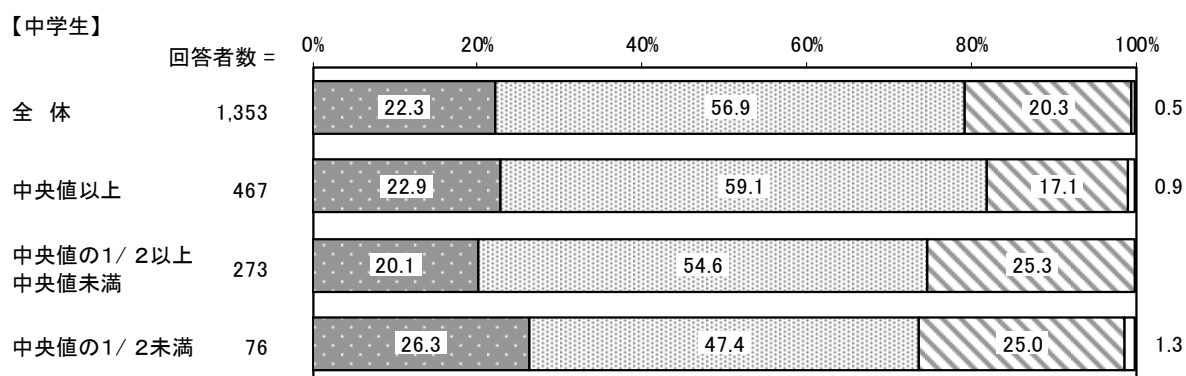


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられませんが、中央値の1/2未満で、小学生に比べ、中学生で「あてはまらない」の割合が高くなっています。

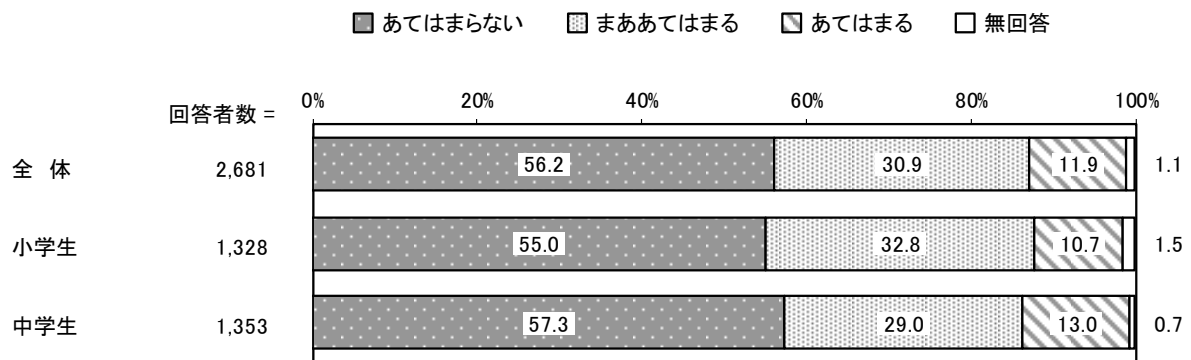


n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく

全体では、「あてはまらない」の割合が 56.2%、「あてはまる」の割合が 42.8%となっています。

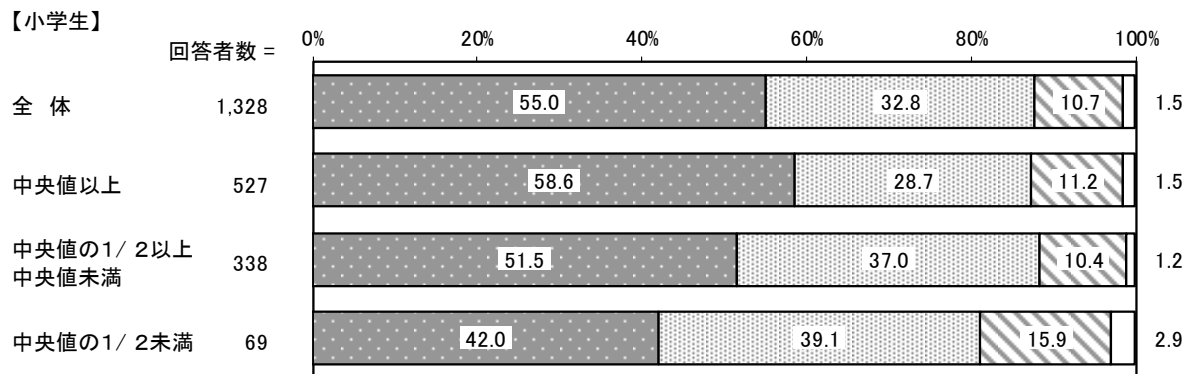
小学生では、「あてはまらない」の割合が 55.0%、「あてはまる」の割合が 43.5%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 57.3%、「あてはまる」の割合が 42.0%となっています。

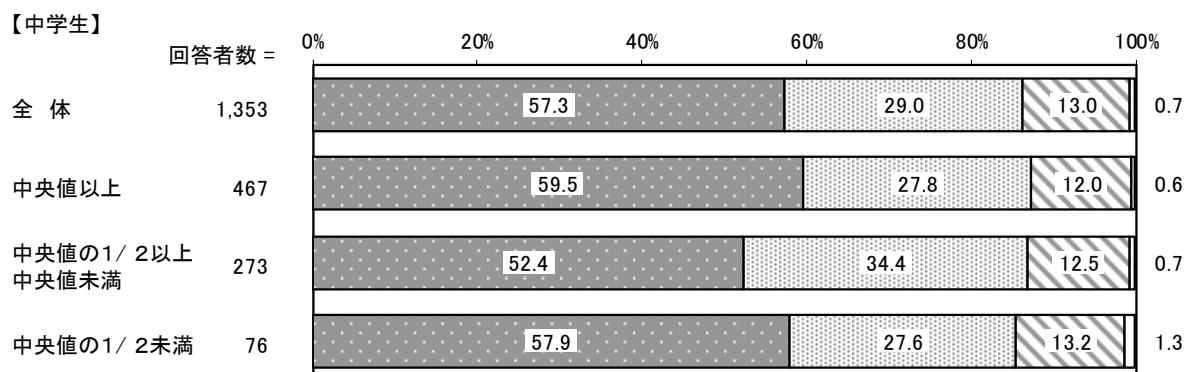


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。

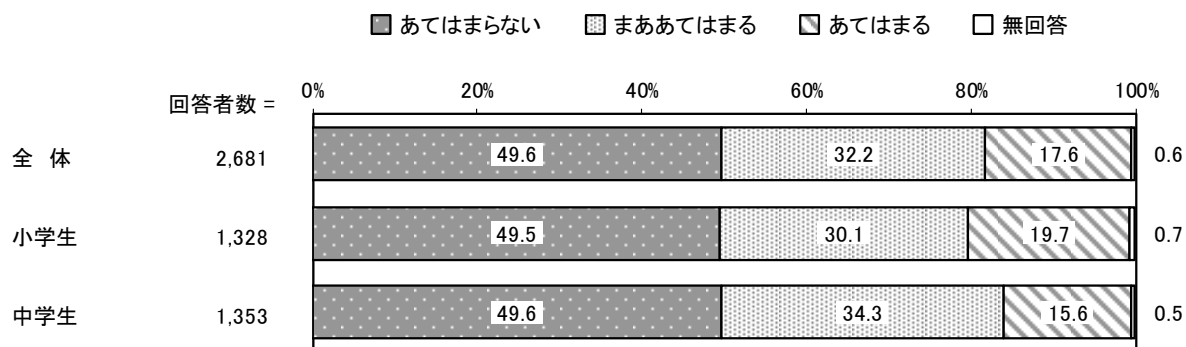


o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする

全体では、「あてはまらない」の割合が 49.6%、「あてはまる」の割合が 49.8%となっています。

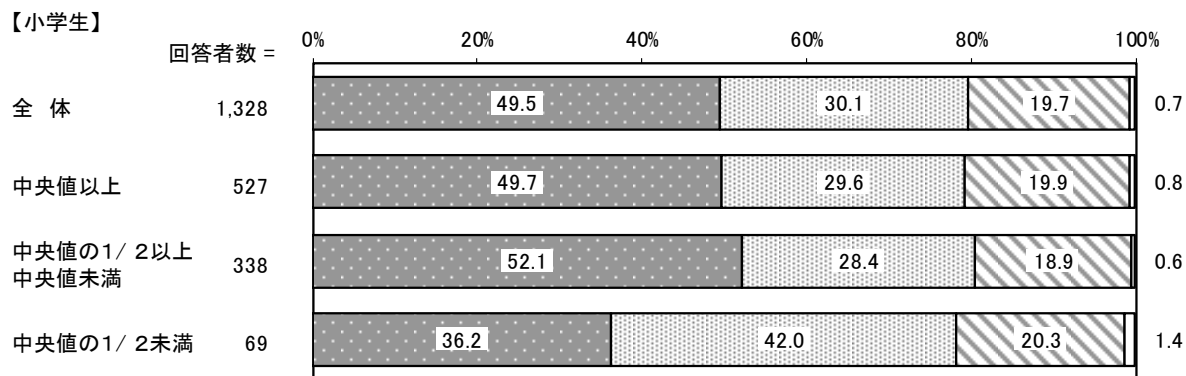
小学生では、「あてはまらない」の割合が 49.5%、「あてはまる」の割合が 49.8%となっています。

中学生では、「あてはまらない」の割合が 49.6%、「あてはまる」の割合が 49.9%となっています。

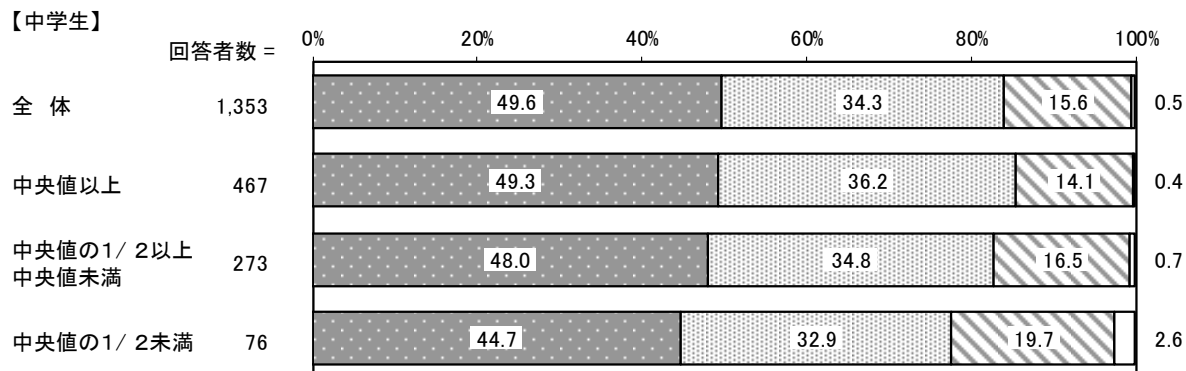


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまる”の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて“あてはまる”の割合が低くなる傾向がみられます。

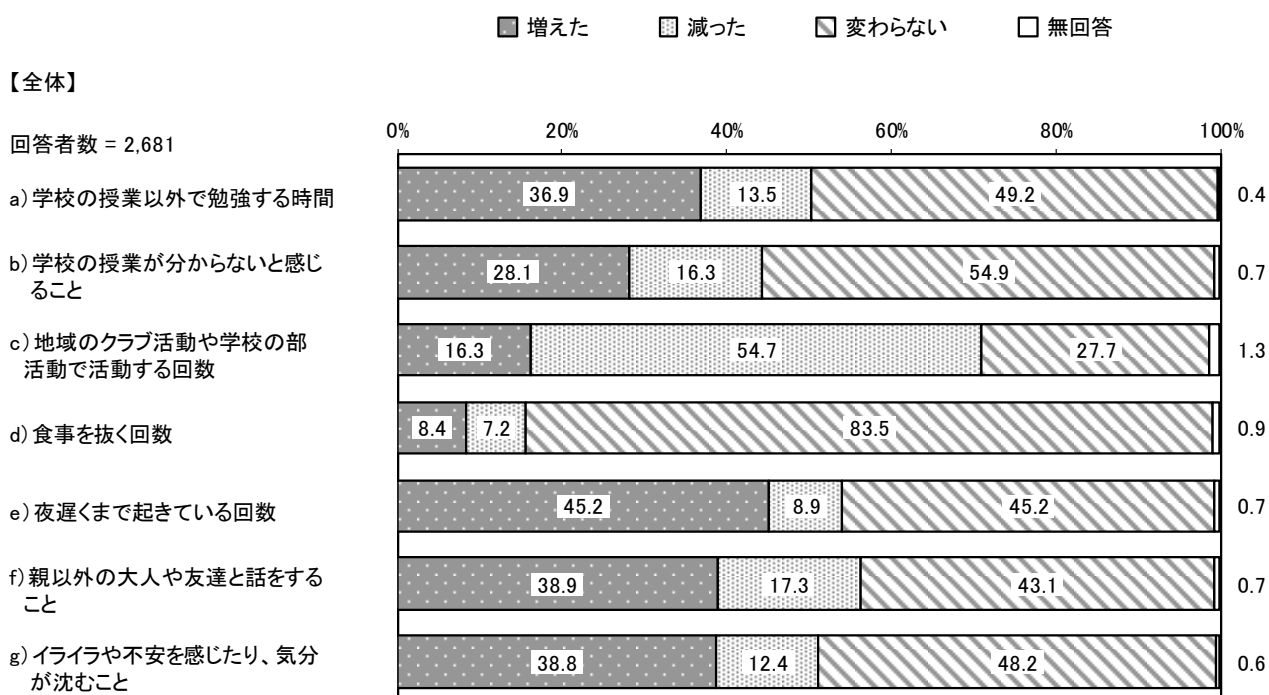


問 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どの様に変わったと思いますか。
（a～g それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

[小学生：問 19、中学生：問 21]

全体、中学生ともに、『e)夜遅くまで起きている回数』で「増えた」の割合が、『c)地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数』で「減った」の割合が高くなっています。また、『d)食事を抜く回数』で「変わらない」の割合が高くなっています。

小学生では、『c)地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数』で「減った」の割合が高くなっています。また、『d)食事を抜く回数』で「変わらない」の割合が高くなっています。



■ 増えた ▨ 減った ▩ 変わらない □ 無回答

【小学生】

回答者数 = 1,328

a) 学校の授業以外で勉強する時間

b) 学校の授業が分からないと感じること

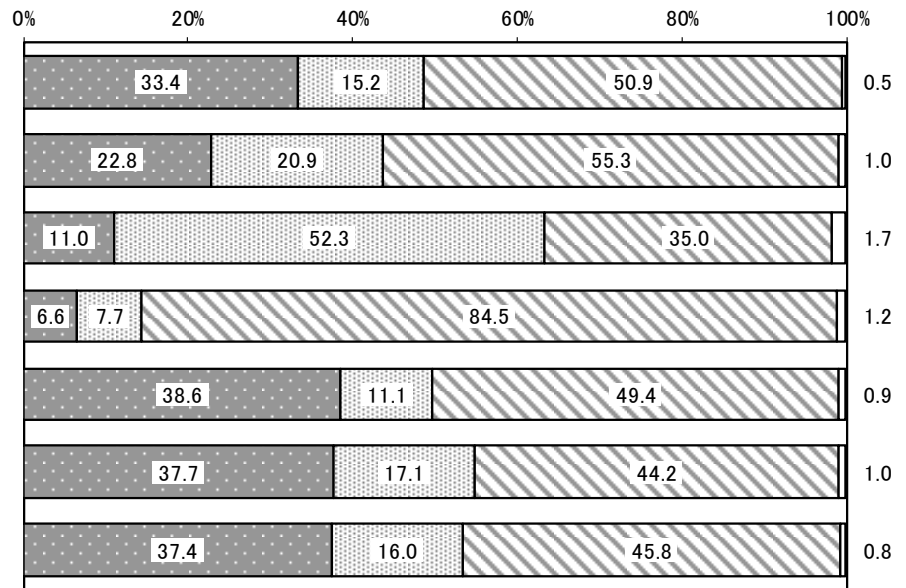
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

d) 食事を抜く回数

e) 夜遅くまで起きている回数

f) 親以外の大人や友達と話をすること

g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと



【中学生】

回答者数 = 1,353

a) 学校の授業以外で勉強する時間

b) 学校の授業が分からないと感じること

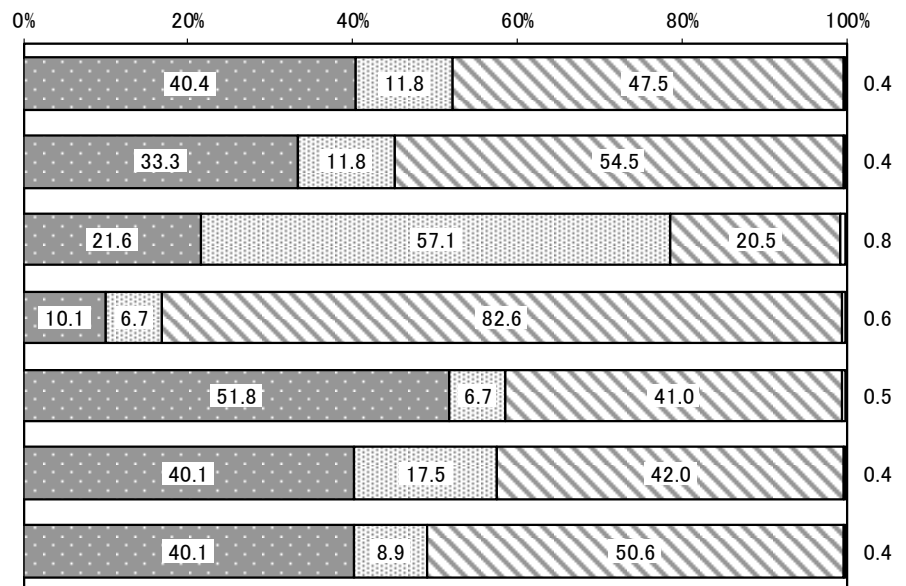
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

d) 食事を抜く回数

e) 夜遅くまで起きている回数

f) 親以外の大人や友達と話をすること

g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

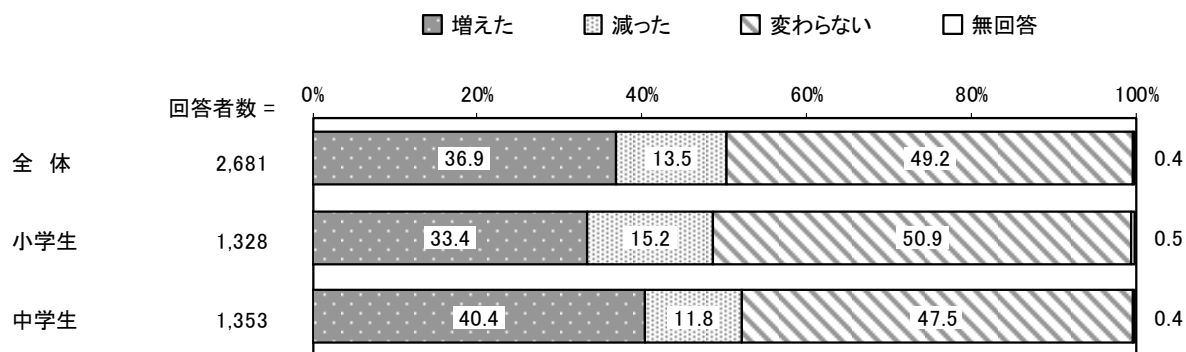


a) 学校の授業以外で勉強する時間

全体では、「変わらない」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 36.9%、「減った」の割合が 13.5%となっています。

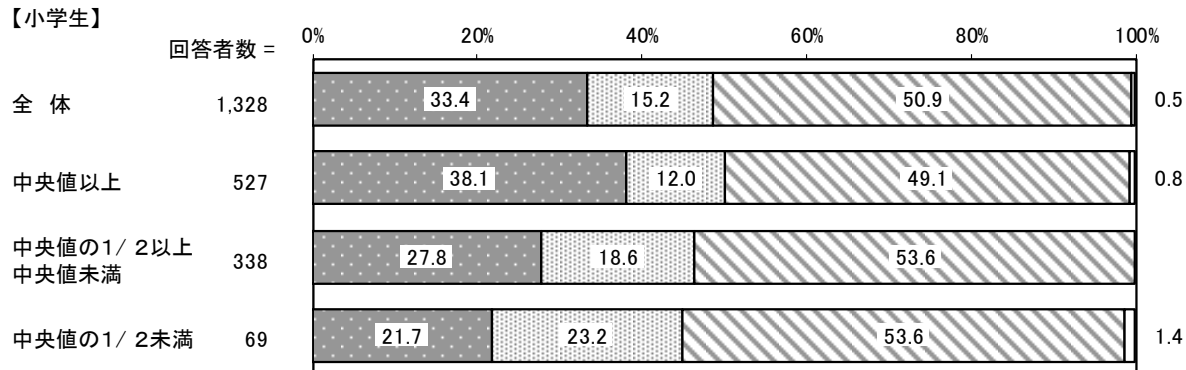
小学生では、「変わらない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 33.4%、「減った」の割合が 15.2%となっています。

中学生では、「変わらない」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 40.4%、「減った」の割合が 11.8%となっています。

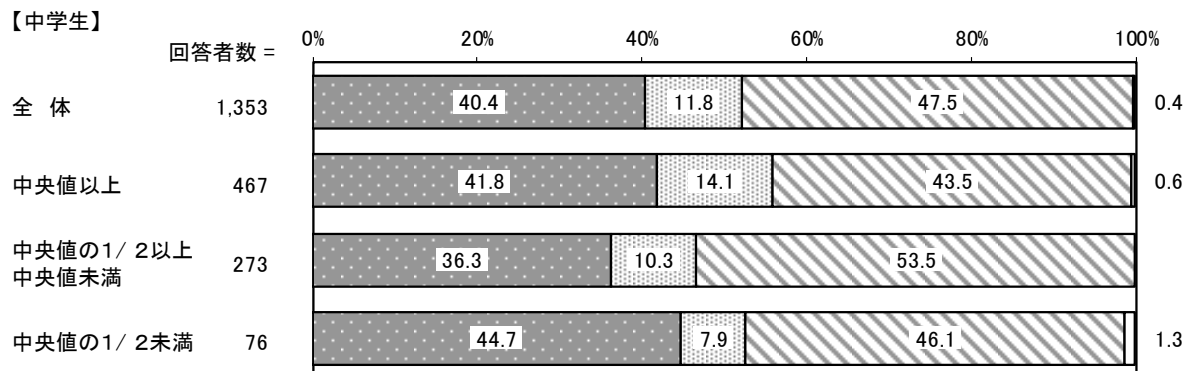


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「増えた」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

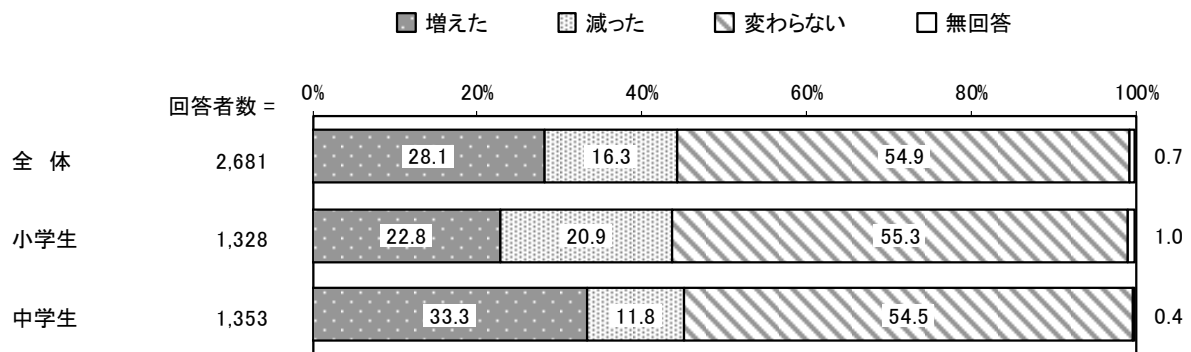


b) 学校の授業が分からないと感じること

全体では、「変わらない」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 28.1%、「減った」の割合が 16.3%となっています。

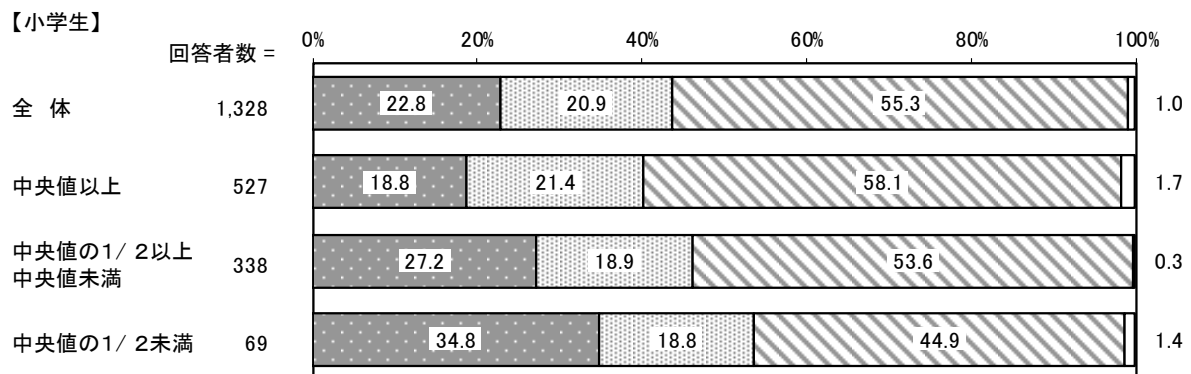
小学生では、「変わらない」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 22.8%、「減った」の割合が 20.9%となっています。

中学生では、「変わらない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 33.3%、「減った」の割合が 11.8%となっています。

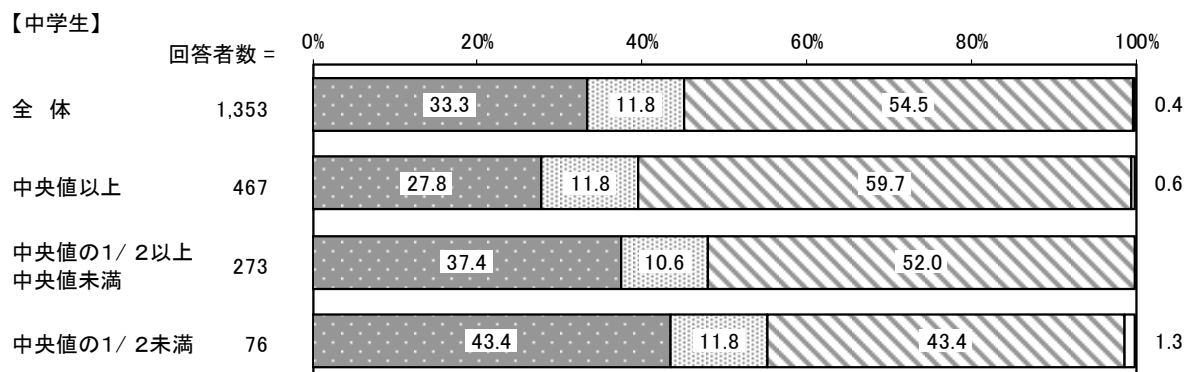


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

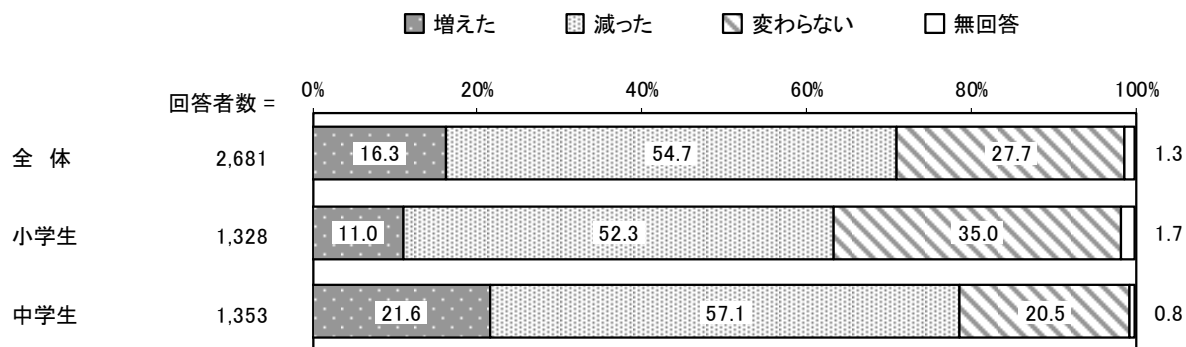


c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

全体では、「減った」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が 27.7%、「増えた」の割合が 16.3%となっています。

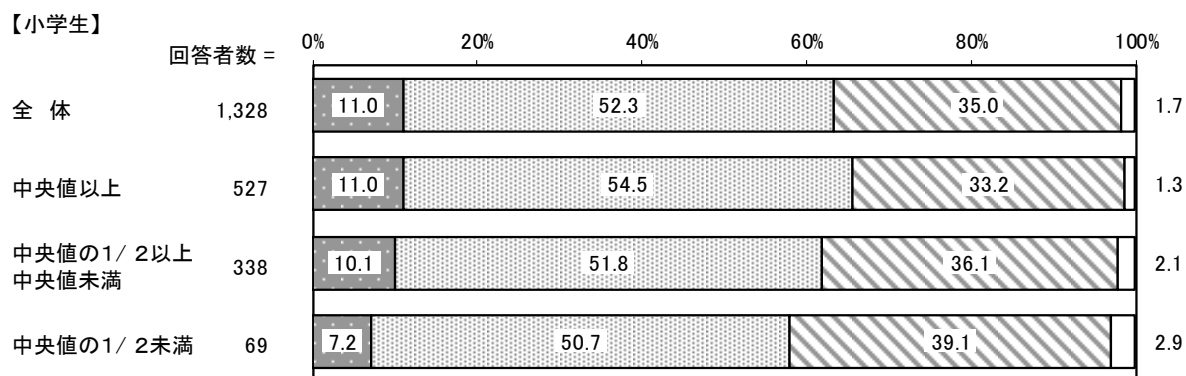
小学生では、「減った」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が 35.0%、「増えた」の割合が 11.0%となっています。

中学生では、「減った」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 21.6%、「変わらない」の割合が 20.5%となっています。

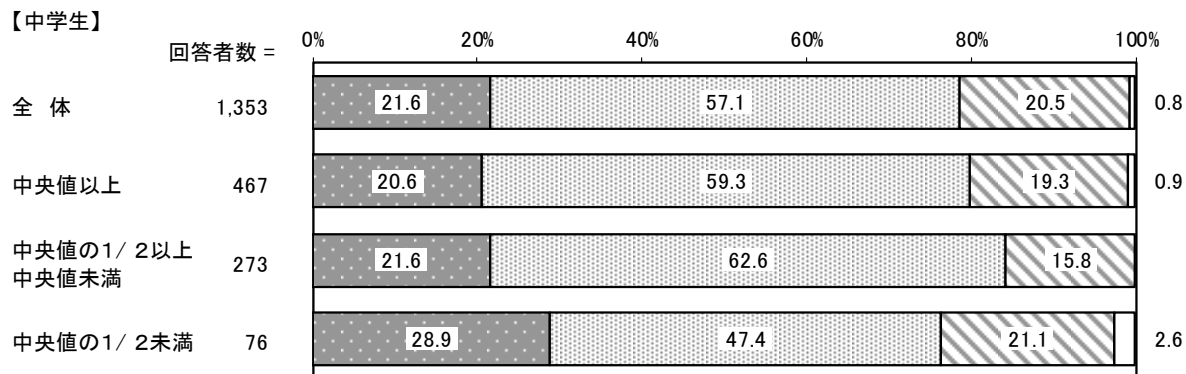


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「減った」の割合が高くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

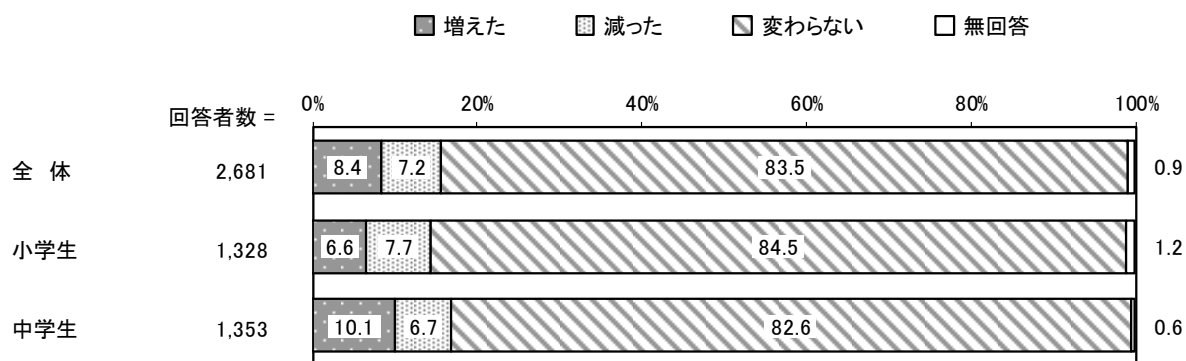


d) 食事を抜く回数

全体では、「変わらない」の割合が83.5%と最も高くなっています。

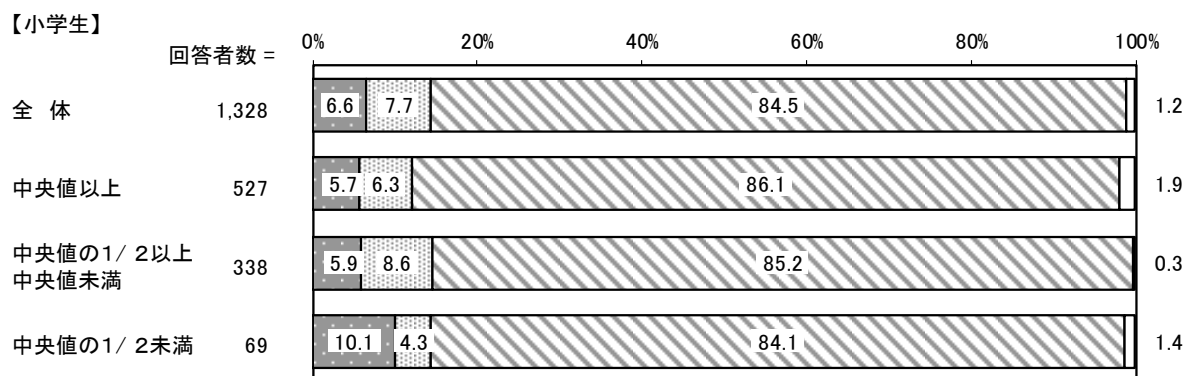
小学生では、「変わらない」の割合が84.5%と最も高くなっています。

中学生では、「変わらない」の割合が82.6%と最も高く、次いで「増えた」の割合が10.1%となっています。

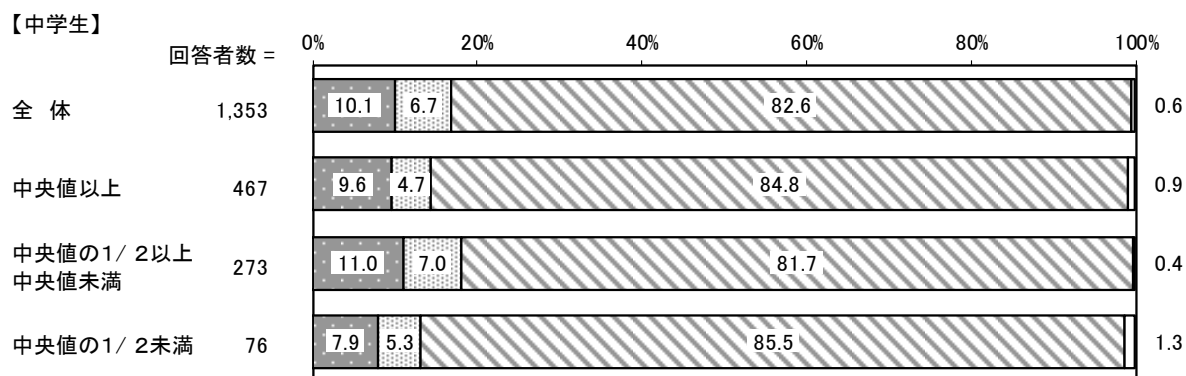


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

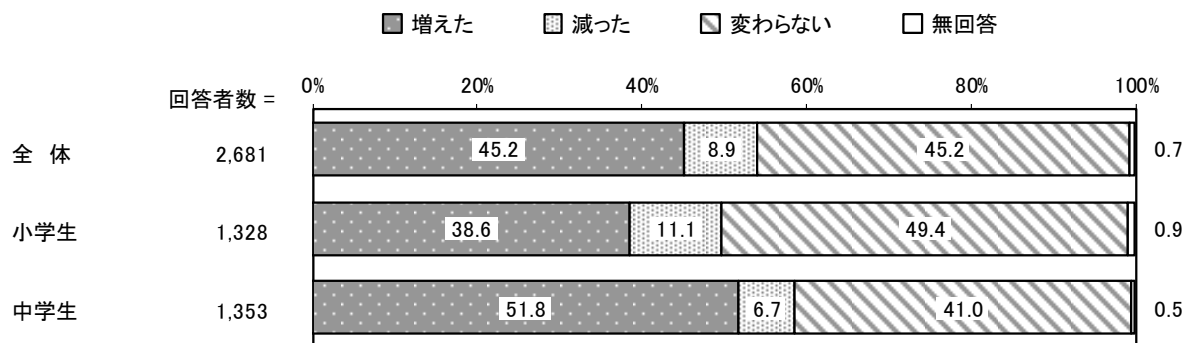


e) 夜遅くまで起きている回数

全体では、「増えた」「変わらない」の割合が 45.2%、「減った」の割合が 8.9%となっています。

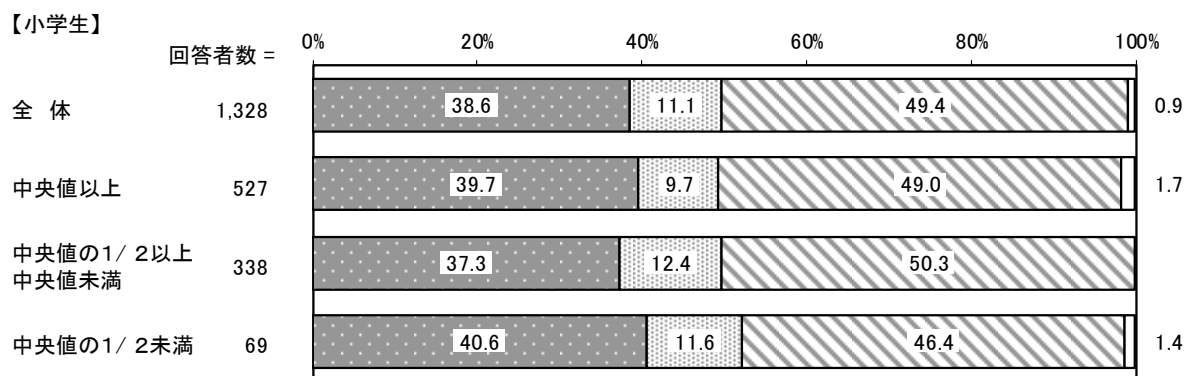
小学生では、「変わらない」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 38.6%、「減った」の割合が 11.1%となっています。

中学生では、「増えた」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が 41.0%となっています。

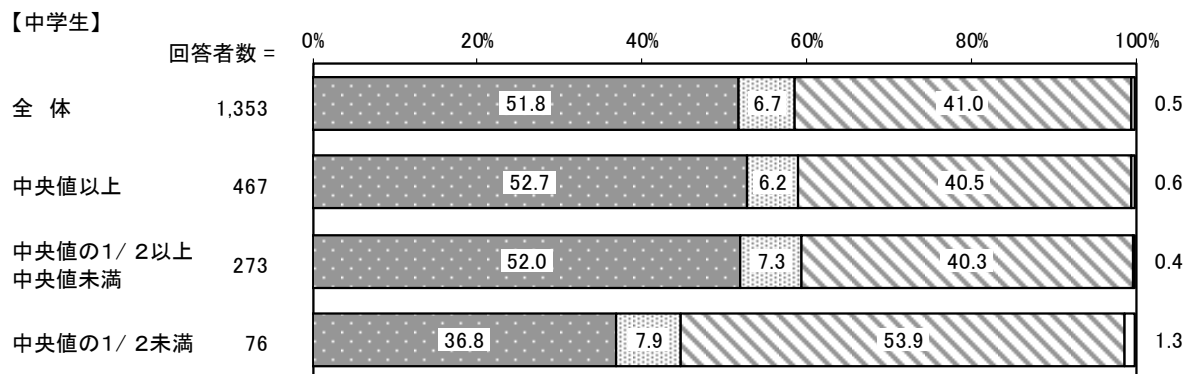


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「変わらない」の割合が高くなっています。

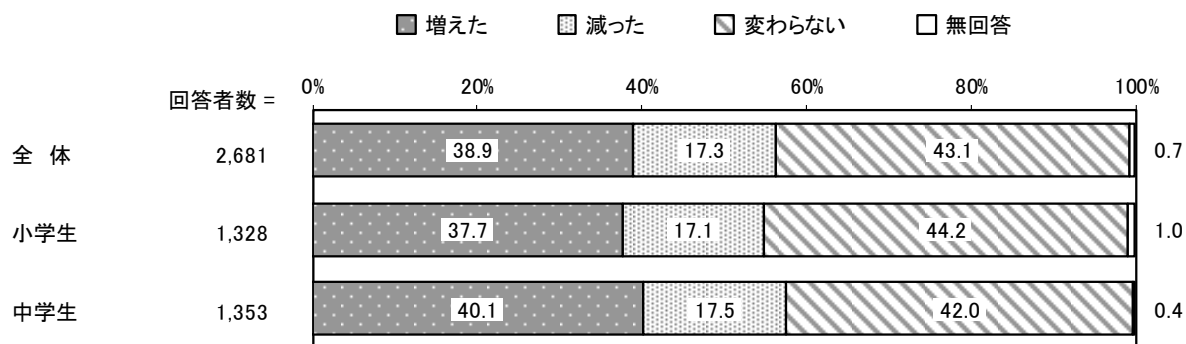


f) 親以外の大人や友達と話をすること

全体では、「変わらない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 38.9%、「減った」の割合が 17.3%となっています。

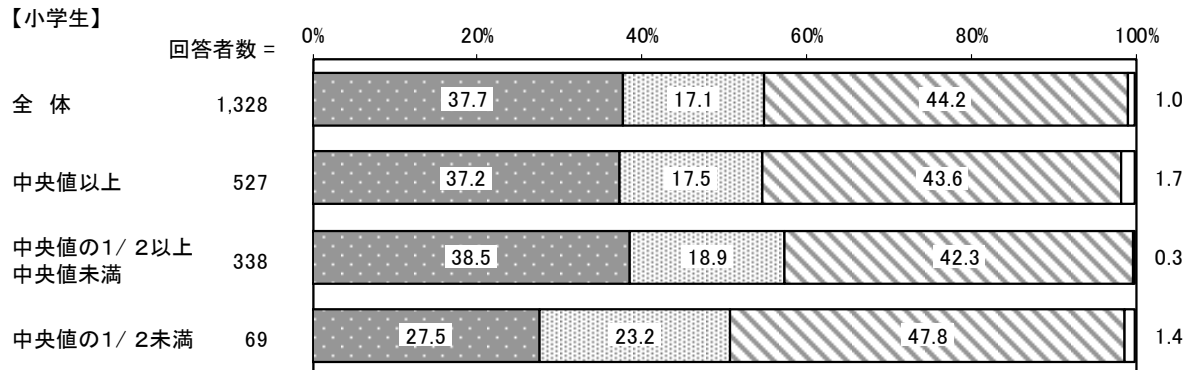
小学生では、「変わらない」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 37.7%、「減った」の割合が 17.1%となっています。

中学生では、「変わらない」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 40.1%、「減った」の割合が 17.5%となっています。

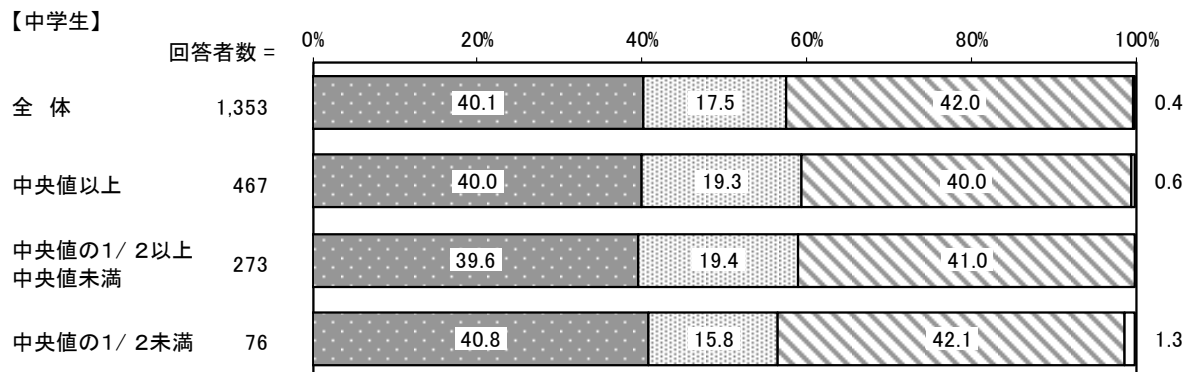


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が低くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が低くなるにつれて「減った」の割合が低くなる傾向がみられます。

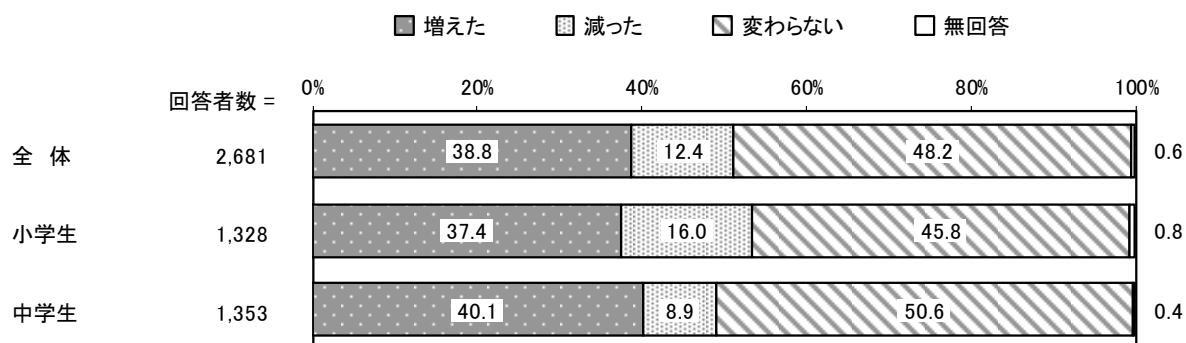


g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

全体では、「変わらない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「増えた」の割合が38.8%、「減った」の割合が12.4%となっています。

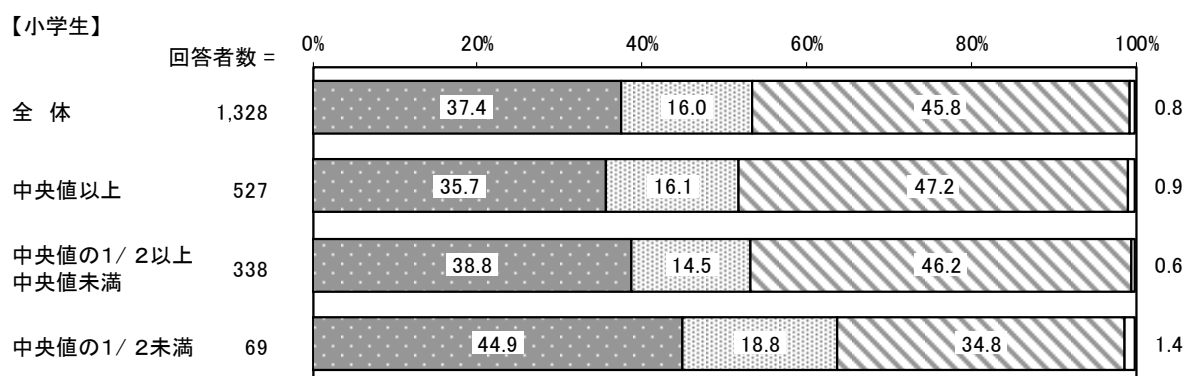
小学生では、「変わらない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「増えた」の割合が37.4%、「減った」の割合が16.0%となっています。

中学生では、「変わらない」の割合が50.6%と最も高く、次いで「増えた」の割合が40.1%となっています。

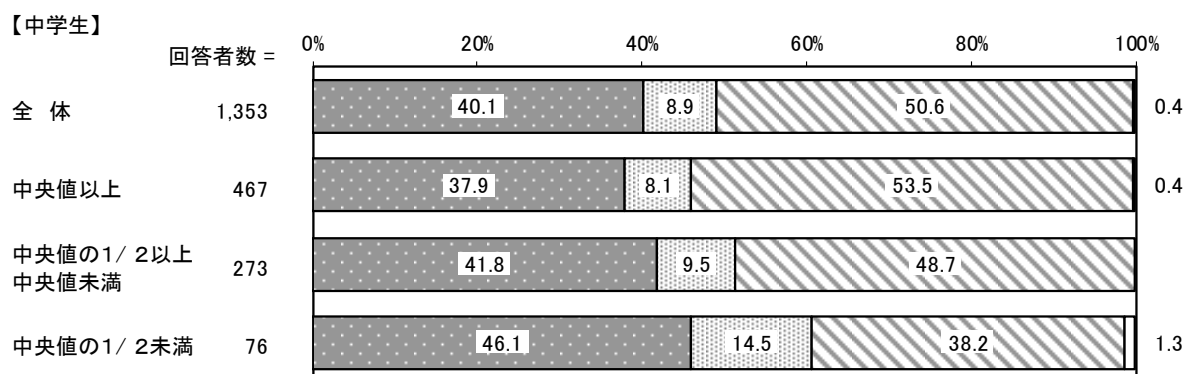


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が低くなるにつれて「増えた」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が低くなるにつれて「増えた」の割合が高くなっています。



問 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。（下の枠の中から、あてはまる番号 1 つに○）

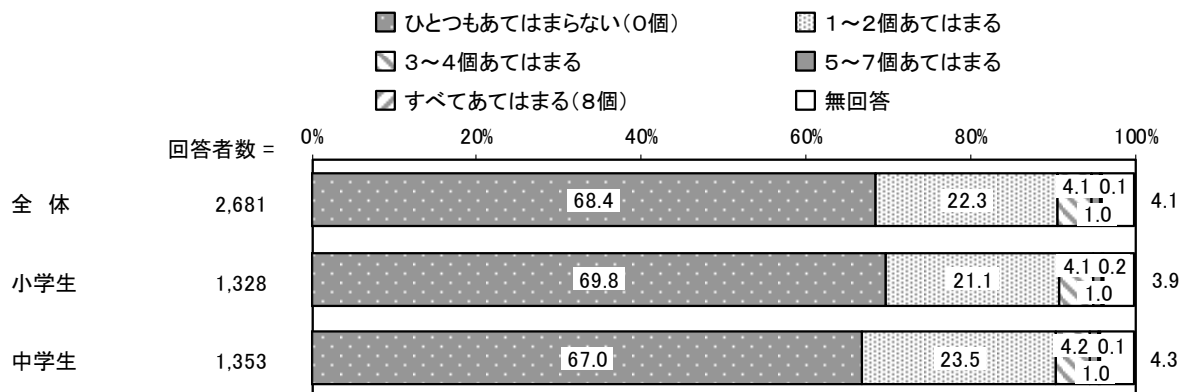
[小学生：問 20、中学生：問 22]

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度(いちど)でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないとを感じることもある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないとを感じることもある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒の飲みすぎや麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

全体では、「ひとつもあてはまらない（0個）」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「1～2個あてはまる」の割合が 22.3%となっています。

小学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「1～2個あてはまる」の割合が 21.1%となっています。

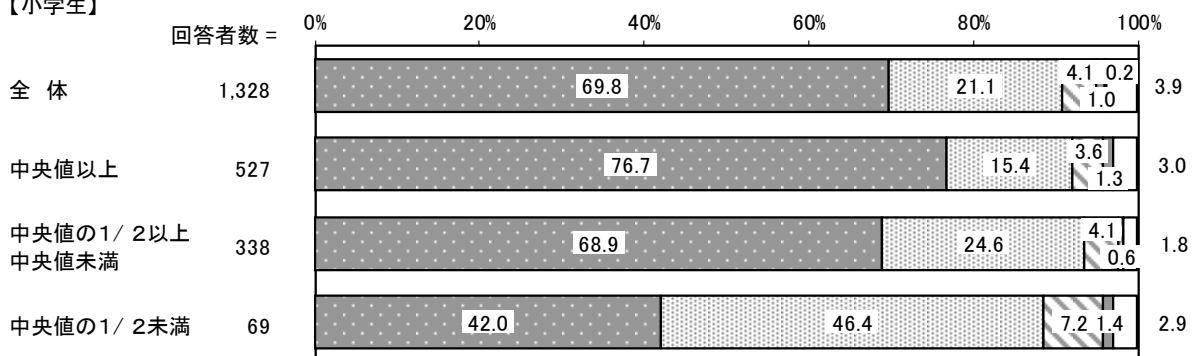
中学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「1～2個あてはまる」の割合が 23.5%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

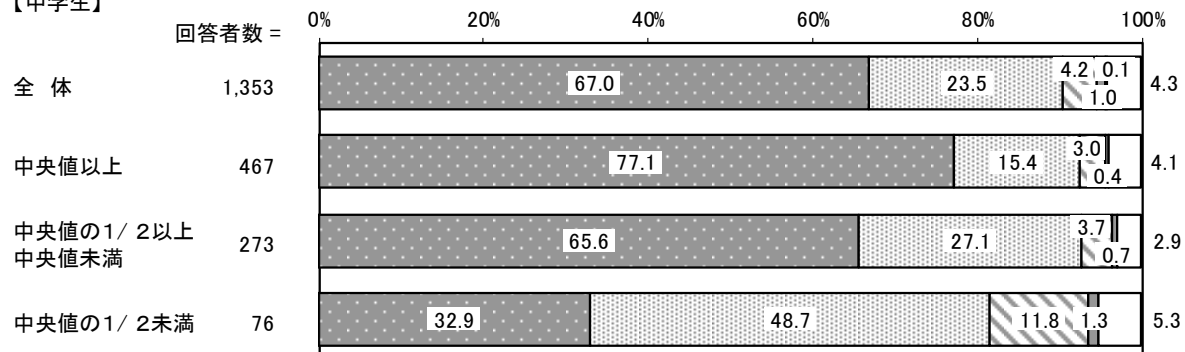
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ひとつもあてはまらない（0個）」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「1～2個あてはまる」「3～4個あてはまる」の割合が高くなっています。

【小学生】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ひとつもあてはまらない（0個）」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「1～2個あてはまる」「3～4個あてはまる」の割合が高くなっています。

【中学生】



問 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。
また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。
(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

[小学生：問 21、中学生：問 23]

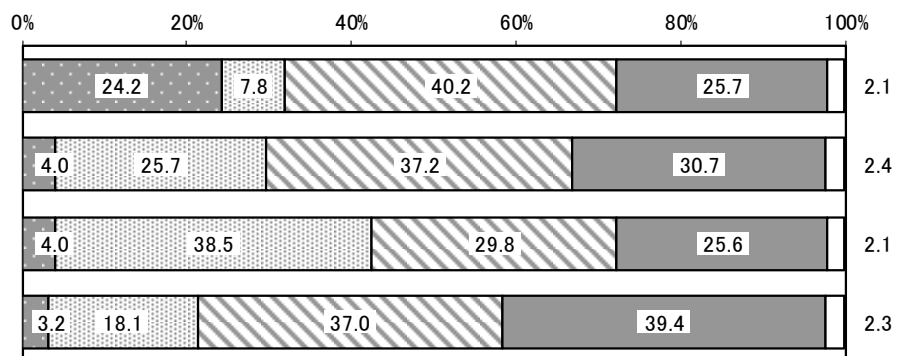
全体、小学生、中学生ともに、『a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)』で「利用したことがある」の割合が、『c) 勉強を無料でみてくれる場所』で「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。また、『d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットでの相談を含む。)]で「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。

■ 利用したことがある ■ あれば利用したいと思う
■ 今後も利用したいと思わない ■ 今後利用したいかどうか分からない
□ 無回答

【全体】

回答者数 = 2,681

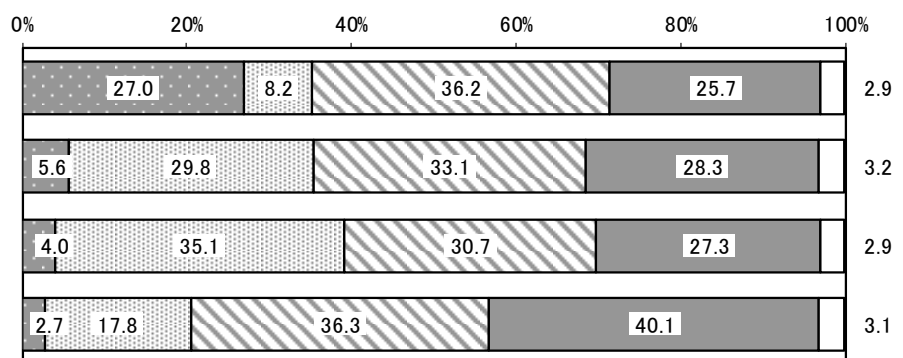
- a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)
b) (自分や友人の家以外で) タコはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)
c) 勉強を無料でみてくれる場所
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットでの相談を含む。)



【小学生】

回答者数 = 1,328

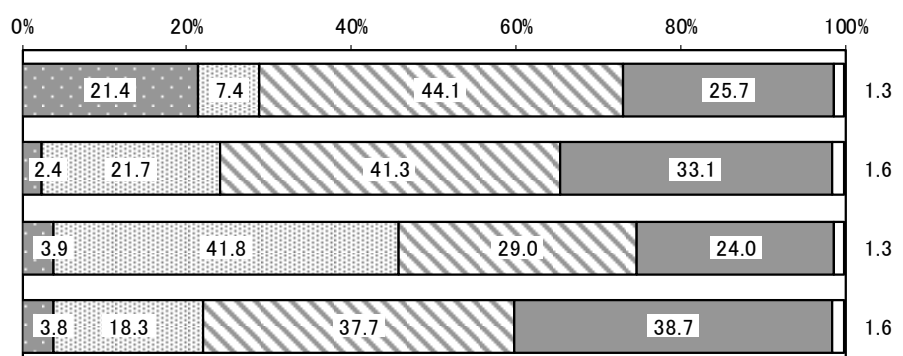
- a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)
b) (自分や友人の家以外で) タコはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)
c) 勉強を無料でみてくれる場所
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットでの相談を含む。)



【中学生】

回答者数 = 1,353

- a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)
b) (自分や友人の家以外で) タコはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)
c) 勉強を無料でみてくれる場所
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットでの相談を含む。)

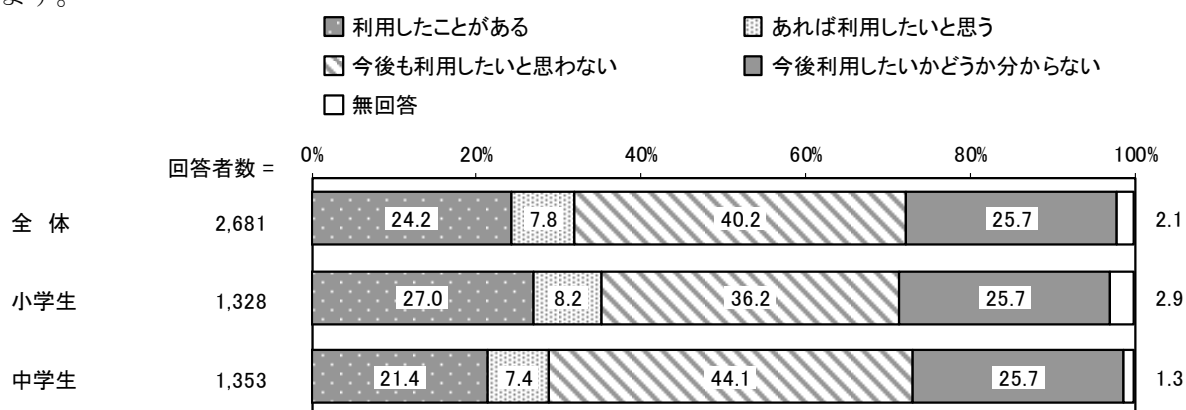


a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)

全体では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 25.7%、「利用したことがある」の割合が 24.2%となっています。

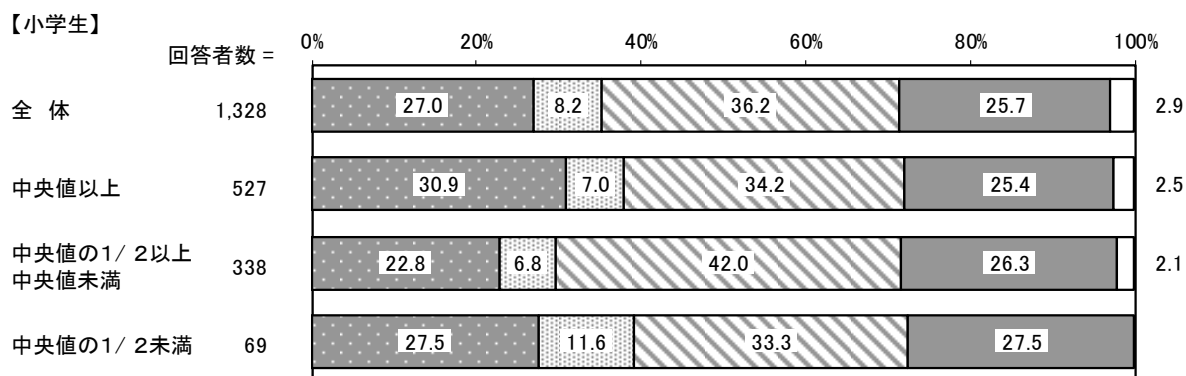
小学生では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が 27.0%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 25.7%となっています。

中学生では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 25.7%、「利用したことがある」の割合が 21.4%となっています。

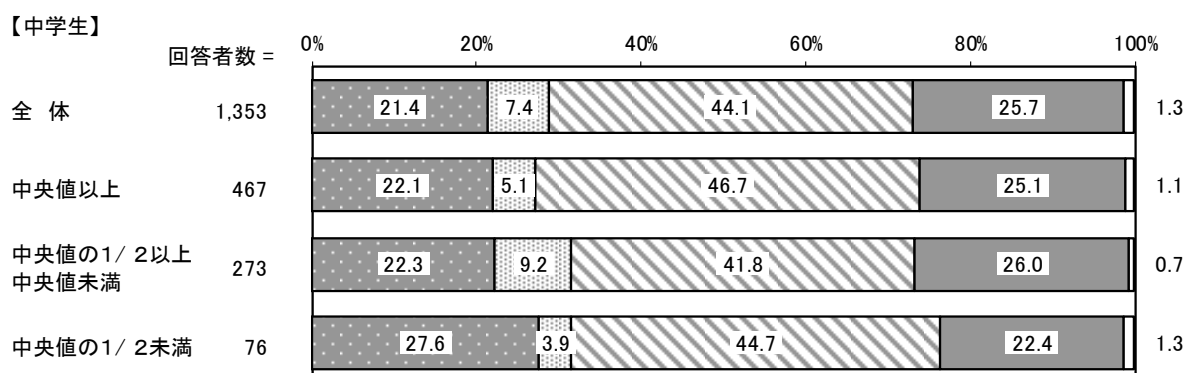


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「今後も利用したいと思わない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

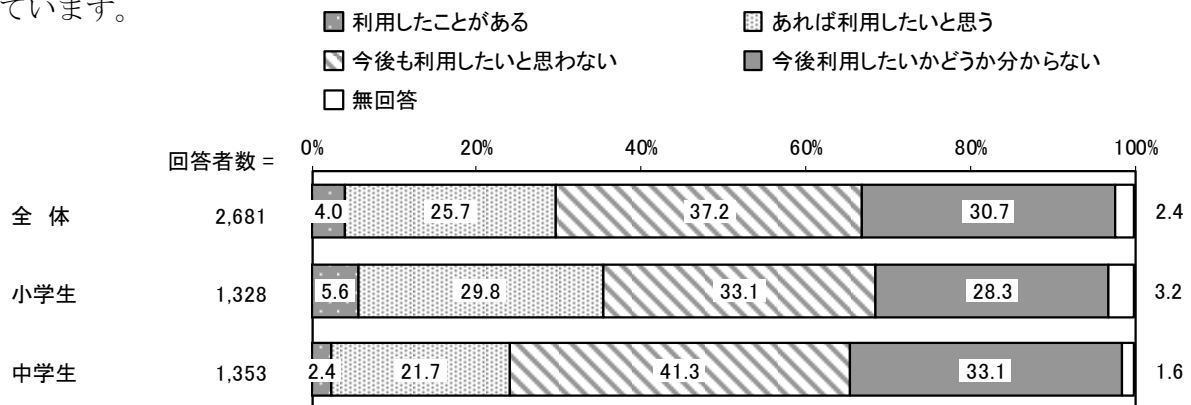


b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

全体では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 30.7%、「あれば利用したいと思う」の割合が 25.7%となっています。

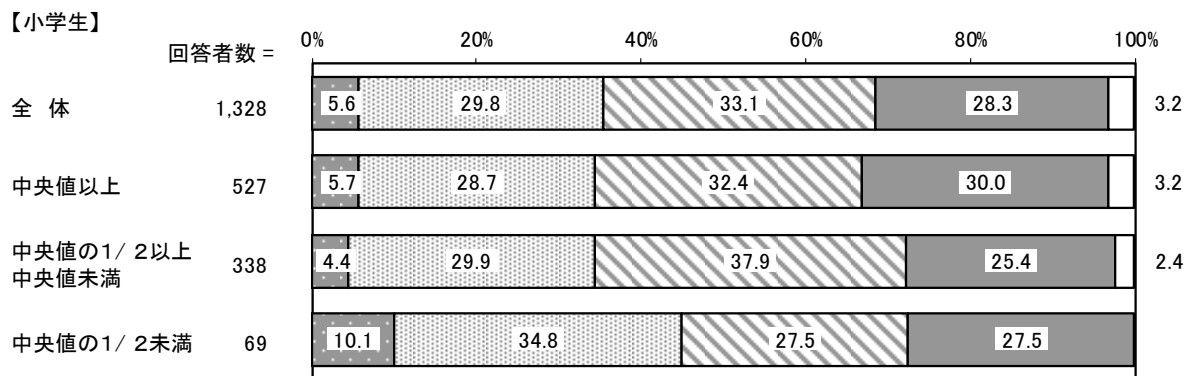
小学生では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」の割合が 29.8%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 28.3%となっています。

中学生では、「今後も利用したいと思わない」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 33.1%、「あれば利用したいと思う」の割合が 21.7%となっています。

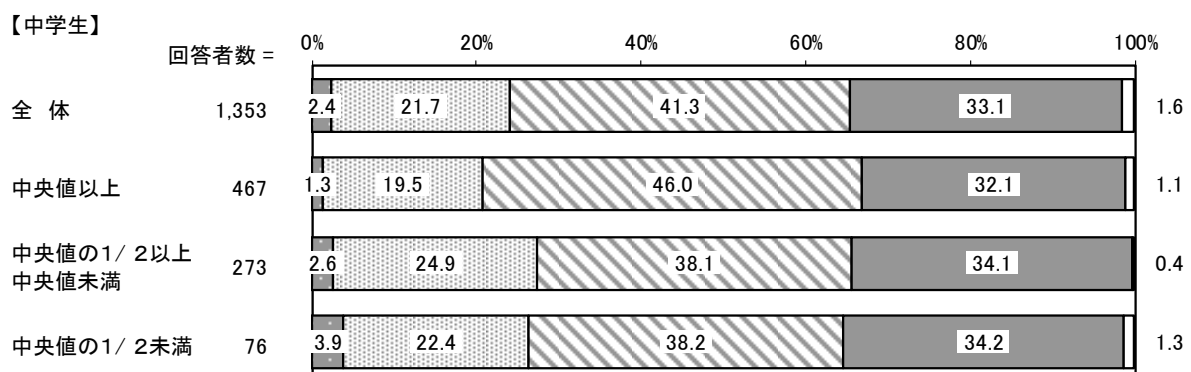


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「今後も利用したいと思わない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「今後も利用したいと思わない」の割合が高くなっています。

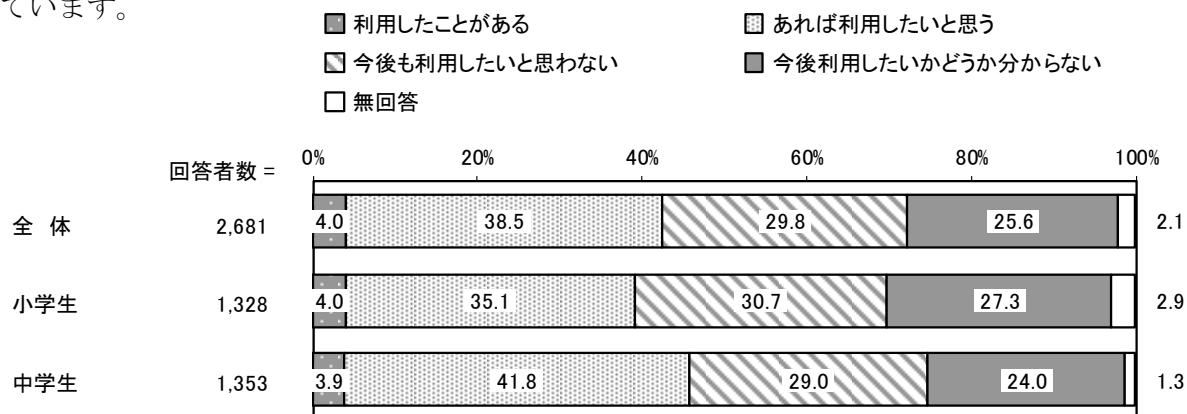


c) 勉強を無料でみてる場所

全体では、「あれば利用したいと思う」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 29.8%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 25.6%となっています。

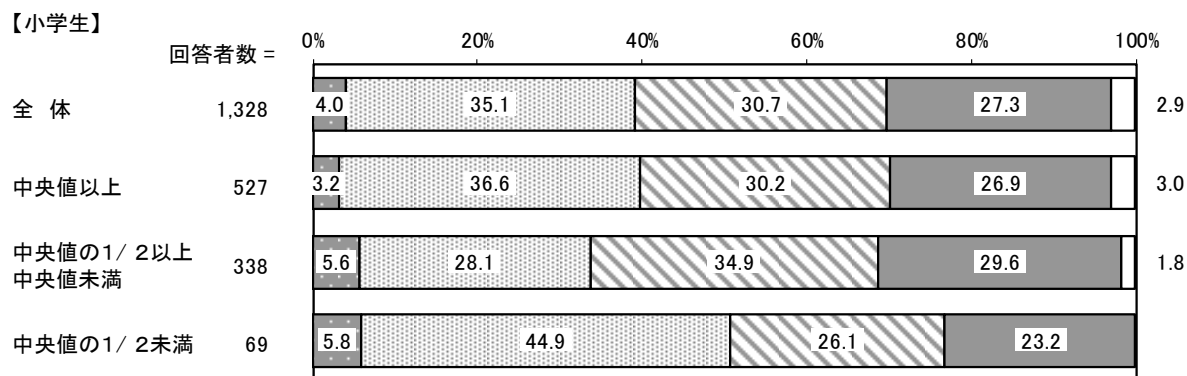
小学生では、「あれば利用したいと思う」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 30.7%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 27.3%となっています。

中学生では、「あれば利用したいと思う」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 29.0%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 24.0%となっています。

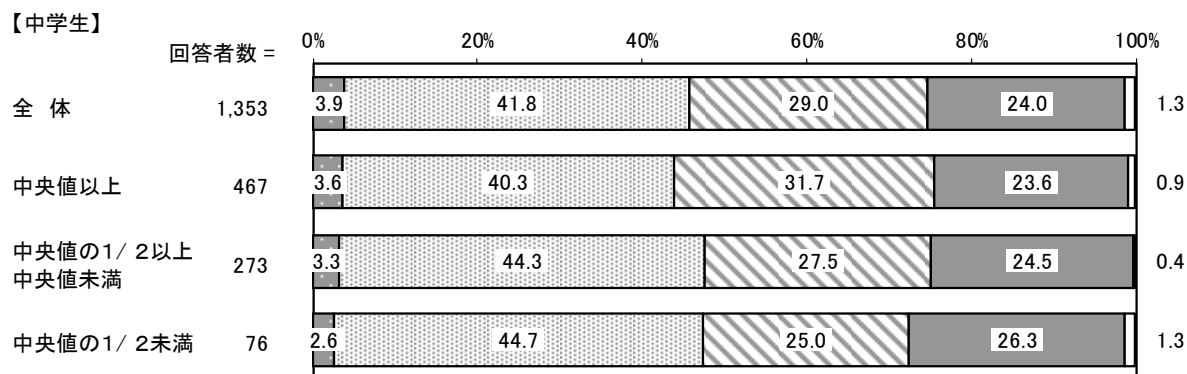


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

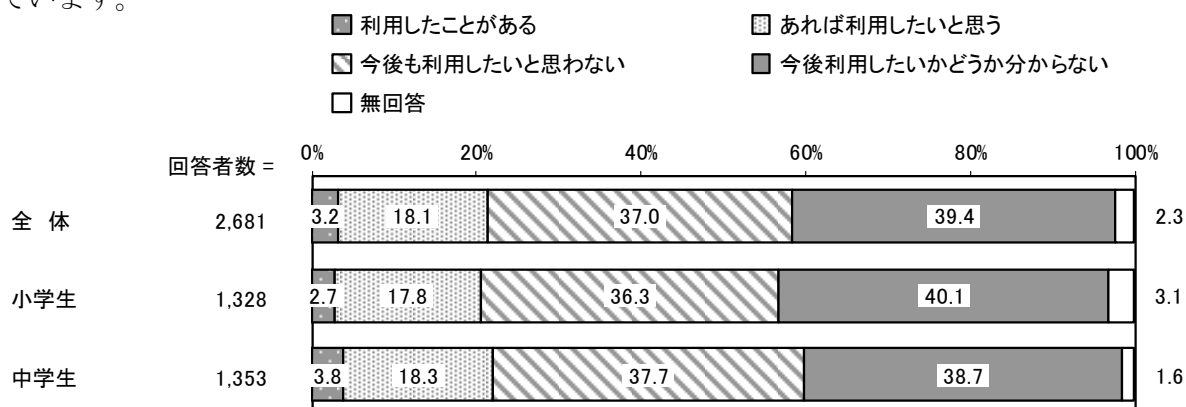


d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットでの相談を含む。)

全体では、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 37.0%、「あれば利用したいと思う」の割合が 18.1%となっています。

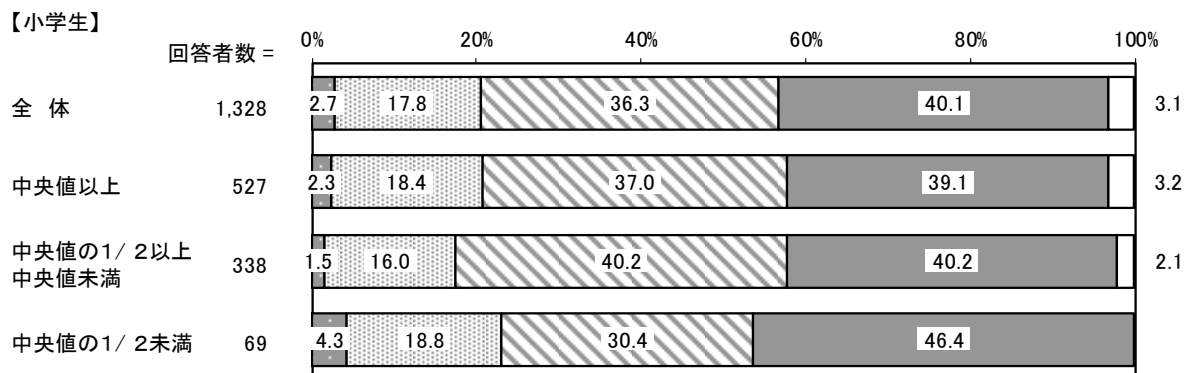
小学生では、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 36.3%、「あれば利用したいと思う」の割合が 17.8%となっています。

中学生では、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」の割合が 37.7%、「あれば利用したいと思う」の割合が 18.3%となっています。

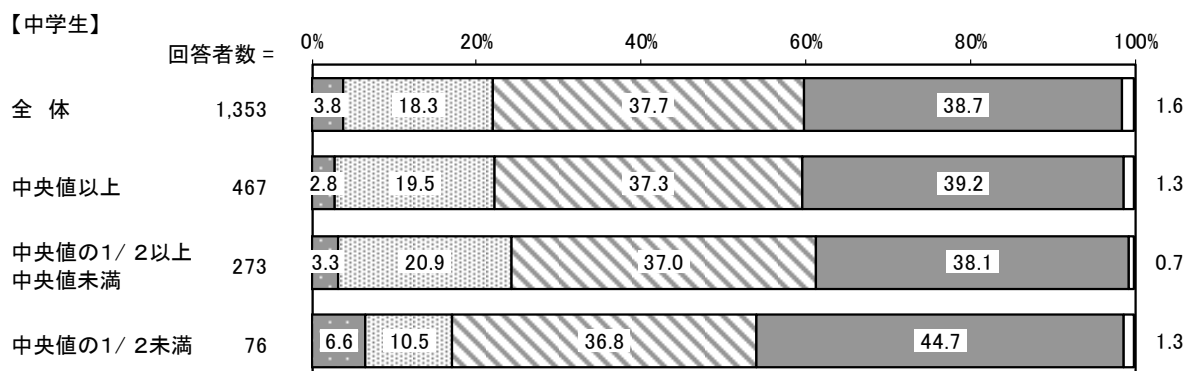


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。

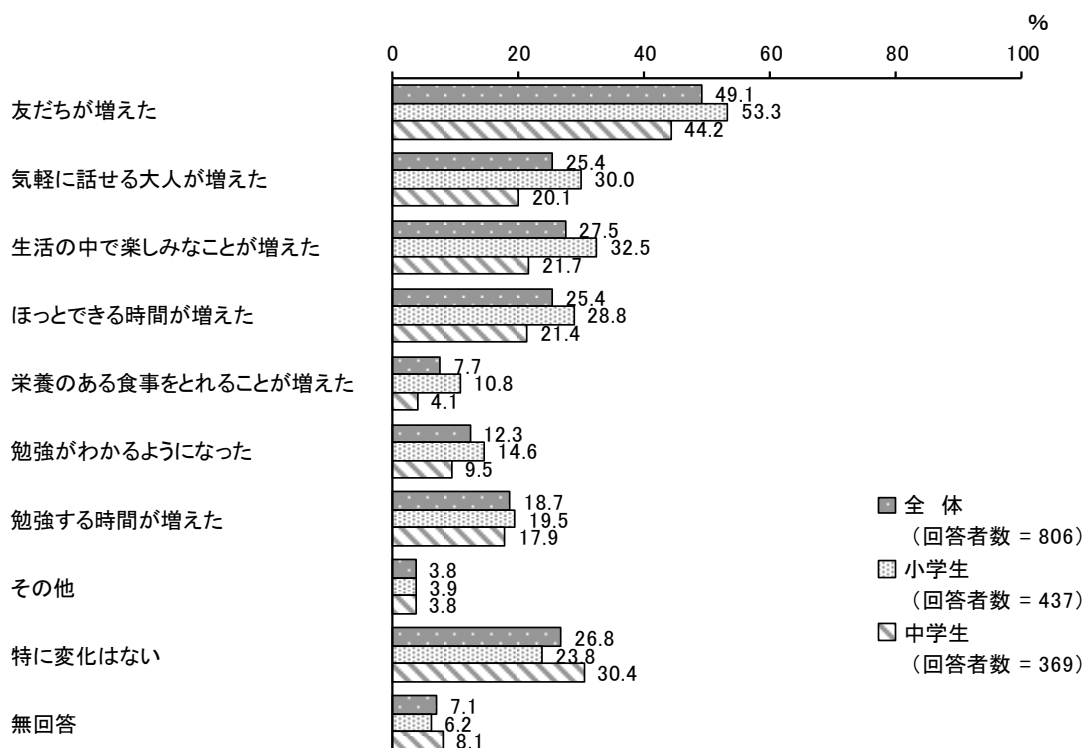


問 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きます。
 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。
 (あてはまるものすべてに○) [小学生：問 22、中学生：問 24]

全体では、「友だちが増えた」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「生活の中で楽しいこと
 が増えた」の割合が 27.5%、「特に変化はない」の割合が 26.8%となっています。

小学生では、「友だちが増えた」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「生活の中で楽しいこ
 とが増えた」の割合が 32.5%、「気軽に話せる大人が増えた」の割合が 30.0%となっています。

中学生では、「友だちが増えた」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「特に変化はない」の割
 合が 30.4%、「生活の中で楽しいことが増えた」の割合が 21.7%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「勉強がわかるようになった」「特に変化はない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「友だちが増えた」「生活の中で楽しいことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「栄養のある食事をとれることが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「栄養のある食事をとれることが増えた」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生】	回答者数 (件)	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しいことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全 体	437	53.3	30.0	32.5	28.8	10.8	14.6	19.5	3.9	23.8	6.2
中央値以上	183	55.7	34.4	31.7	30.6	7.7	10.9	20.8	2.7	24.0	7.7
中央値の1/2以上 中央値未満	99	42.4	24.2	27.3	24.2	14.1	23.2	17.2	6.1	32.3	4.0
中央値の1/2未満	27	70.4	37.0	40.7	37.0	22.2	14.8	14.8	3.7	14.8	3.7

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「気軽に話せる大人が増えた」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「友だちが増えた」の割合が高くなっています。

単位：％

【中学生】	回答者数 (件)	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しいことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全 体	369	44.2	20.1	21.7	21.4	4.1	9.5	17.9	3.8	30.4	8.1
中央値以上	130	49.2	13.8	14.6	19.2	2.3	6.2	14.6	3.1	26.9	10.8
中央値の1/2以上 中央値未満	70	41.4	30.0	25.7	24.3	8.6	10.0	20.0	4.3	30.0	4.3
中央値の1/2未満	25	56.0	24.0	28.0	24.0	4.0	4.0	20.0	—	20.0	12.0

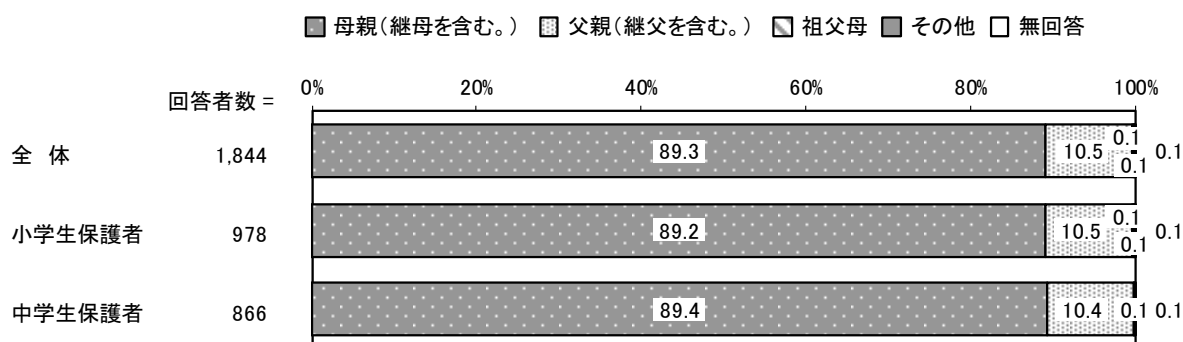
2 保護者

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「母親（継母を含む。）」の割合が89.3%と最も高く、次いで「父親（継父を含む。）」の割合が10.5%となっています。

小学生保護者では、「母親（継母を含む。）」の割合が89.2%と最も高く、次いで「父親（継父を含む。）」の割合が10.5%となっています。

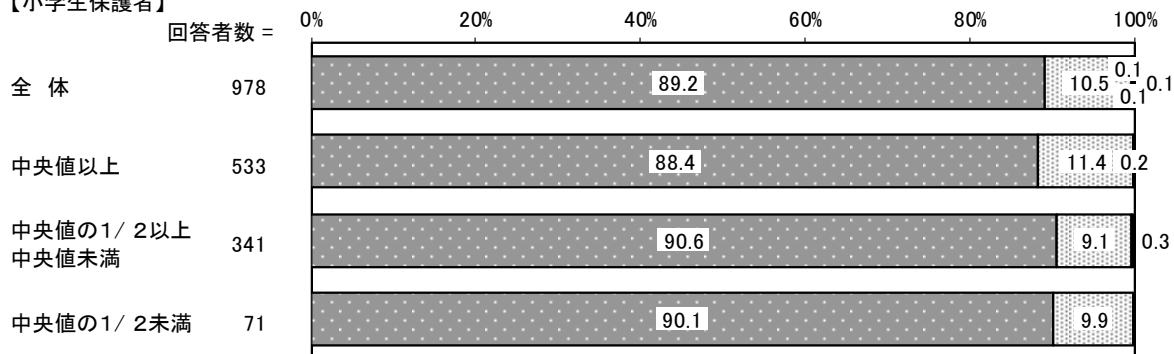
中学生保護者では、「母親（継母を含む。）」の割合が89.4%と最も高く、次いで「父親（継父を含む。）」の割合が10.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

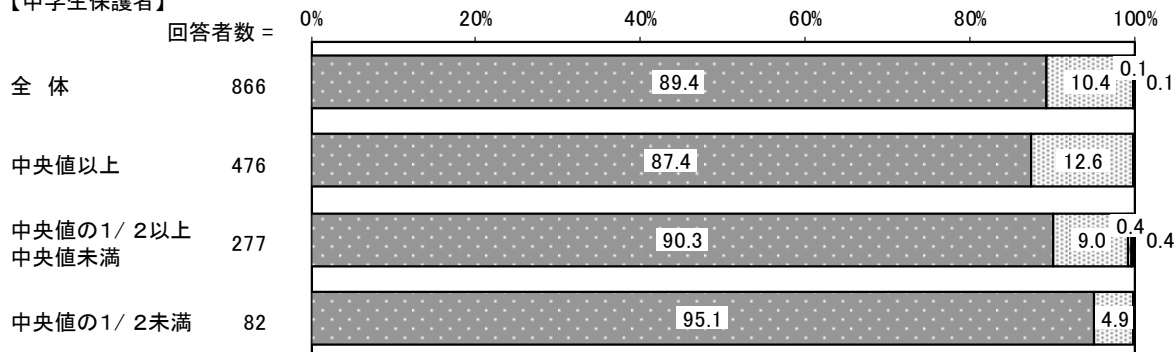
等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【中学生保護者】

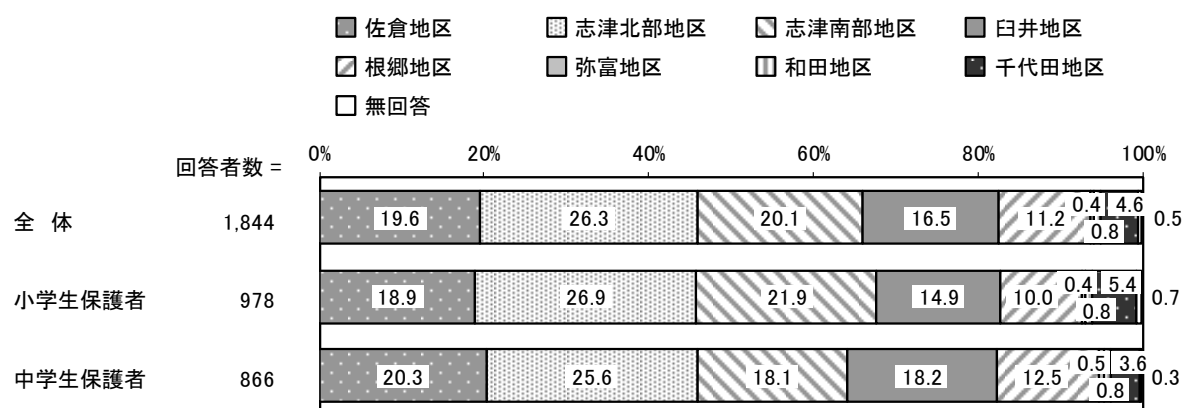


問2 あなたがお住いの地域を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「志津北部地区」の割合が26.3%と最も高く、次いで「志津南部地区」の割合が20.1%、「佐倉地区」の割合が19.6%となっています。

小学生保護者では、「志津北部地区」の割合が26.9%と最も高く、次いで「志津南部地区」の割合が21.9%、「佐倉地区」の割合が18.9%となっています。

中学生保護者では、「志津北部地区」の割合が25.6%と最も高く、次いで「佐倉地区」の割合が20.3%、「臼井地区」の割合が18.2%となっています。

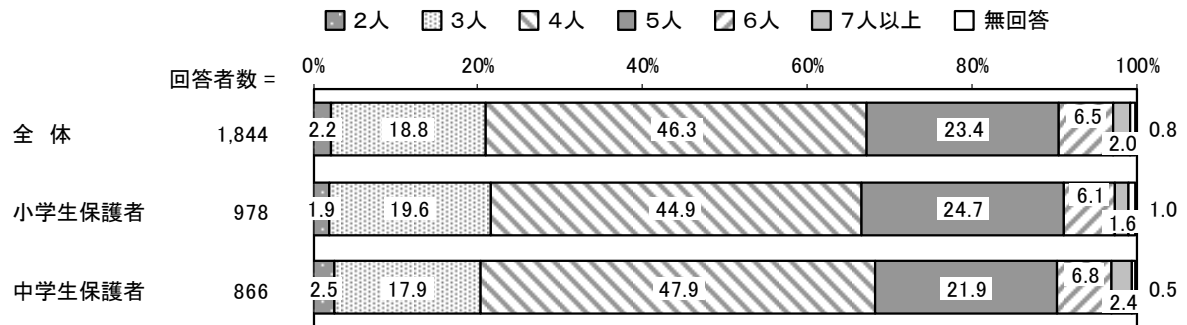


問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。

全体では、「4人」の割合が46.3%と最も高く、次いで「5人」の割合が23.4%、「3人」の割合が18.8%となっています。

小学生保護者では、「4人」の割合44.9%と最も高く、次いで「5人」の割合が24.7%、「3人」の割合が19.6%となっています。

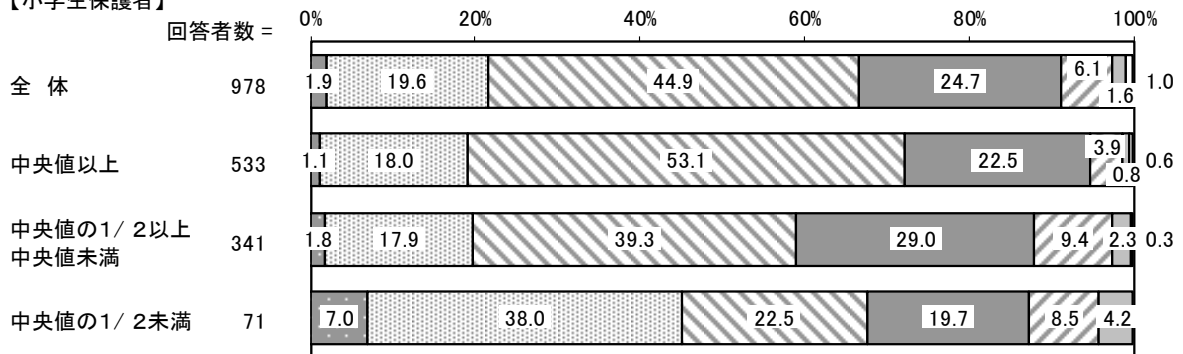
中学生保護者では、「4人」の割合が47.9%と最も高く、次いで「5人」の割合が21.9%、「3人」の割合が17.9%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

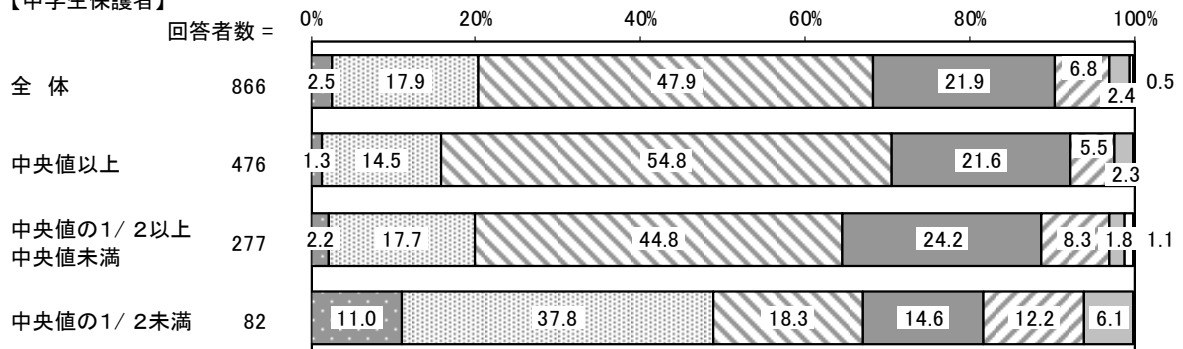
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「4人」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「5人」の割合が、中央値の1/2未満で「2人」「3人」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「4人」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「2人」「3人」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

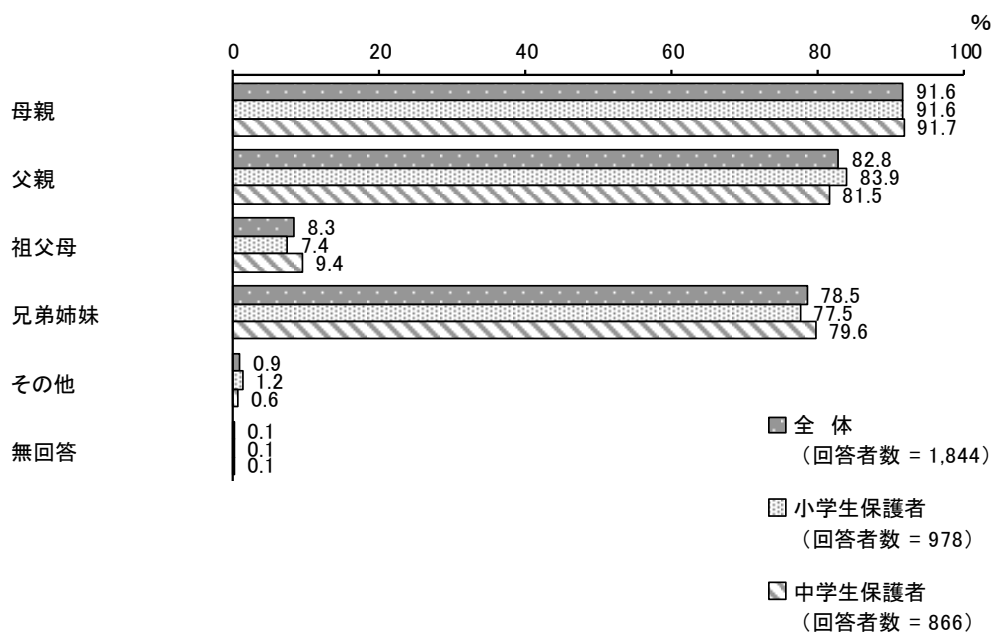


問4 前問で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「母親」の割合が91.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が82.8%、「兄弟姉妹」の割合が78.5%となっています。

小学生保護者では、「母親」の割合が91.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が83.9%、「兄弟姉妹」の割合が77.5%となっています。

中学生保護者では、「母親」の割合が91.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が81.5%、「兄弟姉妹」の割合が79.6%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「父親」の割合が高くなっています。
また、中央値の1/2未満で「祖父母」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生保護者】	回答者数 (件)	母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全 体	978	91.6	83.9	7.4	77.5	1.2	0.1
中央値以上	533	92.1	90.4	5.4	79.7	1.1	—
中央値の1/2以上 中央値未満	341	92.1	84.2	7.6	77.4	1.8	0.3
中央値の1/2未満	71	85.9	36.6	15.5	67.6	—	—

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「父親」の割合が高くなっています。

単位：％

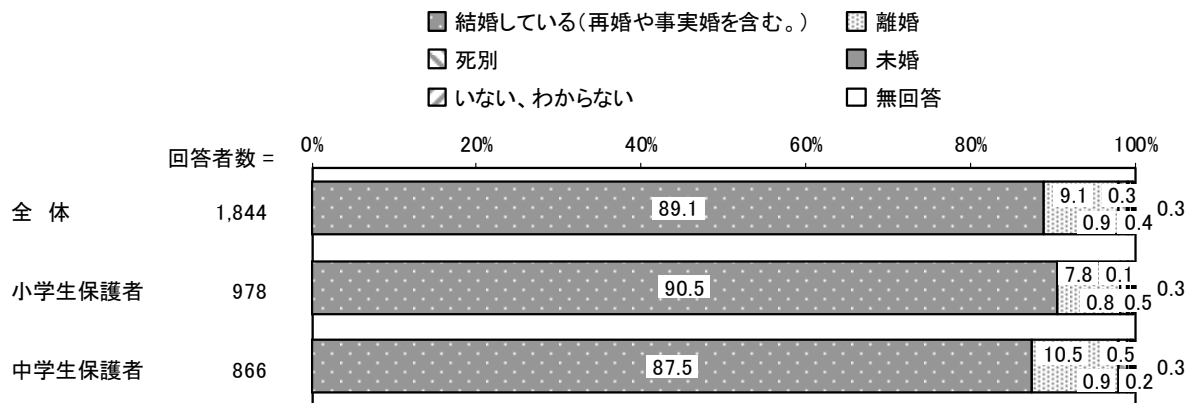
【中学生保護者】	回答者数 (件)	母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全 体	866	91.7	81.5	9.4	79.6	0.6	0.1
中央値以上	476	93.5	90.1	7.4	82.1	0.2	—
中央値の1/2以上 中央値未満	277	89.9	82.7	11.6	77.6	0.7	—
中央値の1/2未満	82	90.2	30.5	15.9	74.4	2.4	—

**問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)**

全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が89.1%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が90.5%と最も高くなっています。

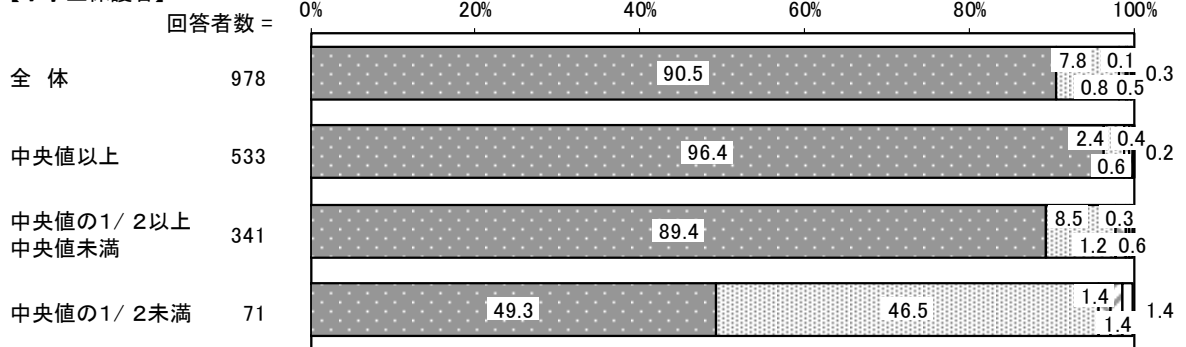
中学生保護者では、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が87.5%と最も高く、次いで「離婚」の割合が10.5%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

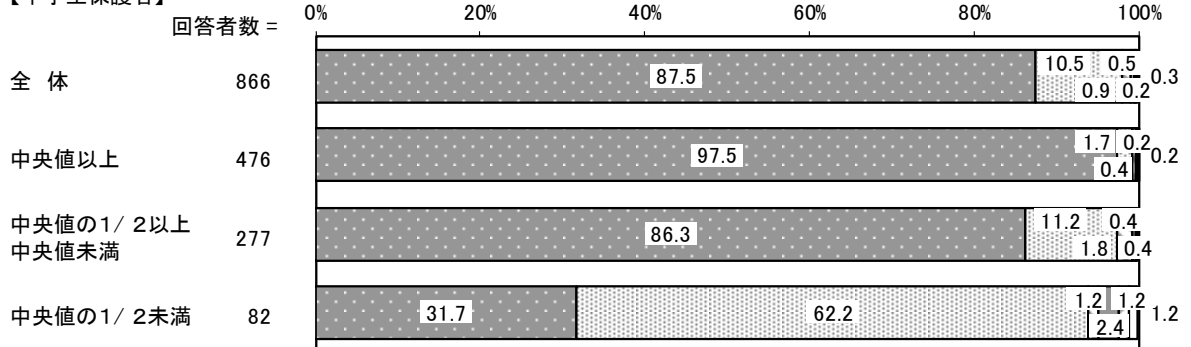
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「離婚」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「離婚」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

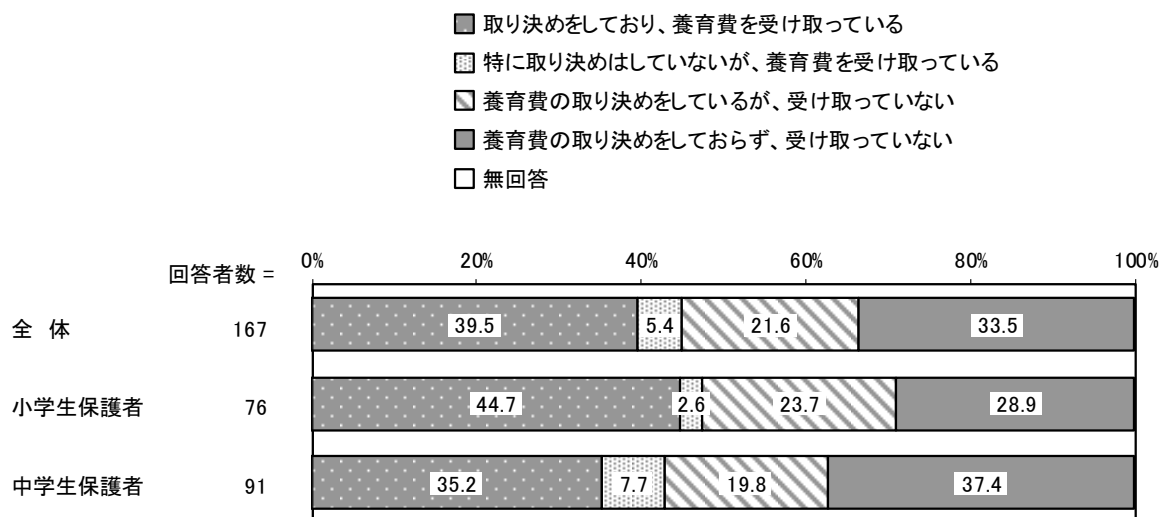


問6 前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

全体では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が39.5%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が33.5%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が21.6%となっています。

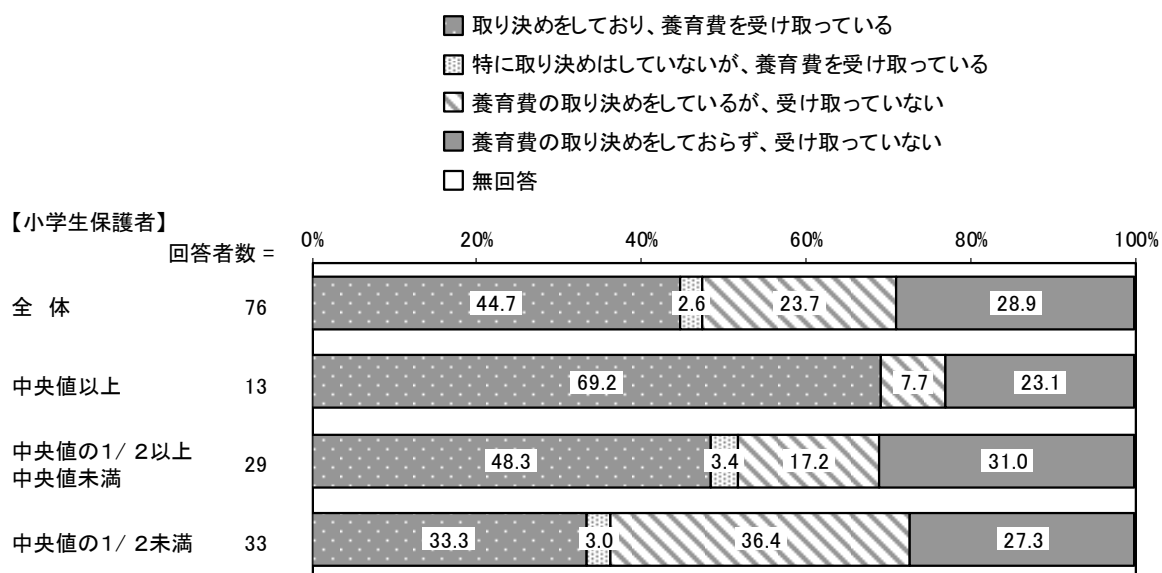
小学生保護者では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が44.7%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が28.9%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が23.7%となっています。

中学生保護者では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が35.2%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が19.8%となっています。

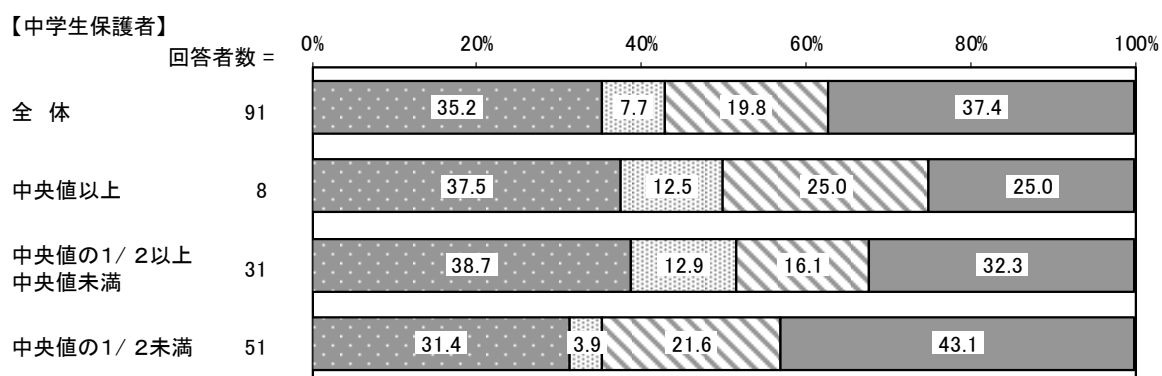


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「取り決めでしており、養育費を受け取っている」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「養育費の取り決めでしているが、受け取っていない」「養育費の取り決めでしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっています。

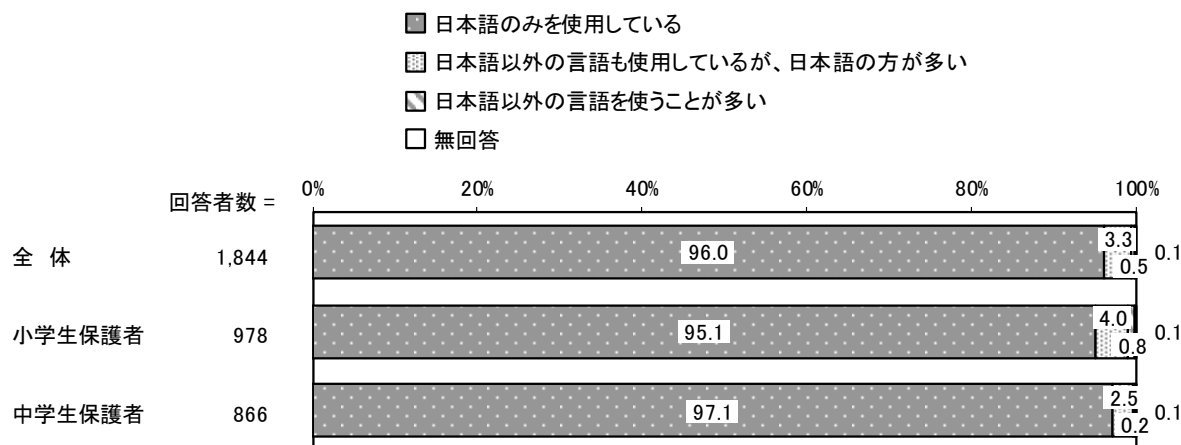


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「取り決めでしており、養育費を受け取っている」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「養育費の取り決めでしているが、受け取っていない」「養育費の取り決めでしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっています。



**問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。
(あてはまるもの1つに○)**

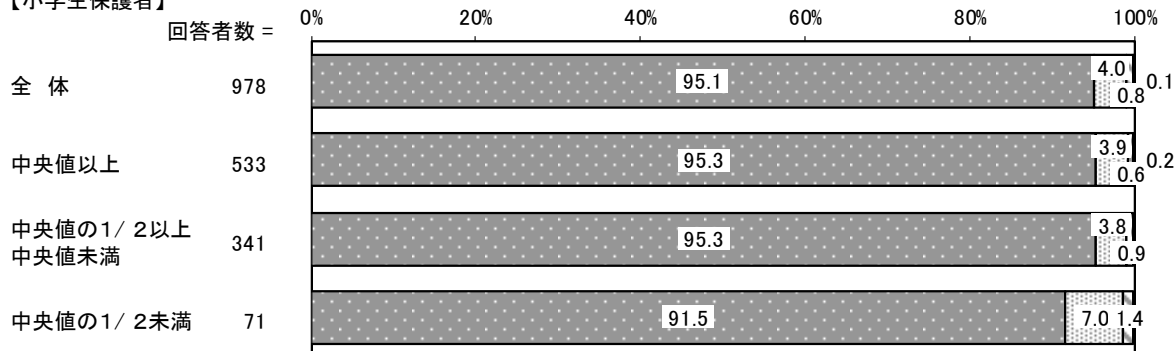
全体では、「日本語のみを使用している」の割合が96.0%と最も高くなっています。
小学生保護者では、「日本語のみを使用している」の割合が95.1%と最も高くなっています。
中学生保護者では、「日本語のみを使用している」の割合が97.1%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

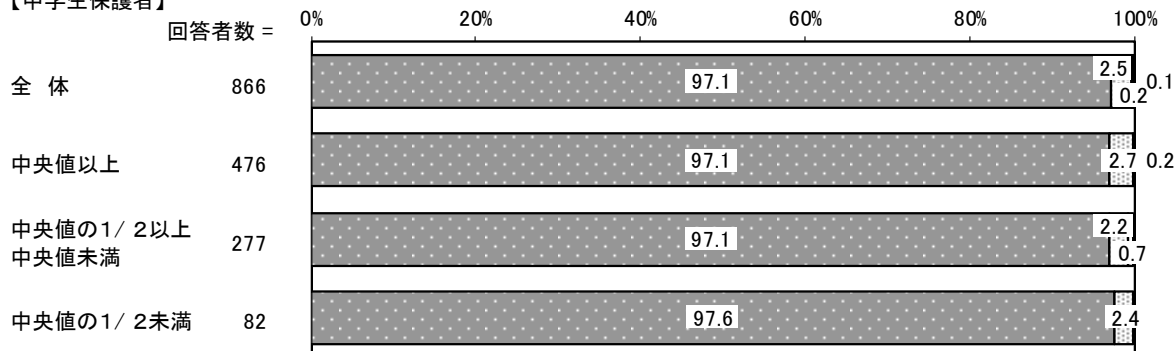
等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【中学生保護者】



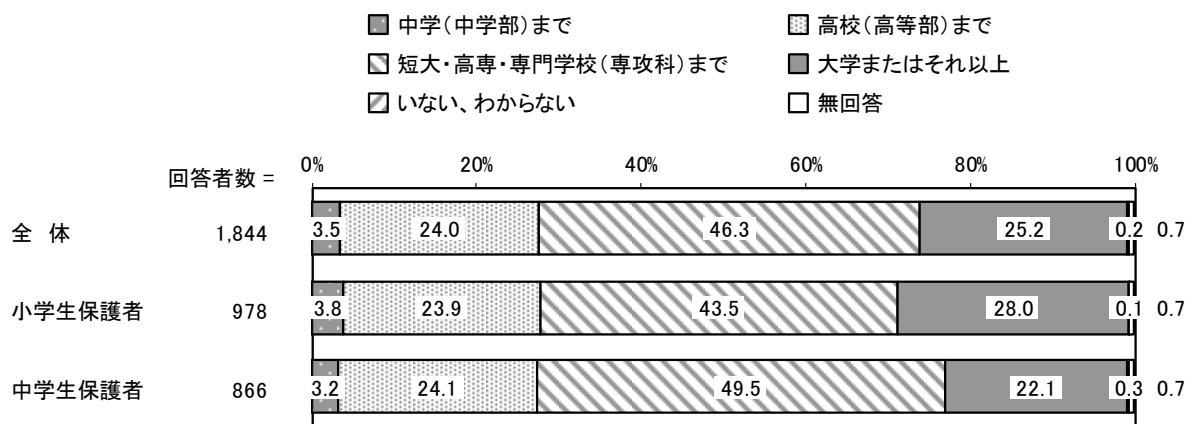
問8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a)母親

全体では、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が46.3%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上」の割合が25.2%、「高校（高等部）まで」の割合が24.0%となっています。

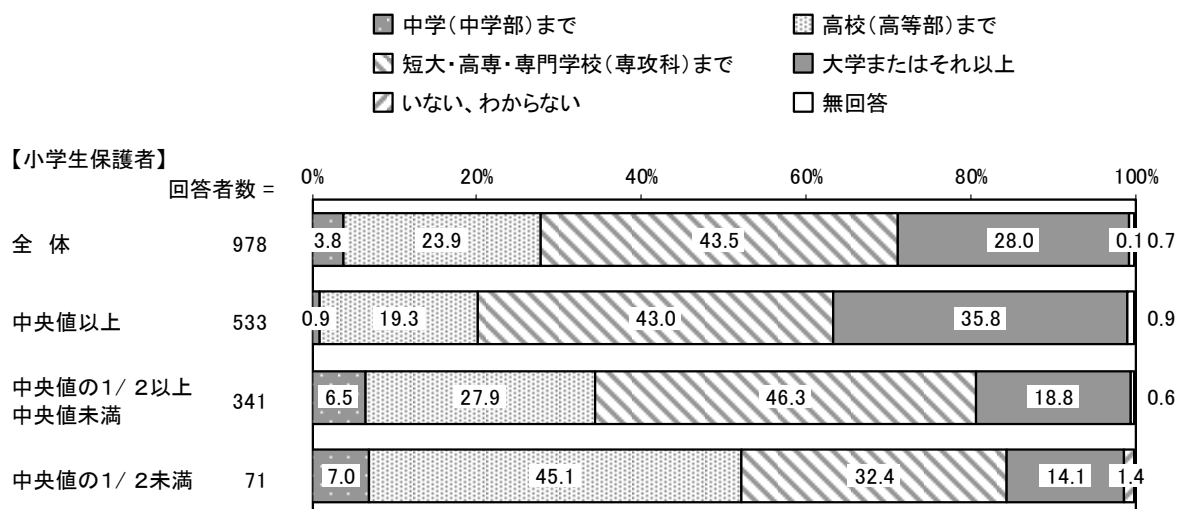
小学生保護者では、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が43.5%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上」の割合が28.0%、「高校（高等部）まで」の割合が23.9%となっています。

中学生保護者では、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が49.5%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の割合が24.1%、「大学またはそれ以上」の割合が22.1%となっています。

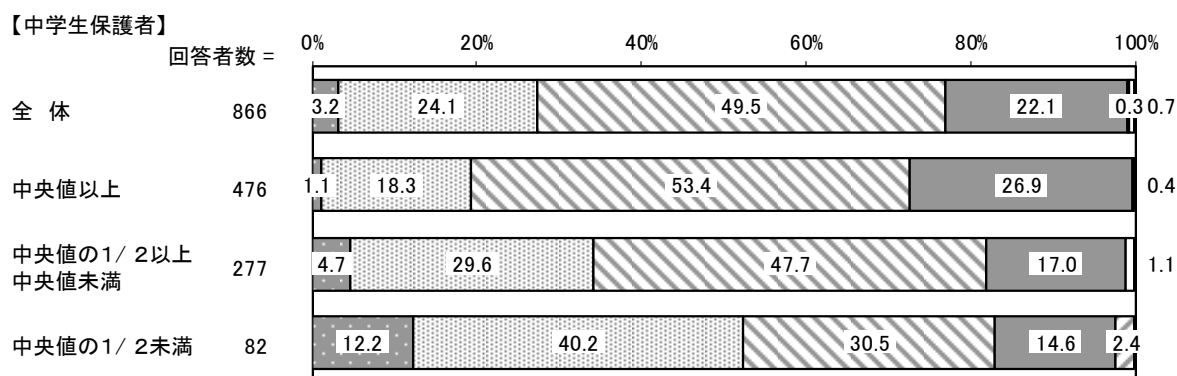


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「高校（高等部）まで」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「中学（中学部）まで」「高校（高等部）まで」の割合が高くなっています。

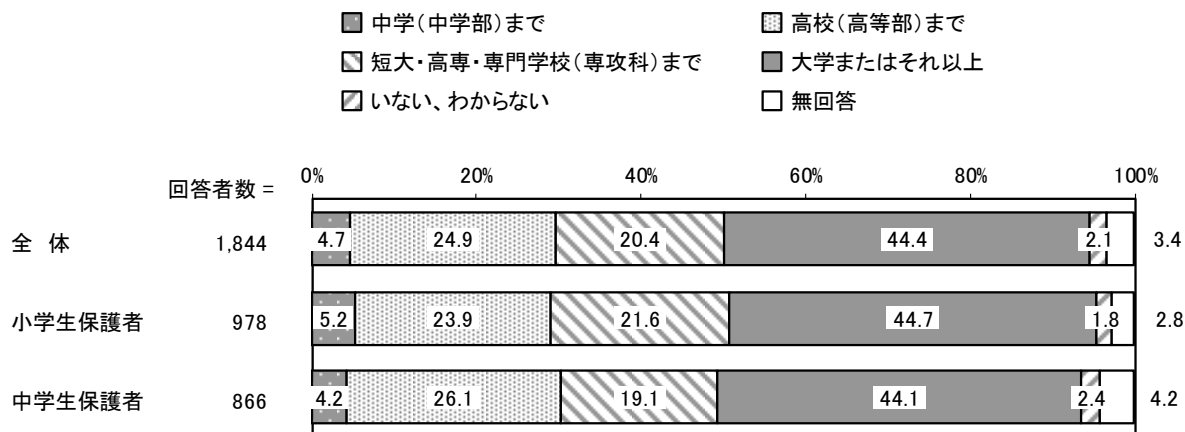


b)父親

全体では、「大学またはそれ以上」の割合が44.4%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の割合が24.9%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が20.4%となっています。

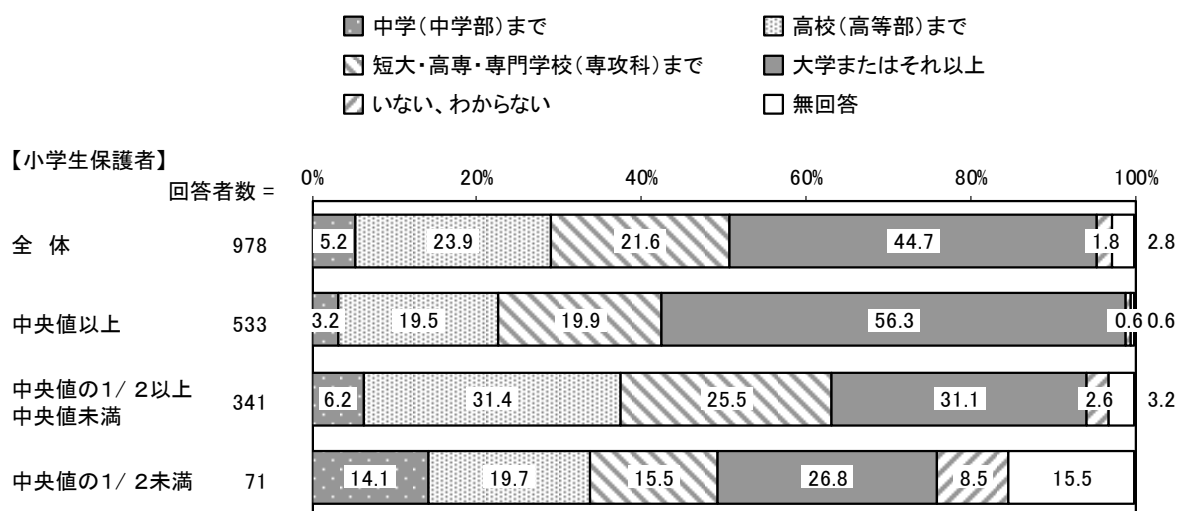
小学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が44.7%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の割合が23.9%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が21.6%となっています。

中学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が44.1%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」の割合が26.1%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が19.1%となっています。

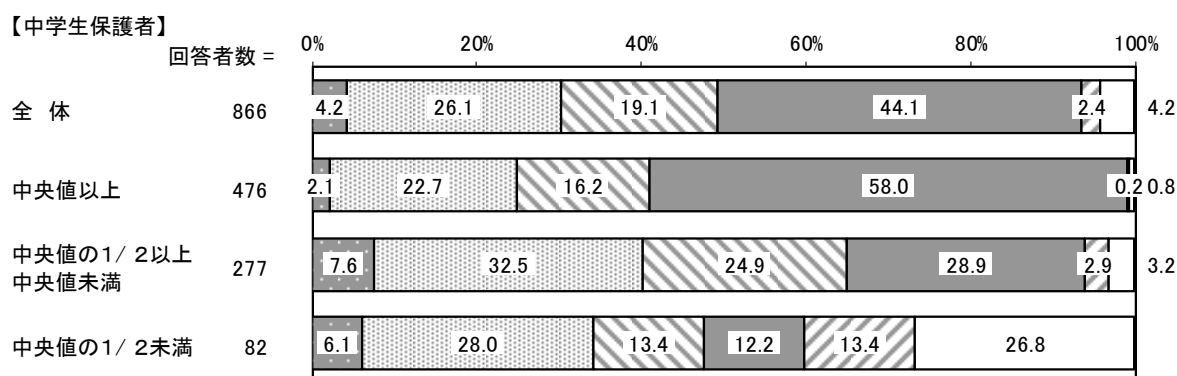


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が、中央値の1/2未満で「中学（中学部）まで」「いない、わからない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が、中央値の1/2未満で「いない、わからない」の割合が高くなっています。



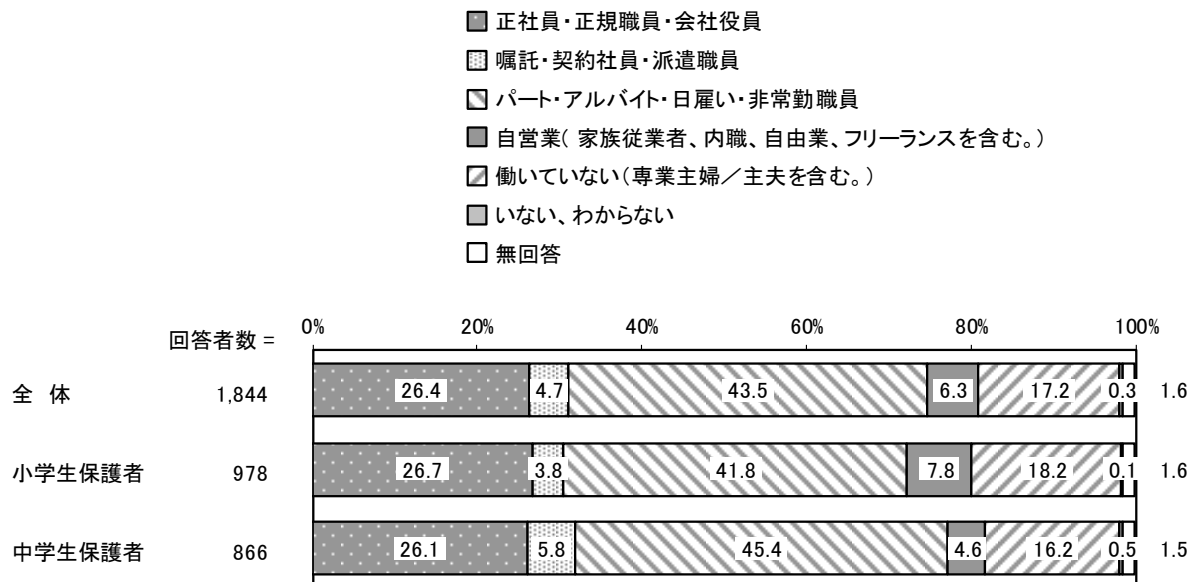
問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a)母親

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が43.5%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が26.4%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む。)」の割合が17.2%となっています。

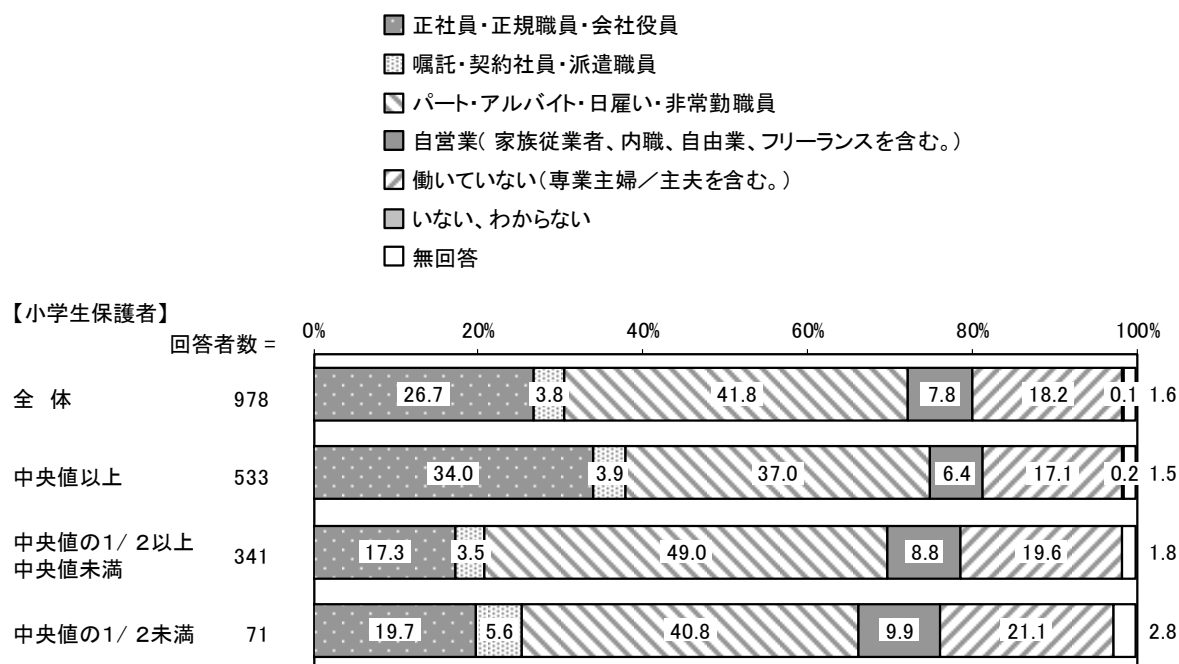
小学生保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が41.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が26.7%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む。)」の割合が18.2%となっています。

中学生保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が45.4%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が26.1%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む。)」の割合が16.2%となっています。

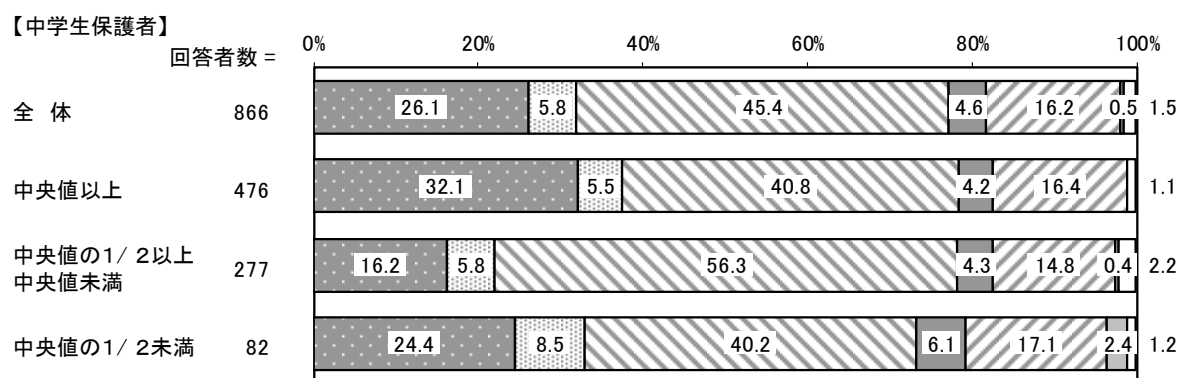


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。

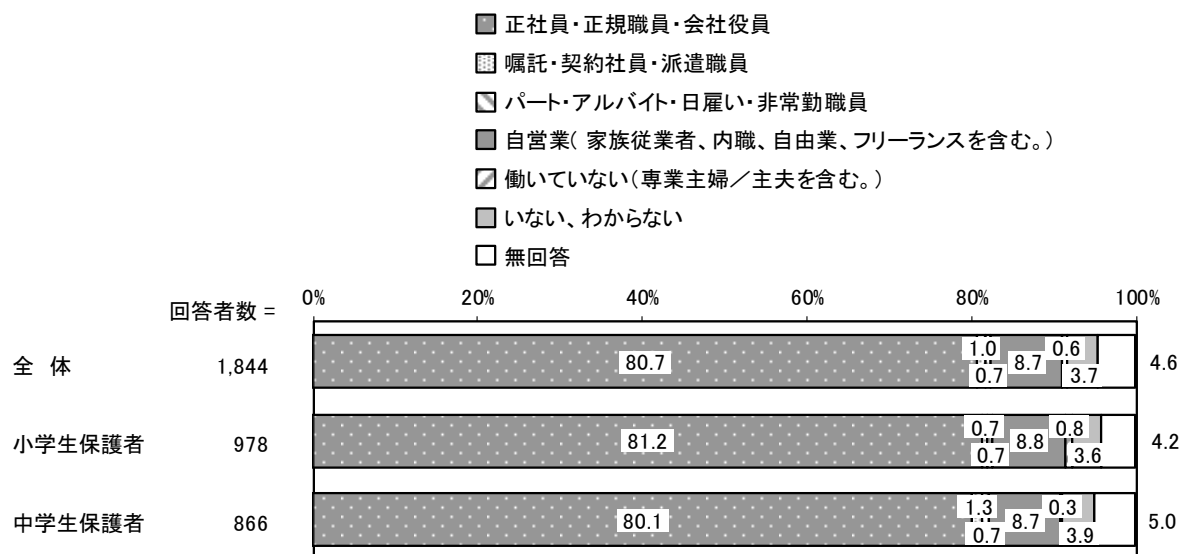


b)父親

全体では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が80.7%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が81.2%と最も高くなっています。

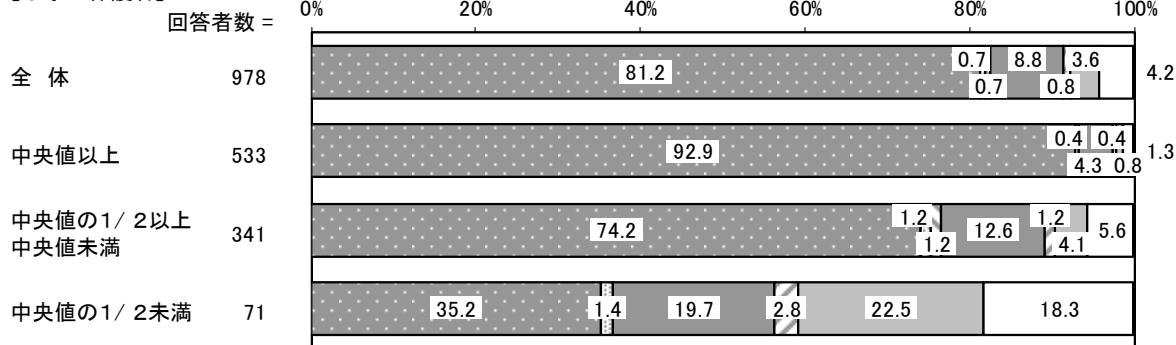
中学生保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が80.1%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

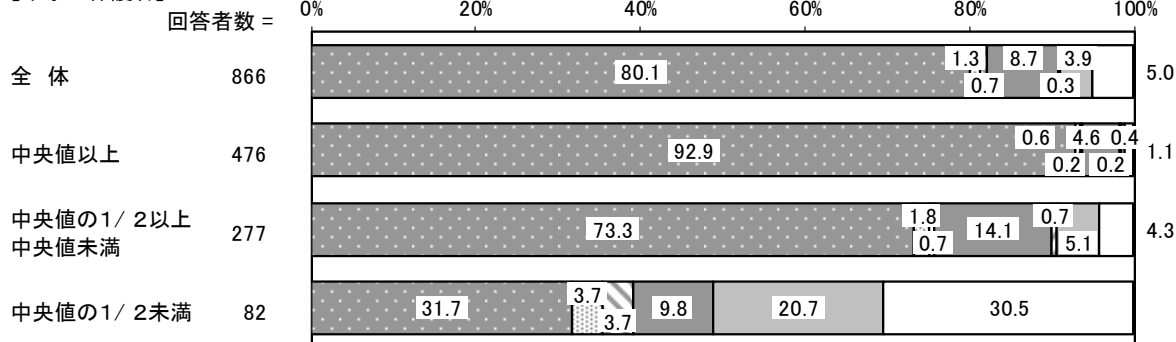
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」 「いない、わからない」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いない、わからない」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



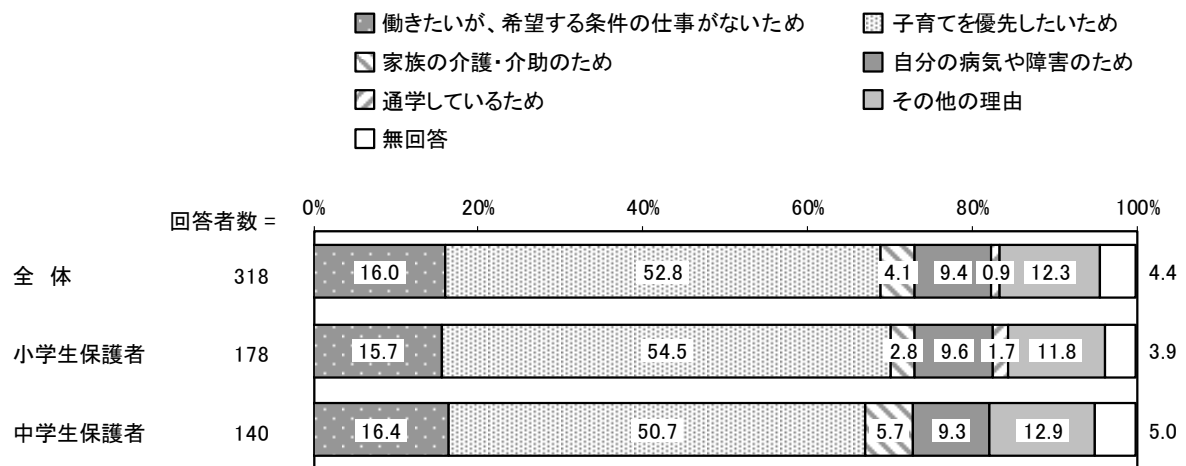
問 10 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a)母親

全体では、「子育てを優先したいため」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 16.0%、「その他の理由」の割合が 12.3%となっています。

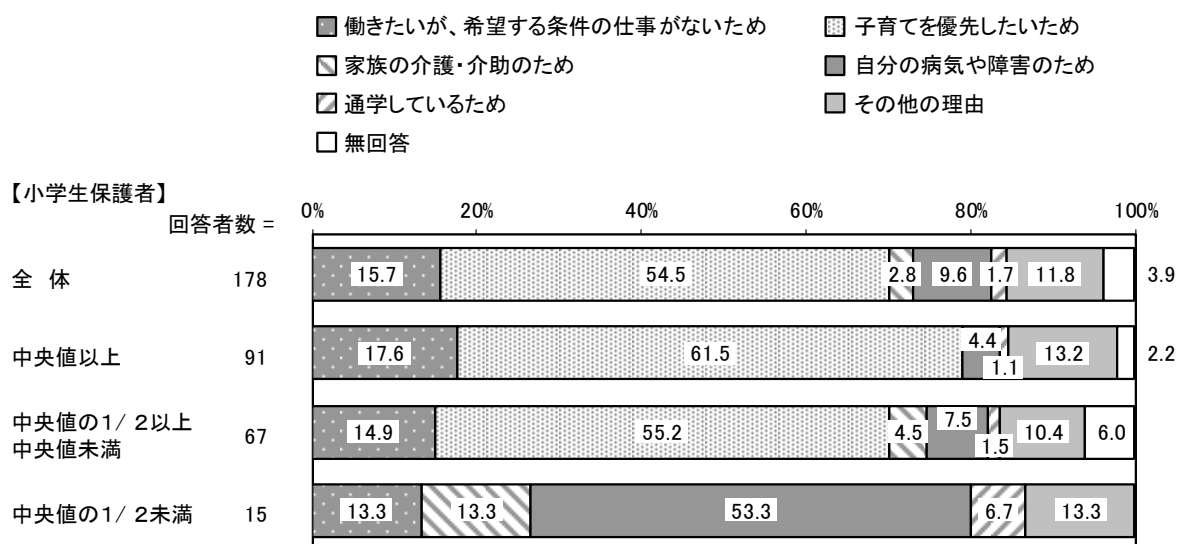
小学生保護者では、「子育てを優先したいため」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 15.7%、「その他の理由」の割合が 11.8%となっています。

中学生保護者では、「子育てを優先したいため」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 16.4%、「その他の理由」の割合が 12.9%となっています。

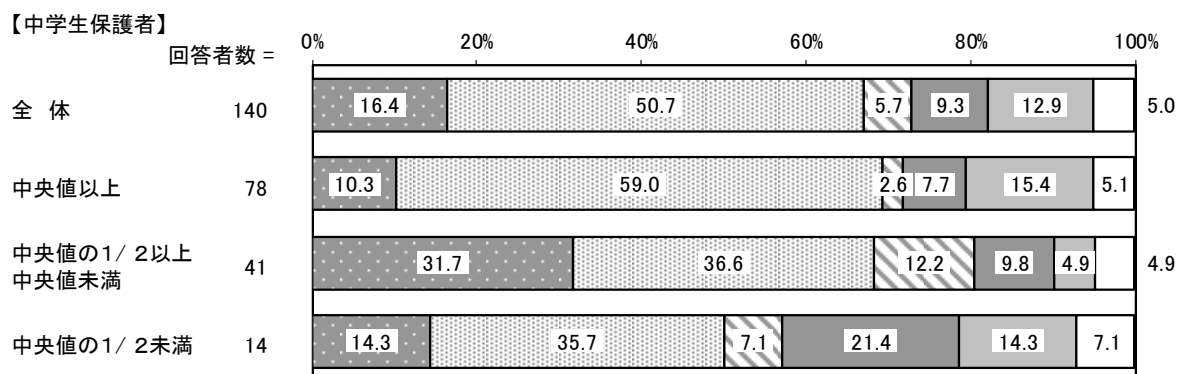


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「子育てを優先したいため」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「自分の病気や障害のため」の割合が高くなっています。また、「子育てを優先したいため」の回答はありませんでした。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「子育てを優先したいため」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が、中央値の1/2未満で「自分の病気や障害のため」の割合が高くなっています。

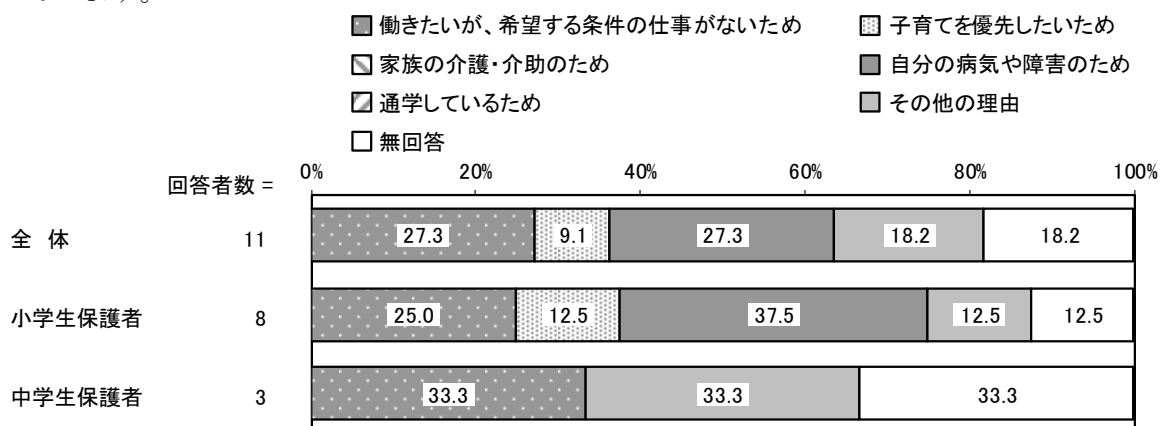


b)父親

全体では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「自分の病気や障害のため」の割合が27.3%と最も高く、次いで「その他の理由」の割合が18.2%となっています。

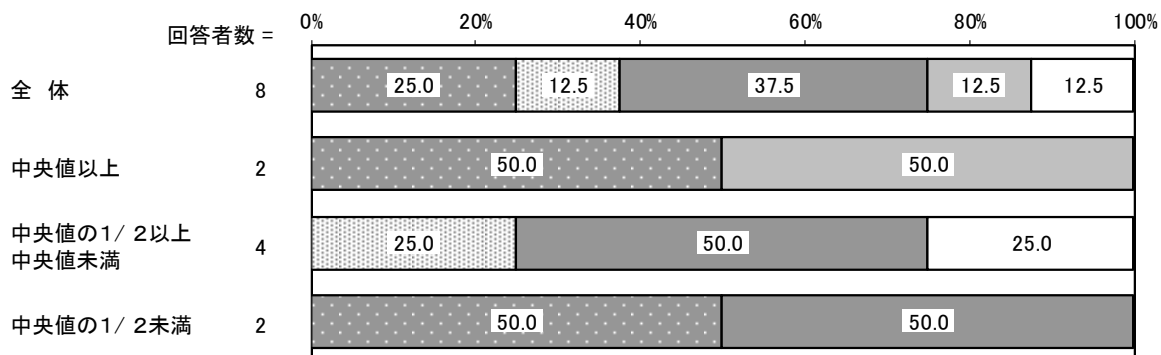
小学生保護者では、「自分の病気や障害のため」が3件となっています。「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が2件、「子育てを優先したいため」「その他の理由」が1件となっています。

中学生保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「その他の理由」が1件となっています。

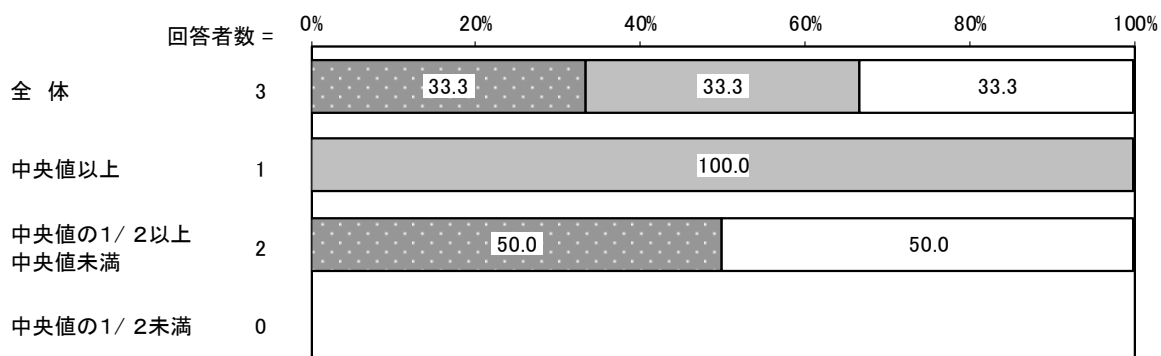


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、中央値の1/2以上中央値未満で「自分の病気や障害のため」が2件となっています。



等価世帯収入の水準別でみると、中央値の1/2以上中央値未満で「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が1件となっています。

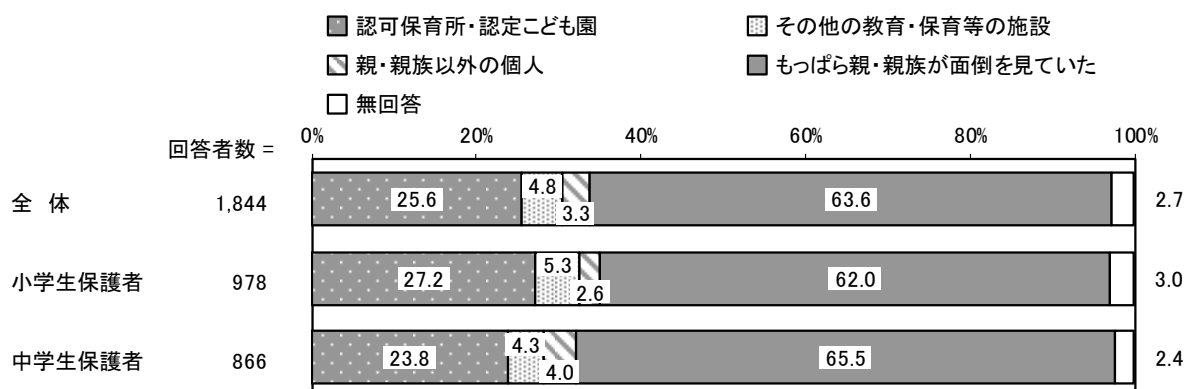


問 11 調査対象のお子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

全体では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」の割合が 25.6%となっています。

小学生保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」の割合が 27.2%となっています。

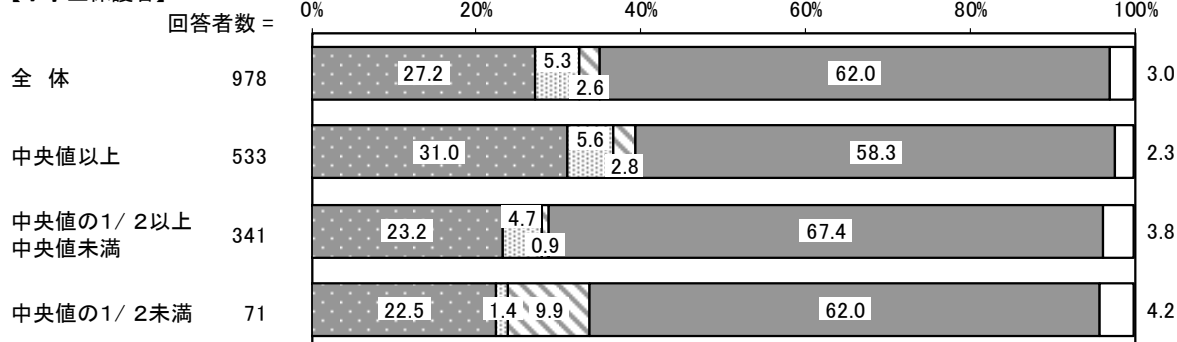
中学生保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」の割合が 23.8%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

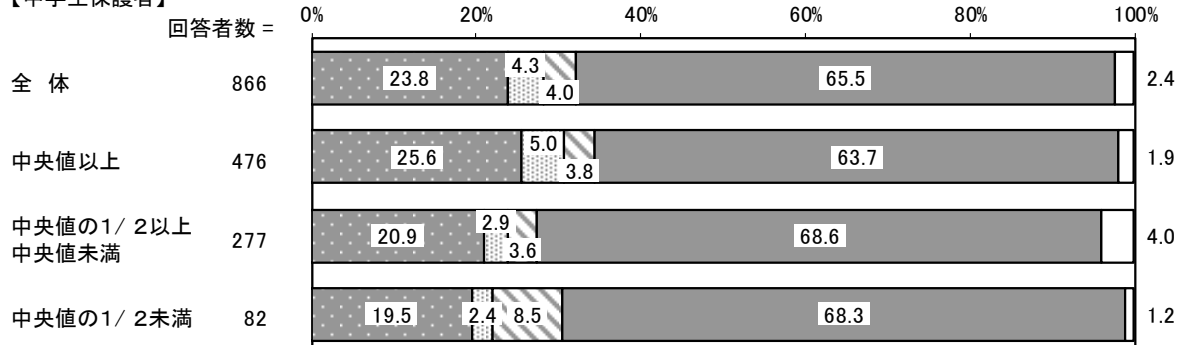
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が、中央値の1/2未満で「親・親族以外の個人」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



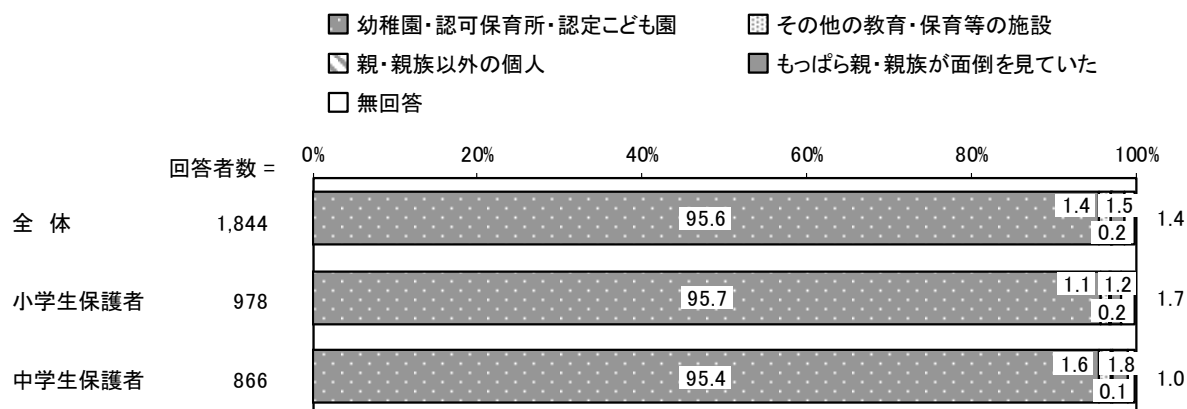
等価世帯収入の水準別でみると、中央値の1/2以上中央値未満、中央値の1/2未満で「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



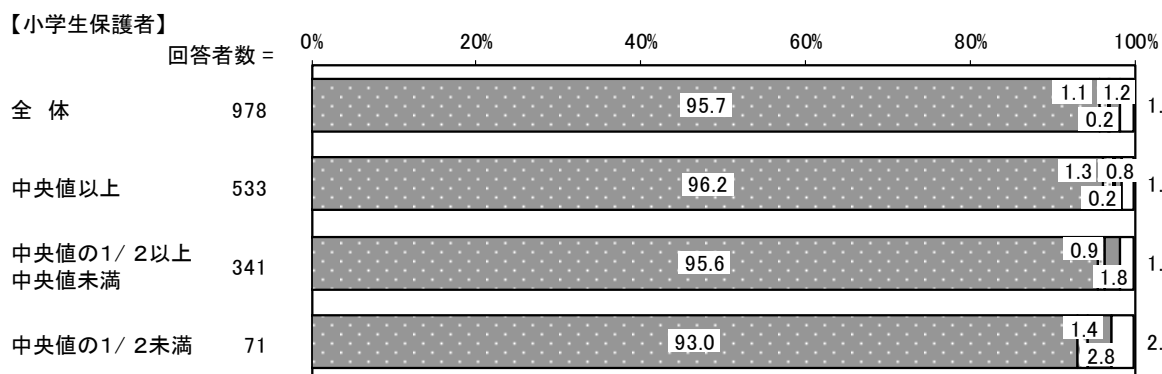
問 12 調査対象のお子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

全体では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が95.6%と最も高くなっています。
 小学生保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が95.7%と最も高くなっています。
 中学生保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が95.4%と最も高くなっています。

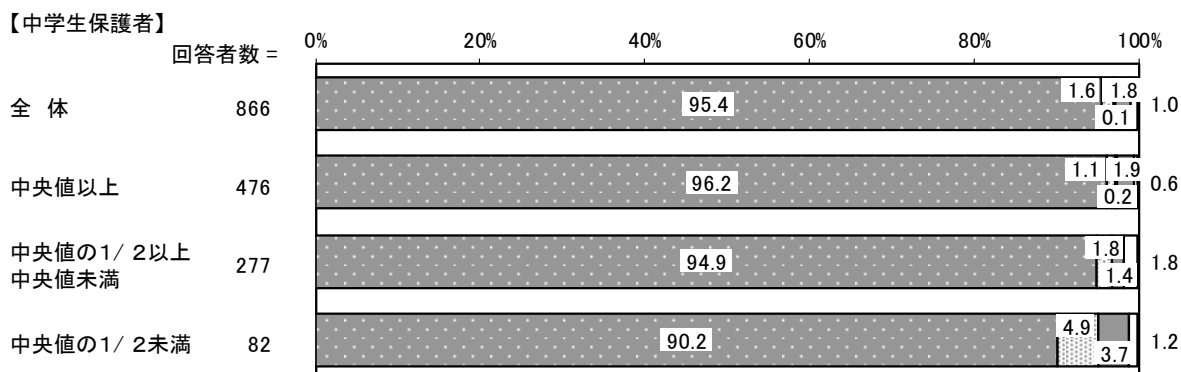


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



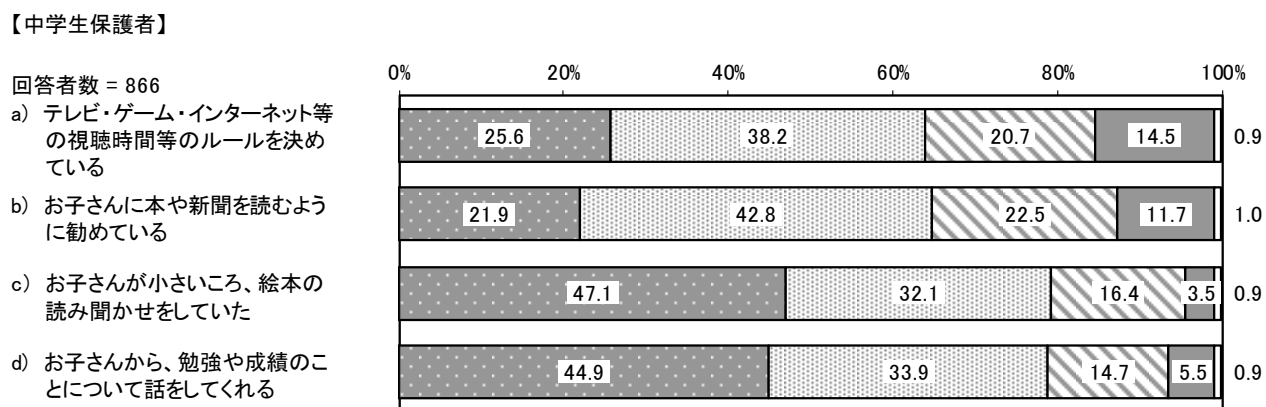
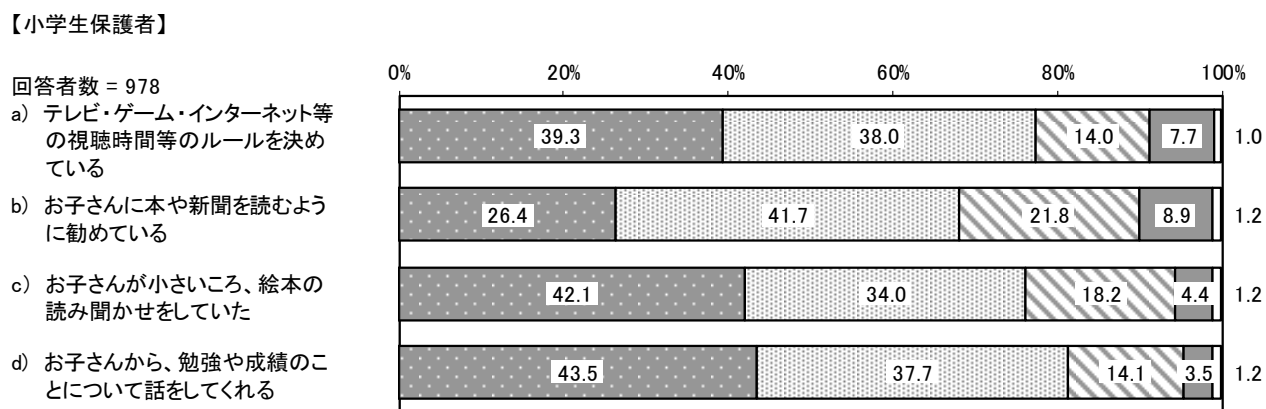
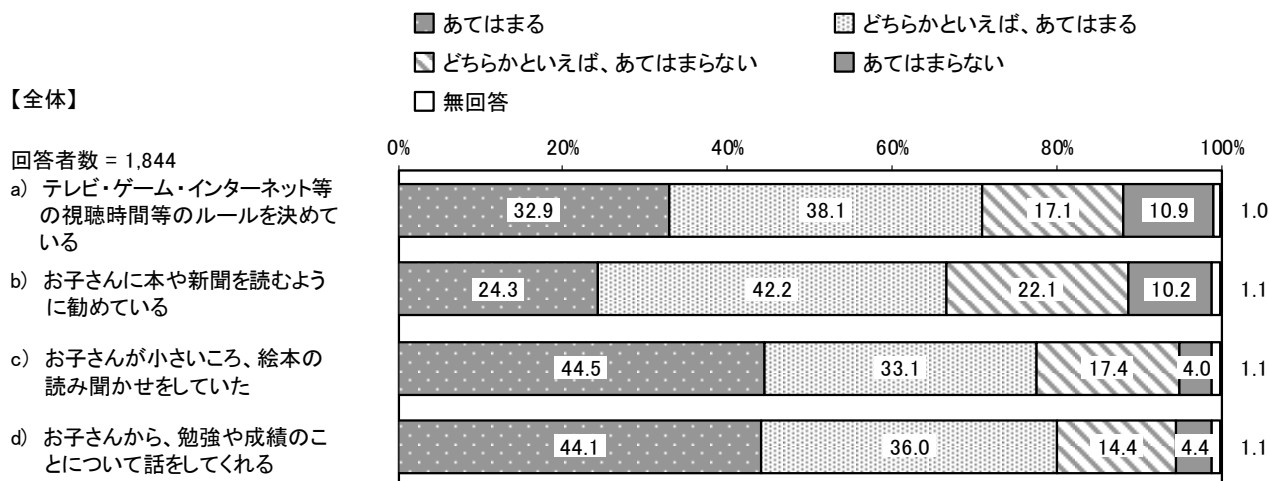
等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



問 13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

全体、中学生保護者ともに、『c)お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』『d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる』で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合が高くなっています。

小学生保護者、中学生保護者ともに、『b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている』で「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。

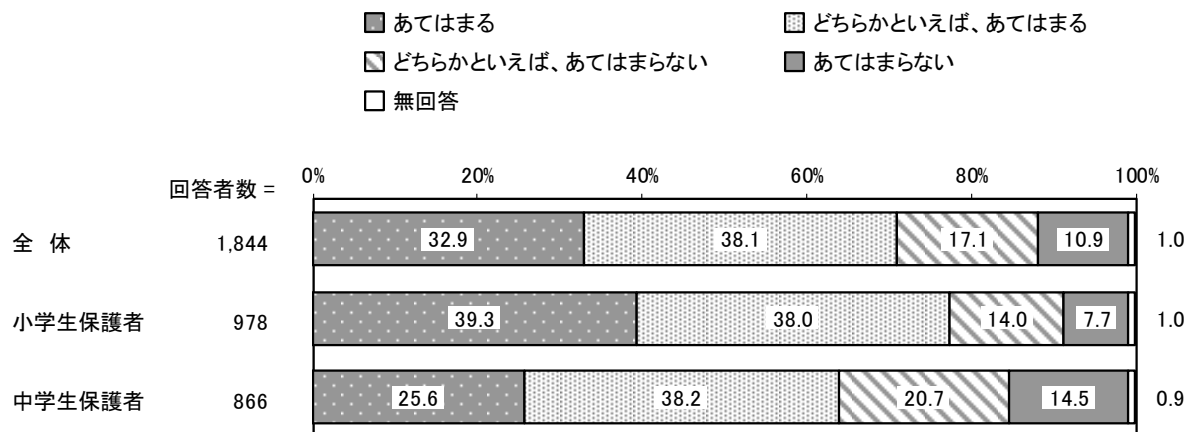


a)テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

全体では、“あてはまる”の割合が71.0%、“あてはまらない”の割合が28.0%となっています。

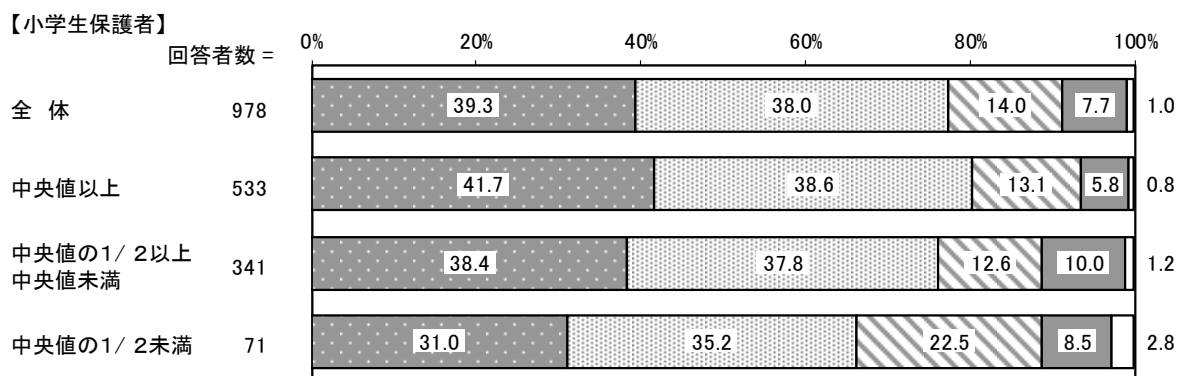
小学生保護者では、“あてはまる”の割合が77.3%、“あてはまらない”の割合が21.7%、となっています。

中学生保護者では、“あてはまる”の割合が63.8%、“あてはまらない”の割合が35.2%、となっています。

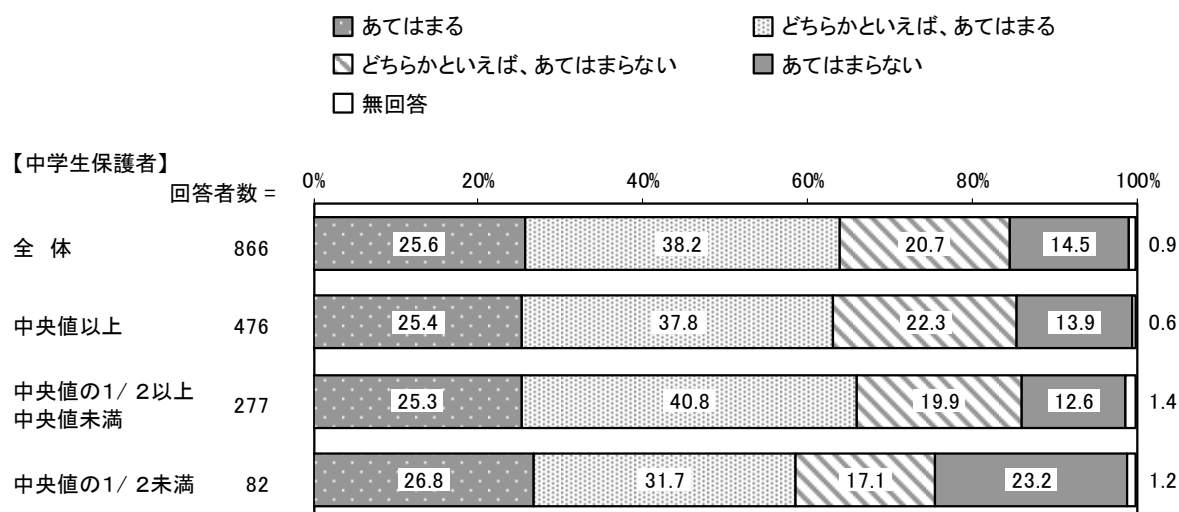


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。

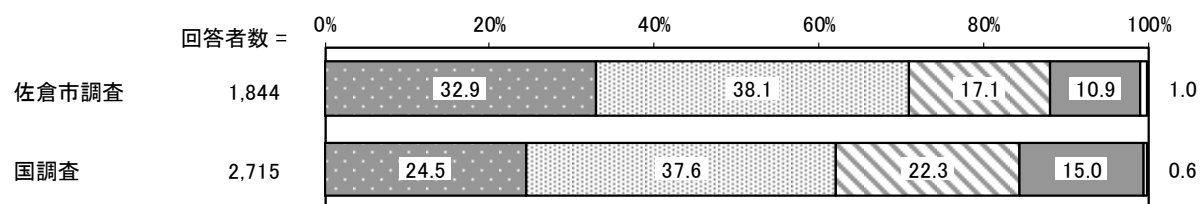


等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



【国比較】

国調査と比較すると、“あてはまる”の割合が高くなっています。



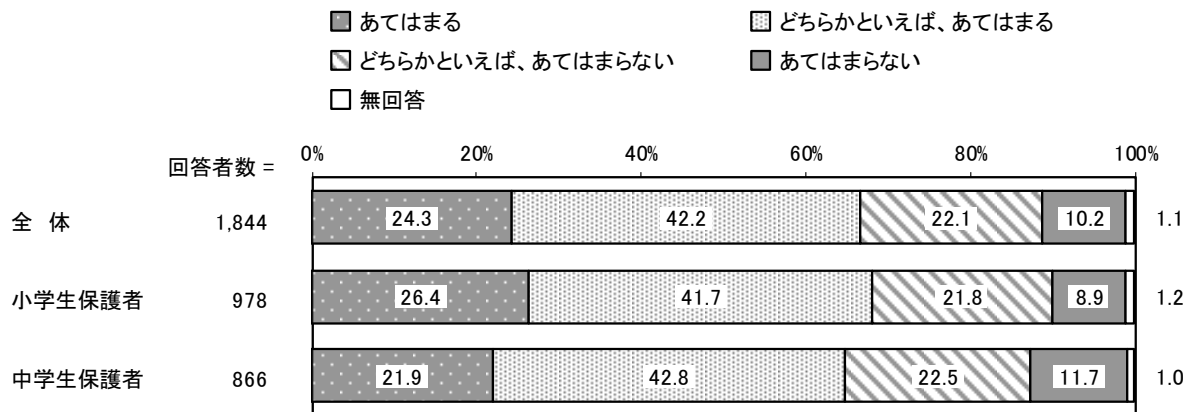
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている

全体では、“あてはまる”の割合が66.5%、“あてはまらない”の割合が32.3%となっています。

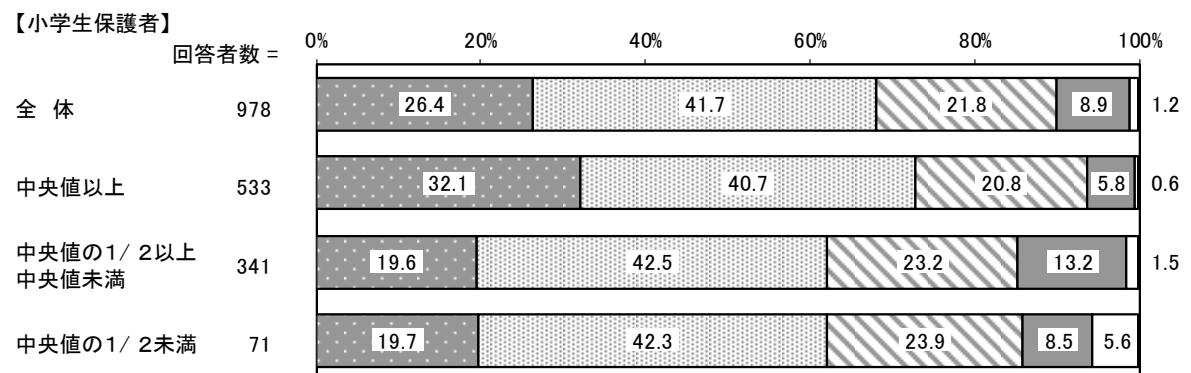
小学生保護者では、“あてはまる”の割合が68.1%、“あてはまらない”の割合が30.7%となっています。

中学生保護者では、“あてはまる”の割合が64.7%、“あてはまらない”の割合が34.2%となっています。

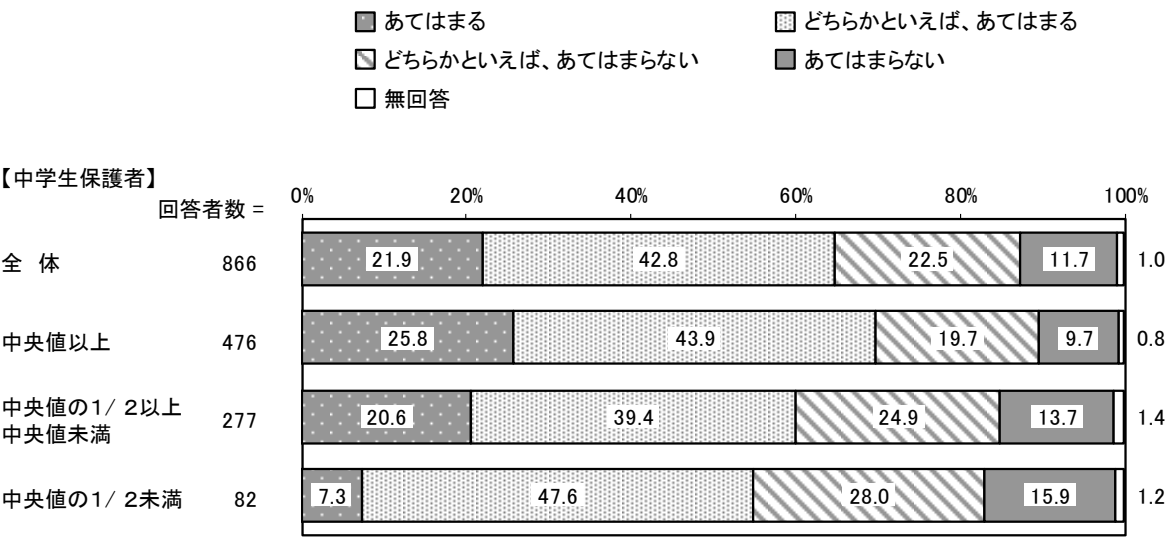


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。

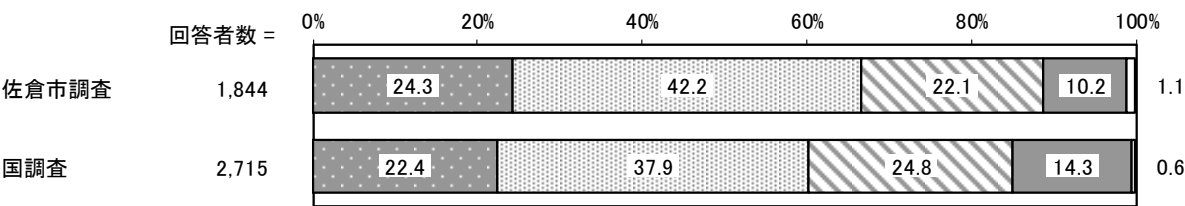


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、“あてはまる”の割合が高くなっています。



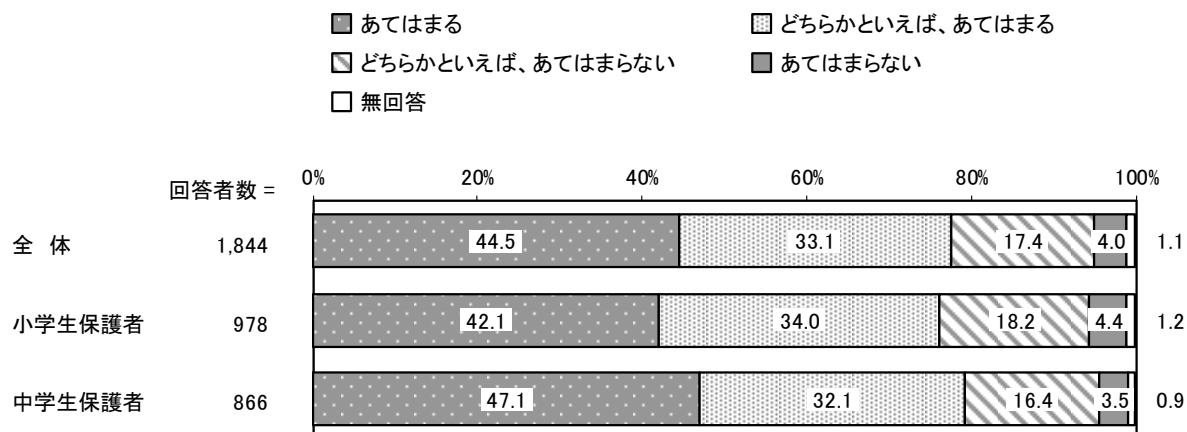
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

c)お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

全体では、“あてはまる”の割合が77.6%、“あてはまらない”の割合が21.4%となっています。

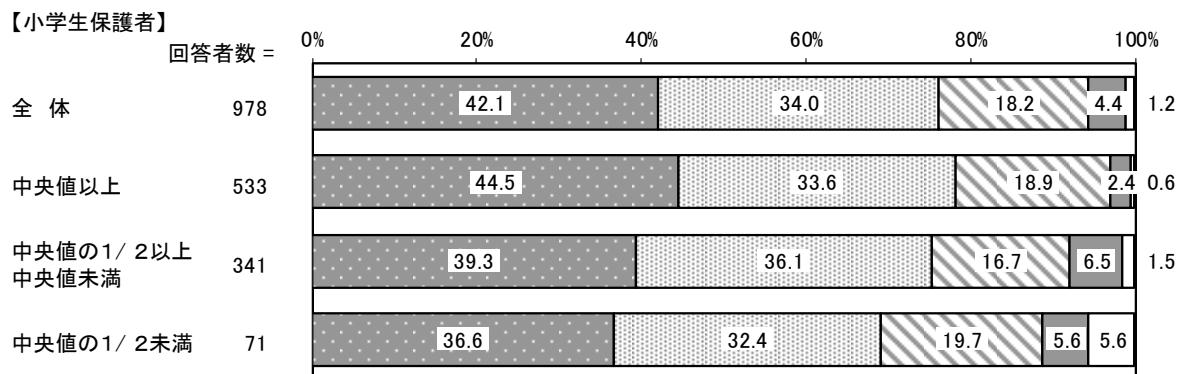
小学生保護者では、“あてはまる”の割合が76.1%、“あてはまらない”の割合が22.6%となっています。

中学生保護者では、“あてはまる”の割合が79.2%、“あてはまらない”の割合が19.9%となっています。

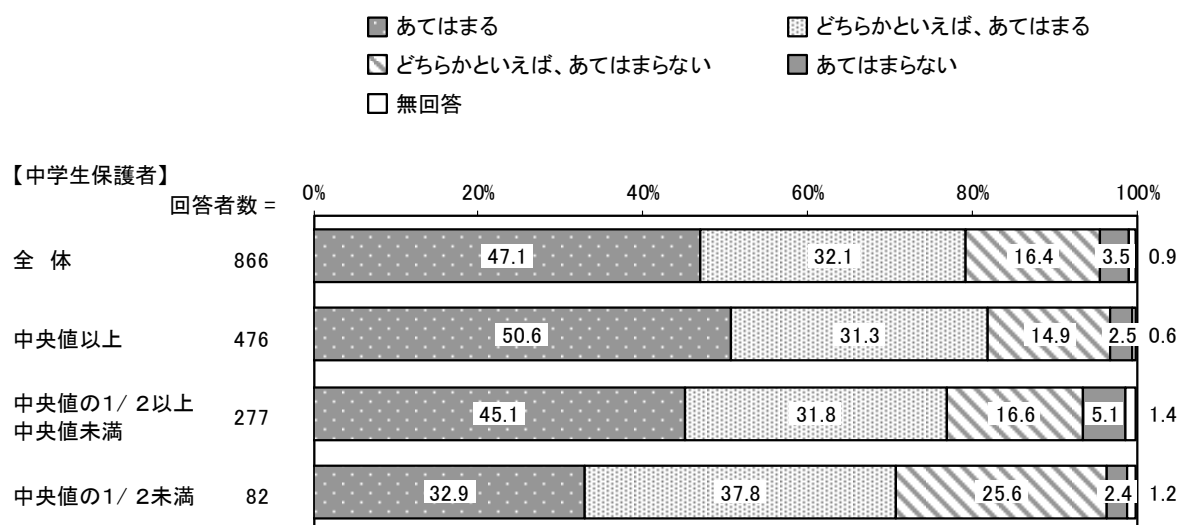


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、中央値以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。

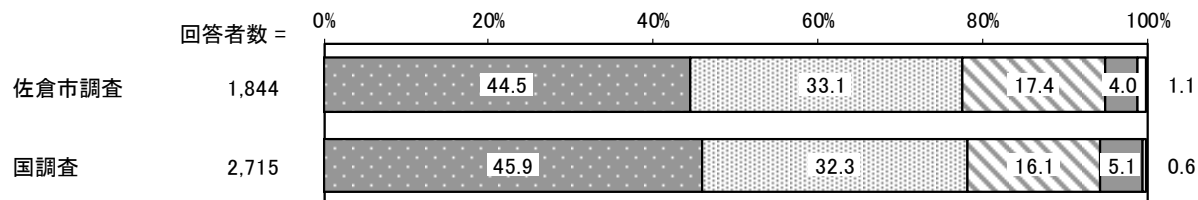


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



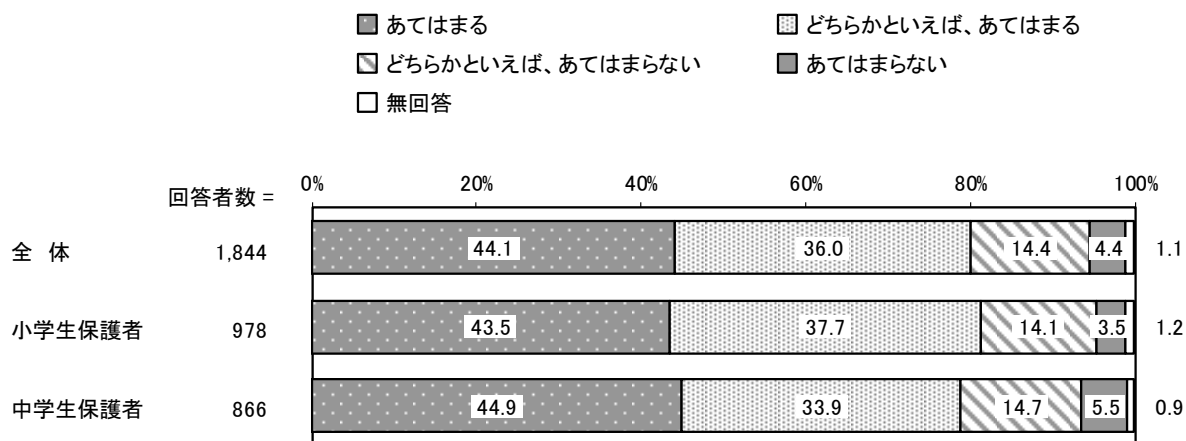
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

全体では、“あてはまる”の割合が80.1%、“あてはまらない”の割合が18.8%となっています。

小学生保護者では、“あてはまる”の割合が81.2%、“あてはまらない”の割合が17.6%となっています。

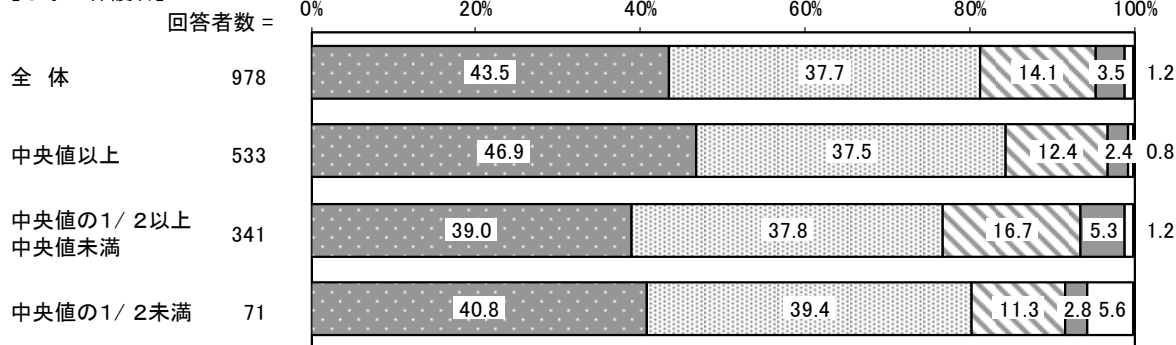
中学生保護者では、“あてはまる”の割合が78.8%、“あてはまらない”の割合が20.2%となっています。



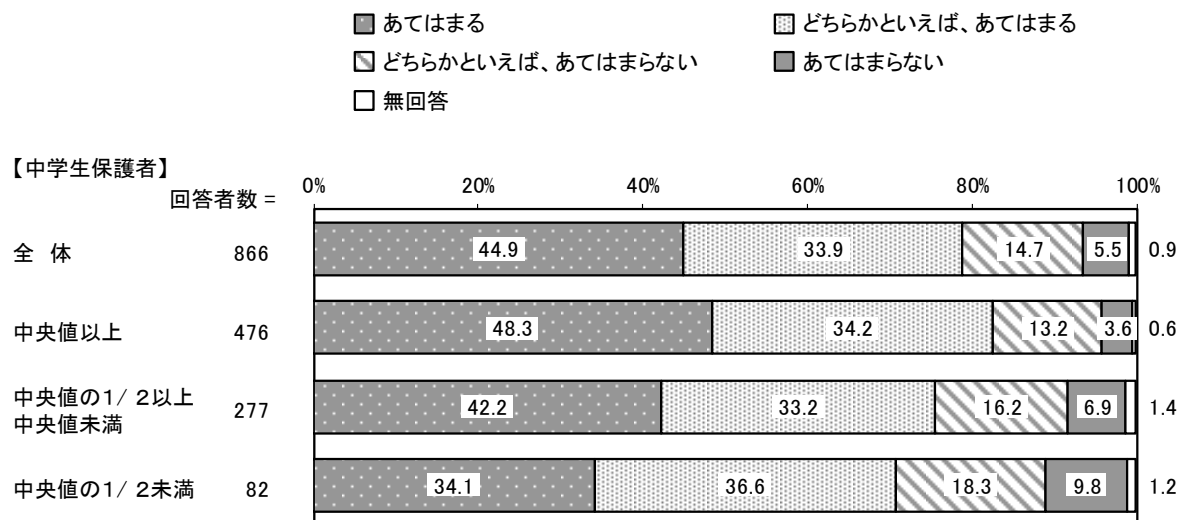
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】

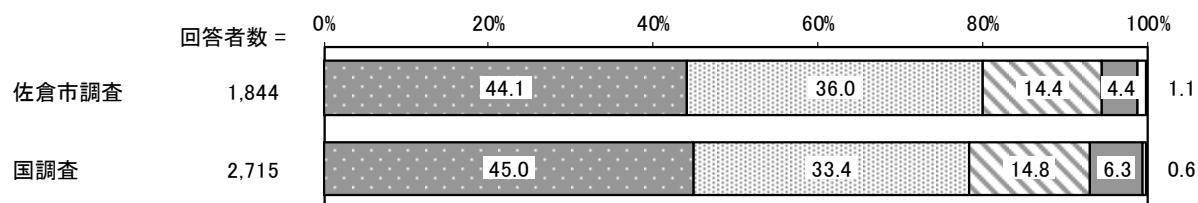


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（あてはまるもの1つに○）

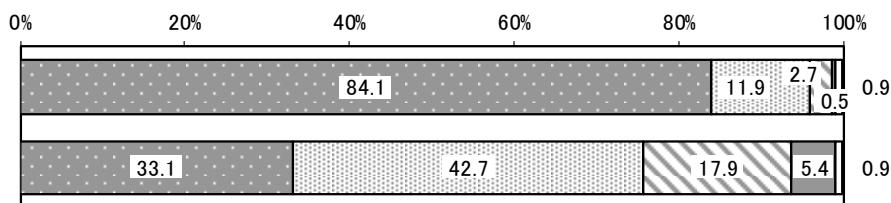
全体、小学生保護者、中学生保護者ともに『a)授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”の割合が、『b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた“参加していない”の割合が高くなっています。

■ よく参加している ■ とときどき参加している ■ あまり参加していない
■ まったく参加していない □ 無回答

【全体】

回答者数 = 1,844

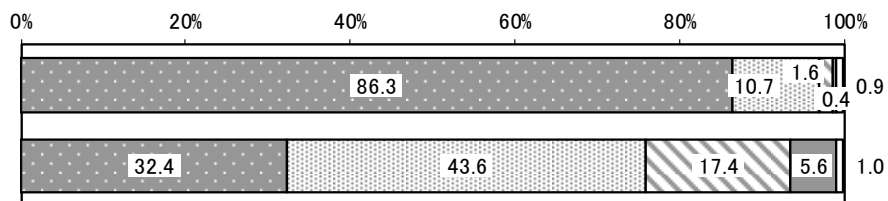
- a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加



【小学生保護者】

回答者数 = 978

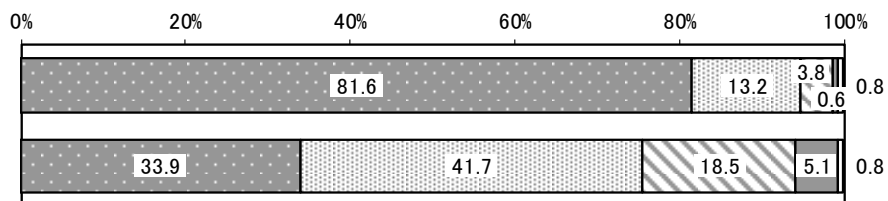
- a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加



【中学生保護者】

回答者数 = 866

- a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

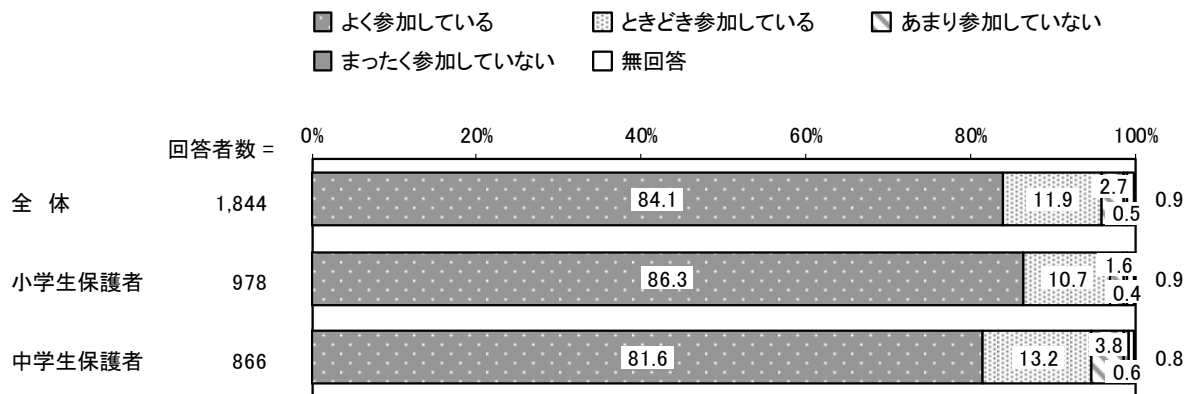


a)授業参観や運動会などの学校行事への参加

全体では、“参加している”の割合が96.0%、“参加していない”の割合が3.2%となっています。

小学生保護者では、“参加している”の割合が97.0%、“参加していない”の割合が2.0%となっています。

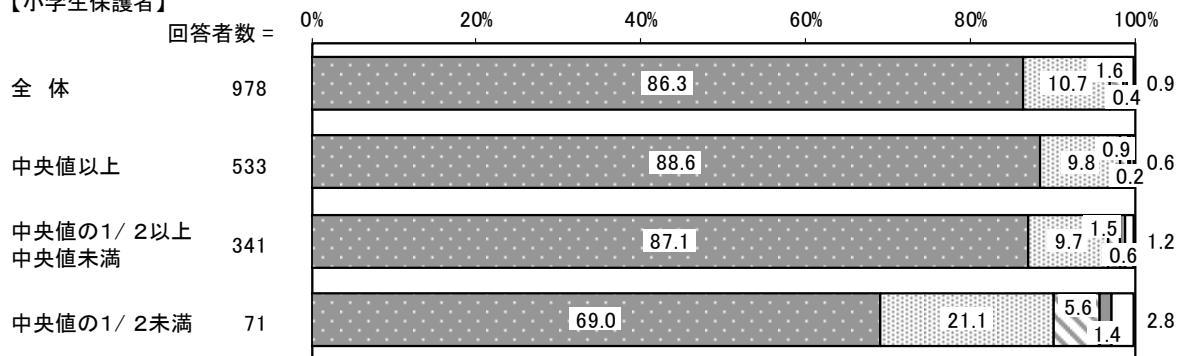
中学生保護者では、“参加している”の割合が94.8%、“参加していない”の割合が4.4%となっています。



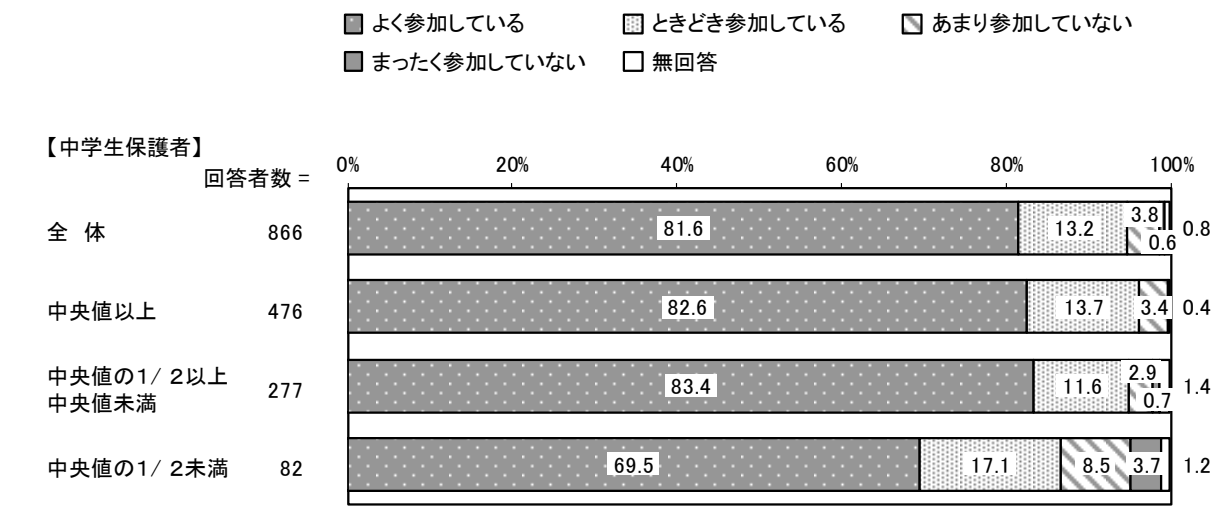
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上、中央値の1/2以上中央値未満で“参加している”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】

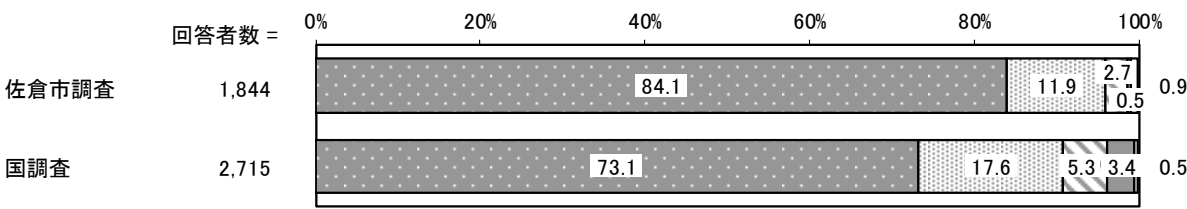


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“参加していない”の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、“参加している”の割合が高くなっています。



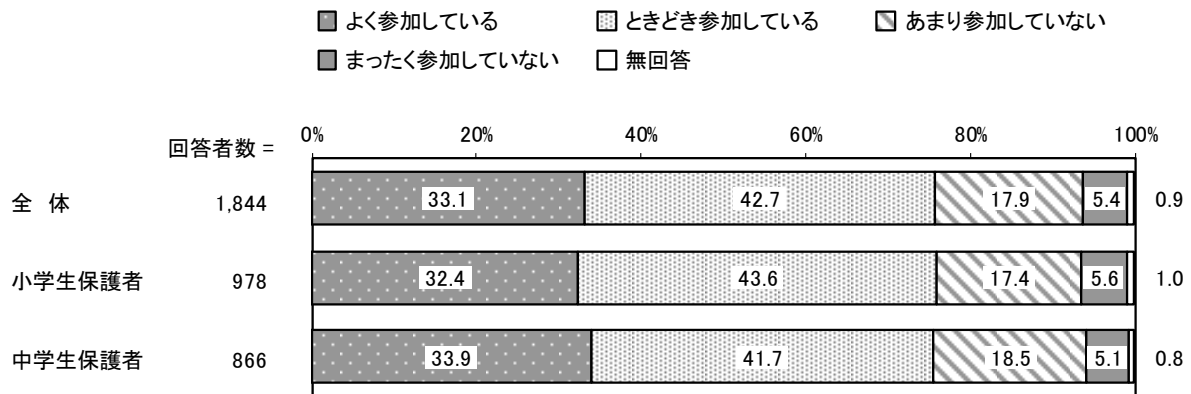
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

全体では、“参加している”の割合が75.8%、“参加していない”の割合が23.3%となっています。

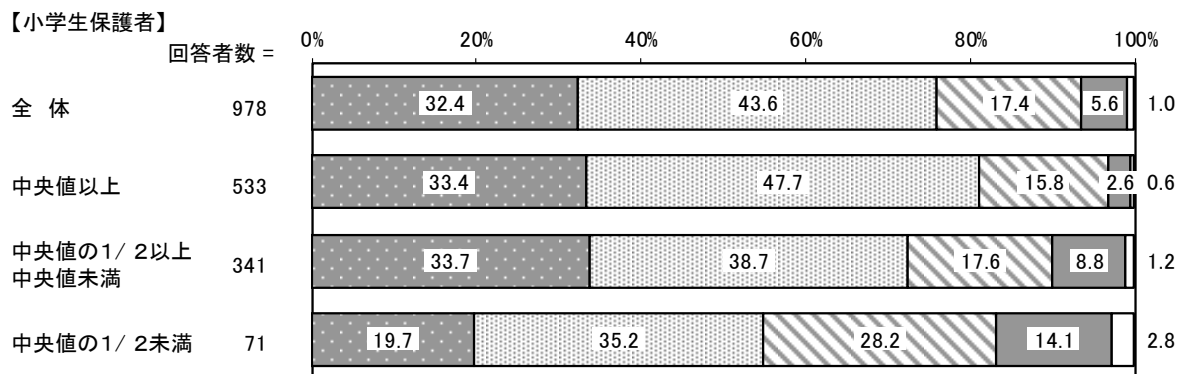
小学生保護者では、“参加している”の割合が76.0%、“参加していない”の割合が23.0%となっています。

中学生保護者では、“参加している”の割合が75.6%、“参加していない”の割合が23.6%となっています。

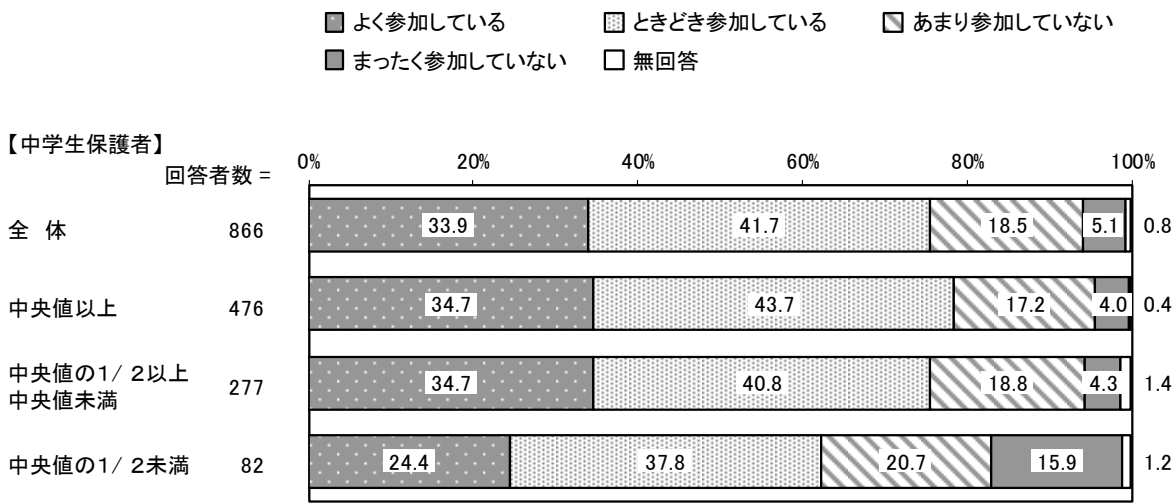


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“参加している”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“参加していない”の割合が高くなっています。

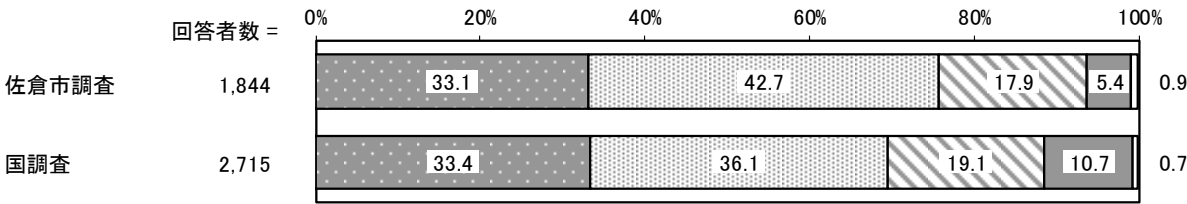


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で“参加していない”の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、“参加している”の割合が高くなっています。



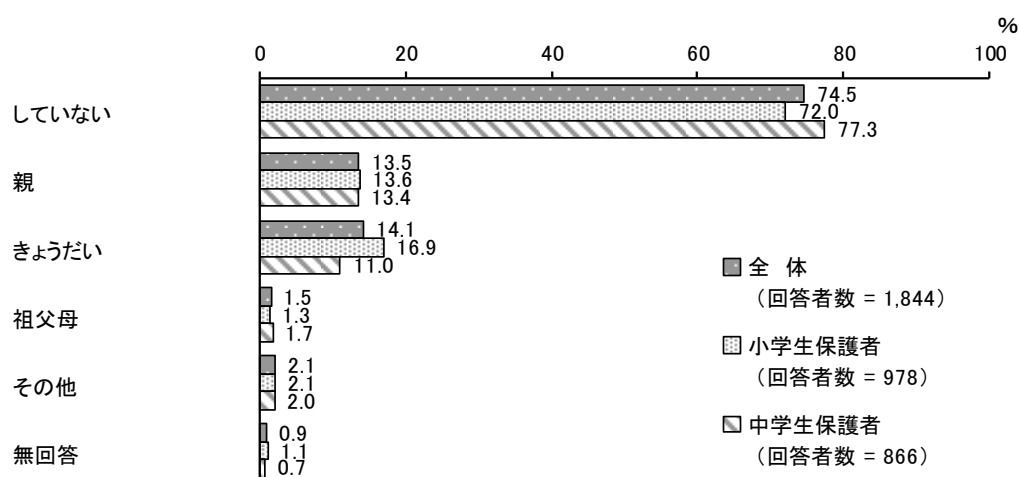
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

**問 15 お子さんは、ふだん（月曜日～日曜日）家族のお世話をしていますか。
している場合、誰に対してお世話をしていますか。（あてはまるもの全てに○）**

全体では、「していない」の割合が74.5%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が14.1%、「親」の割合が13.5%となっています。

小学生保護者では、「していない」の割合が72.0%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が16.9%、「親」の割合が13.6%となっています。

中学生保護者では、「していない」の割合が77.3%と最も高く、次いで「親」の割合が13.4%、「きょうだい」の割合が11.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：％

	回答者数 (件)	していない	親	きょうだい	祖父母	その他	無回答
【小学生保護者】							
全 体	978	72.0	13.6	16.9	1.3	2.1	1.1
中央値以上	533	74.3	13.9	14.8	1.1	2.6	0.8
中央値の1/2以上中央値未満	341	67.4	13.8	21.1	1.5	1.8	1.2
中央値の1/2未満	71	74.6	11.3	15.5	1.4	—	2.8

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「していない」の割合が高くなっています。

単位：％

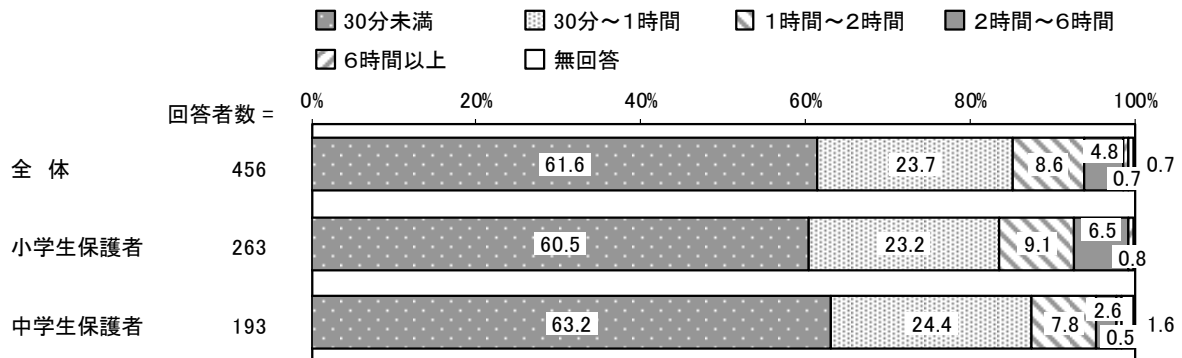
【中学生保護者】	回答者数 (件)	していない	親	きょうだい	祖父母	その他	無回答
全 体	866	77.3	13.4	11.0	1.7	2.0	0.7
中央値以上	476	79.6	12.8	9.7	1.5	1.9	0.6
中央値の 1 / 2 以上中央値未満	277	74.0	15.5	12.3	1.8	2.2	0.4
中央値の 1 / 2 未満	82	72.0	13.4	12.2	3.7	2.4	2.4

問 16 前の質問で「親」～「その他」と答えた人にお聞きします。
お世話する1日の時間はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「30分未満」の割合が61.6%と最も高く、次いで「30分～1時間」の割合が23.7%となっています。

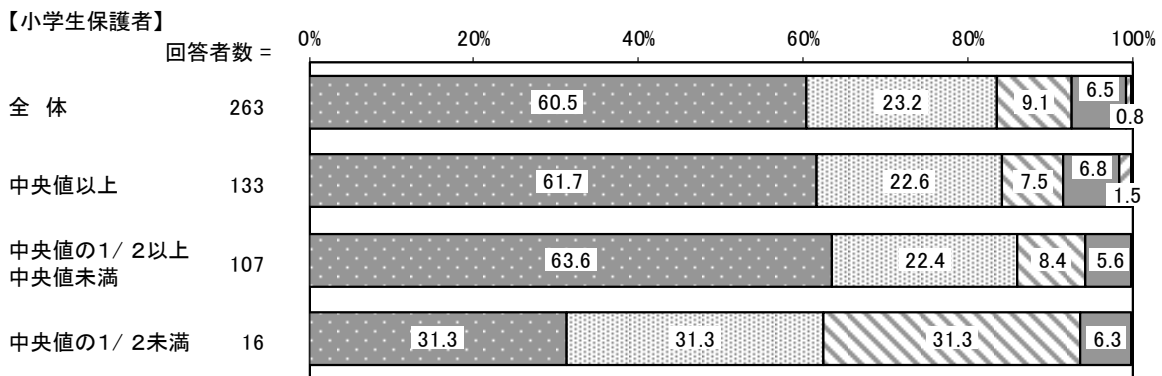
小学生保護者では、「30分未満」の割合が60.5%と最も高く、次いで「30分～1時間」の割合が23.2%となっています。

中学生保護者では、「30分未満」の割合が63.2%と最も高く、次いで「30分～1時間」の割合が24.4%となっています。

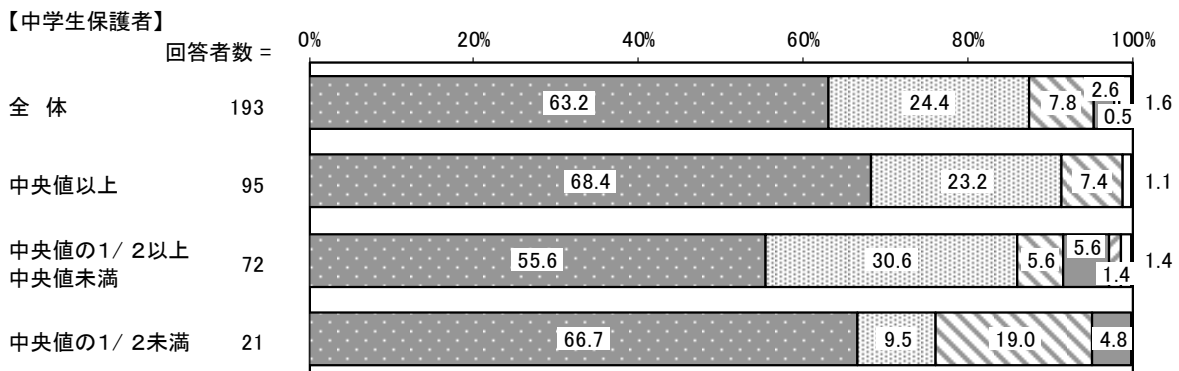


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「30分～1時間」「1時間～2時間」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「30分～1時間」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「1時間～2時間」の割合が高くなっています。

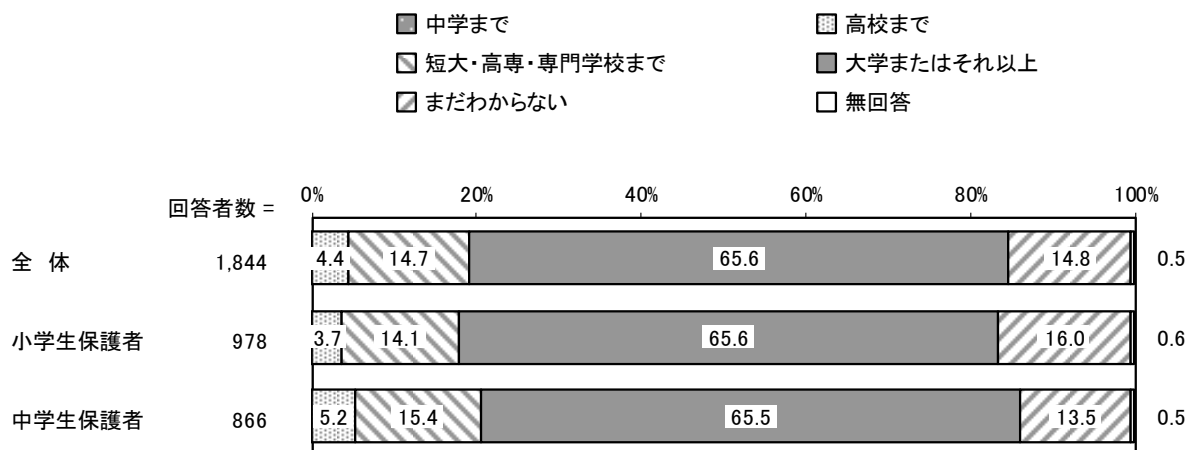


問 17 希望として、お子さんを将来どの段階まで進学させたいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

全体では、「大学またはそれ以上」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 14.8%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 14.7%となっています。

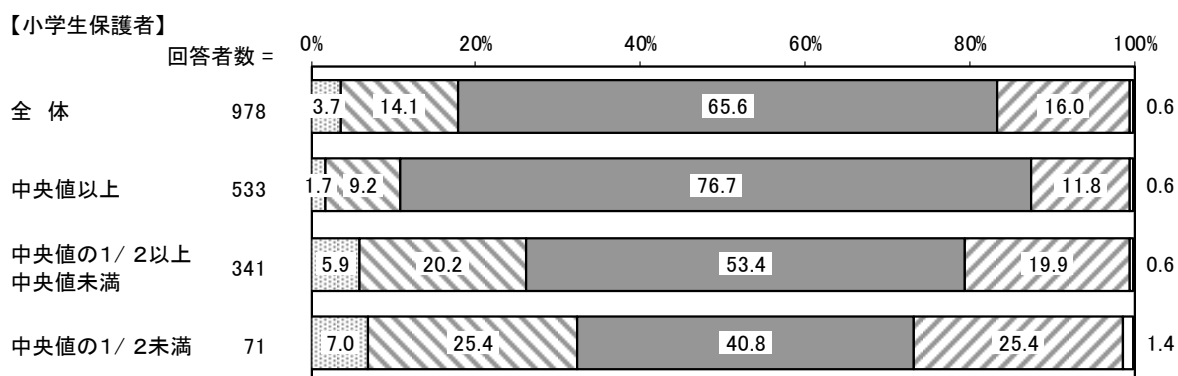
小学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 16.0%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 14.1%となっています。

中学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が 15.4%、「まだわからない」の割合が 13.5%となっています。

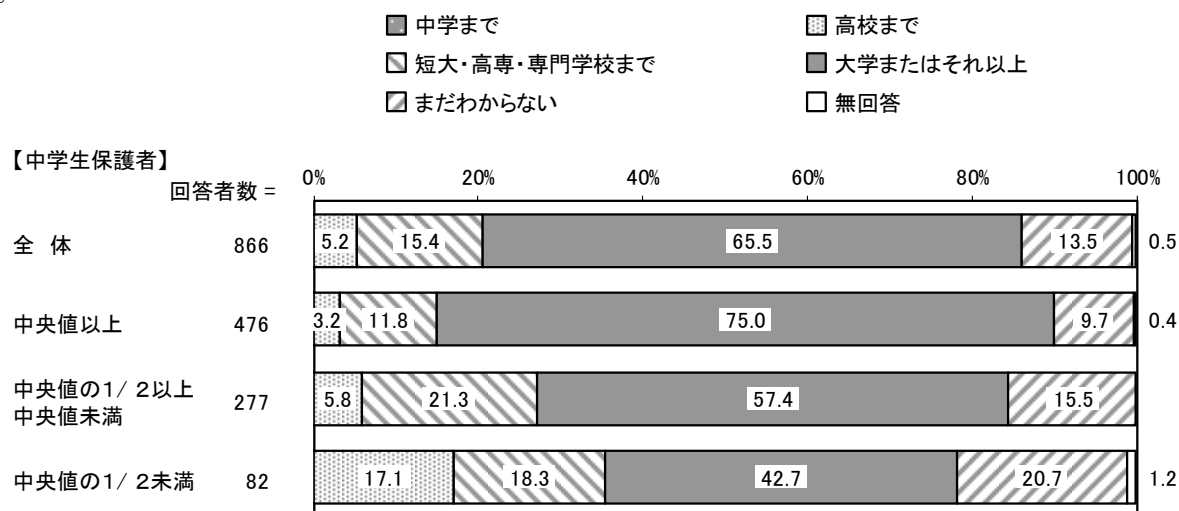


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「短大・高専・専門学校まで」「まだわからない」の割合が高くなっています。

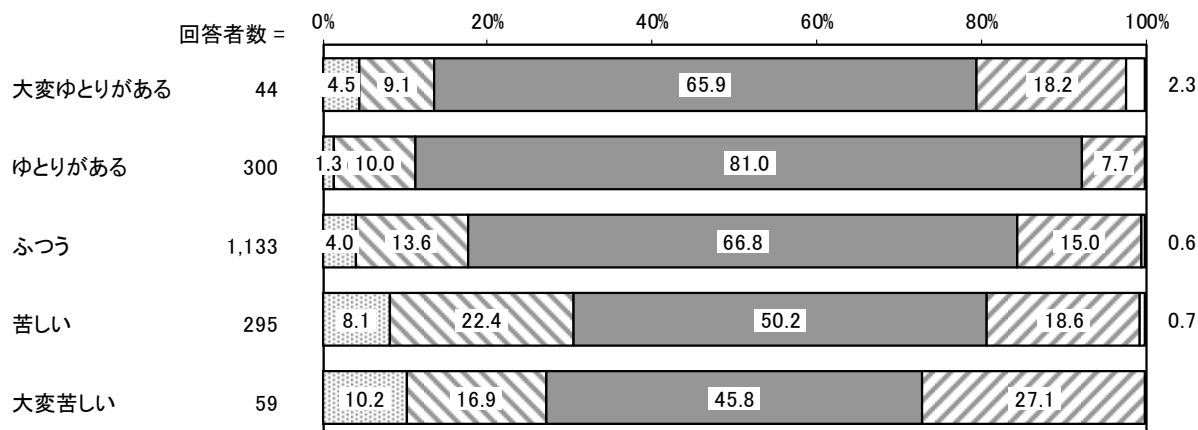


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。中央値の1/2未満で「高校まで」「まだわからない」の割合が高くなっています。



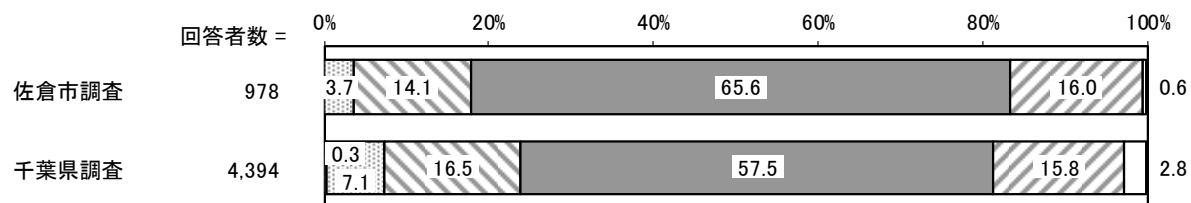
【暮らしの状況別】

暮らしの状況別でみると、他に比べ、ゆとりがあるで「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、苦しいで「短大・高専・専門学校まで」の割合が、大変苦しいで「まだわからない」の割合が高くなっています。



【県比較(小学生保護者)】

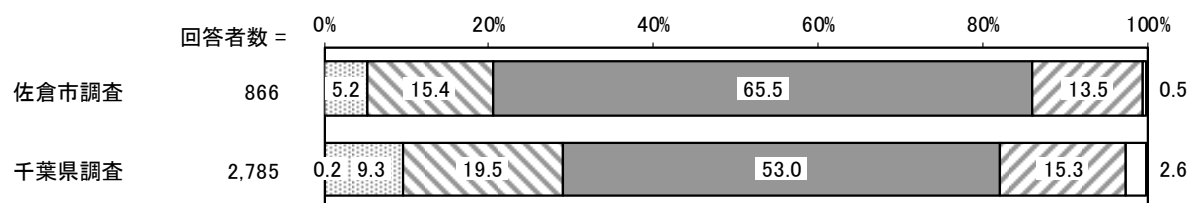
千葉県調査と比較すると、「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

【県比較(中学生保護者)】

千葉県調査と比較すると、「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



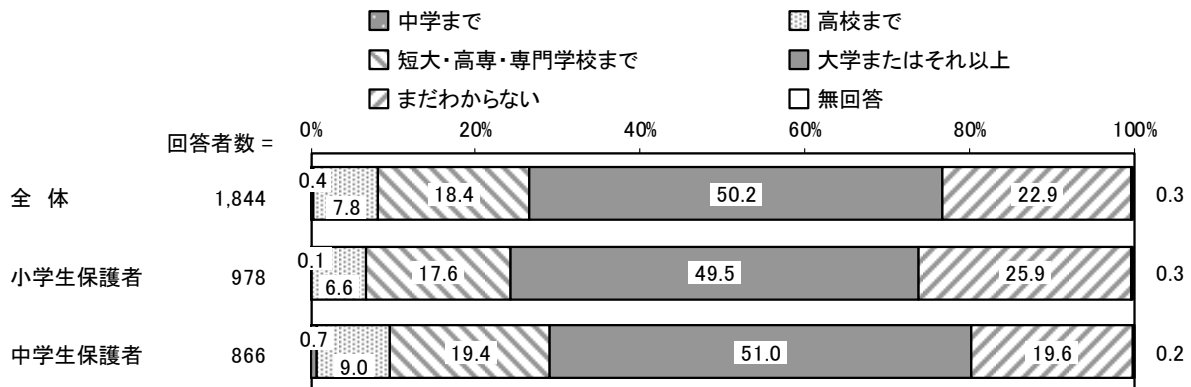
※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

問 18 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

全体では、「大学またはそれ以上」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 22.9%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 18.4%となっています。

小学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 25.9%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 17.6%となっています。

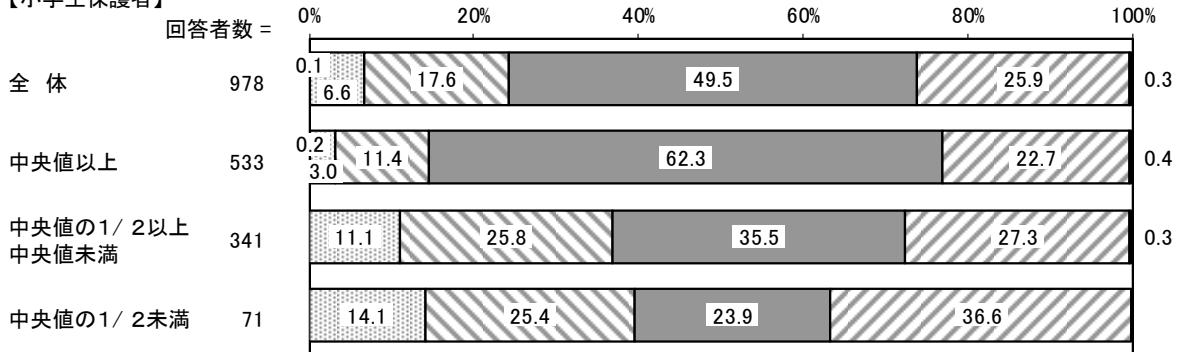
中学生保護者では、「大学またはそれ以上」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 19.6%、「短大・高専・専門学校まで」の割合が 19.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

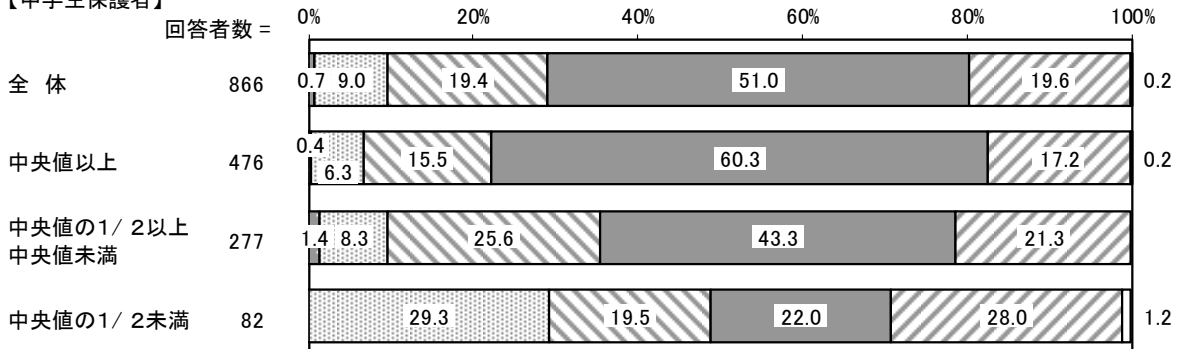
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「まだわからない」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「短大・高専・専門学校まで」の割合が、中央値の1/2未満で「高校まで」「まだわからない」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

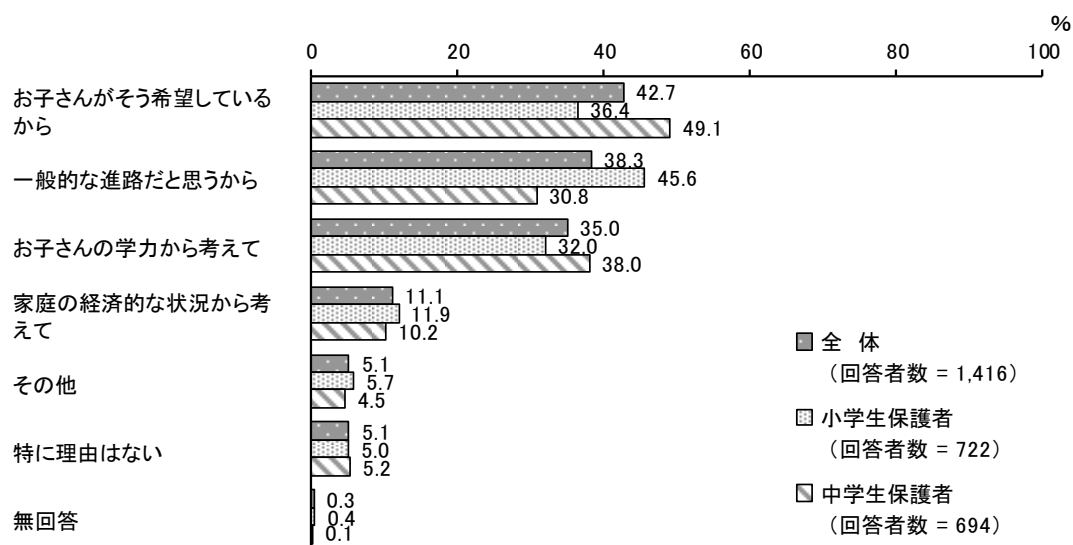


問 19 問 18 で「中学まで」～「大学またはそれ以上」と答えた場合、その理由は何ですか。（１～５については、あてはまるものすべてに○）

全体では、「お子さんがそう希望しているから」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が 38.3%、「お子さんの学力から考えて」の割合が 35.0%となっています。

小学生保護者では、「一般的な進路だと思うから」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」の割合が 36.4%、「お子さんの学力から考えて」の割合が 32.0%となっています。

中学生保護者では、「お子さんがそう希望しているから」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」の割合が 38.0%、「一般的な進路だと思うから」の割合が 30.8%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「一般的な進路だと思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生保護者】	回答者数 (件)	お子さんがそう希望 しているから	一般的な進路だ と思うから	お子さんの学力から 考えて	家庭の経済的な状況 から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全 体	722	36.4	45.6	32.0	11.9	5.7	5.0	0.4
中央値以上	410	39.3	50.7	33.4	12.2	5.6	4.1	0.5
中央値の1/2以上中央値未満	247	30.8	40.9	31.6	11.3	5.3	6.9	—
中央値の1/2未満	45	42.2	33.3	28.9	13.3	2.2	—	2.2

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「お子さんがそう希望しているから」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっています。

単位：％

【中学生保護者】	回答者数 (件)	お子さんがそう希望 しているから	一般的な進路だ と思うから	お子さんの学力から 考えて	家庭の経済的な状況 から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全 体	694	49.1	30.8	38.0	10.2	4.5	5.2	0.1
中央値以上	393	52.7	30.0	40.7	6.6	4.6	4.1	—
中央値の1/2以上中央値未満	218	44.0	30.3	33.5	11.0	4.1	7.3	0.5
中央値の1/2未満	58	44.8	31.0	39.7	34.5	3.4	3.4	—

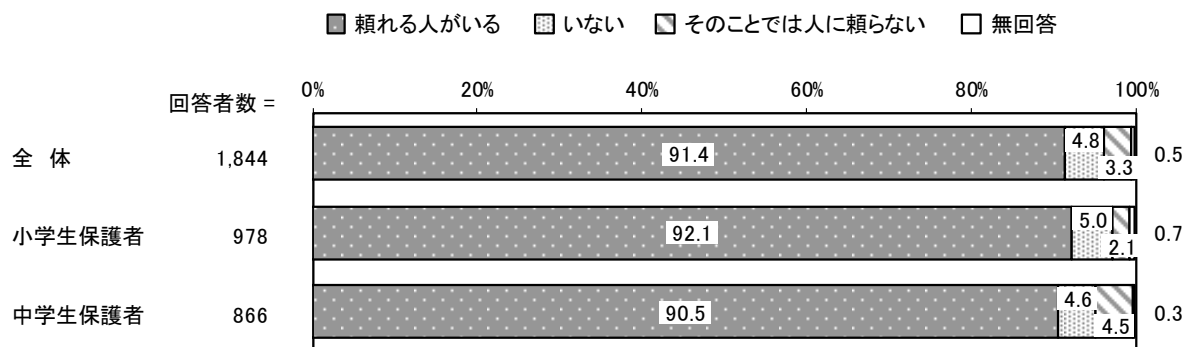
問 20 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

a)子育てに関する相談

全体では、「頼れる人がいる」の割合が91.4%と最も高くなっています。

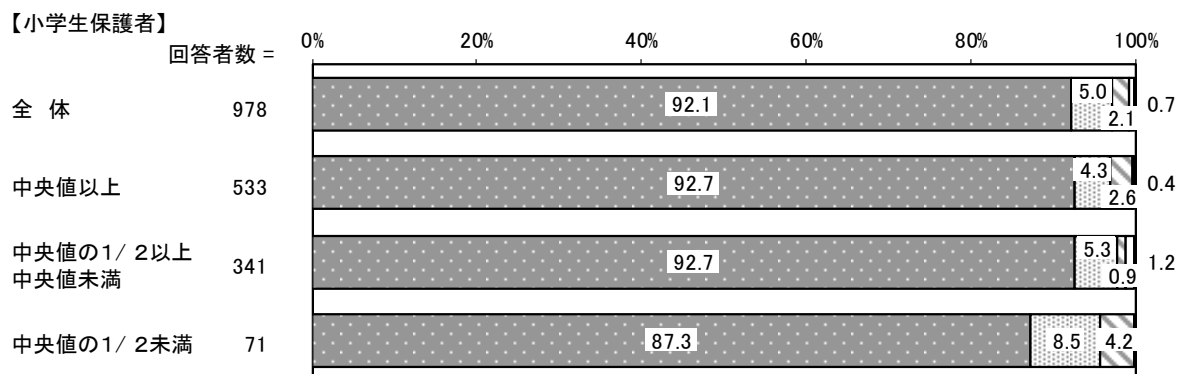
小学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が92.1%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が90.5%と最も高くなっています。

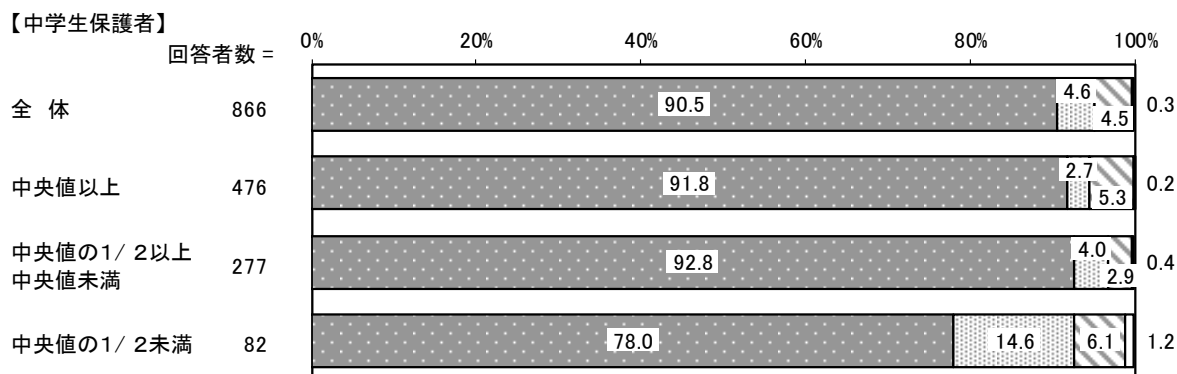


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

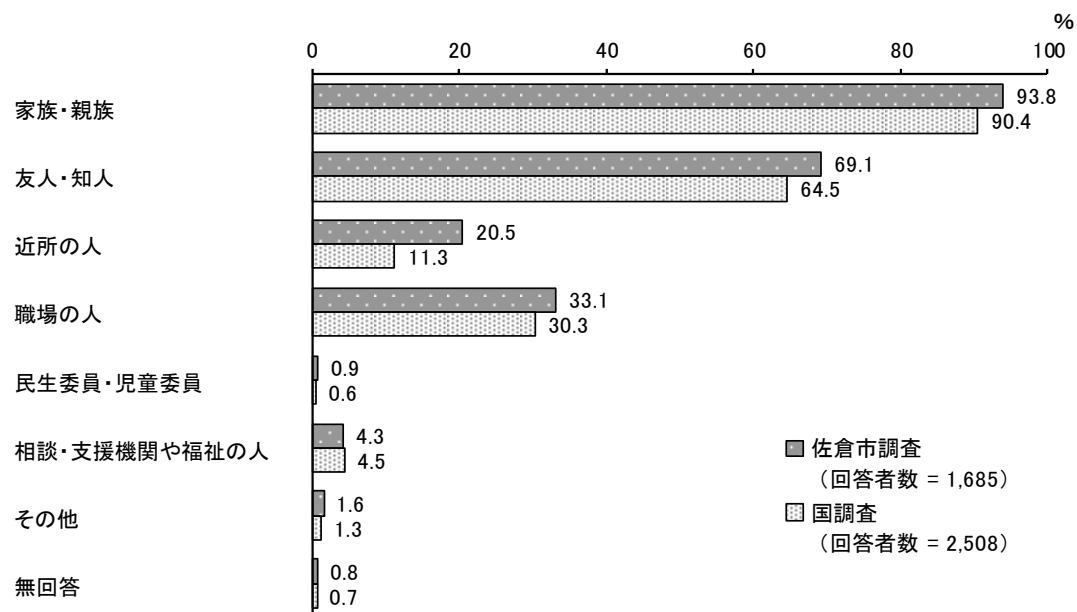


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「いない」の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、「近所の人」の割合が高くなっています。



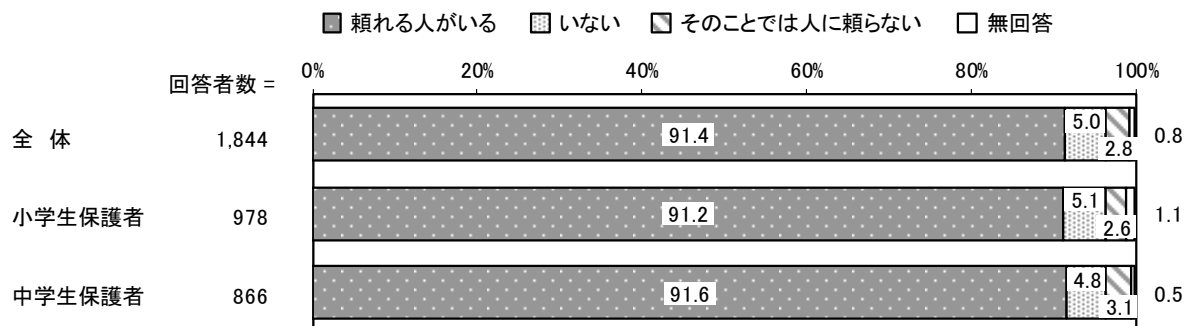
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

b)重要な事柄の相談

全体では、「頼れる人がいる」の割合が 91.4%と最も高くなっています。

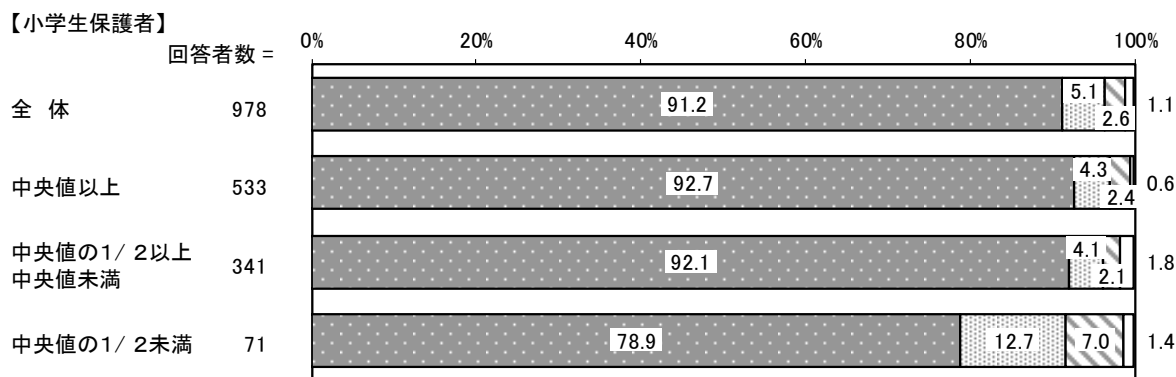
小学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が 91.2%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が 91.6%と最も高くなっています。

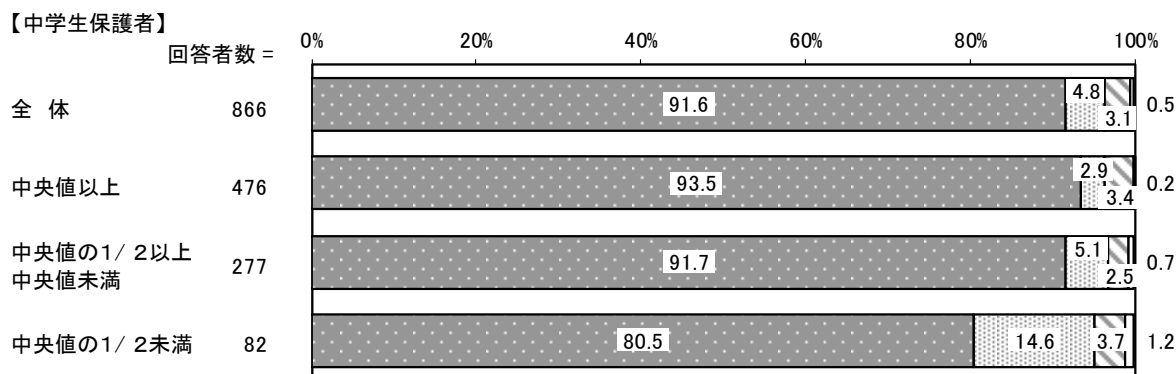


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「いない」の割合が高くなっています。

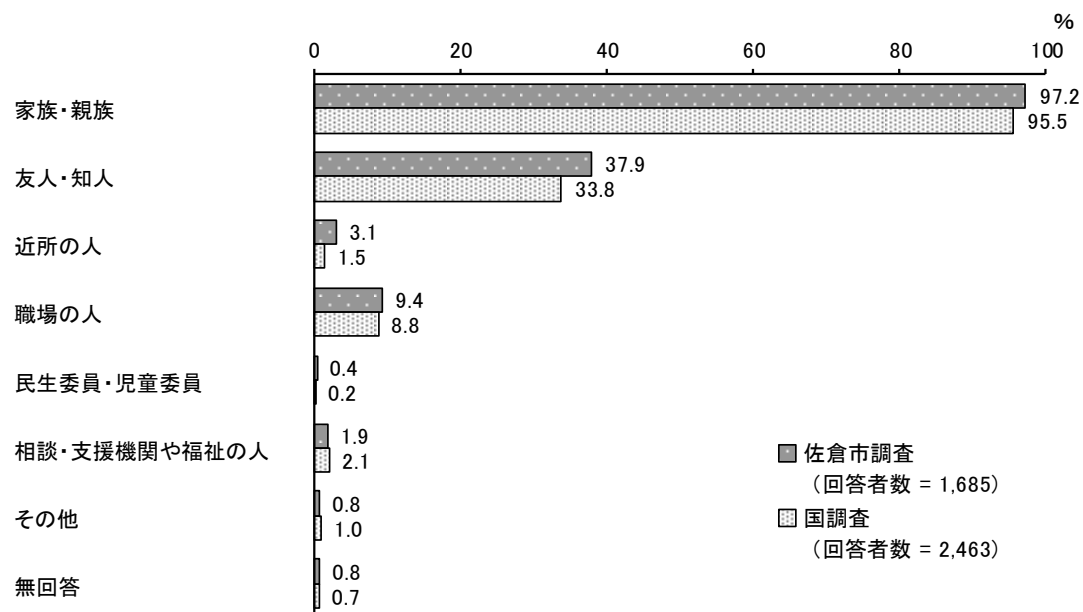


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「いない」の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



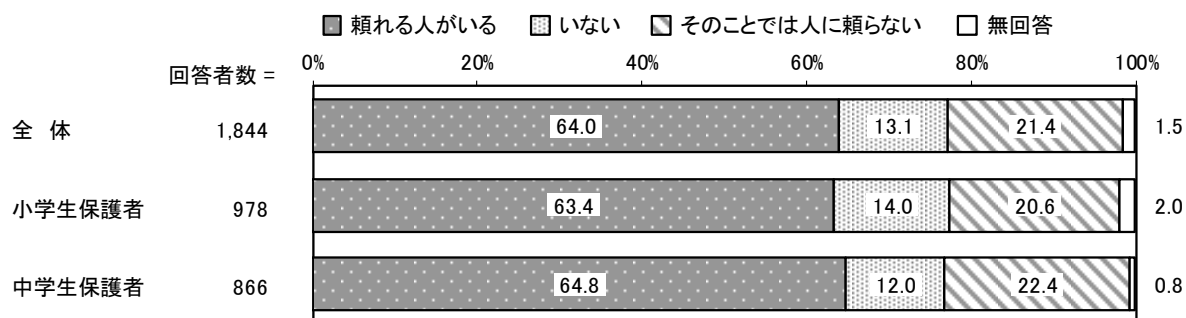
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

c) いざという時のお金の援助

全体では、「頼れる人がいる」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」の割合が 21.4%、「いない」の割合が 13.1%となっています。

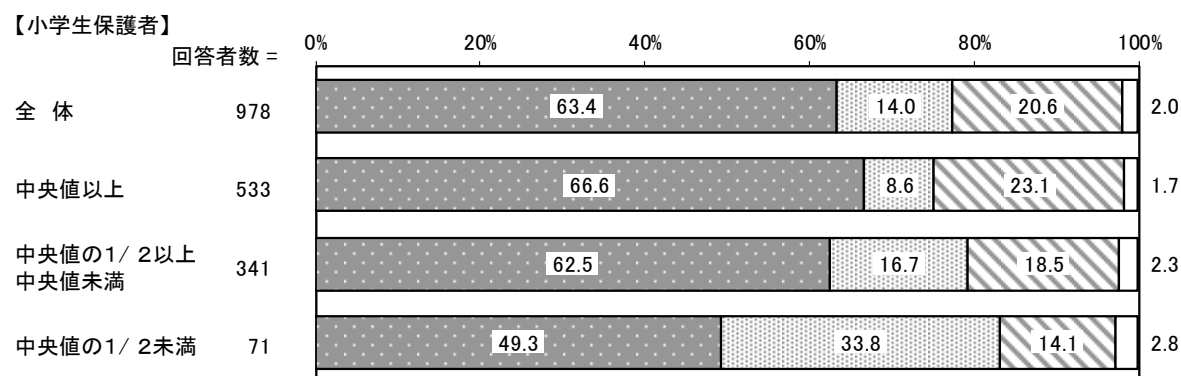
小学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」の割合が 20.6%、「いない」の割合が 14.0%となっています。

中学生保護者では、「頼れる人がいる」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」の割合が 22.4%、「いない」の割合が 12.0%となっています。

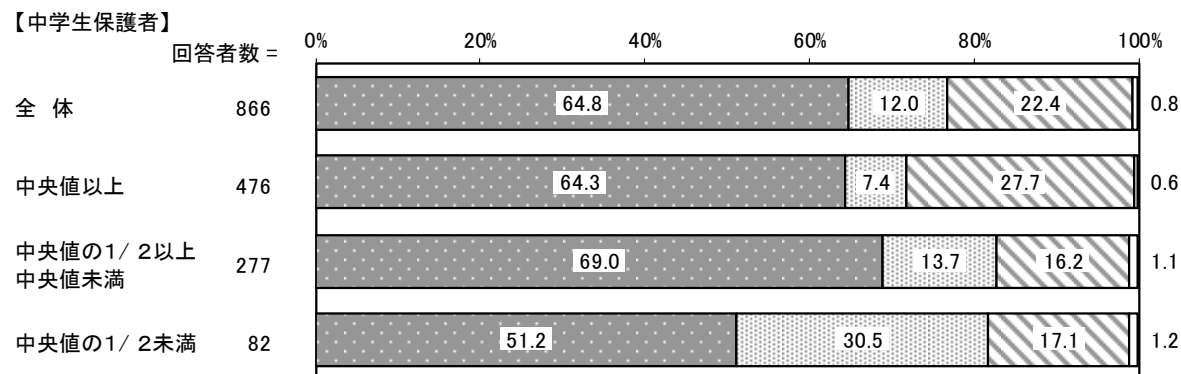


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いない」の割合が高くなっています。

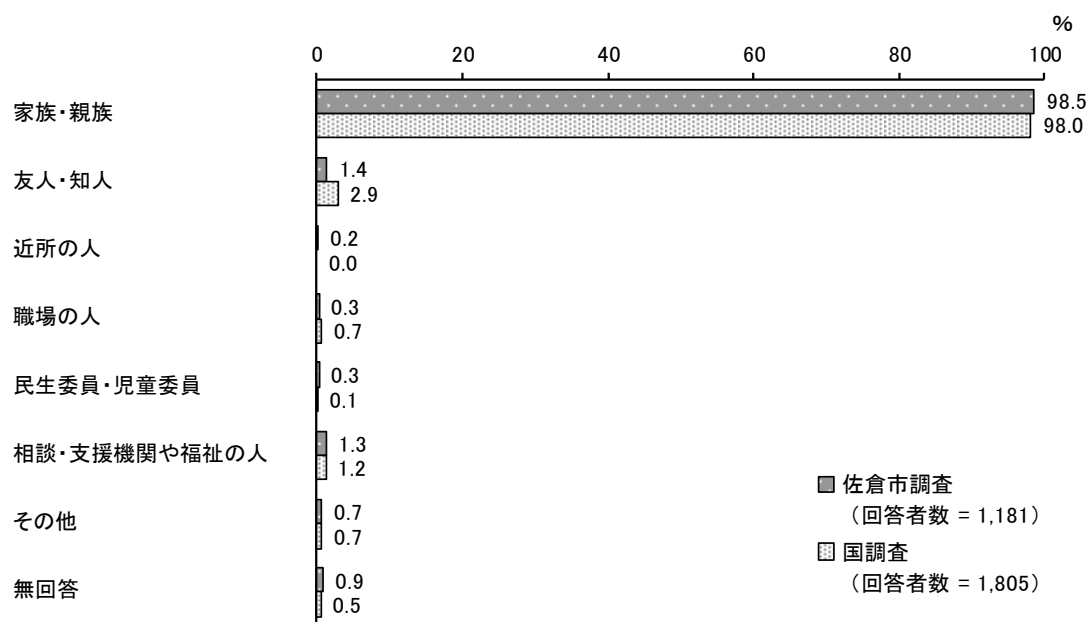


等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いない」の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

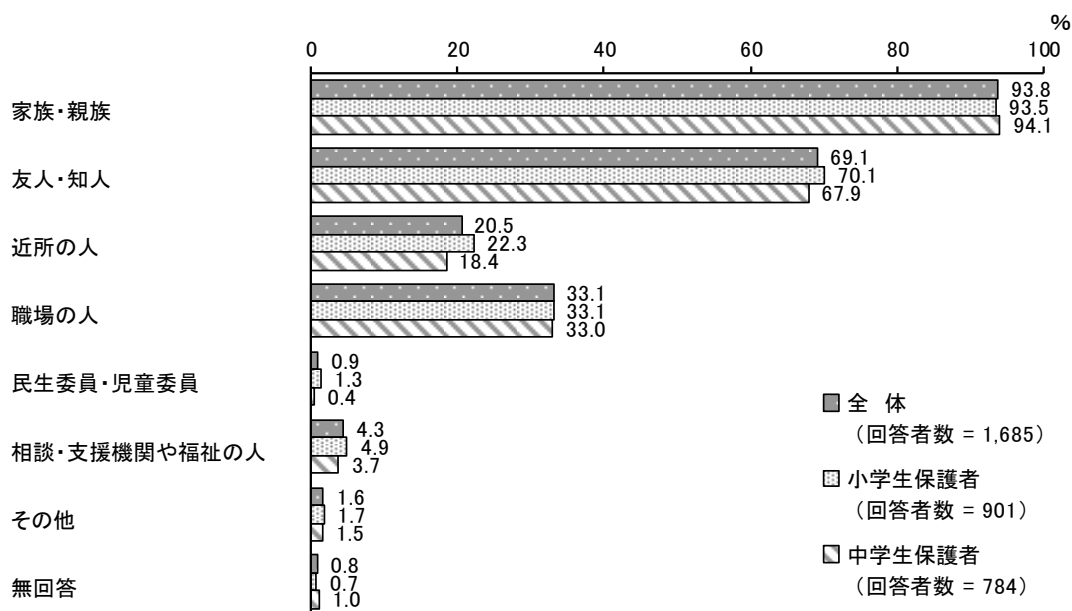
問 20-1 また、「頼れる人がある」場合、それはだれですか。
(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

a)子育てに関する相談

全体では、「家族・親族」の割合が 93.8%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 69.1%、「職場の人」の割合が 33.1%となっています。

小学生保護者では、「家族・親族」の割合が 93.5%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 70.1%、「職場の人」の割合が 33.1%となっています。

中学生保護者では、「家族・親族」の割合が 94.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 67.9%、「職場の人」の割合が 33.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「職場の人」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「友人・知人」の割合が、中央値の1/2未満で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	901	93.5	70.1	22.3	33.1	1.3	4.9	1.7	0.7
中央値以上	494	94.7	68.6	22.3	36.4	0.4	4.9	2.4	0.8
中央値の1/2以上 中央値未満	316	92.7	75.0	24.7	30.1	1.6	4.4	0.9	0.3
中央値の1/2未満	62	88.7	59.7	14.5	25.8	8.1	6.5	—	1.6

等価世帯収入の水準別でみると、中央値以上、中央値の1/2以上中央値未満で「友人・知人」「近所の人」の割合が高く、中央値の1/2以上中央値未満で「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：％

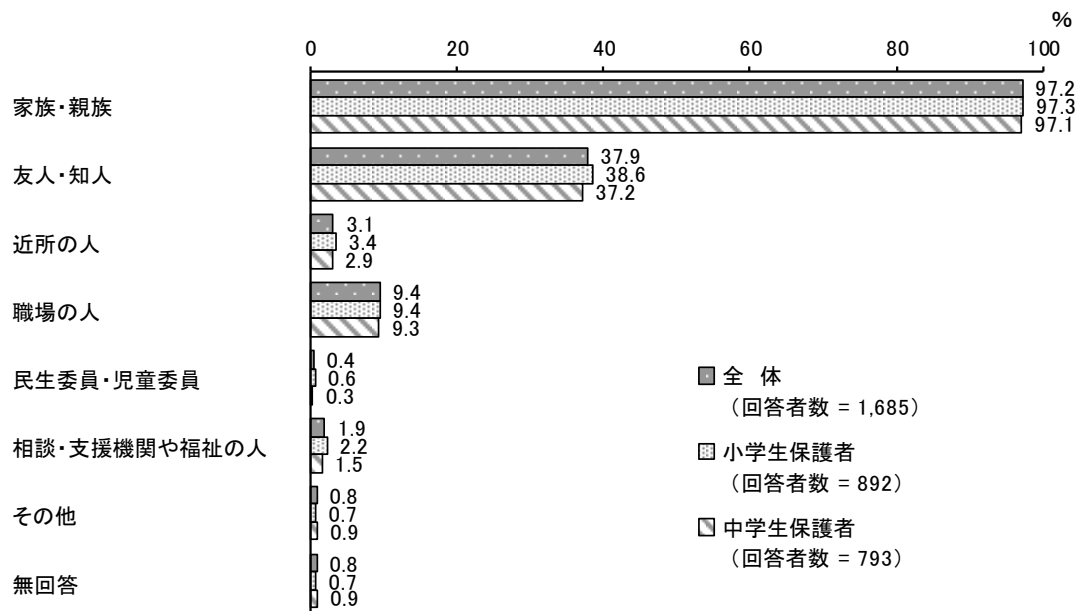
【中学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	784	94.1	67.9	18.4	33.0	0.4	3.7	1.5	1.0
中央値以上	437	95.7	68.2	18.3	31.8	0.2	3.9	1.6	0.7
中央値の1/2以上 中央値未満	257	93.0	69.6	20.2	36.6	—	2.7	1.6	0.8
中央値の1/2未満	64	89.1	59.4	10.9	29.7	3.1	4.7	1.6	3.1

b)重要な事柄(ことがら)の相談

全体では、「家族・親族」の割合が97.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が37.9%となっています。

小学生保護者では、「家族・親族」の割合が97.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が38.6%となっています。

中学生保護者では、「家族・親族」の割合が97.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が37.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2以上中央値未満で「友人・知人」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「相談・支援機関や福祉の人」、「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：％

【小学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	892	97.3	38.6	3.4	9.4	0.6	2.2	0.7	0.7
中央値以上	494	97.6	36.0	3.6	10.7	—	1.8	1.0	1.0
中央値の1/2以上 中央値未満	314	96.8	44.6	3.2	8.6	0.3	1.6	0.3	0.3
中央値の1/2未満	56	96.4	35.7	3.6	5.4	7.1	8.9	—	—

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

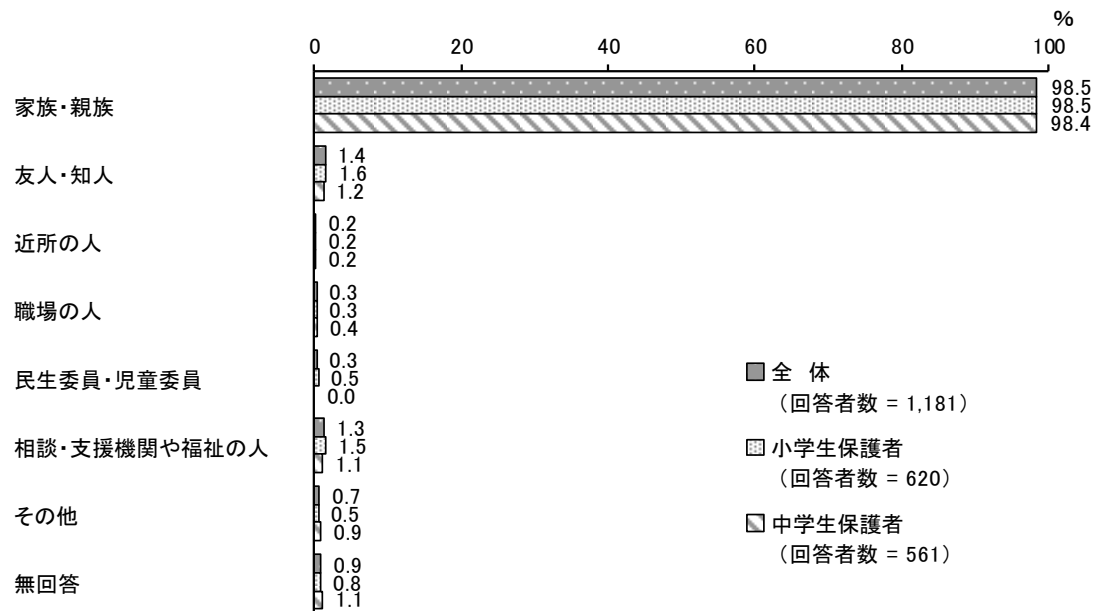
【中学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	793	97.1	37.2	2.9	9.3	0.3	1.5	0.9	0.9
中央値以上	445	97.5	36.0	2.2	9.2	0.2	1.6	0.7	0.7
中央値の1/2以上 中央値未満	254	98.0	40.2	4.3	10.6	—	0.8	1.2	0.4
中央値の1/2未満	66	92.4	36.4	1.5	7.6	—	1.5	—	3.0

c)いざという時のお金の援助

全体では、「家族・親族」の割合が98.5%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「家族・親族」の割合が98.5%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「家族・親族」の割合が98.4%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

【小学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	620	98.5	1.6	0.2	0.3	0.5	1.5	0.5	0.8
中央値以上	355	98.6	1.7	0.3	0.3	—	0.6	0.8	0.8
中央値の1/2以上 中央値未満	213	98.6	1.9	—	—	0.9	2.3	—	0.9
中央値の1/2未満	35	97.1	—	—	—	2.9	5.7	—	—

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

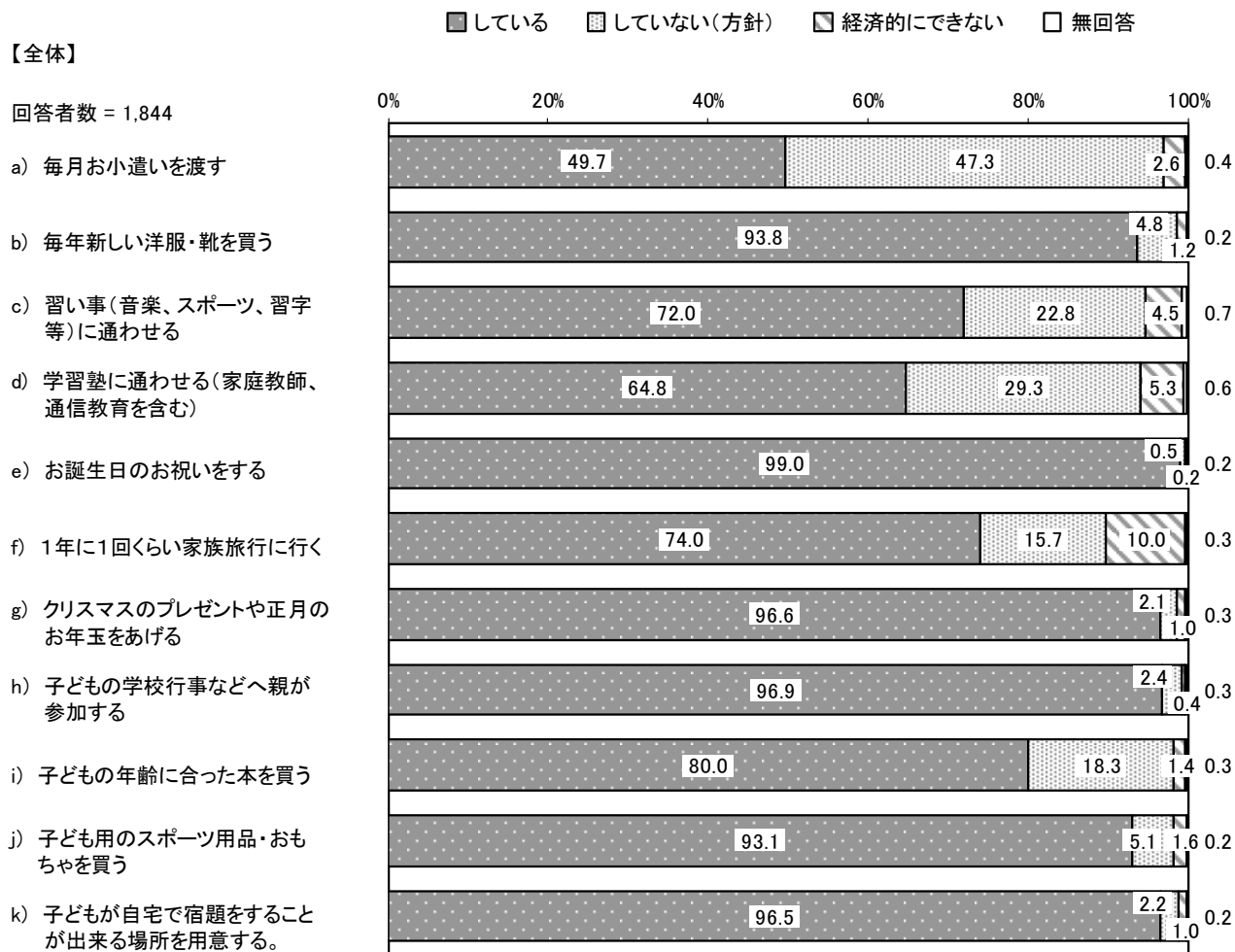
単位：％

【中学生保護者】	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	561	98.4	1.2	0.2	0.4	—	1.1	0.9	1.1
中央値以上	306	98.4	1.3	0.3	0.7	—	1.3	1.0	1.3
中央値の1/2以上 中央値未満	191	99.0	1.6	—	—	—	0.5	0.5	—
中央値の1/2未満	42	97.6	—	—	—	—	—	—	2.4

問 21 あなたのご家庭では、お子さんに次の事をしていますか。
(a～k それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

全体、小学生保護者ともに、『a) 毎月お小遣いを渡す』で「していない(方針)」の割合が高く、『f) 1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

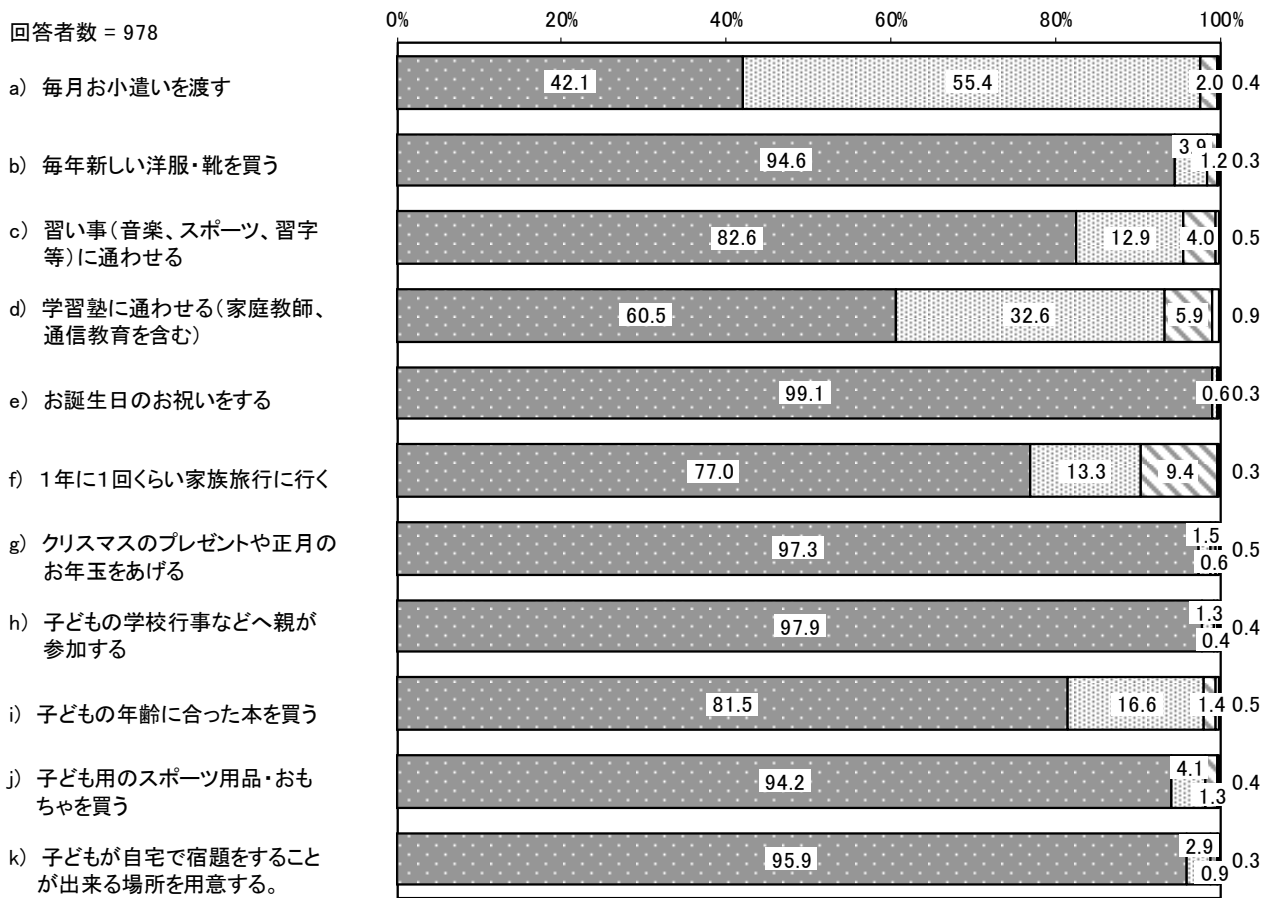
中学生保護者では、『a) 毎月お小遣いを渡す』、『c) 習い事(音楽、スポーツ、習字等に通わせる』で「していない(方針)」の割合が高く、『f) 1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



■ している ■ していない(方針) ■ 経済的にできない □ 無回答

【小学生保護者】

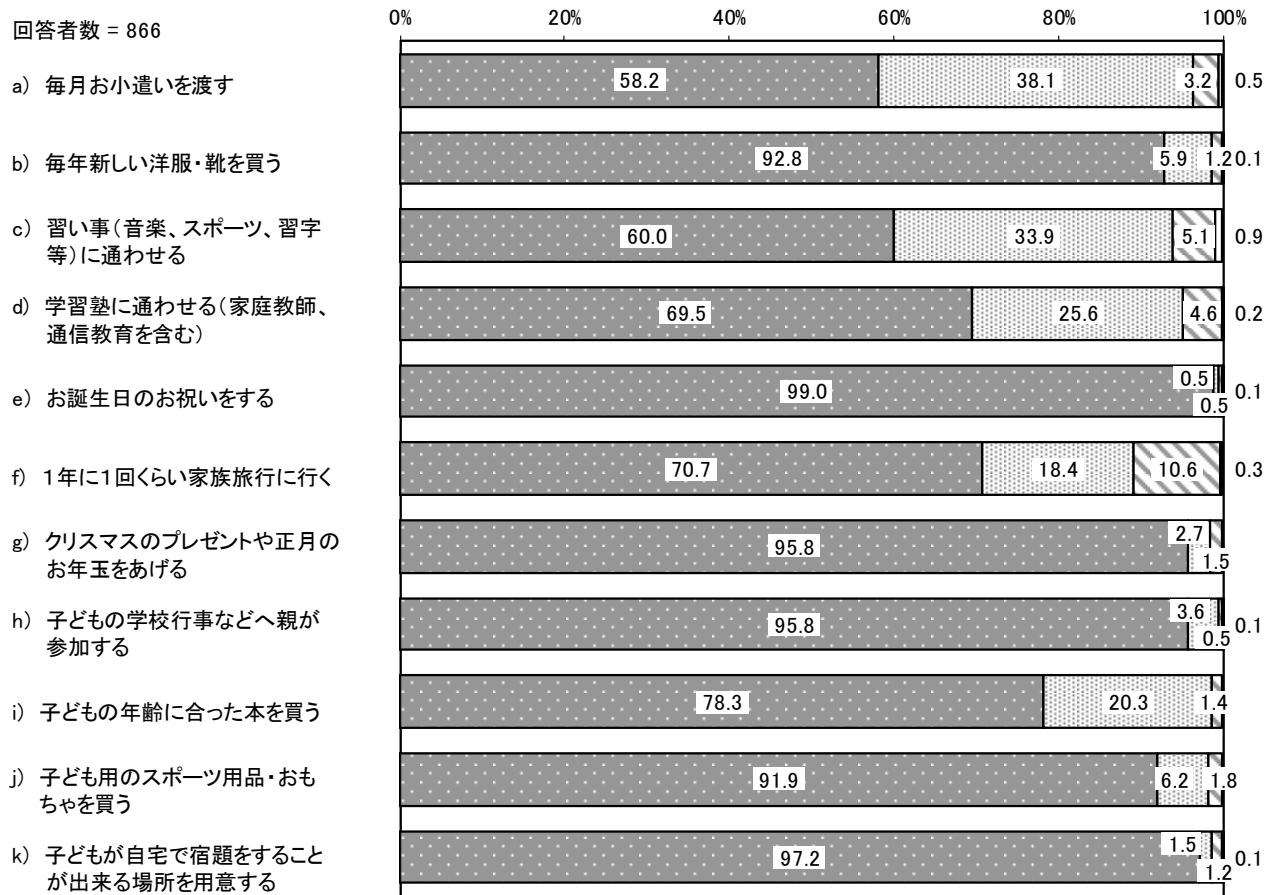
回答者数 = 978



■ している ■ していない(方針) ■ 経済的にできない □ 無回答

【中学生保護者】

回答者数 = 866

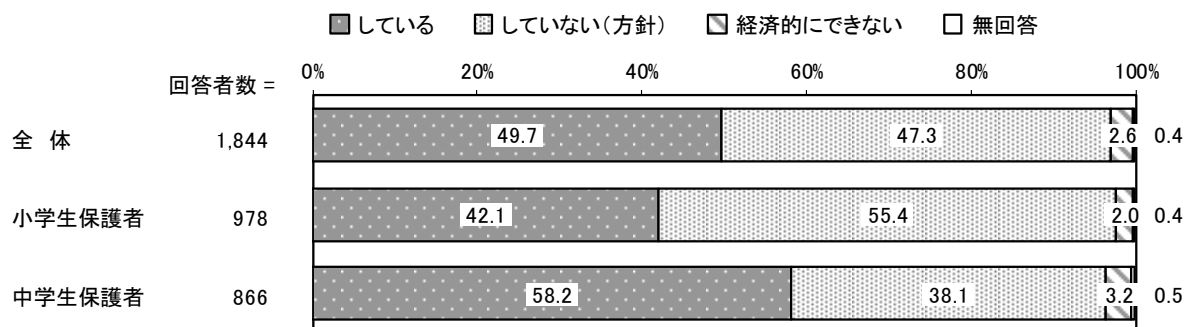


a)毎月お小遣いを渡す

全体では、「している」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 47.3%となっています。

小学生保護者では、「していない（方針）」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「している」の割合が 42.1%となっています。

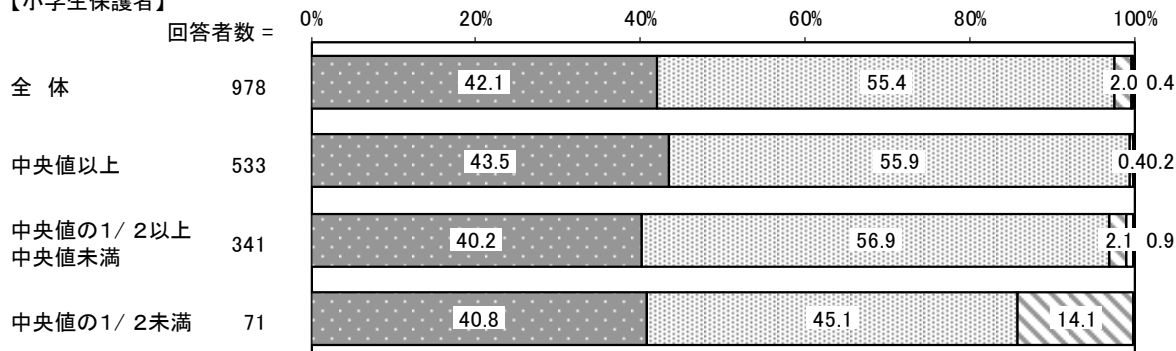
中学生保護者では、「している」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 38.1%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

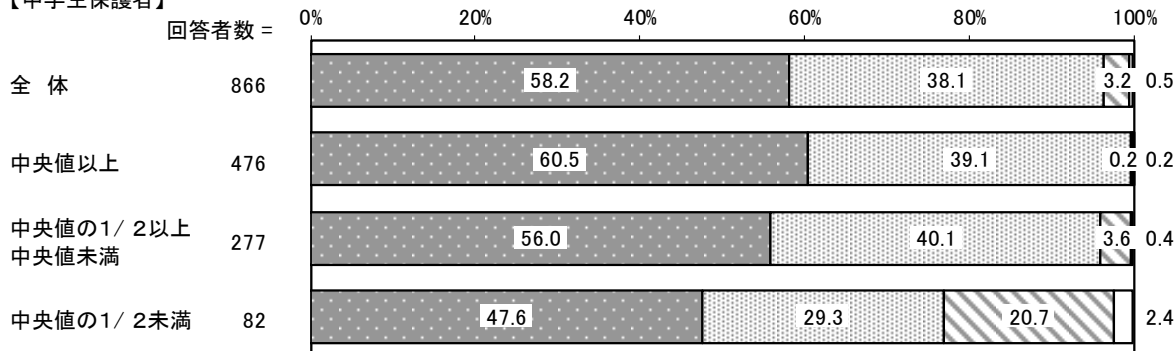
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

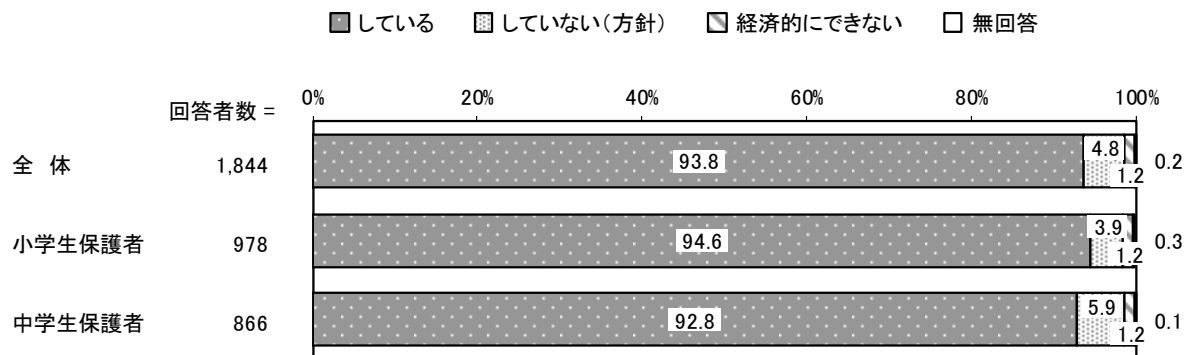


b)毎年新しい洋服・靴を買う

全体では、「している」の割合が93.8%と最も高くなっています。

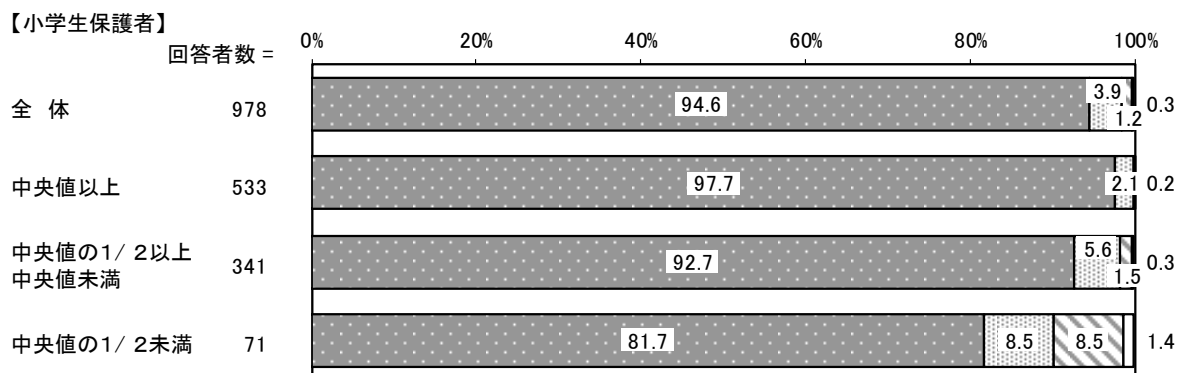
小学生保護者では、「している」の割合が94.6%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「している」の割合が92.8%と最も高くなっています。

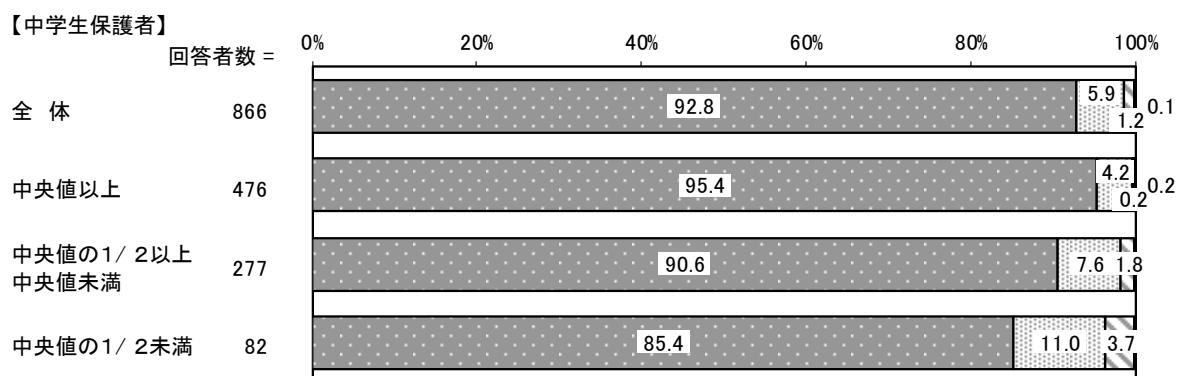


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「していない(方針)」の割合が高くなる傾向がみられます。

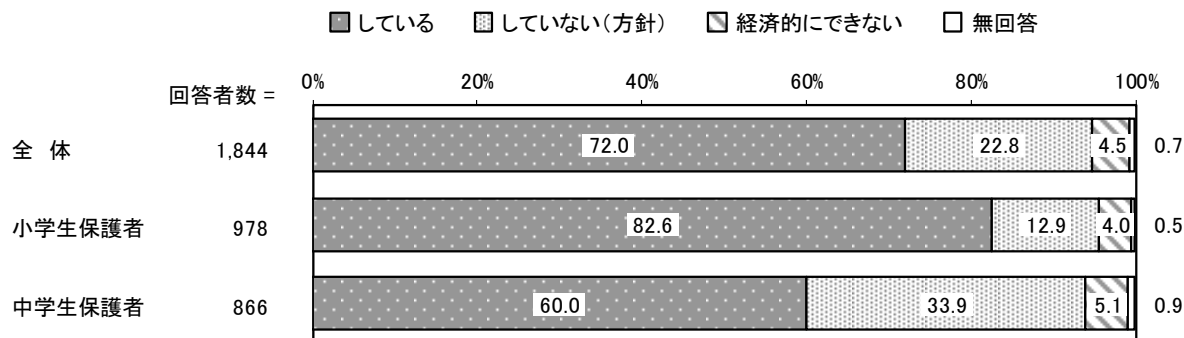


c)習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

全体では、「している」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 22.8%となっています。

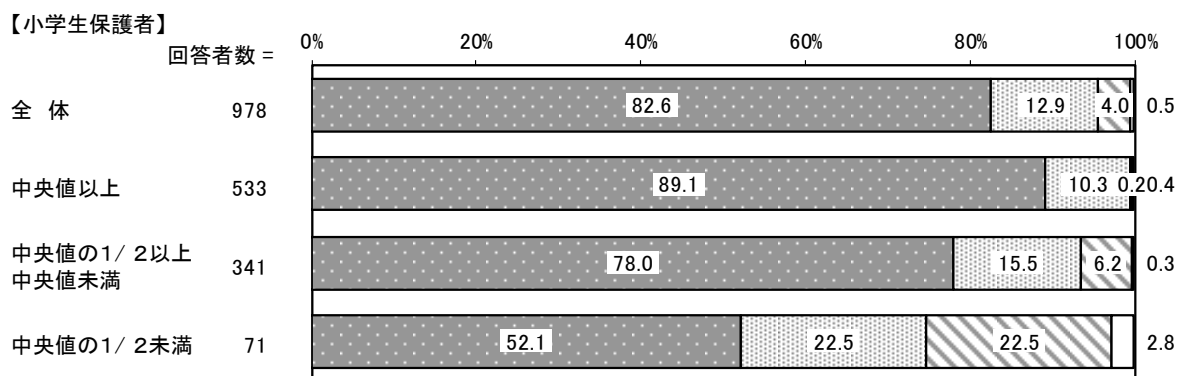
小学生保護者では、「している」の割合が 82.6%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 12.9%となっています。

中学生保護者では、「している」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 33.9%となっています。

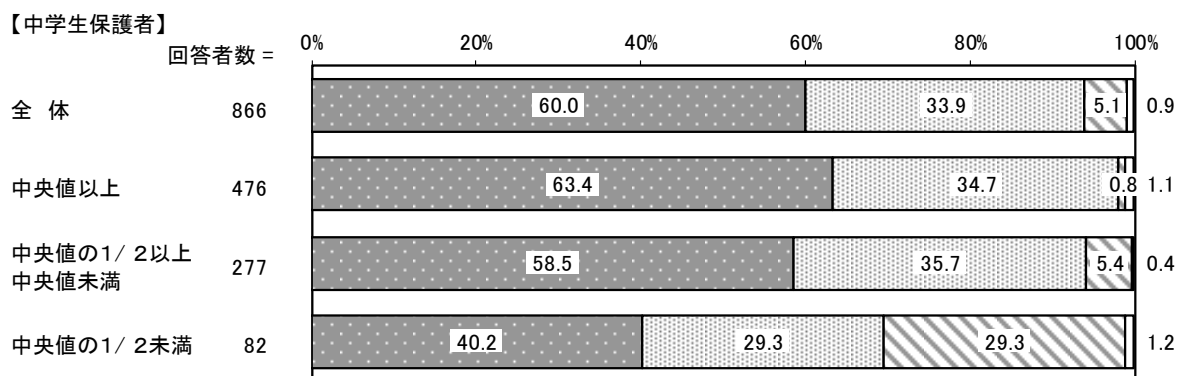


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「していない(方針)」「経済的にできない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

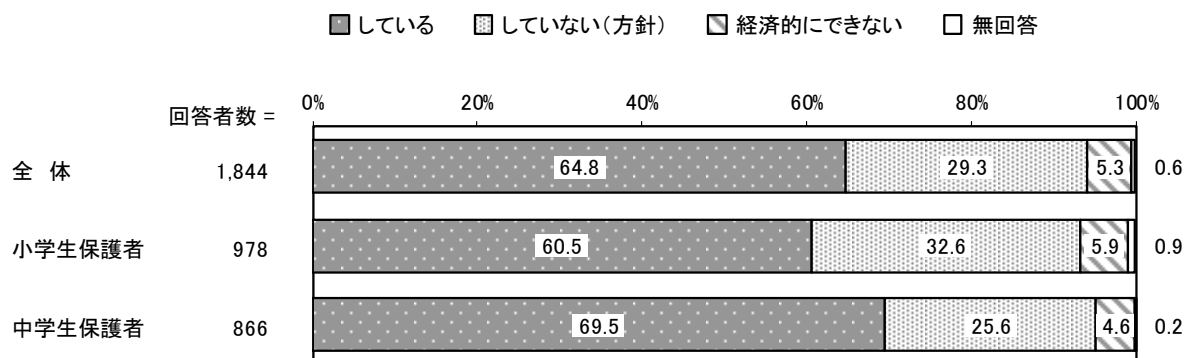


d)学習塾に通わせる(家庭教師、通信教育を含む)

全体では、「している」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 29.3%となっています。

小学生保護者では、「している」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 32.6%となっています。

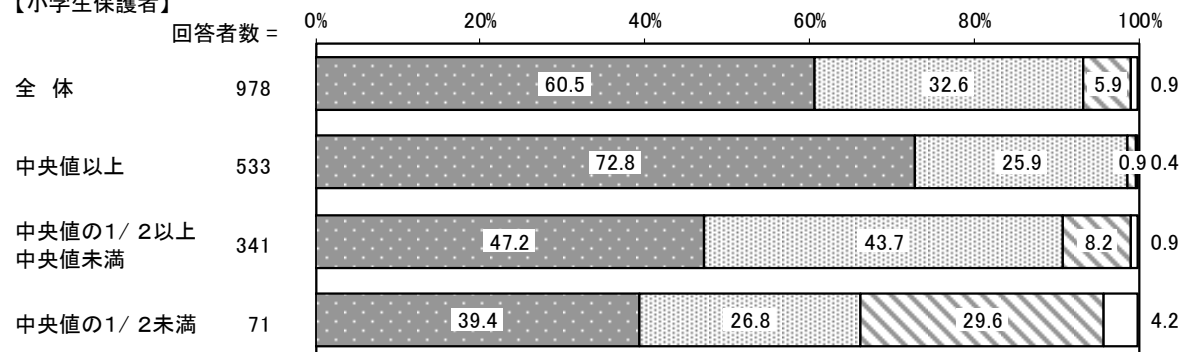
中学生保護者では、「している」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「していない(方針)」の割合が 25.6%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

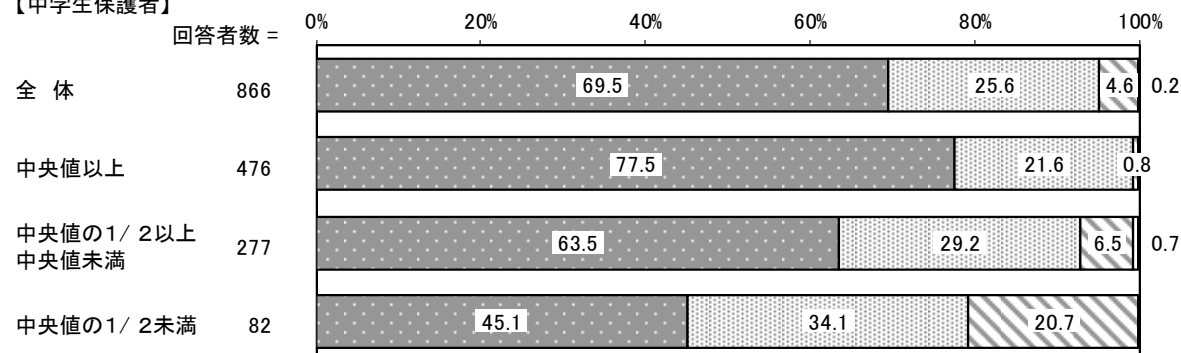
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「していない(方針)」の割合が、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

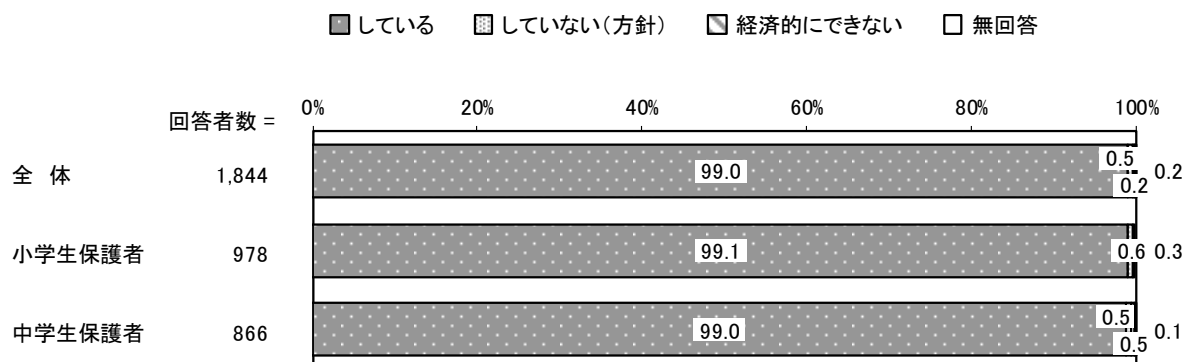


e)お誕生日のお祝いをする

全体では、「している」の割合が99.0%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「している」の割合が99.1%と最も高くなっています。

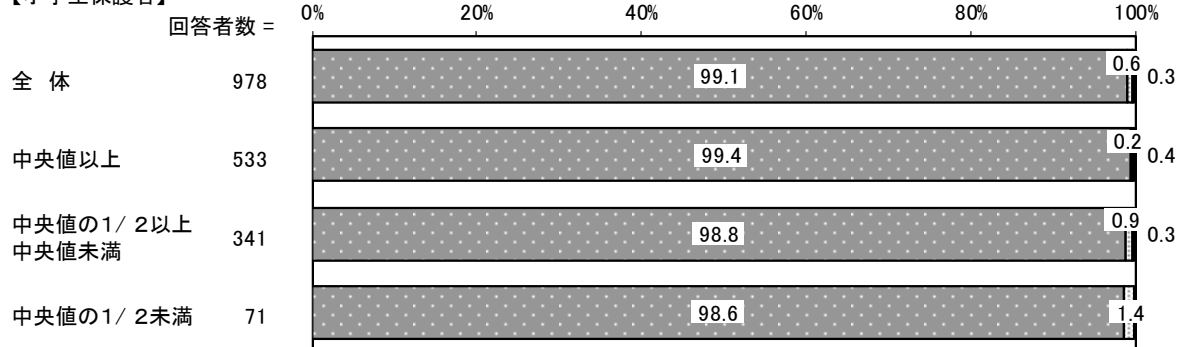
中学生保護者では、「している」の割合が99.0%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

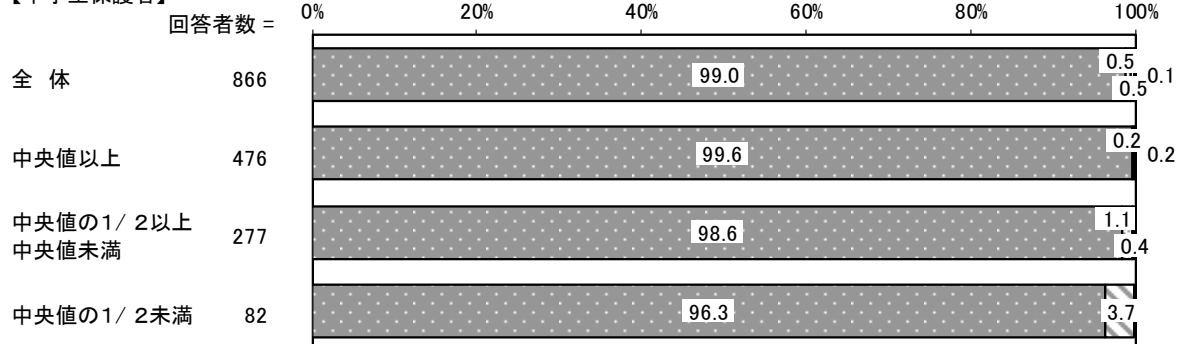
等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

【中学生保護者】

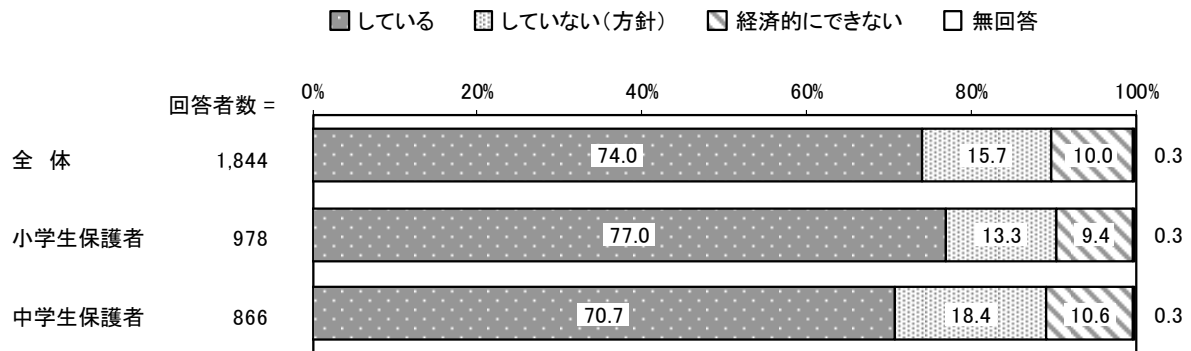


f)1年に1回くらい家族旅行に行く

全体では、「している」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 15.7%、「経済的にできない」の割合が 10.0%となっています。

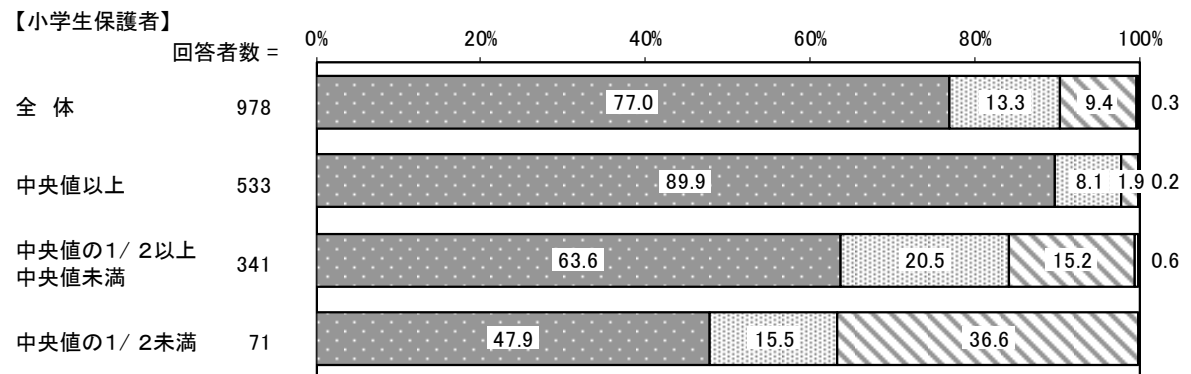
小学生保護者では、「している」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 13.3%となっています。

中学生保護者では、「している」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 18.4%、「経済的にできない」の割合が 10.6%となっています。

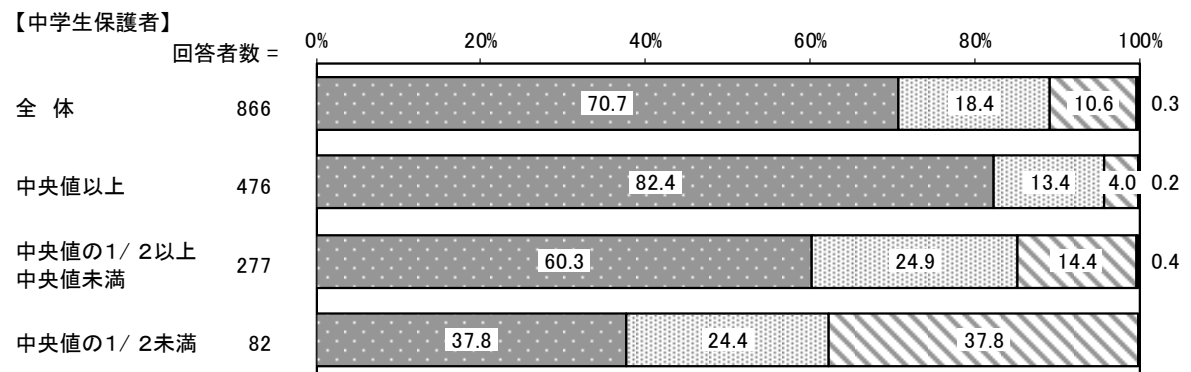


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 以上中央値未満で「していない（方針）」の割合が、中央値の 1/2 未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

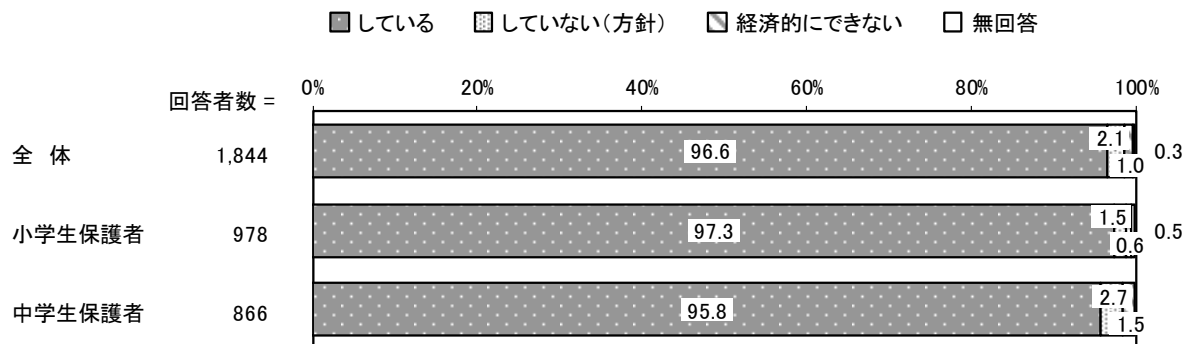


g) クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

全体では、「している」の割合が 96.6%と最も高くなっています。

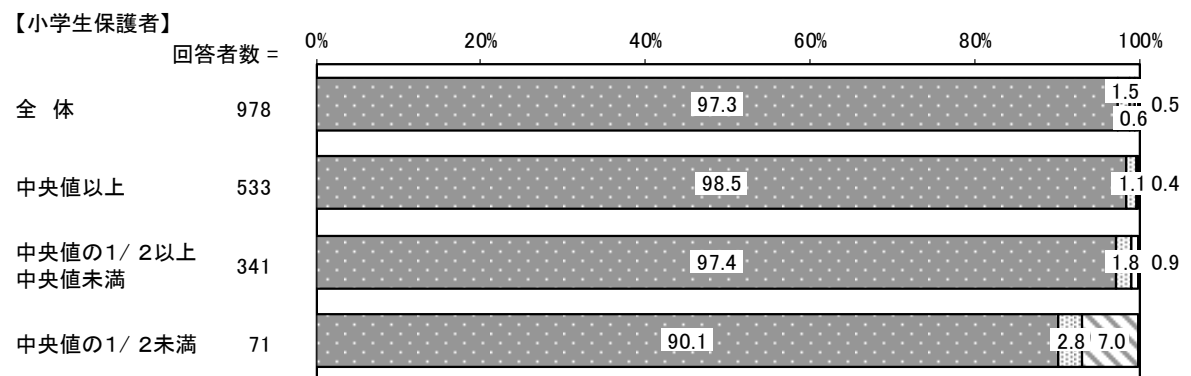
小学生保護者では、「している」の割合が 97.3%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「している」の割合が 95.8%と最も高くなっています。

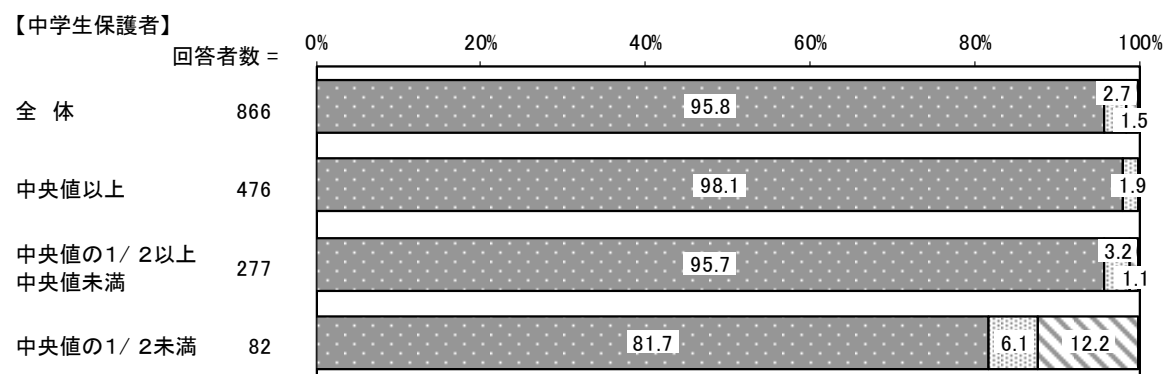


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

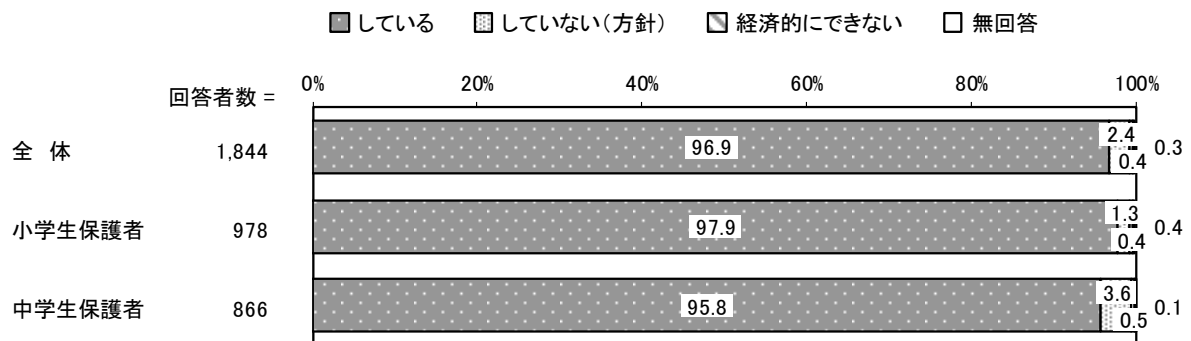


h)子どもの学校行事などへ親が参加する

全体では、「している」の割合が96.9%と最も高くなっています。

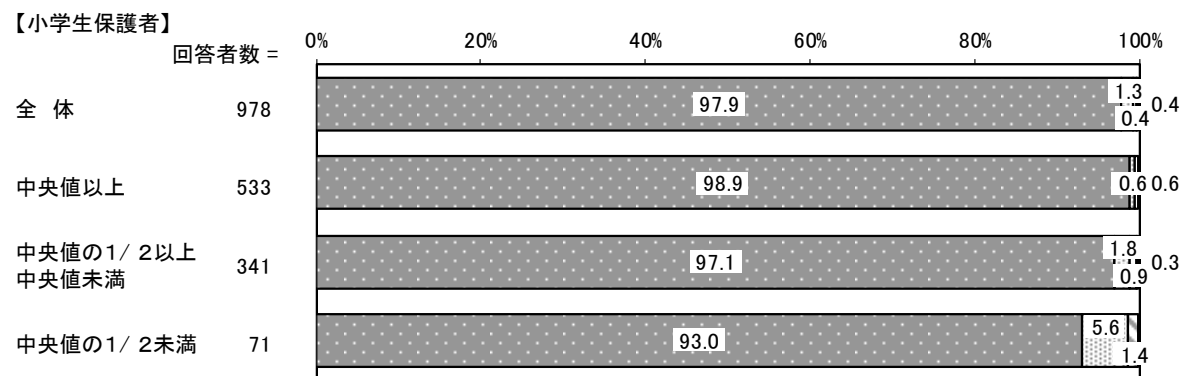
小学生保護者では、「している」の割合が97.9%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「している」の割合が95.8%と最も高くなっています。

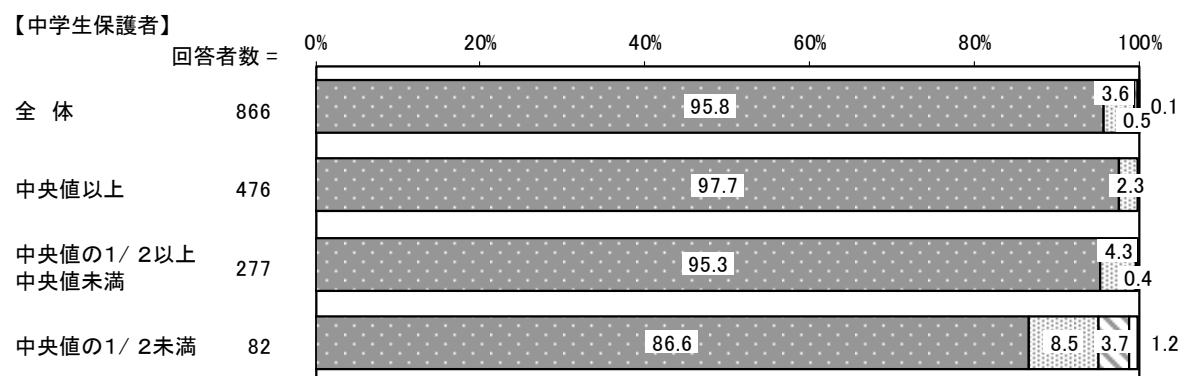


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

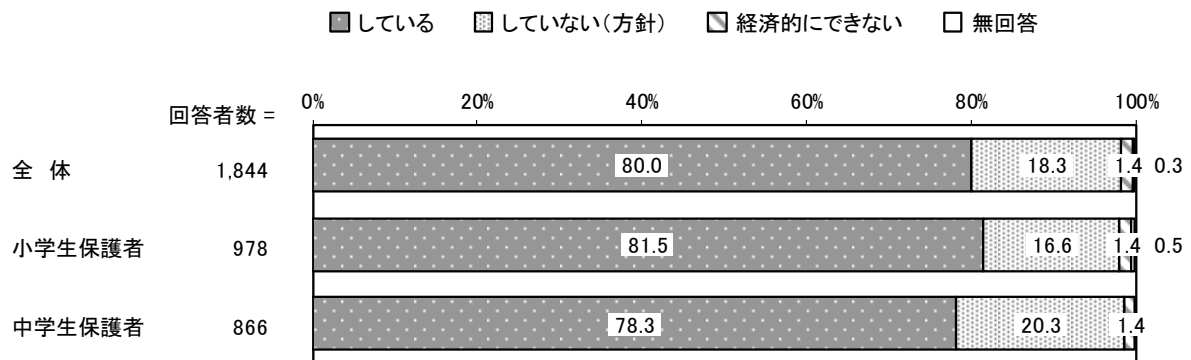


i)子どもの年齢に合った本を買う

全体では、「している」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 18.3%となっています。

小学生保護者では、「している」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 16.6%となっています。

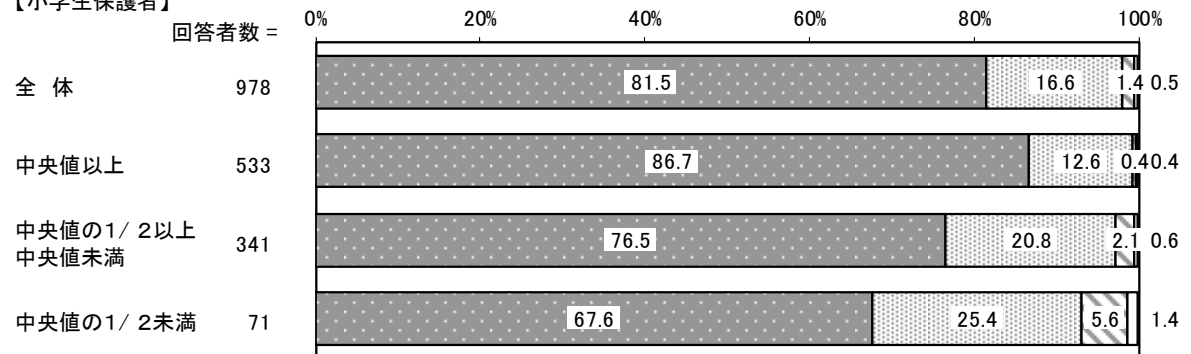
中学生保護者では、「している」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「していない（方針）」の割合が 20.3%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

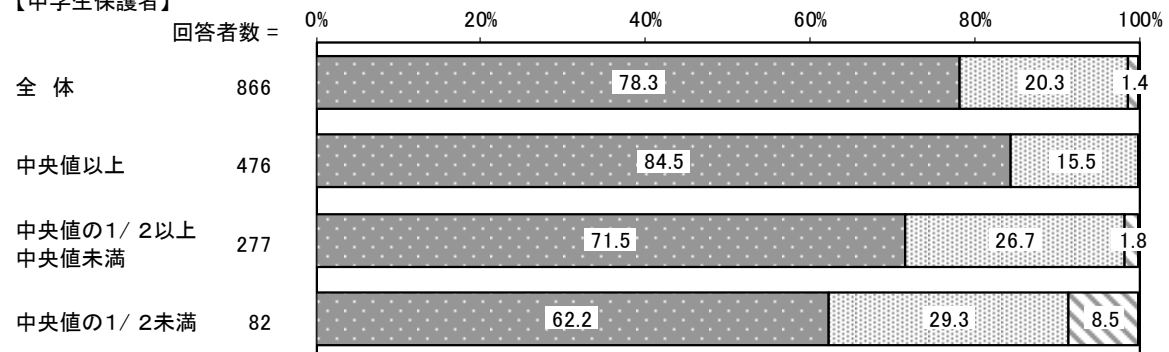
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなる傾向がみられます。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

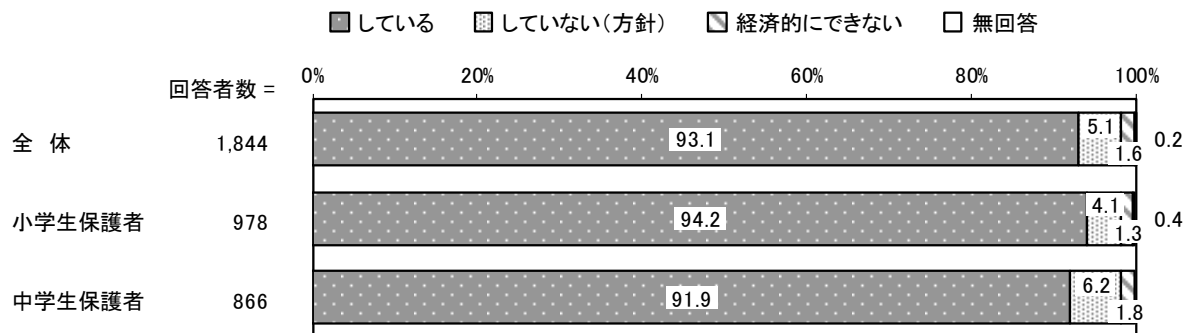


j)子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う

全体では、「している」の割合が93.1%と最も高くなっています。

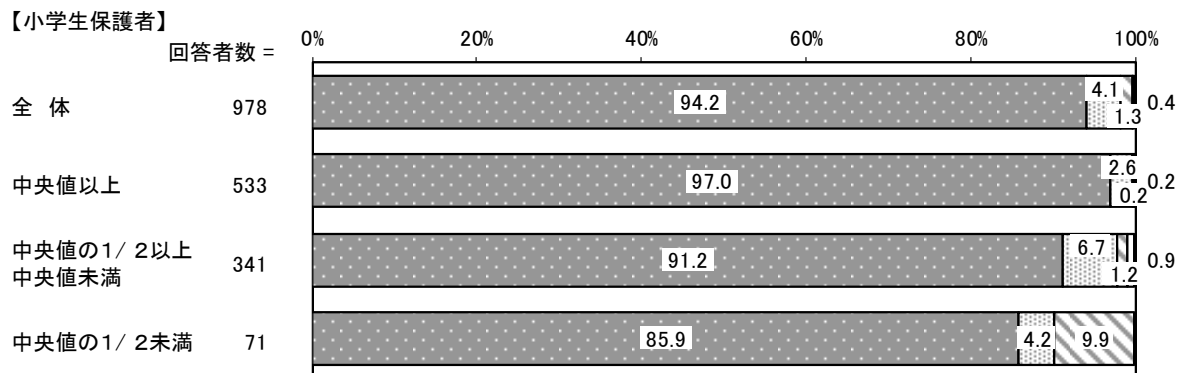
小学生保護者では、「している」の割合が94.2%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「している」の割合が91.9%と最も高くなっています。

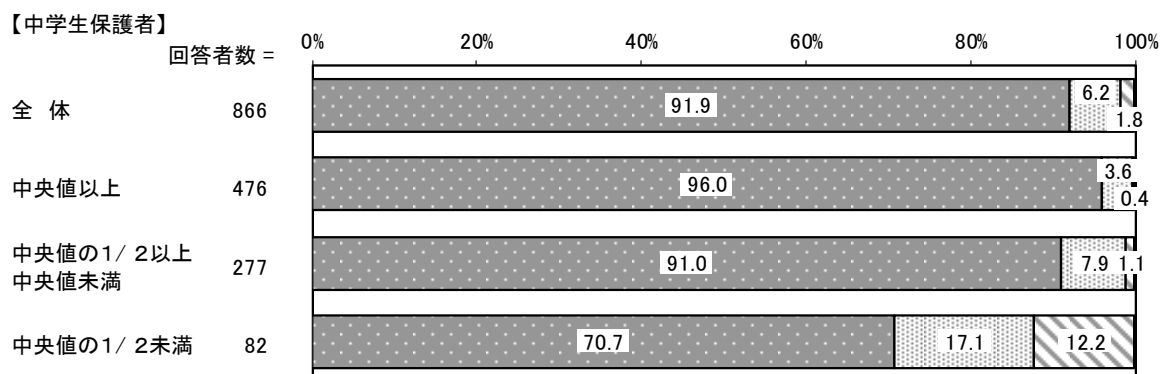


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「している」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「していない(方針)」「経済的にできない」の割合が高くなっています。

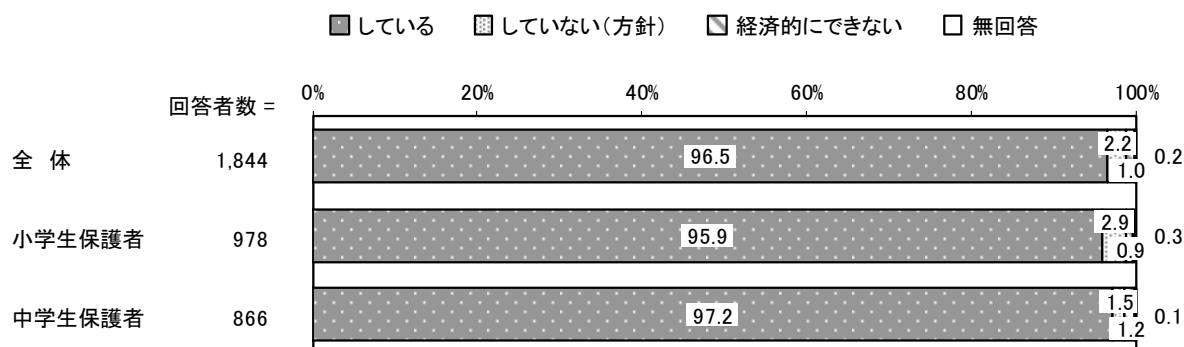


k)子どもが自宅で宿題をすることが出来る場所を用意する。

全体では、「している」の割合が96.5%と最も高くなっています。

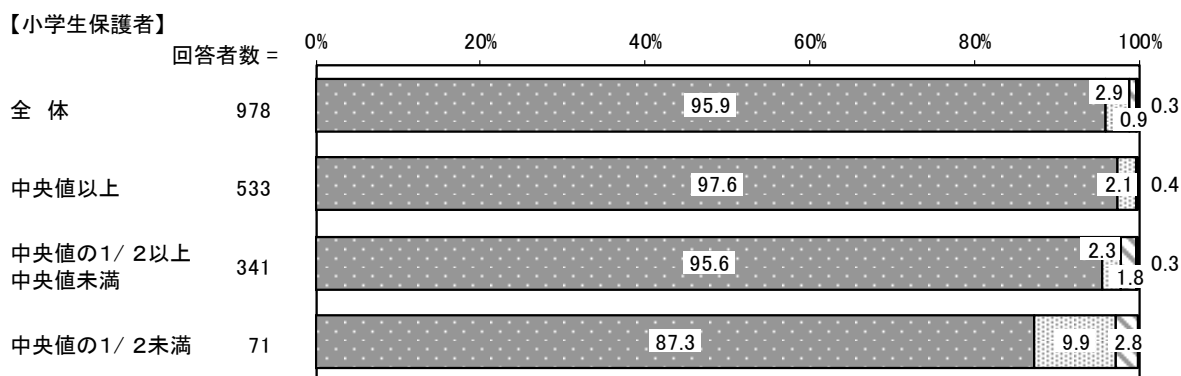
小学生保護者では、「している」の割合が95.9%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「している」の割合が97.2%と最も高くなっています。

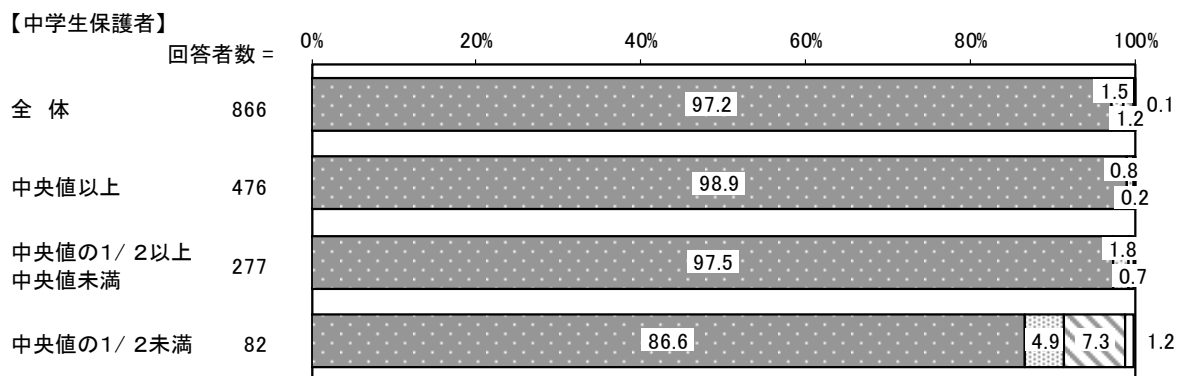


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「していない(方針)」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「経済的にできない」の割合が高くなっています。

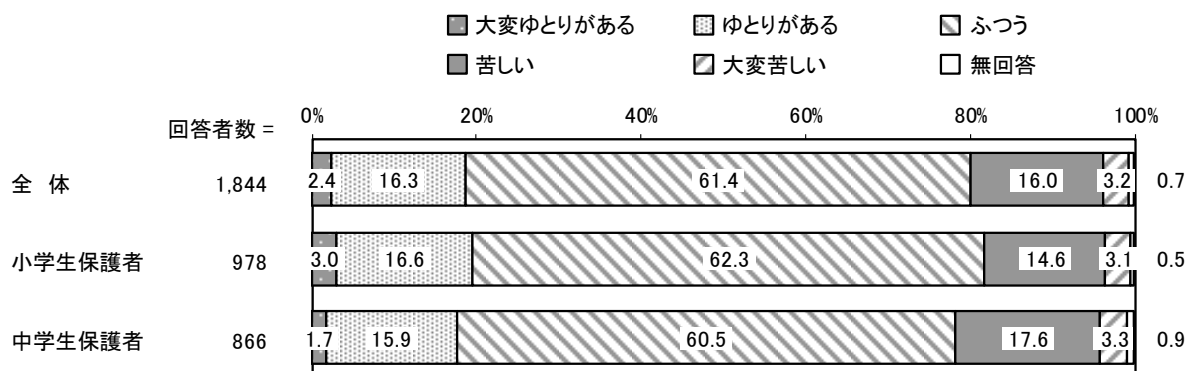


問 22 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

全体では、「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 18.7%、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 19.2%となっています。

小学生保護者では、“ゆとりがある”の割合が 19.6%、“苦しい”の割合が 17.7%となっています。

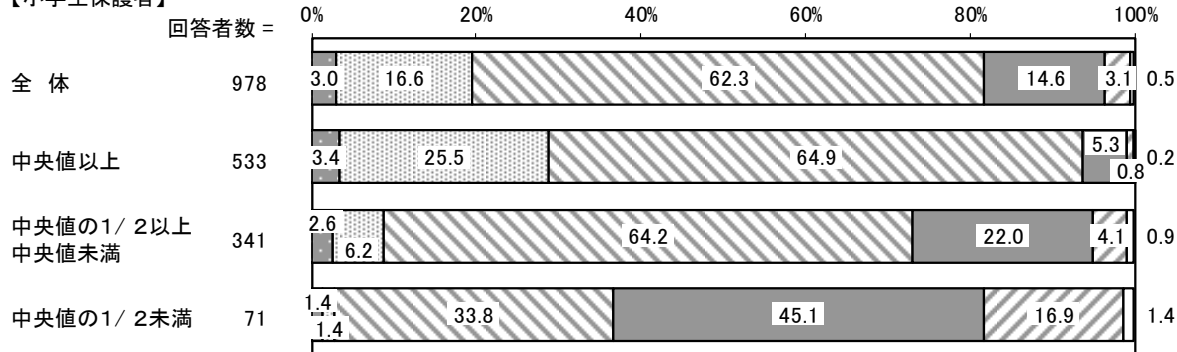
中学生保護者では、“ゆとりがある”の割合が 17.6%、“苦しい”の割合が 20.9%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

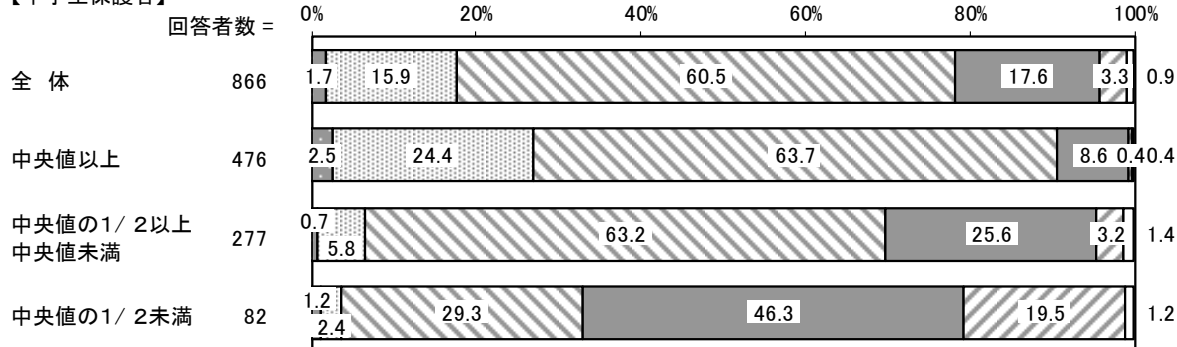
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“ゆとりがある”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“苦しい”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



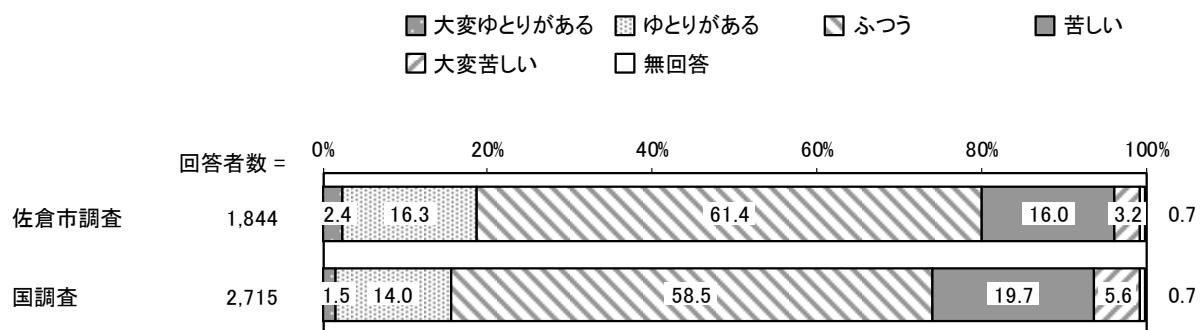
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で“ゆとりがある”の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で“苦しい”の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



【国比較】

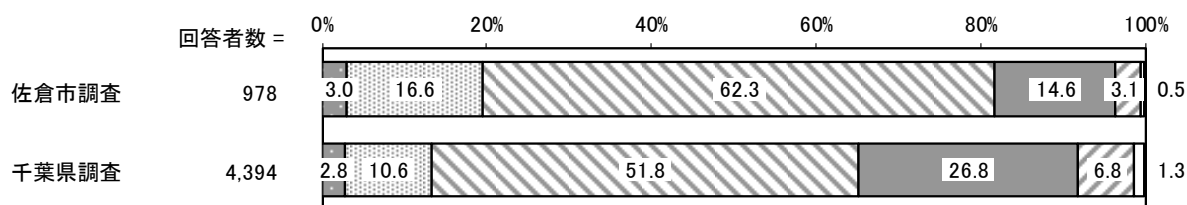
国調査と比較すると、“苦しい”の割合が低くなっています。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

【県比較(小学生保護者)】

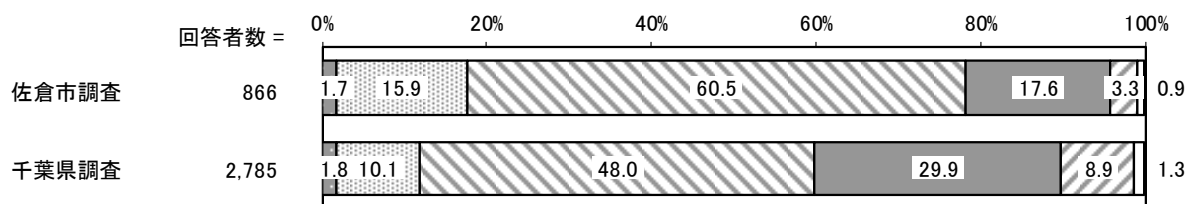
千葉県調査と比較すると“ゆとりがある”の割合が高くなっています。一方、“苦しい”の割合が低くなっています。



※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

【県比較(中学生保護者)】

千葉県調査と比較すると、“ゆとりがある”の割合が高くなっています。一方、“苦しい”の割合が低くなっています。

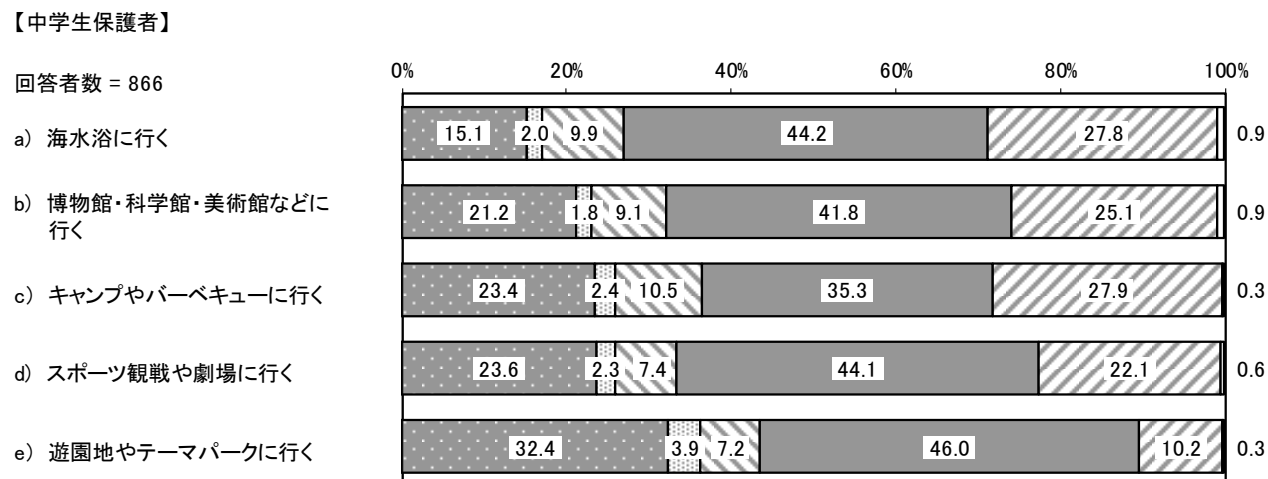
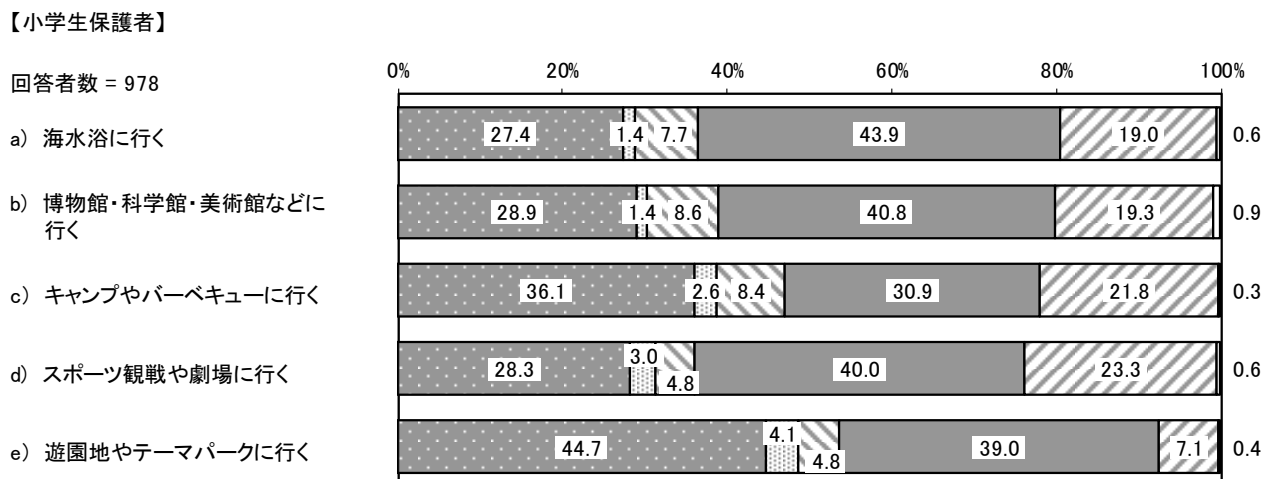
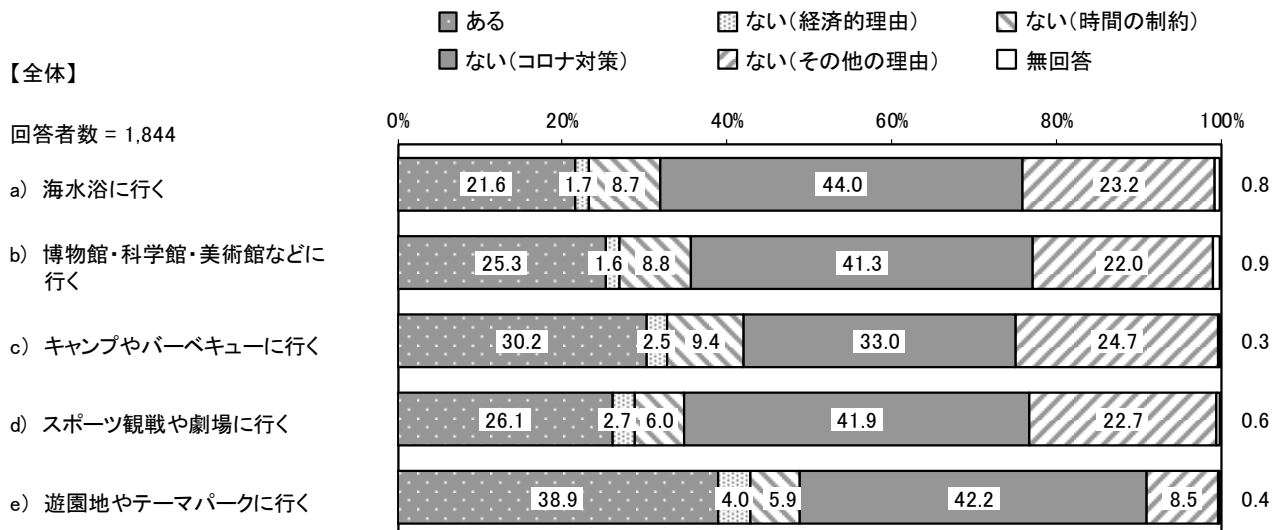


※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

※千葉県調査では「苦しい」の選択肢は「やや苦しい」でした。

問 23 過去 1 年間に、あなたのご家庭ではお子さんと次の様な体験をしましたか。(a～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

全体、小学生保護者、中学生保護者ともに、『e)遊園地やテーマパークに行く』で「ある」の割合が高くなっています。

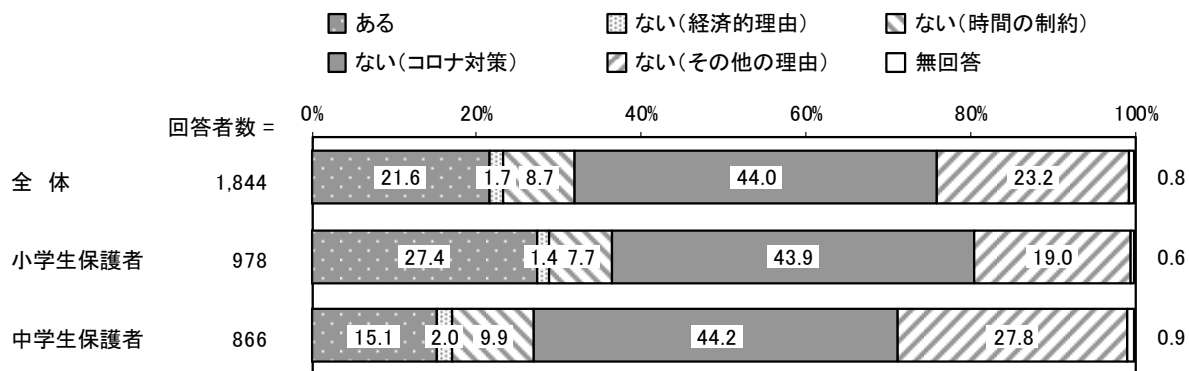


a)海水浴に行く

全体では、「ない（コロナ対策）」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「ない（その他の理由）」の割合が 23.2%、「ある」の割合が 21.6%となっています。

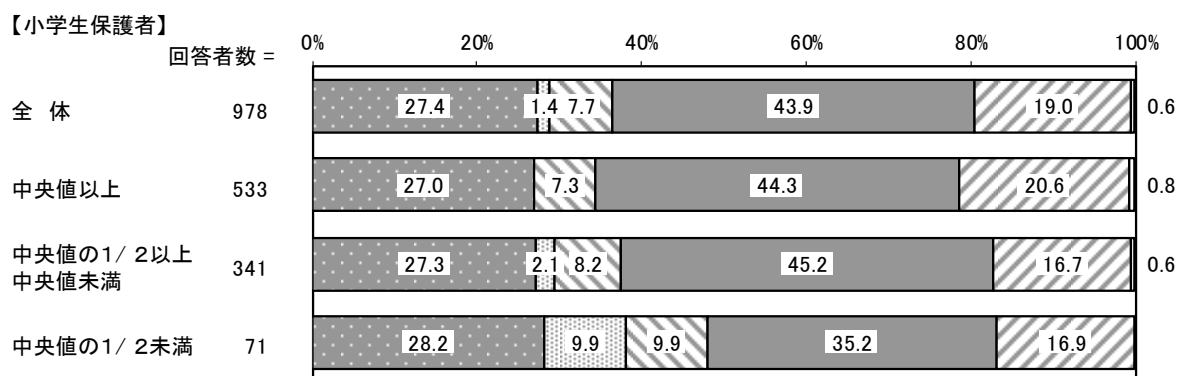
小学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「ある」の割合が 27.4%、「ない（その他の理由）」の割合が 19.0%となっています。

中学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「ない（その他の理由）」の割合が 27.8%、「ある」の割合が 15.1%となっています。

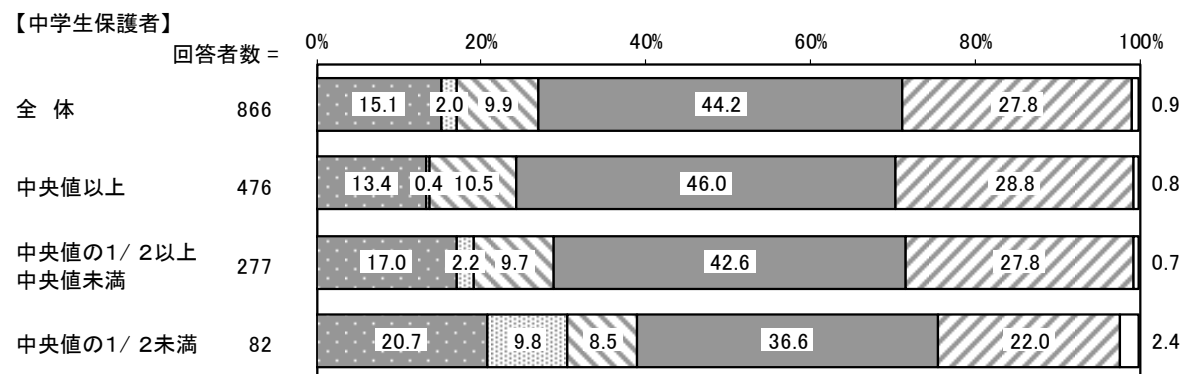


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

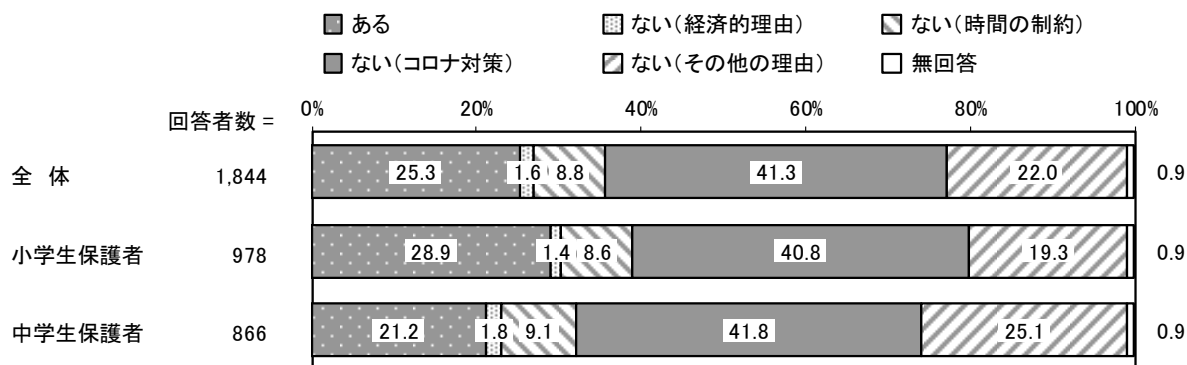


b)博物館・科学館・美術館などに行く

「ない（コロナ対策）」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「ある」の割合が 25.3%、「ない（その他の理由）」の割合が 22.0%となっています。

小学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「ある」の割合が 28.9%、「ない（その他の理由）」の割合が 19.3%となっています。

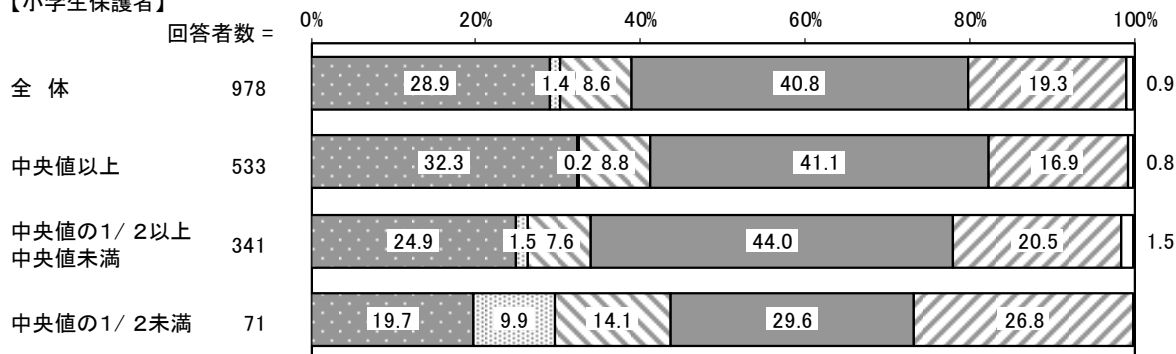
中学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「ない（その他の理由）」の割合が 25.1%、「ある」の割合が 21.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

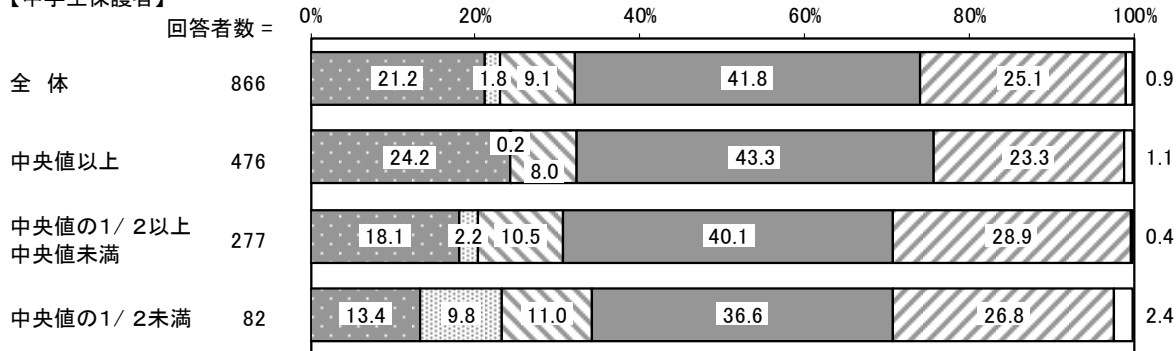
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ある」の割合が高くなっています。中央値の1/2未満で「ない（経済的理由）」「ない（時間の制約）」「ない（その他の理由）」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ある」の割合が高くなっています。中央値の1/2未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

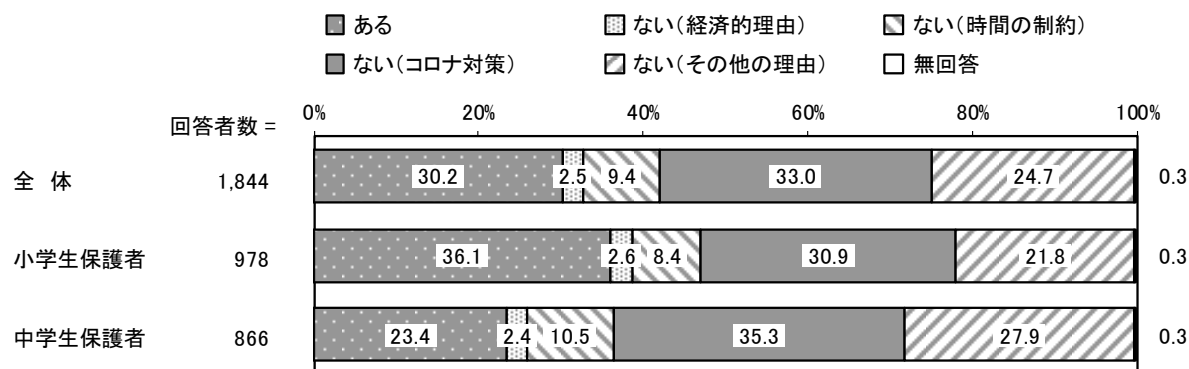


c) キャンプやバーベキューに行く

全体では、「ない（コロナ対策）」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が 30.2%、「ない（その他の理由）」の割合が 24.7%となっています。

小学生保護者では、「ある」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「ない（コロナ対策）」の割合が 30.9%、「ない（その他の理由）」の割合が 21.8%となっています。

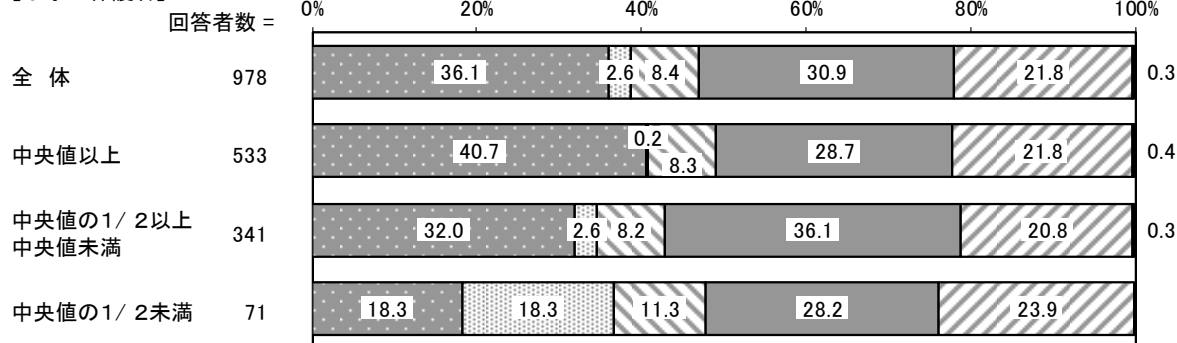
中学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「ない（その他の理由）」の割合が 27.9%、「ある」の割合が 23.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

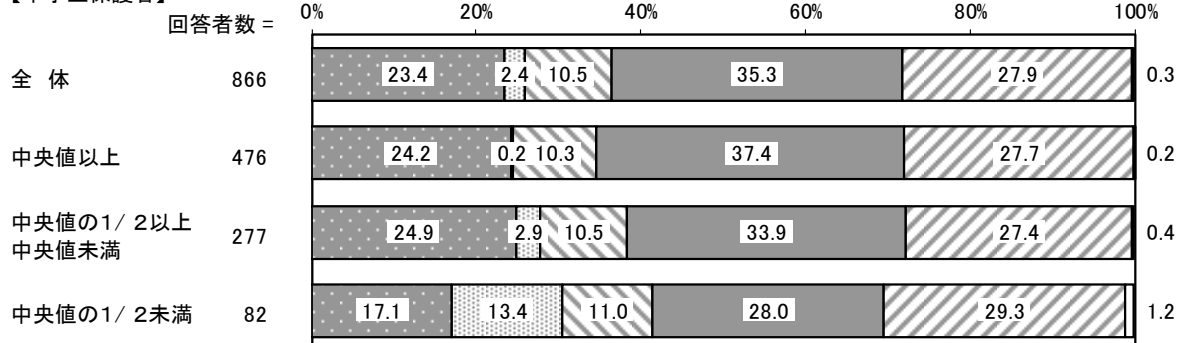
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ある」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「ない（コロナ対策）」の割合が、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

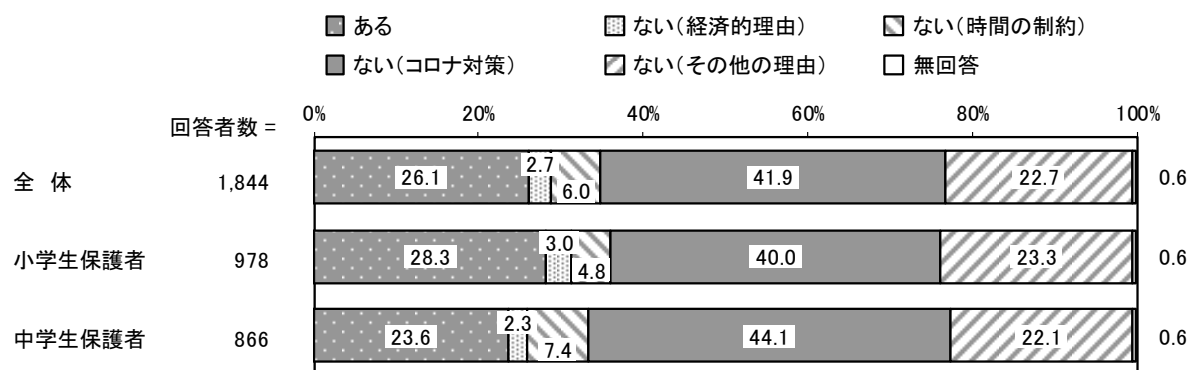


d)スポーツ観戦や劇場に行く

全体では、「ない（コロナ対策）」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「ある」の割合が 26.1%、「ない（その他の理由）」の割合が 22.7%となっています。

小学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が 28.3%、「ない（その他の理由）」の割合が 23.3%となっています。

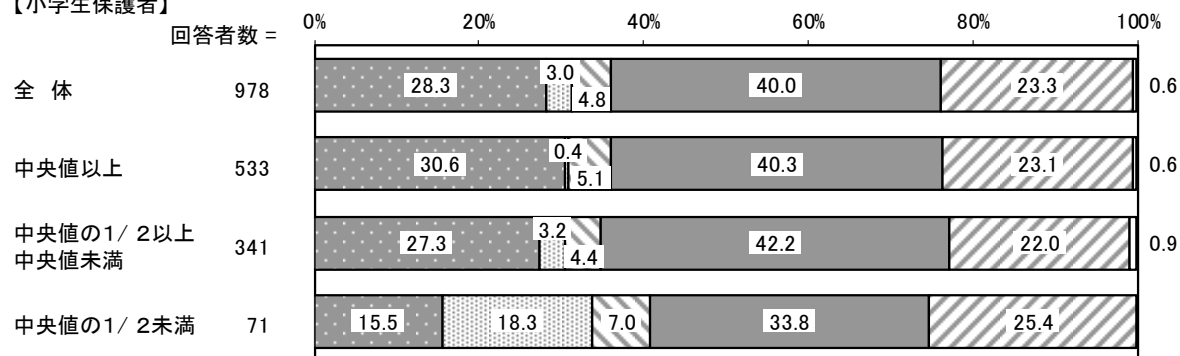
中学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「ある」の割合が 23.6%、「ない（その他の理由）」の割合が 22.1%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

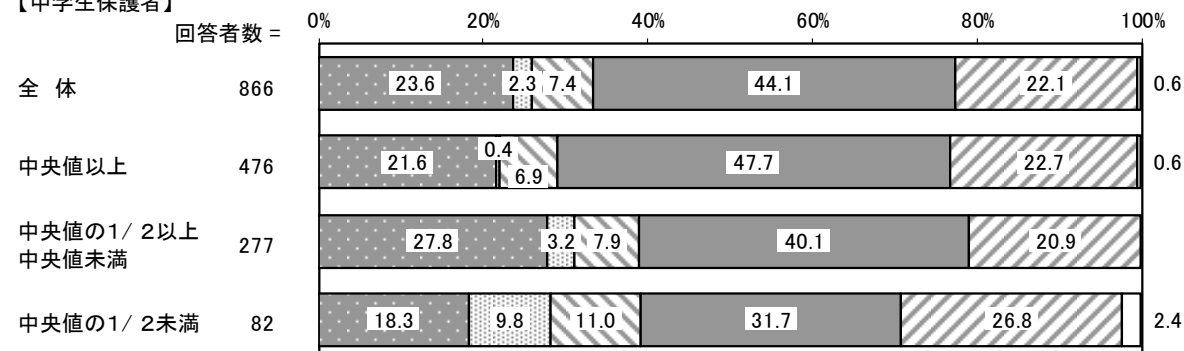
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ない（コロナ対策）」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「ある」の割合が、中央値の 1 / 2 未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

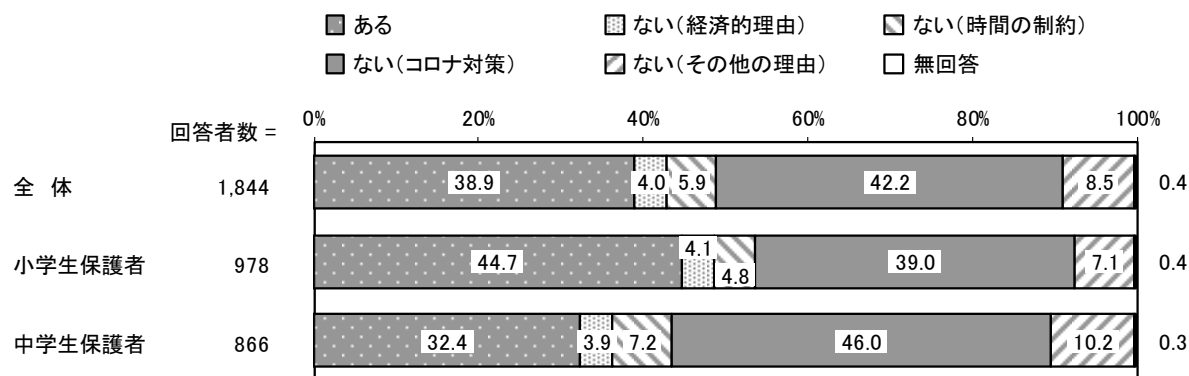


e)遊園地やテーマパークに行く

全体では、「ない（コロナ対策）」の割合が42.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が38.9%となっています。

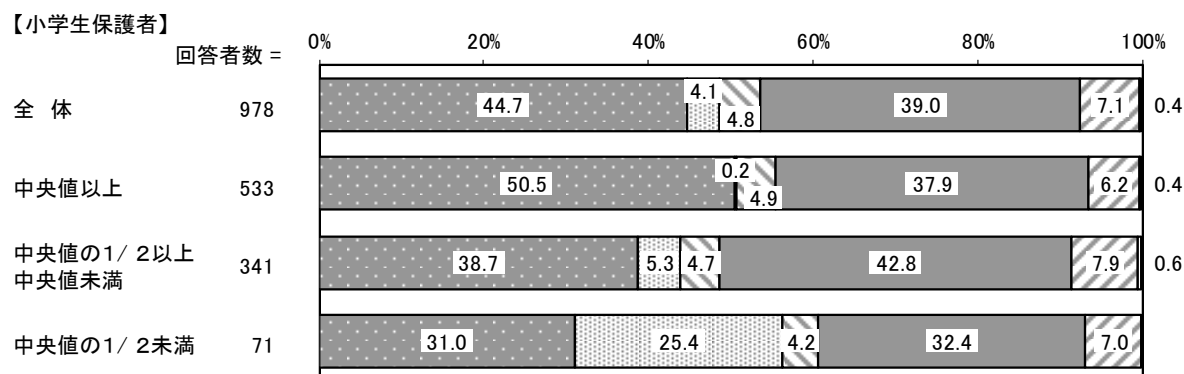
小学生保護者では、「ある」の割合が44.7%と最も高く、次いで「ない（コロナ対策）」の割合が39.0%となっています。

中学生保護者では、「ない（コロナ対策）」の割合が46.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が32.4%、「ない（その他の理由）」の割合が10.2%となっています。

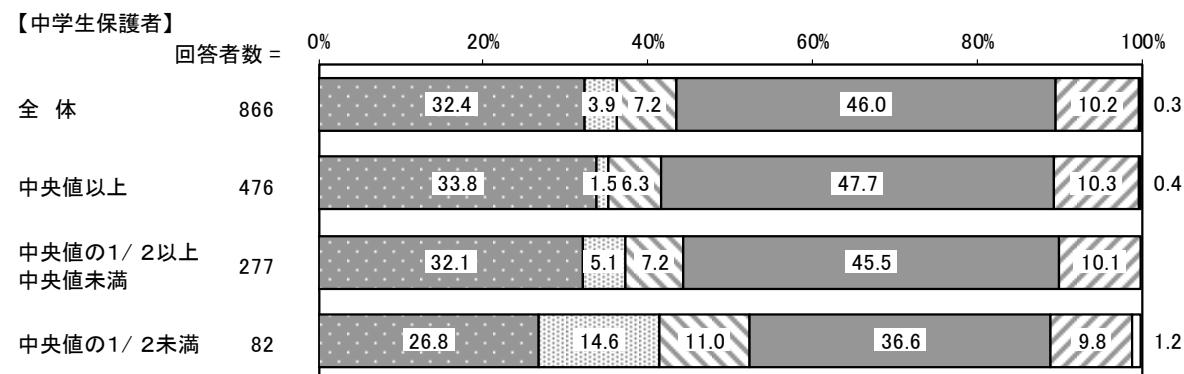


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「ある」の割合が高くなっています。中央値の1/2未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「ない（経済的理由）」の割合が高くなっています。



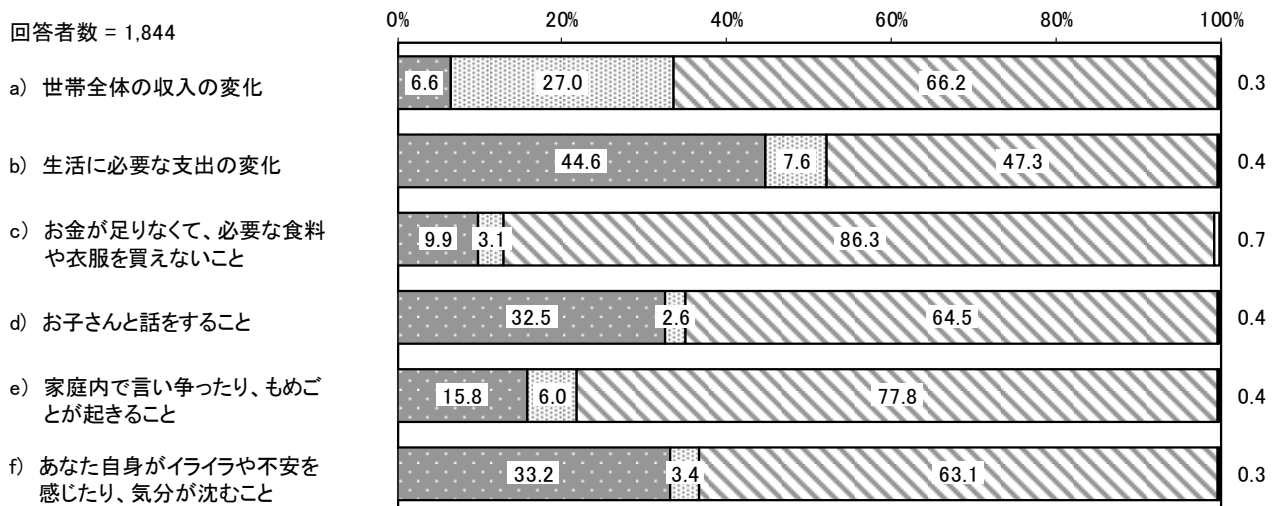
問 24 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020 年 2 月以前）から比べて、どの様になりましたか。
（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

全体、小学生保護者、中学生保護者ともに、『a) 世帯全体の収入の変化』で「減った」の割合が、『b) 生活に必要な支出の変化』で「増えた」の割合が高くなっています。また、『c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと』で「変わらない」の割合が高くなっています。

■ 増えた ▨ 減った ▩ 変わらない □ 無回答

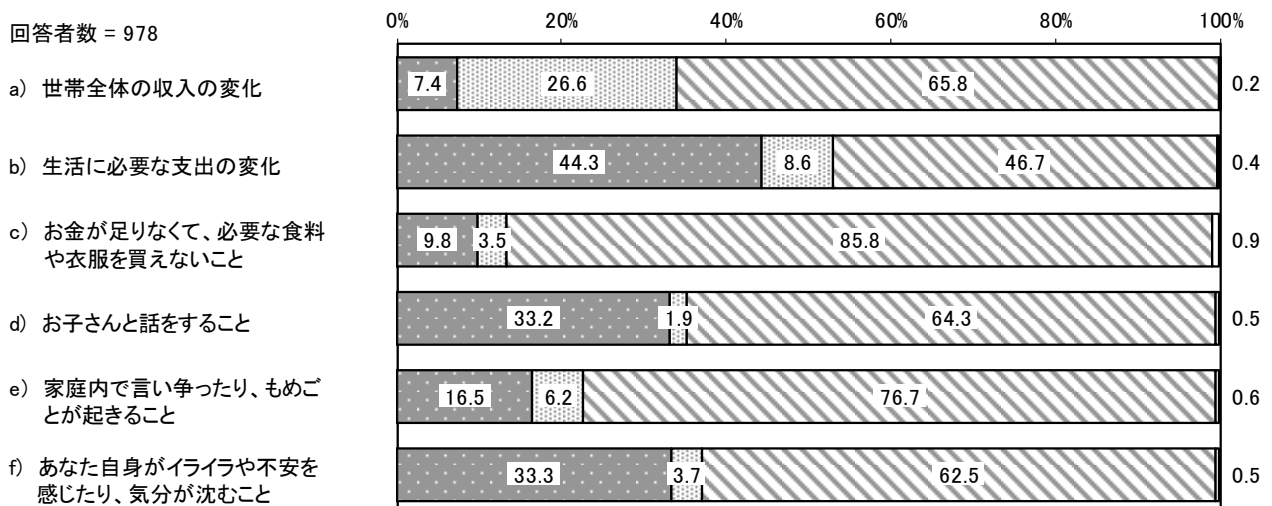
【全体】

回答者数 = 1,844



【小学生保護者】

回答者数 = 978



【中学生保護者】

回答者数 = 866

a) 世帯全体の収入の変化

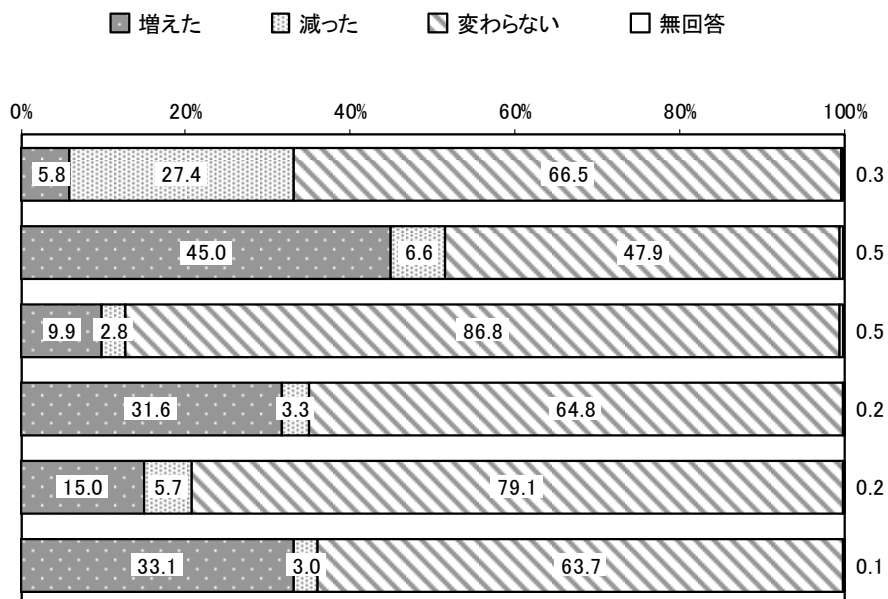
b) 生活に必要な支出の変化

c) お金が足りなくて、必要な食料
や衣服を買えないこと

d) お子さんと話をすること

e) 家庭内で言い争ったり、もめご
とが起きること

f) あなた自身がイライラや不安を
感じたり、気分が沈むこと

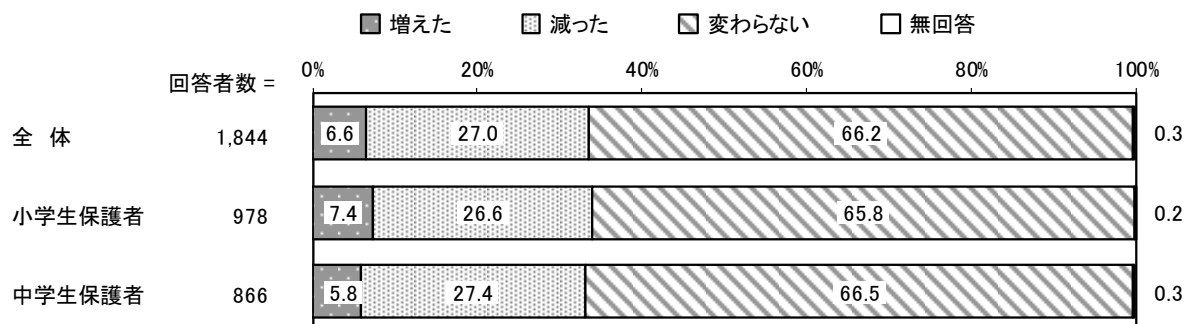


a)世帯全体の収入の変化

全体では、「変わらない」の割合が66.2%と最も高く、次いで「減った」の割合が27.0%となっています。

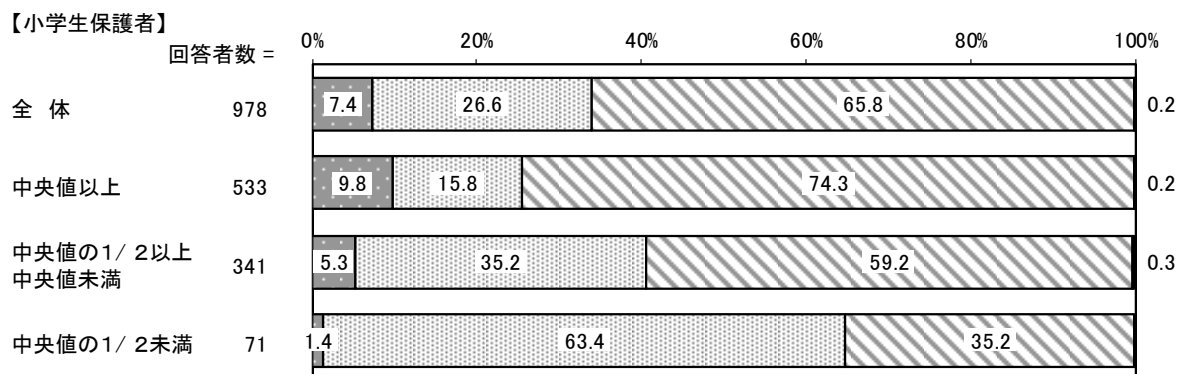
小学生保護者では、「変わらない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「減った」の割合が26.6%となっています。

中学生保護者では、「変わらない」の割合が66.5%と最も高く、次いで「減った」の割合が27.4%となっています。

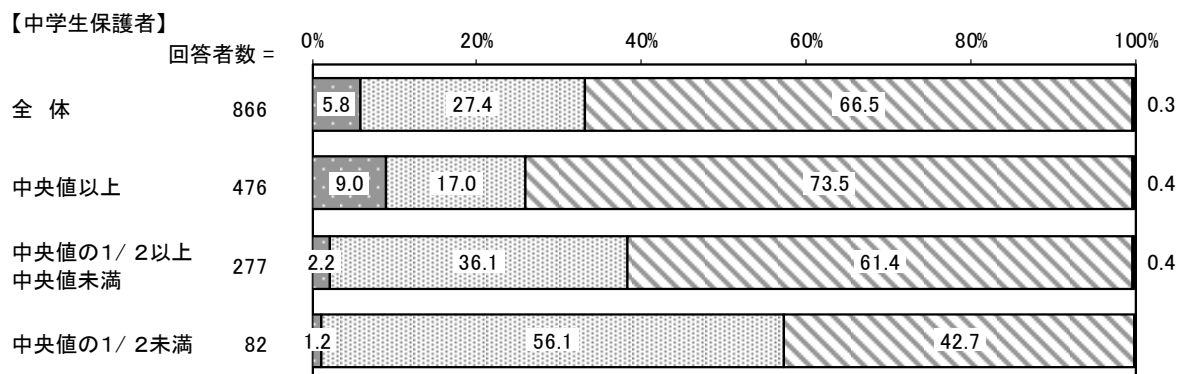


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「減った」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「減った」の割合が高くなっています。

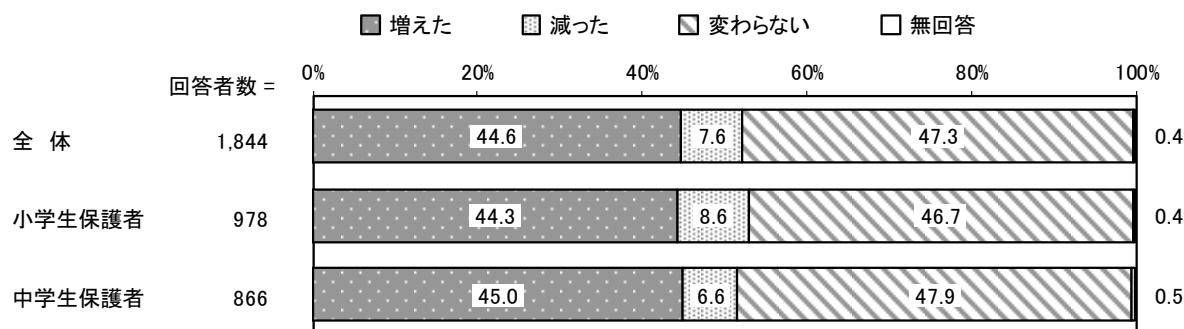


b)生活に必要な支出の変化

全体では、「変わらない」の割合が47.3%と最も高く、次いで「増えた」の割合が44.6%となっています。

小学生保護者では、「変わらない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「増えた」の割合が44.3%となっています。

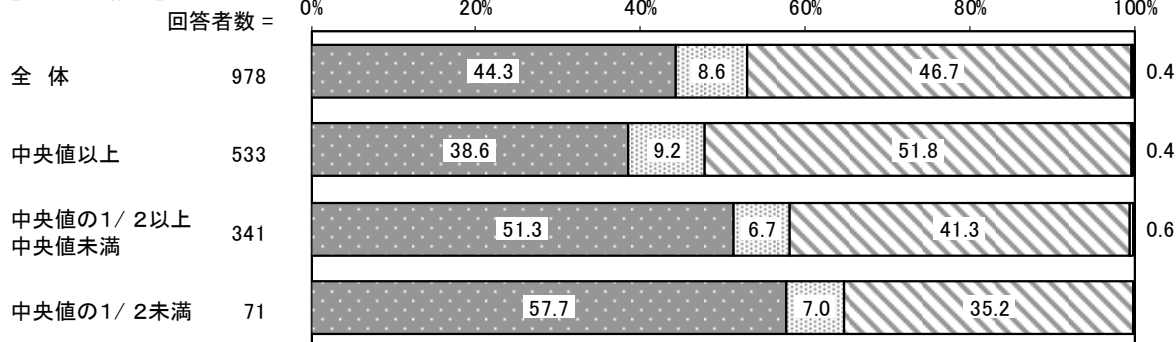
中学生保護者では、「変わらない」の割合が47.9%と最も高く、次いで「増えた」の割合が45.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

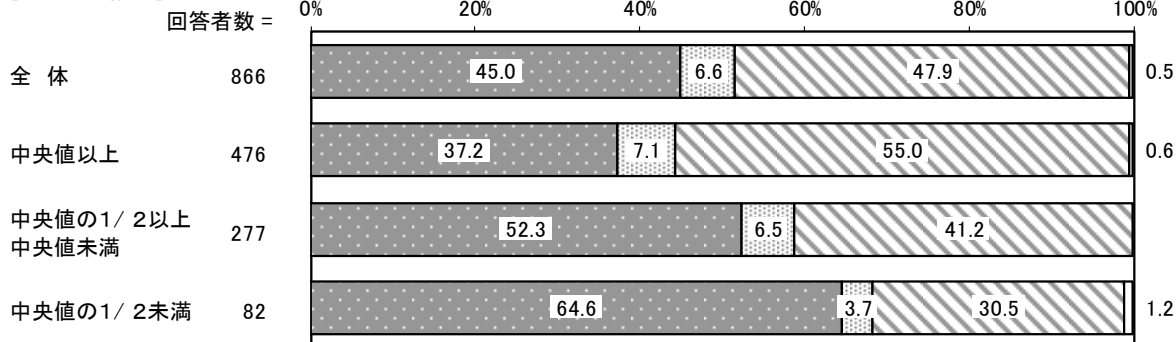
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

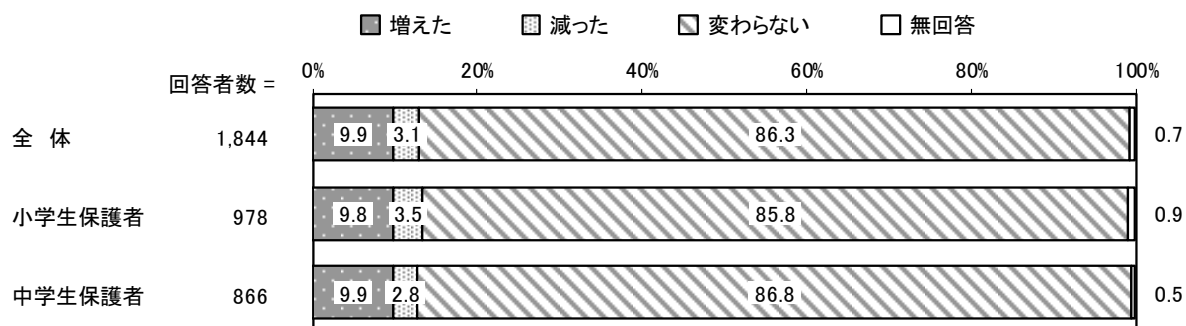


c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

全体では、「変わらない」の割合が 86.3%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「変わらない」の割合が 85.8%と最も高くなっています。

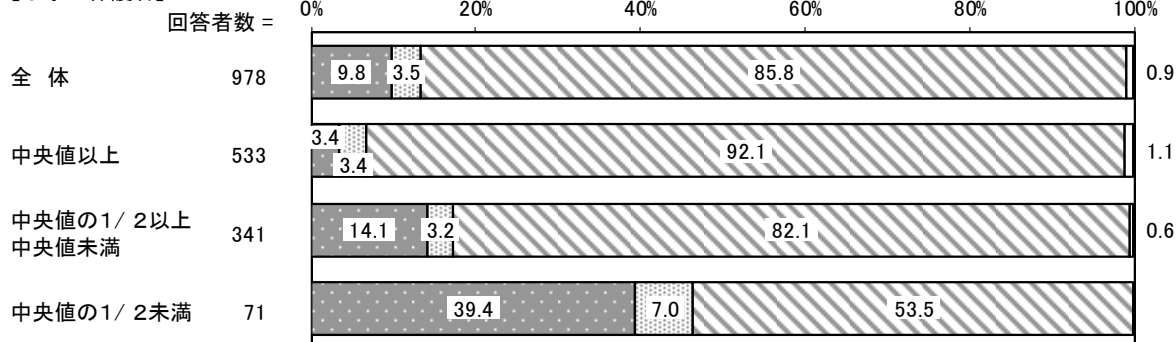
中学生保護者では、「変わらない」の割合が 86.8%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

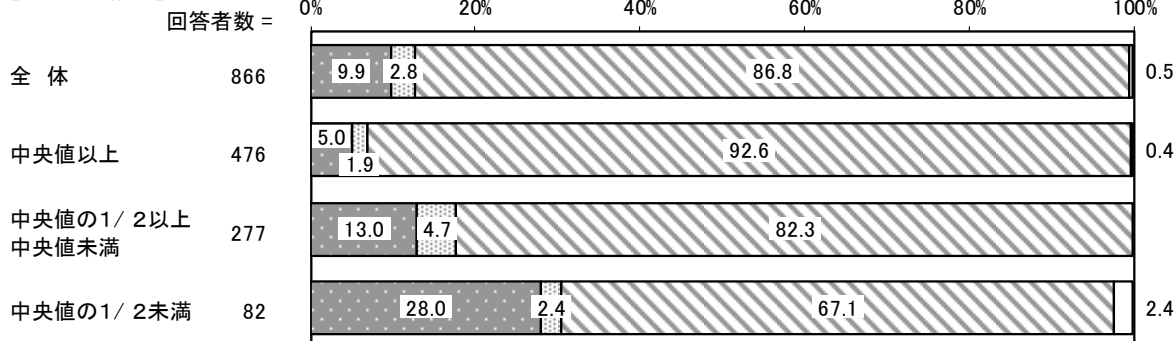
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「増えた」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。中央値の 1/2 未満で「増えた」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

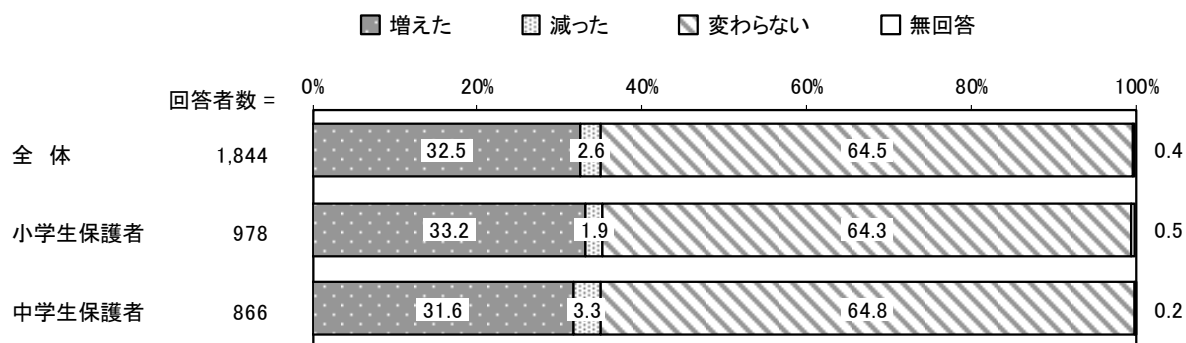


d)お子さんと話をすること

全体では、「変わらない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「増えた」の割合が32.5%となっています。

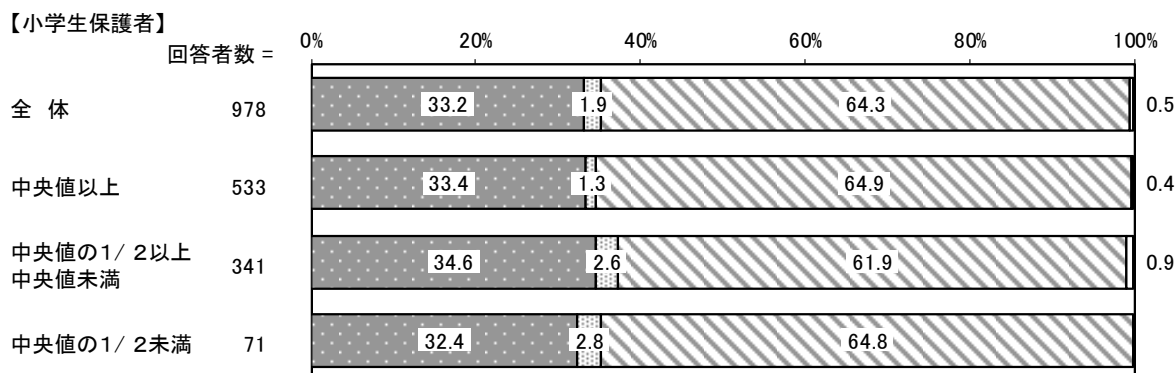
小学生保護者では、「変わらない」の割合が64.3%と最も高く、次いで「増えた」の割合が33.2%となっています。

中学生保護者では、「変わらない」の割合が64.8%と最も高く、次いで「増えた」の割合が31.6%となっています。

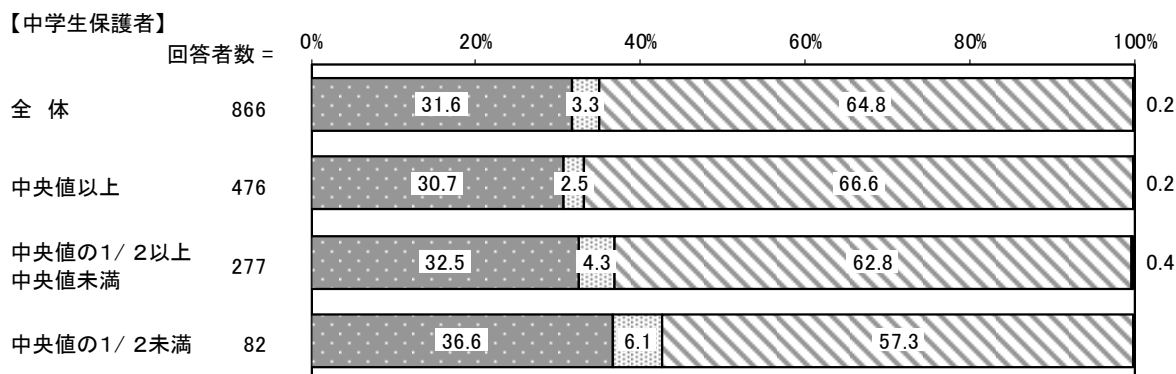


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。



等価世帯収入の水準別でみると、大きな差異はみられません。

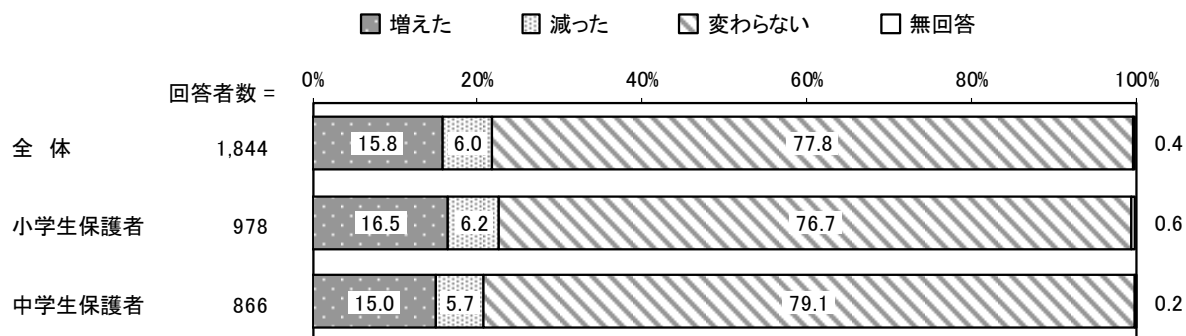


e)家庭内で言い争ったり、もめごとが起きること

全体では、「変わらない」の割合が77.8%と最も高く、次いで「増えた」の割合が15.8%となっています。

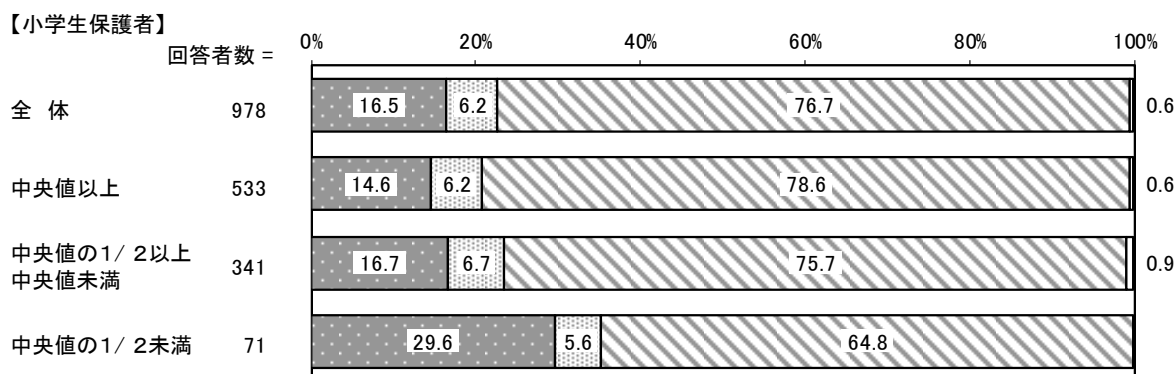
小学生保護者では、「変わらない」の割合が76.7%と最も高く、次いで「増えた」の割合が16.5%となっています。

中学生保護者では、「変わらない」の割合が79.1%と最も高く、次いで「増えた」の割合が15.0%となっています。

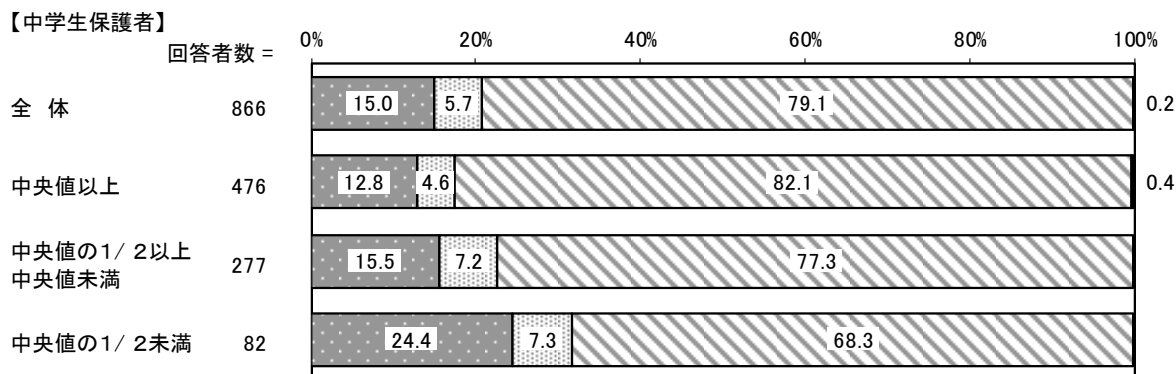


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

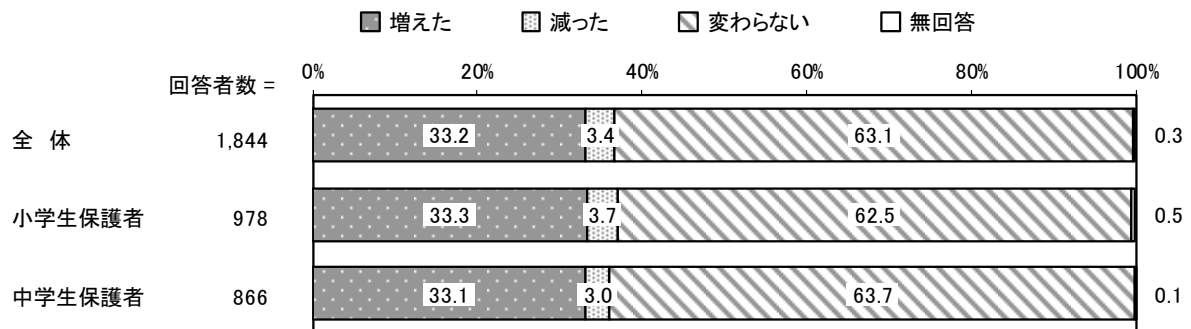


f)あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

全体では、「変わらない」の割合が63.1%と最も高く、次いで「増えた」の割合が33.2%となっています。

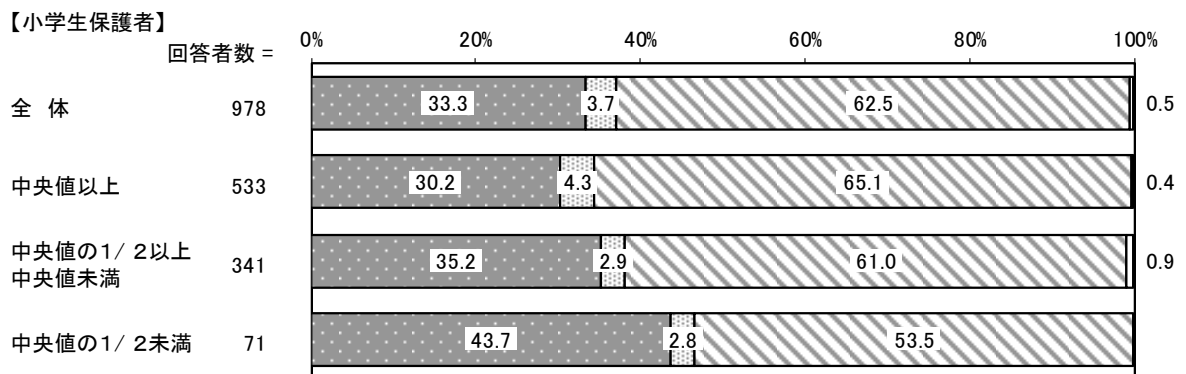
小学生保護者では、「変わらない」の割合が62.5%と最も高く、次いで「増えた」の割合が33.3%となっています。

中学生保護者では、「変わらない」の割合が63.7%と最も高く、次いで「増えた」の割合が33.1%となっています。

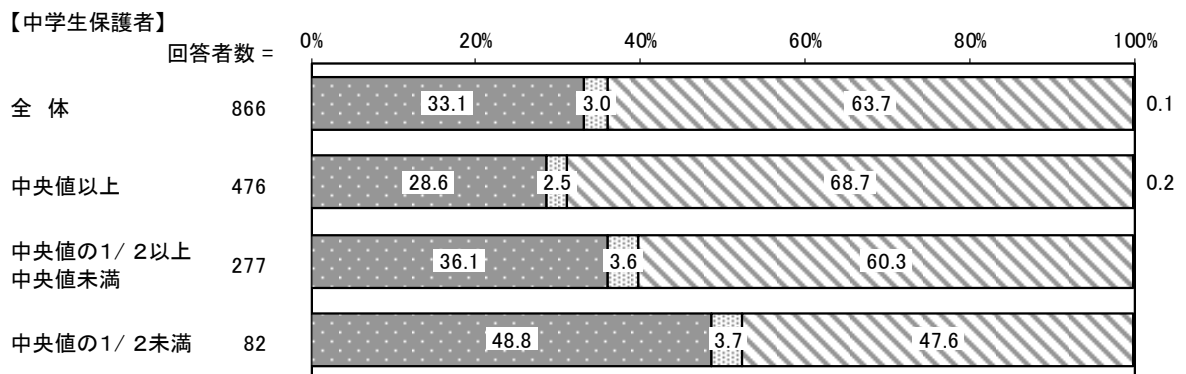


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「変わらない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「増えた」の割合が高くなっています。

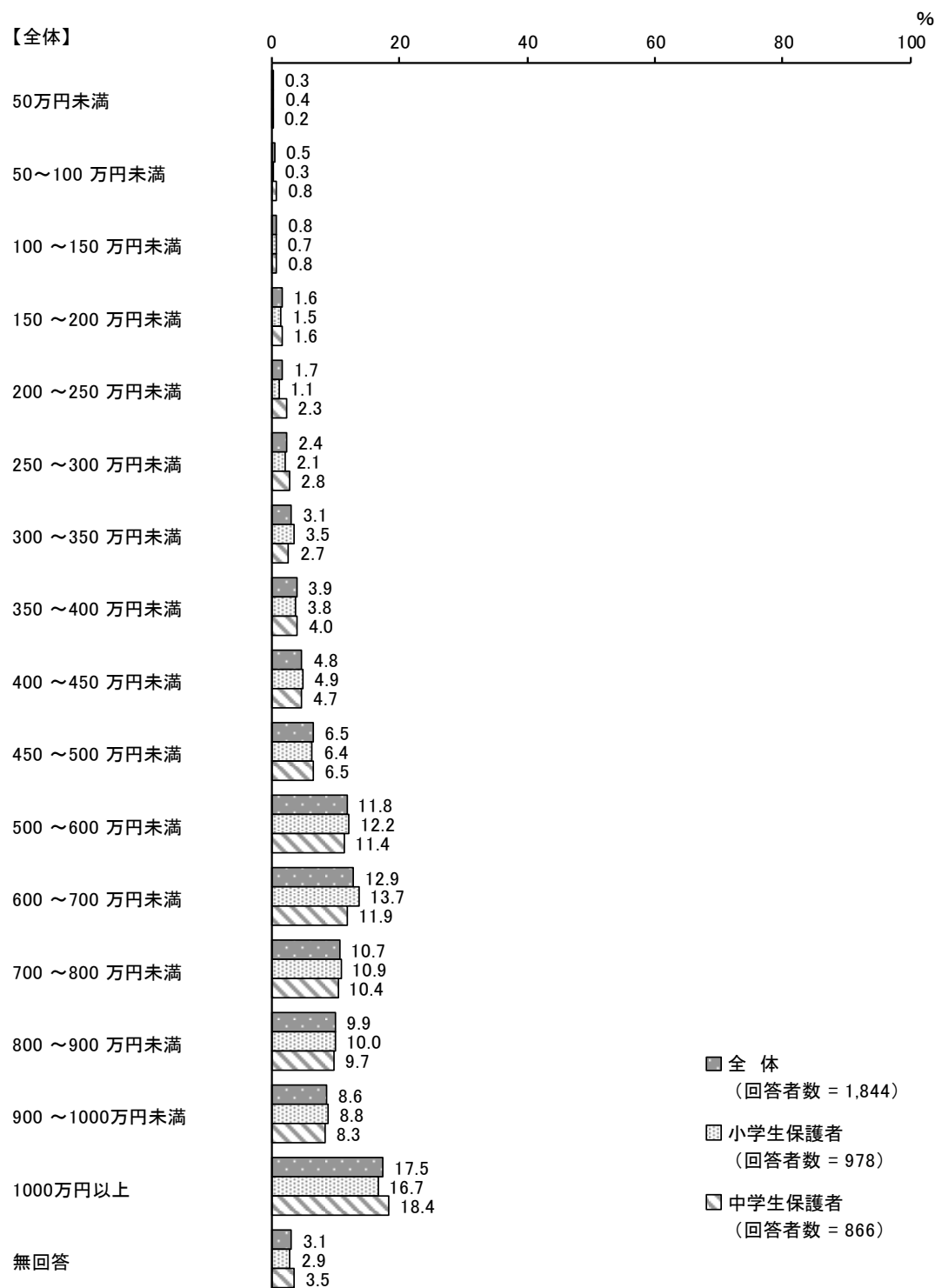


問 25 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。
(あてはまるもの1つに○)

全体では、「1000万円以上」の割合が17.5%と最も高く、次いで「600～700万円未満」の割合が12.9%、「500～600万円未満」の割合が11.8%となっています。

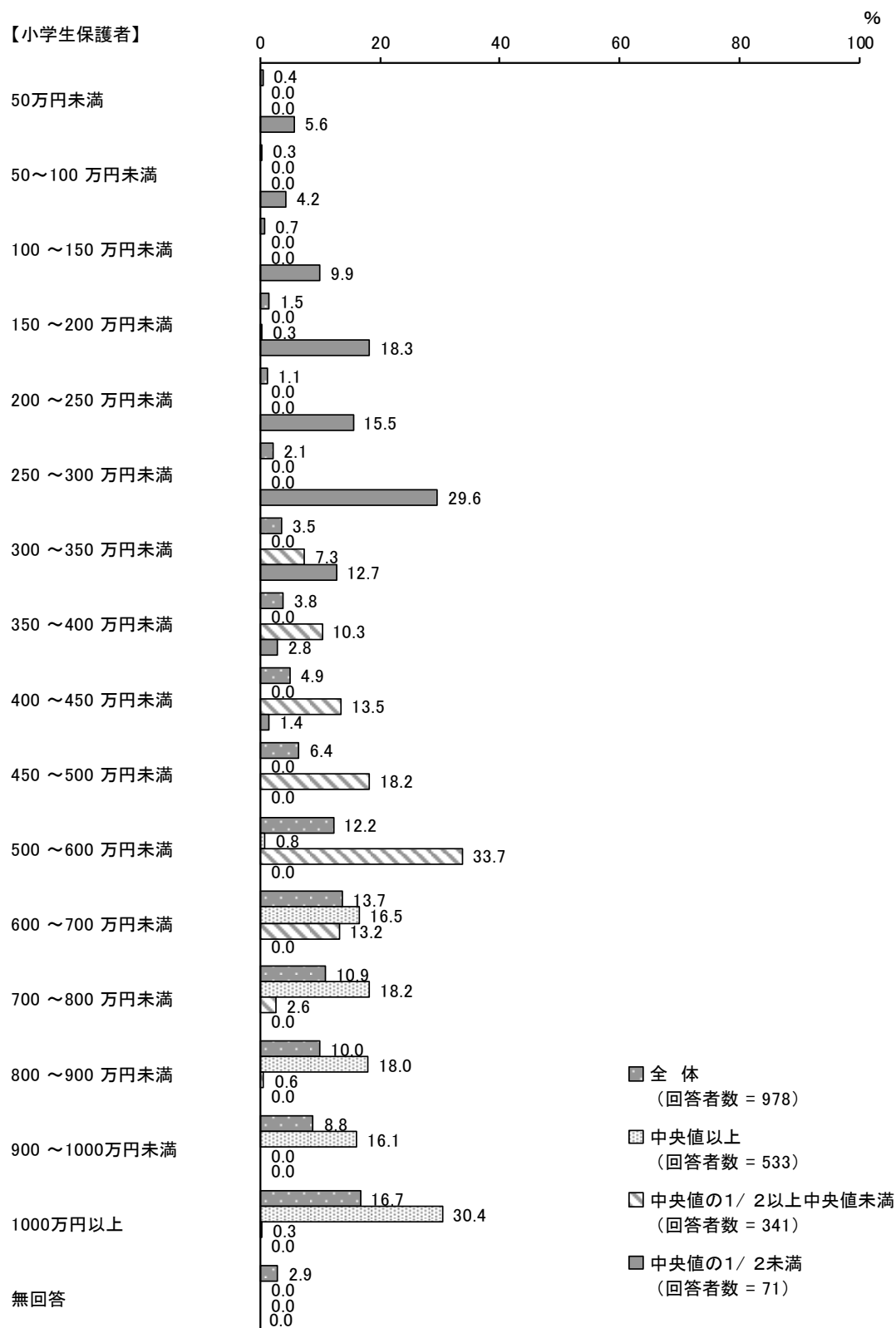
小学生保護者では、「1000万円以上」の割合が16.7%と最も高く、次いで「600～700万円未満」の割合が13.7%、「500～600万円未満」の割合が12.2%となっています。

中学生保護者では、「1000万円以上」の割合が18.4%と最も高く、次いで「600～700万円未満」の割合が11.9%、「500～600万円未満」の割合が11.4%となっています。



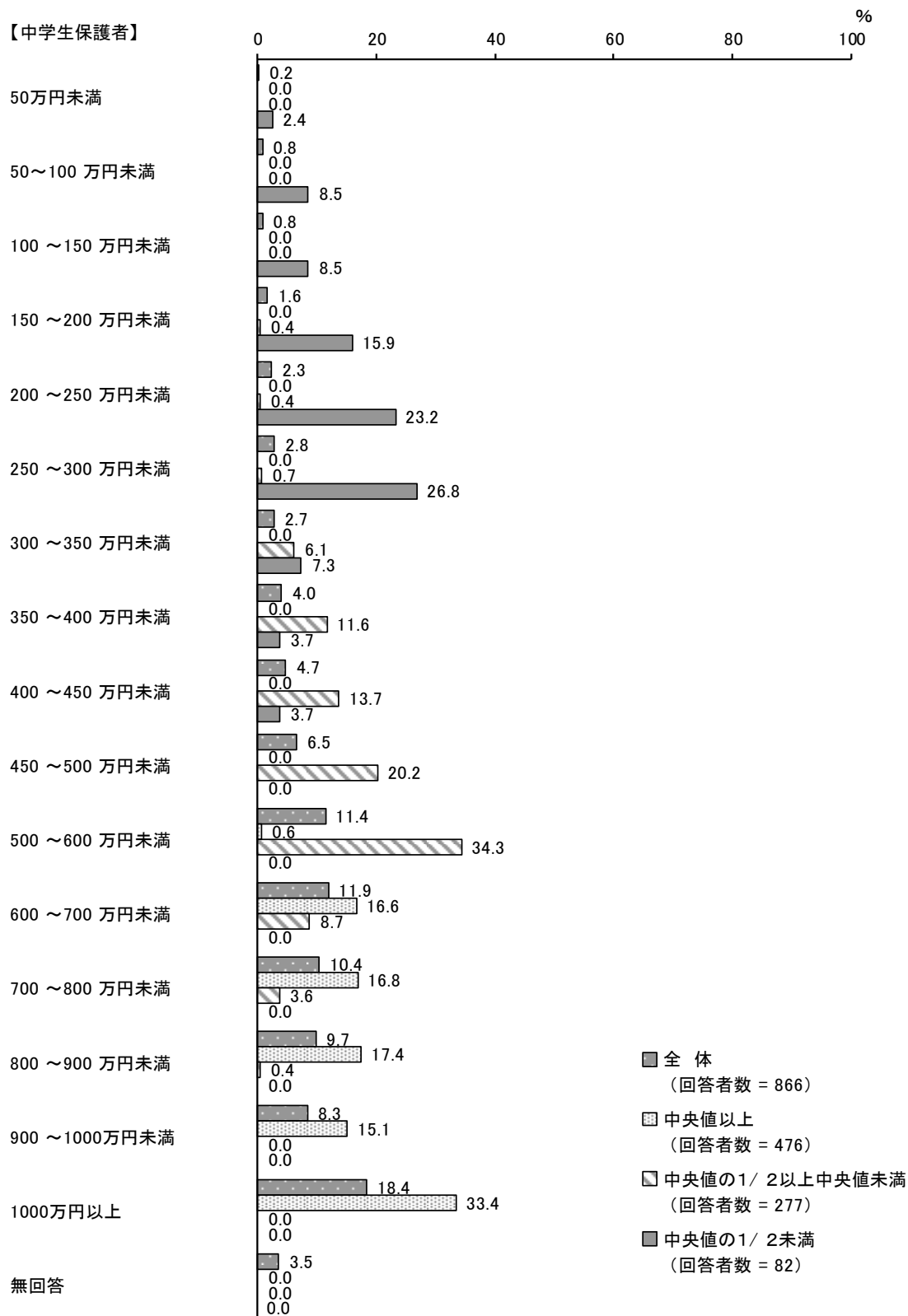
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「700～800 万円未満」「800～900 万円未満」「900～1000 万円未満」「1000 万円以上」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「350～400 万円未満」「400～450 万円未満」「450～500 万円未満」「500～600 万円未満」の割合が、中央値の 1 / 2 未満で 350 万円未満の割合が高くなっています。



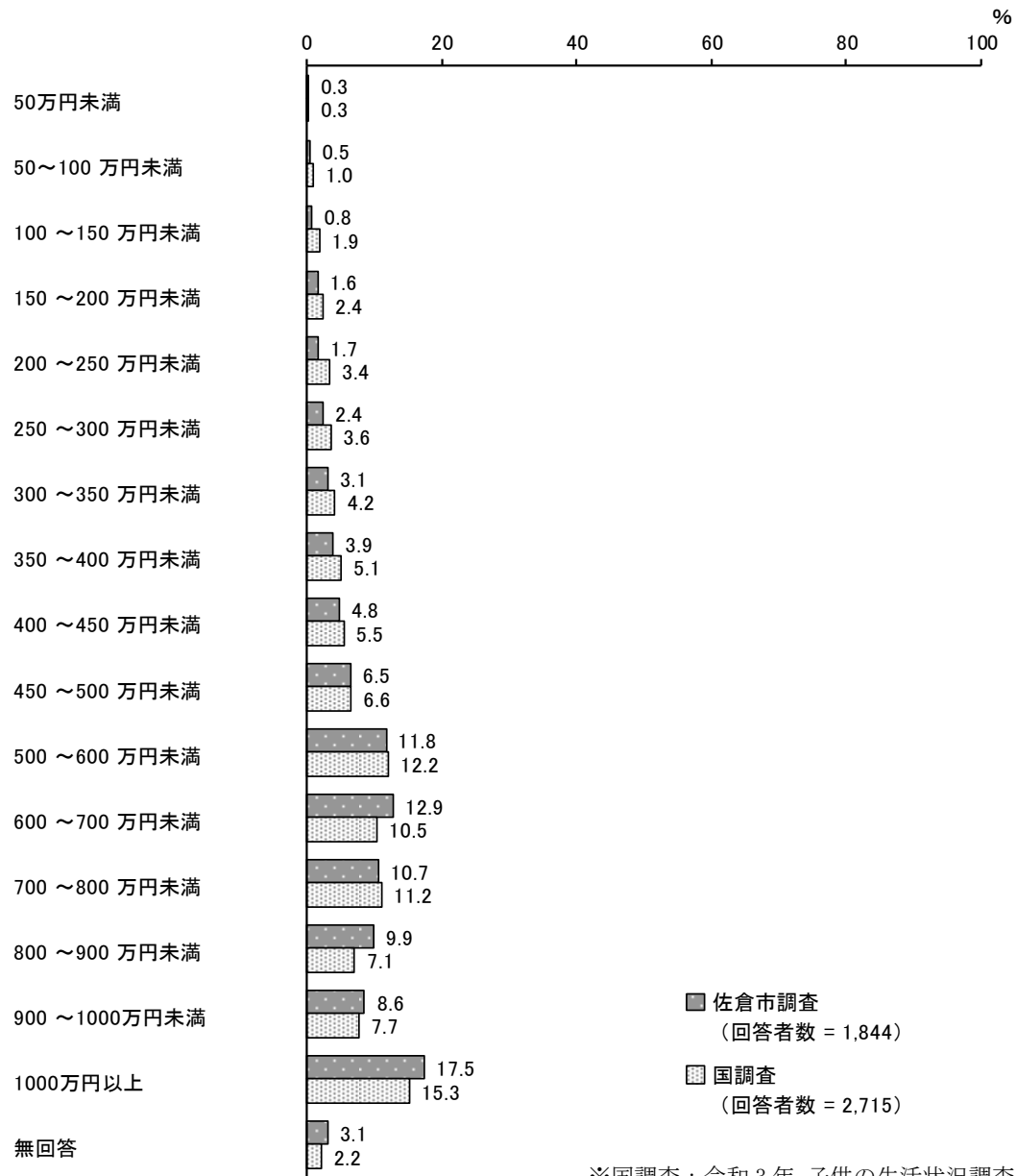
【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「700～800 万円未満」「800～900 万円未満」「900～1000 万円未満」「1000 万円以上」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「350～400 万円未満」「400～450 万円未満」「450～500 万円未満」「500～600 万円未満」の割合が、中央値の 1 / 2 未満で 300 万円未満の割合が高くなっています。



【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



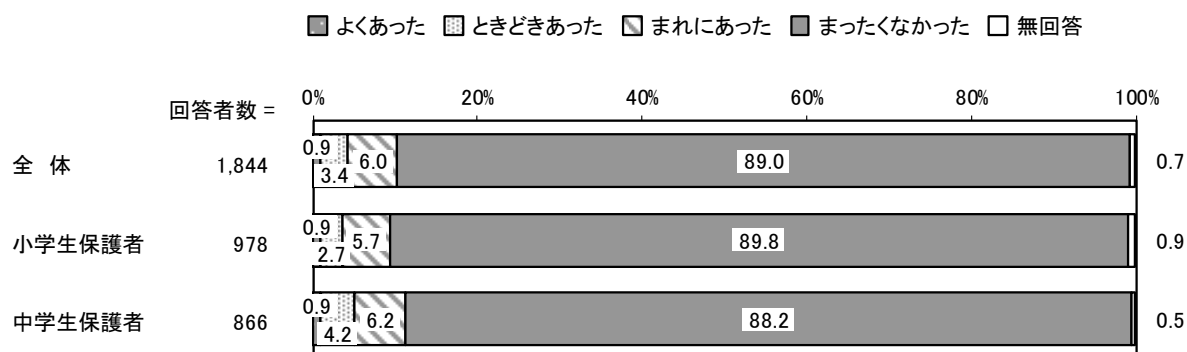
※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

**問 26 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。
(あてはまるもの 1 つに○)**

全体では、「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた“あった”の割合が 10.3%、「まったくなかった」の割合が 89.0%となっています。

小学生保護者では、“あった”の割合が 9.3%、「まったくなかった」の割合が 89.8%となっています。

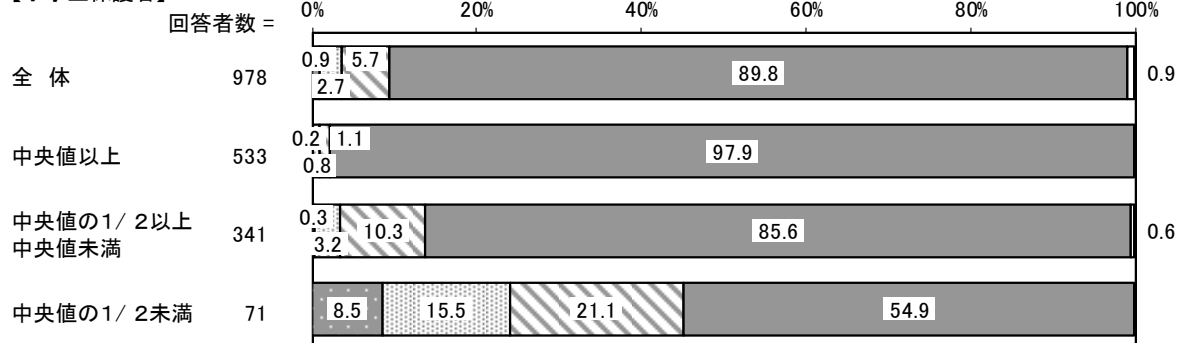
中学生保護者では、“あった”の割合が 11.3%、「まったくなかった」の割合が 88.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

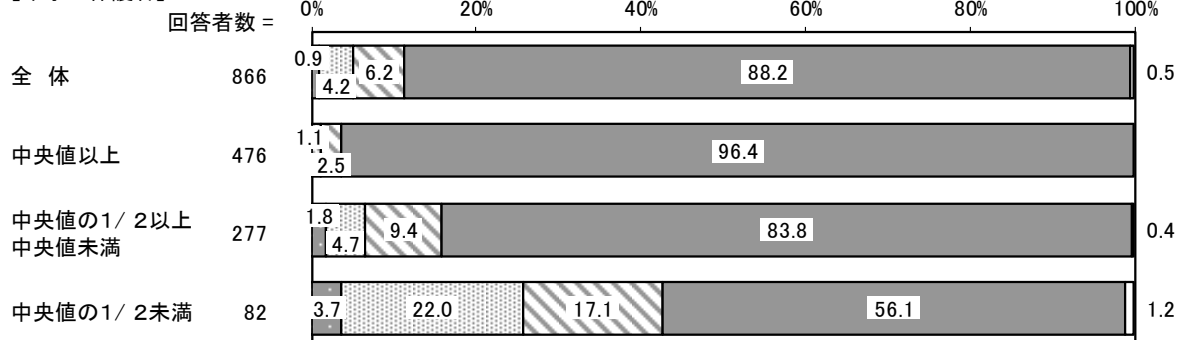
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



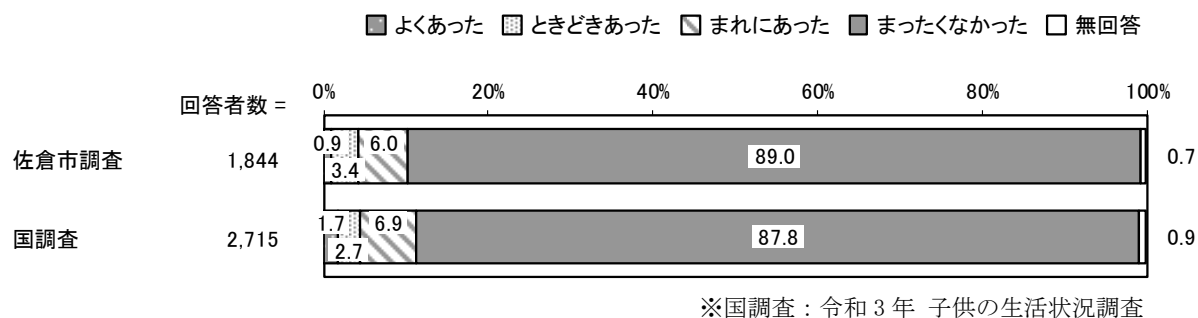
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



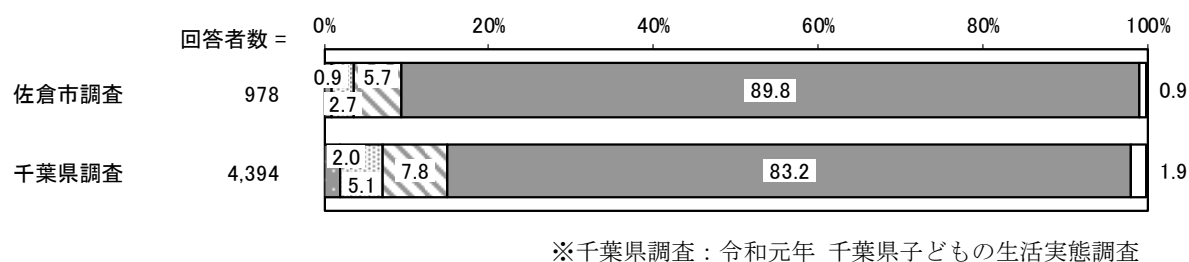
【国比較】

国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



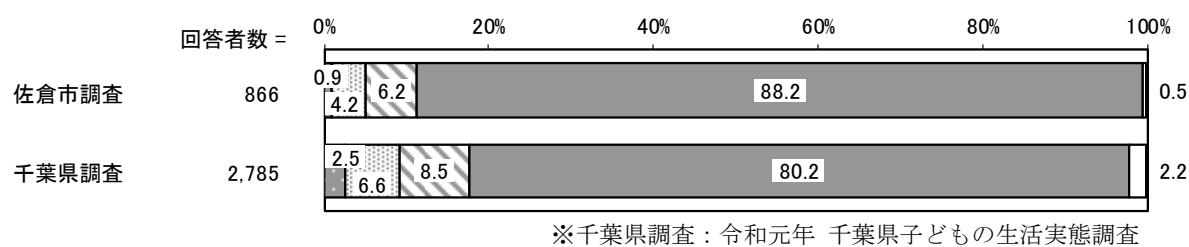
【県比較(小学生保護者)】

千葉県調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が高くなっています。



【県比較(中学生保護者)】

千葉県調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が高くなっています。

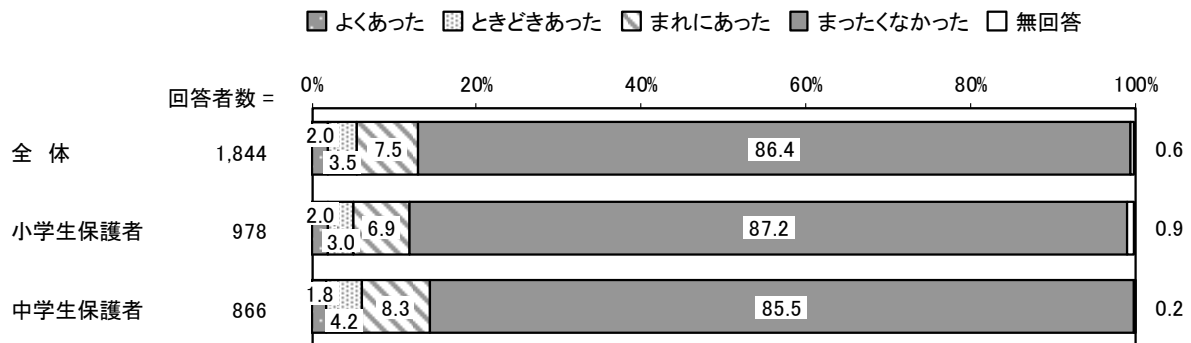


問 27 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（あてはまるもの 1 つに○）

全体では、「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた“あった”の割合が 13.0%、「まったくなかった」の割合が 86.4%となっています。

小学生保護者では、“あった”の割合が 11.9%、「まったくなかった」の割合が 87.2%となっています。

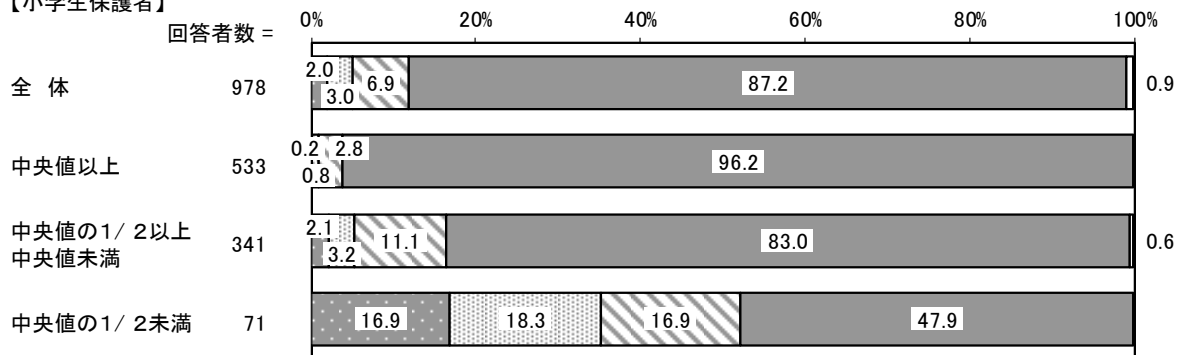
中学生保護者では、“あった”の割合が 14.3%、「まったくなかった」の割合が 85.5%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

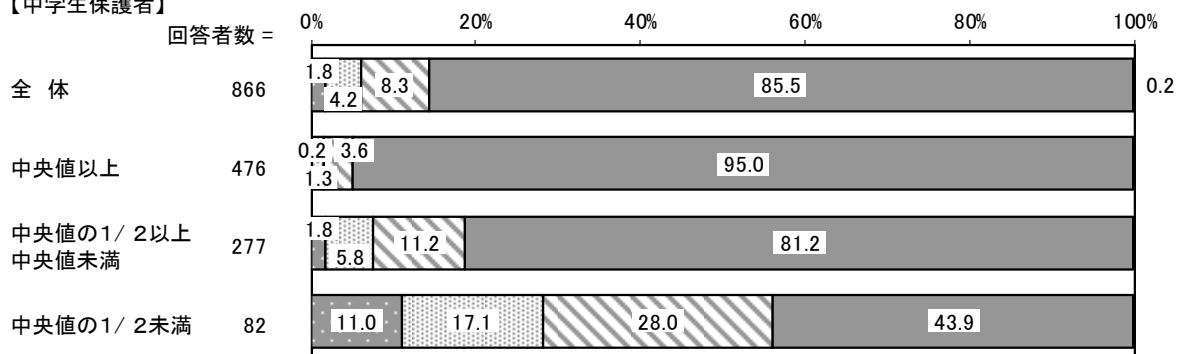
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



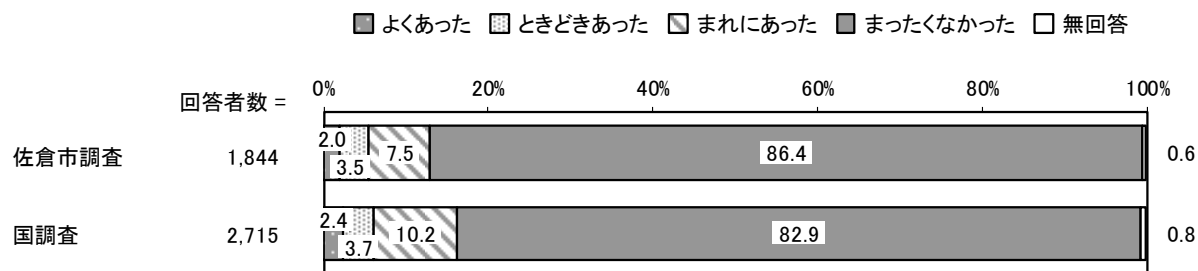
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



【国比較】

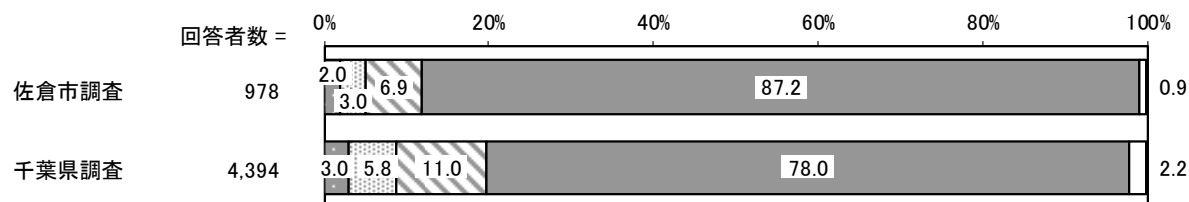
国調査と比較すると、大きな差異はみられません。



※国調査：令和3年 子供の生活状況調査

【県比較(小学生保護者)】

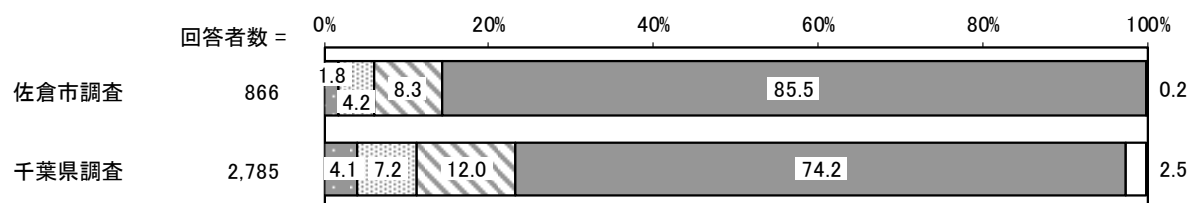
千葉県調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が高くなっています。



※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

【県比較(中学生保護者)】

千葉県調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が高くなっています。



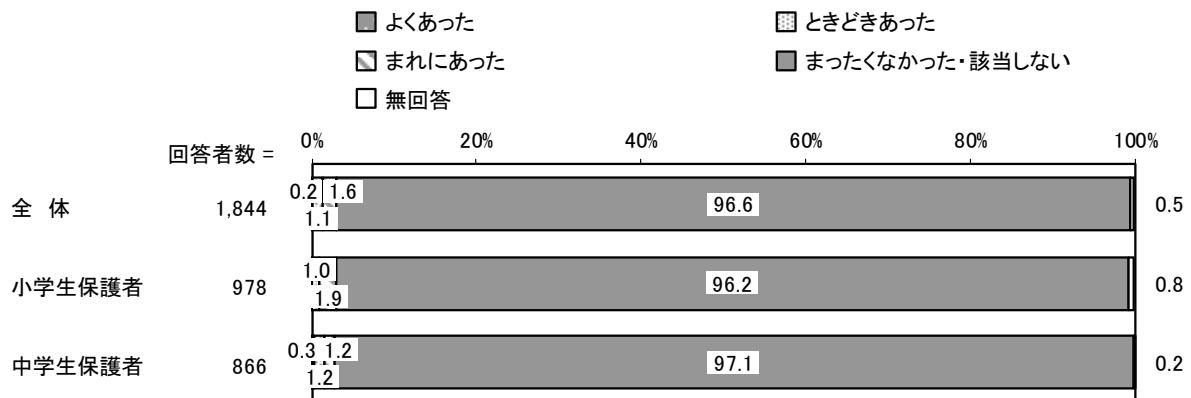
※千葉県調査：令和元年 千葉県子どもの生活実態調査

問 28 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする生理用品が買えないことがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

全体では、「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた“あった”の割合が 2.9%、「まったくなかった」の割合が 96.6%となっています。

小学生保護者では、“あった”の割合が 2.9%、「まったくなかった」の割合が 96.2%となっています。

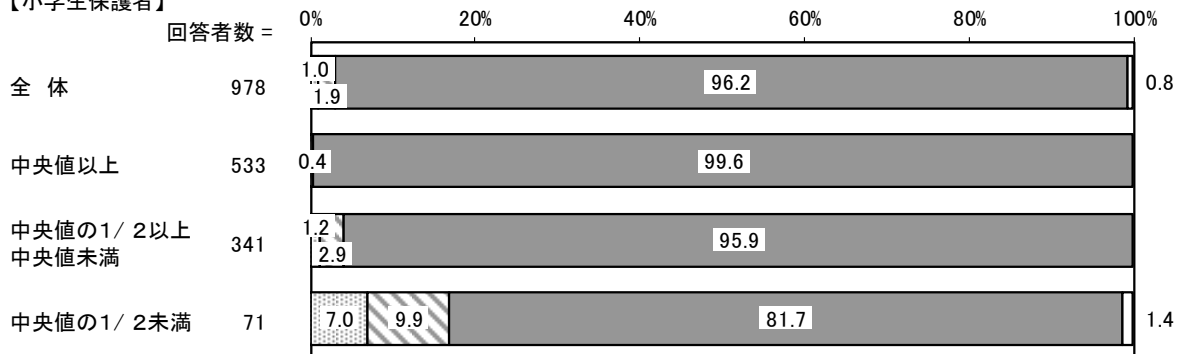
中学生保護者では、“あった”の割合が 2.7%、「まったくなかった」の割合が 97.1%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

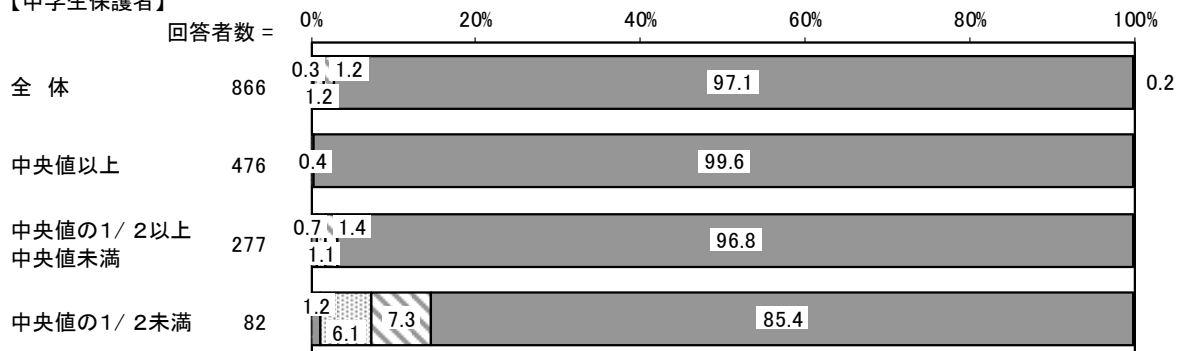
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の 1 / 2 未満で“あった”の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

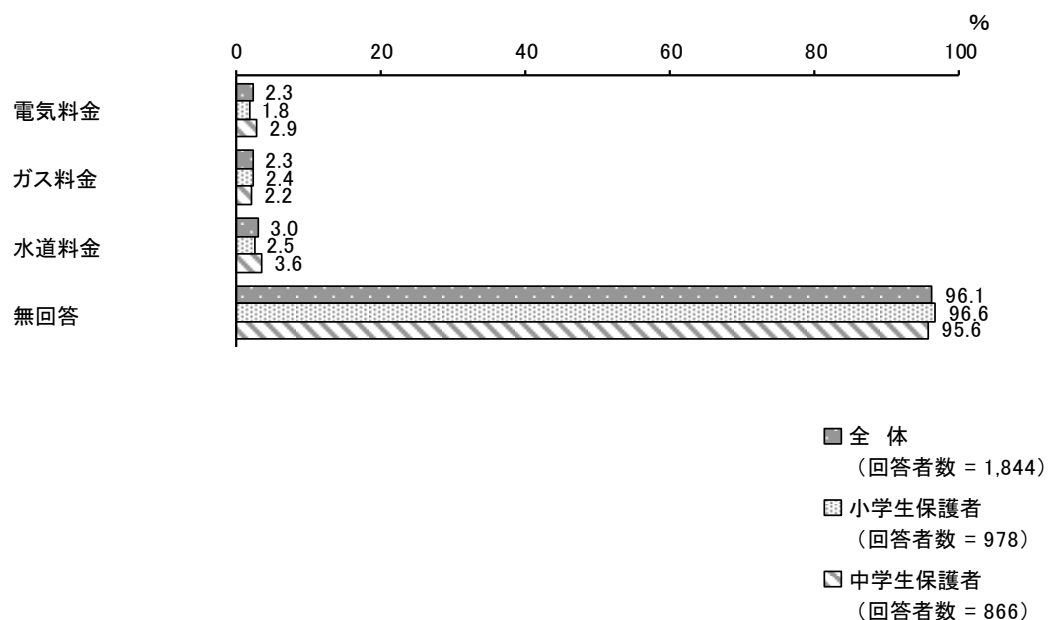


問 29 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「水道料金」の割合が 3.0%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「水道料金」の割合が 2.5%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「水道料金」の割合が 3.6%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「電気料金」「ガス料金」の割合が高くなっています。

単位：％

小学生保護者	回答者数 (件)	電気料金	ガス料金	水道料金	無回答
全 体	978	1.8	2.4	2.5	96.6
中央値以上	533	0.6	0.6	1.3	98.7
中央値の1/2以上中央値未満	341	2.3	3.2	3.5	95.0
中央値の1/2未満	71	9.9	12.7	7.0	87.3

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「電気料金」「ガス料金」「水道料金」の割合が高くなっています。

単位：％

中学生保護者	回答者数 (件)	電気料金	ガス料金	水道料金	無回答
全 体	866	2.9	2.2	3.6	95.6
中央値以上	476	1.3	0.8	2.1	97.7
中央値の1/2以上中央値未満	277	2.9	1.4	2.9	96.0
中央値の1/2未満	82	13.4	13.4	14.6	81.7

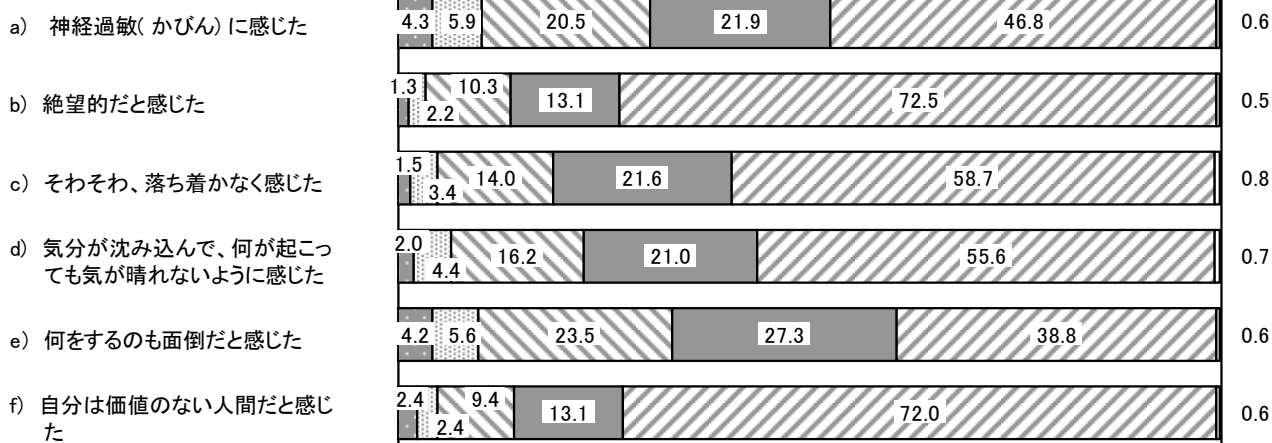
問 30 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのような感じでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

全体、小学生保護者、中学生保護者ともに、『b)絶望的だと感じた』『f)自分は価値のない人間だと感じた』で「まったくない」の割合が高くなっています。また、『e)何をするのも面倒だと感じた』で「ときどき」「少しだけ」の割合が高くなっています。

■ いつも ■ たいてい ■ ときどき ■ 少しだけ ■ まったくない □ 無回答

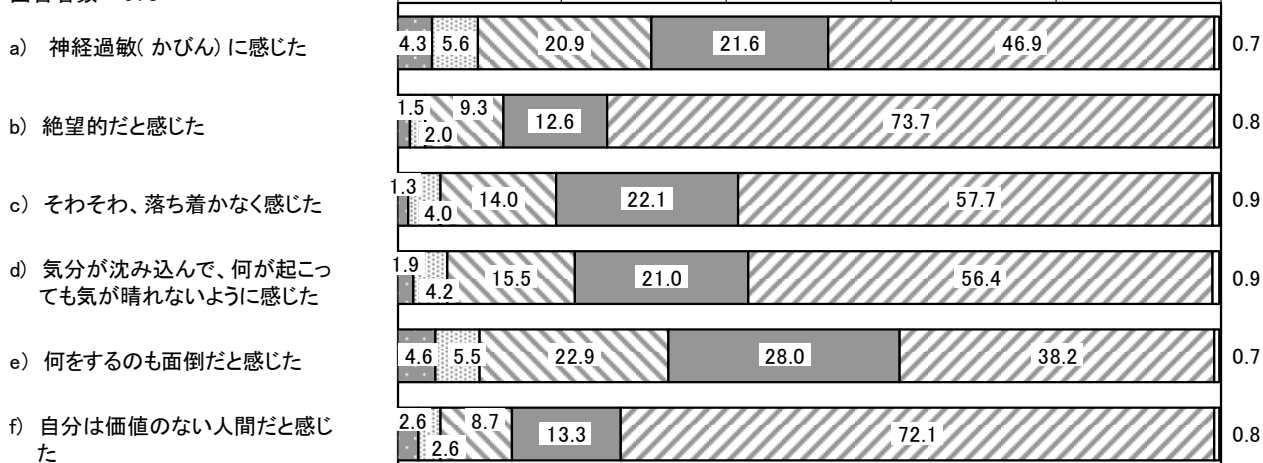
【全体】

回答者数 = 1,844



【小学生保護者】

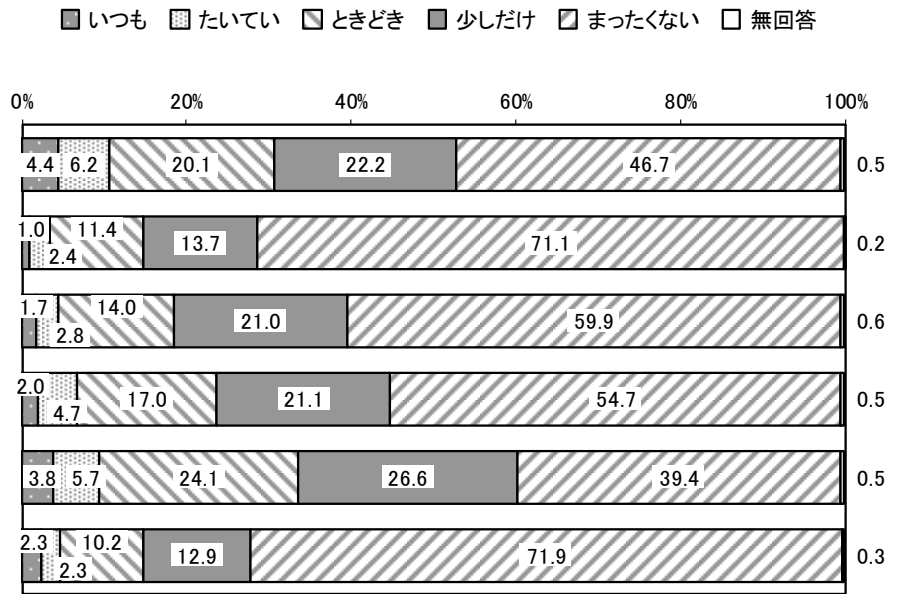
回答者数 = 978



【中学生保護者】

回答者数 = 866

- a) 神経過敏(かびん)に感じた
- b) 絶望的だと感じた
- c) そわそわ、落ち着かなく感じた
- d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e) 何をするのも面倒だと感じた
- f) 自分は価値のない人間だと感じた

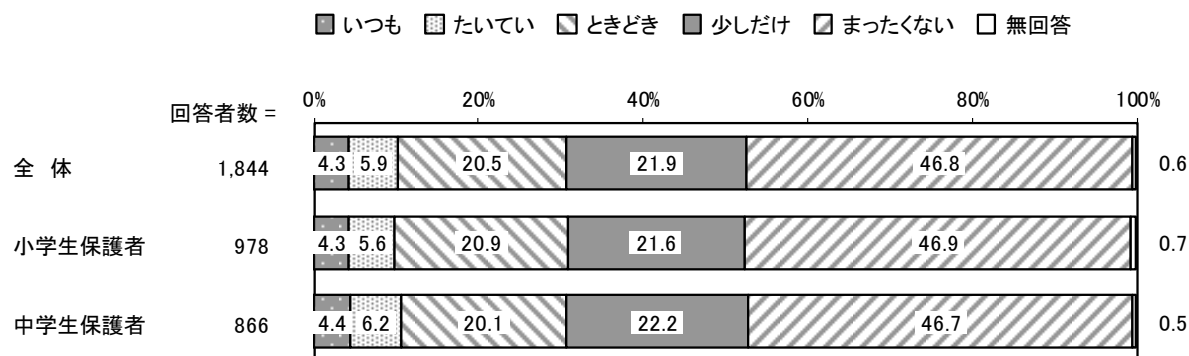


a)神経過敏(かびん)に感じた

全体では、「まったくない」の割合が46.8%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が21.9%、「ときどき」の割合が20.5%となっています。

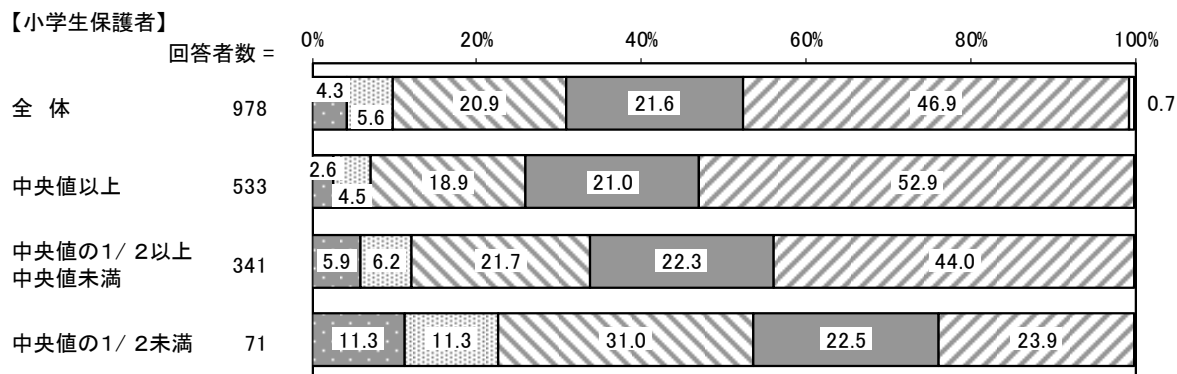
小学生保護者では、「まったくない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が21.6%、「ときどき」の割合が20.9%となっています。

中学生保護者では、「まったくない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が22.2%、「ときどき」の割合が20.1%となっています。

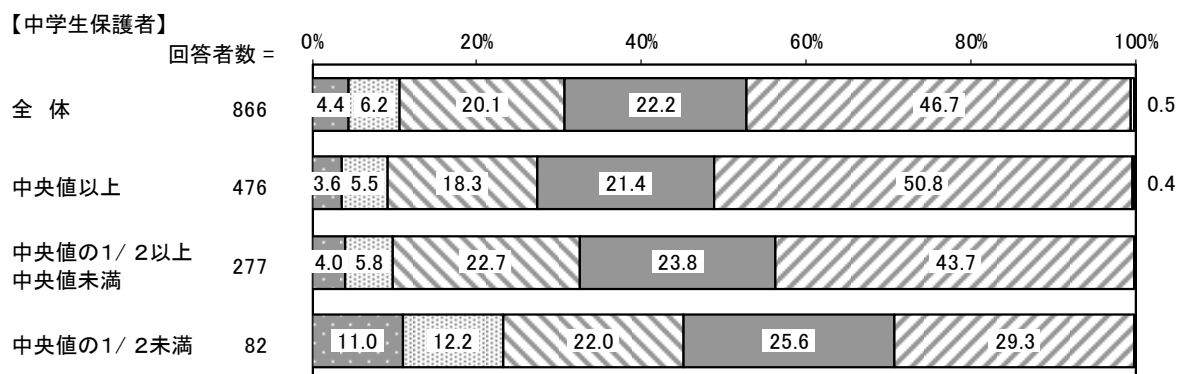


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」「たいてい」の割合が高くなっています。

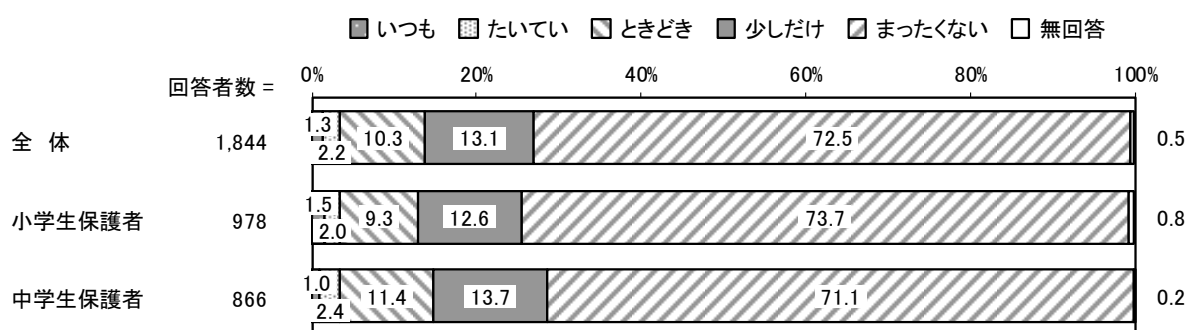


b)絶望的だと感じた

全体では、「まったくない」の割合が72.5%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が13.1%、「ときどき」の割合が10.3%となっています。

小学生保護者では、「まったくない」の割合が73.7%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が12.6%となっています。

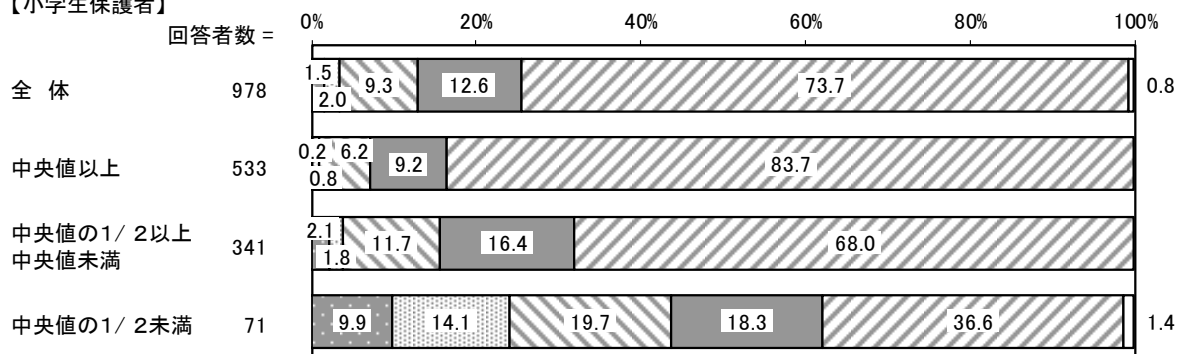
中学生保護者では、「まったくない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が13.7%、「ときどき」の割合が11.4%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

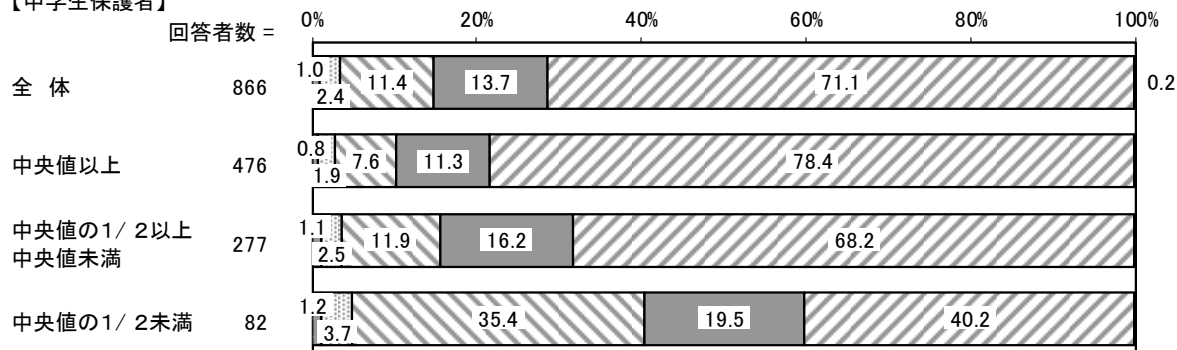
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「ときどき」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

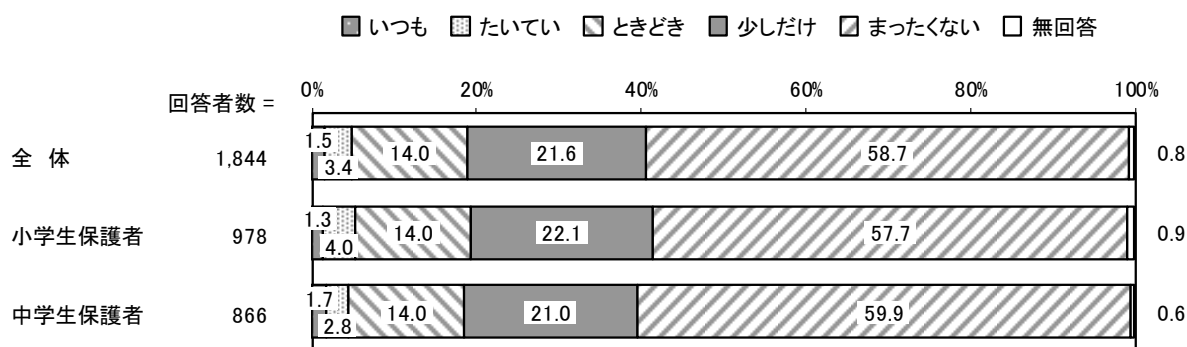


c) そろそろ、落ち着かなく感じた

全体では、「まったくない」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 21.6%、「ときどき」の割合が 14.0%となっています。

小学生保護者では、「まったくない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 22.1%、「ときどき」の割合が 14.0%となっています。

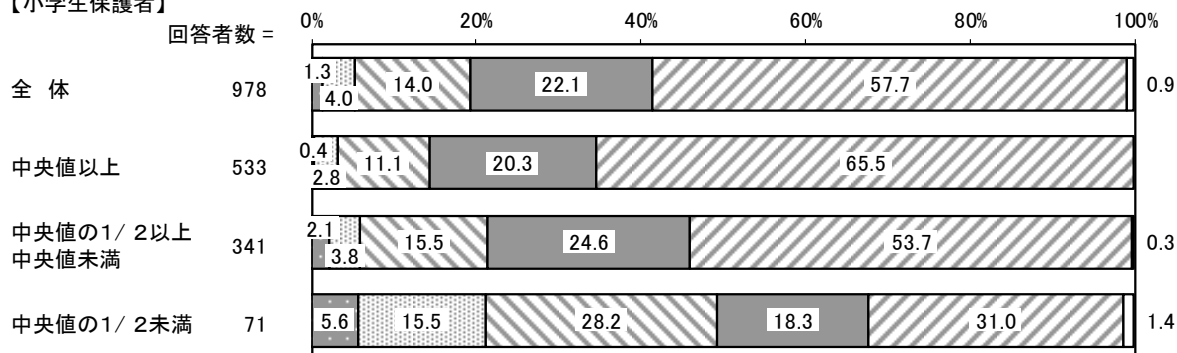
中学生保護者では、「まったくない」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 21.0%、「ときどき」の割合が 14.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

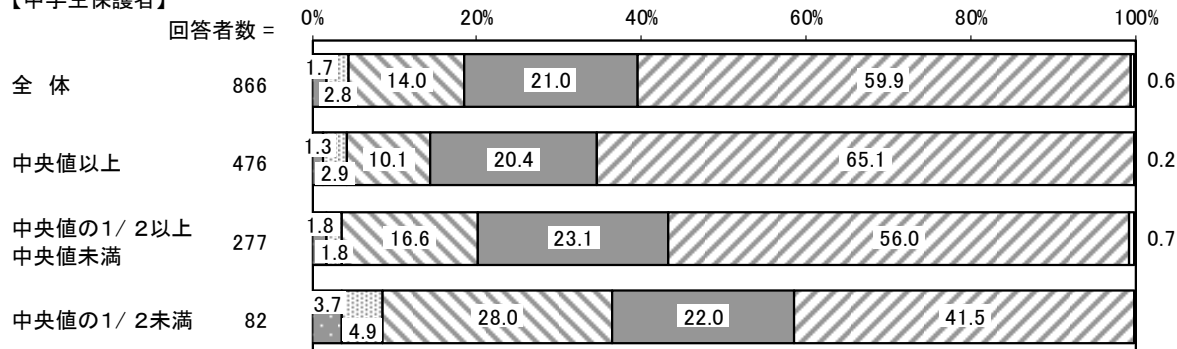
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「ときどき」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

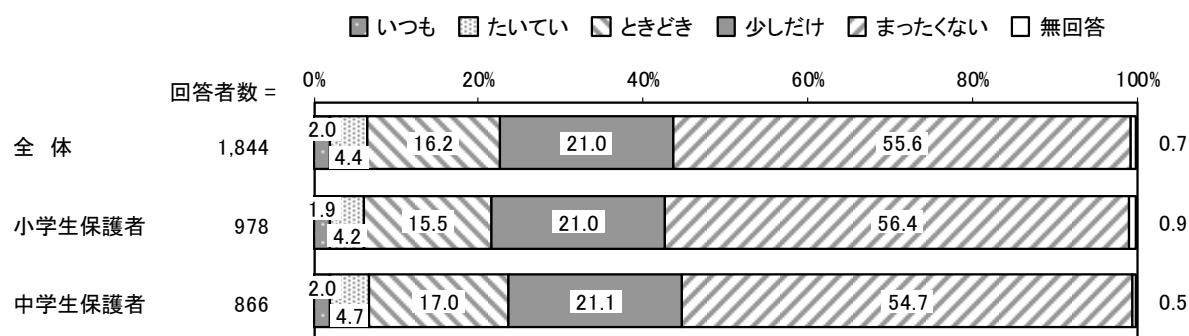


d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

全体では、「まったくない」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 21.0%、「ときどき」の割合が 16.2%となっています。

小学生保護者では、「まったくない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 21.0%、「ときどき」の割合が 15.5%となっています。

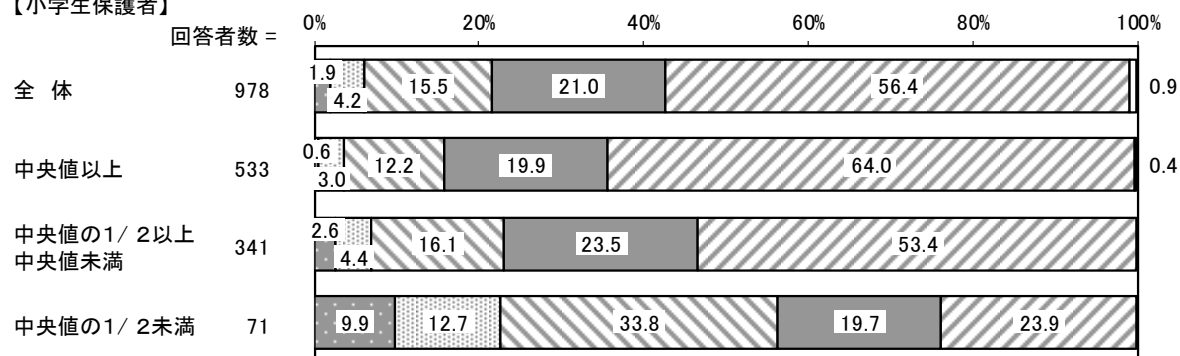
中学生保護者では、「まったくない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 21.1%、「ときどき」の割合が 17.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

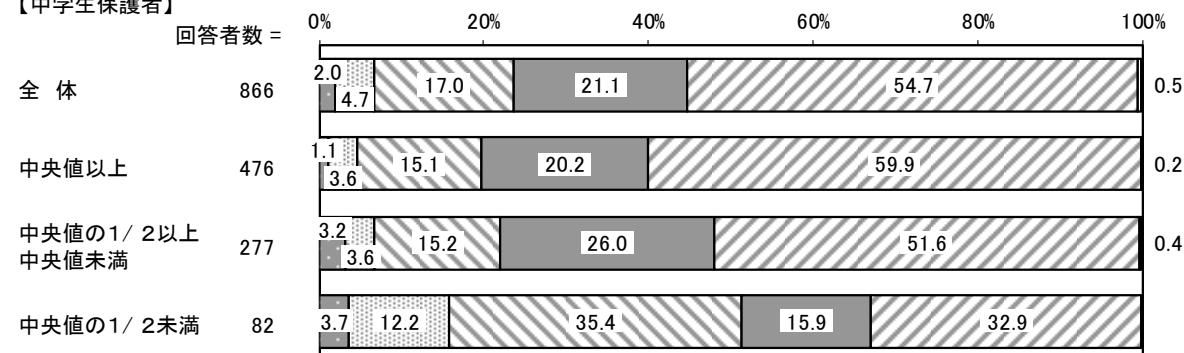
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2以上中央値未満で「少しだけ」の割合が、中央値の1/2未満で「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

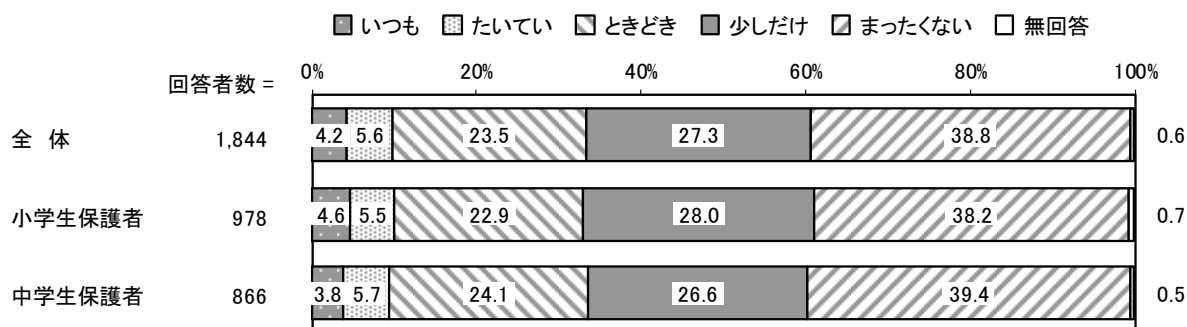


e)何をするのも面倒だと感じた

全体では、「まったくない」の割合が38.8%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が27.3%、「ときどき」の割合が23.5%となっています。

小学生保護者では、「まったくない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が28.0%、「ときどき」の割合が22.9%となっています。

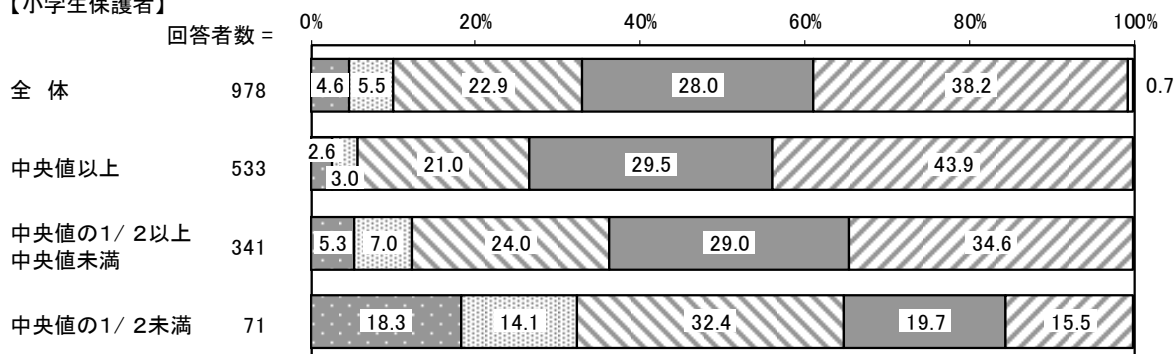
中学生保護者では、「まったくない」の割合が39.4%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が26.6%、「ときどき」の割合が24.1%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

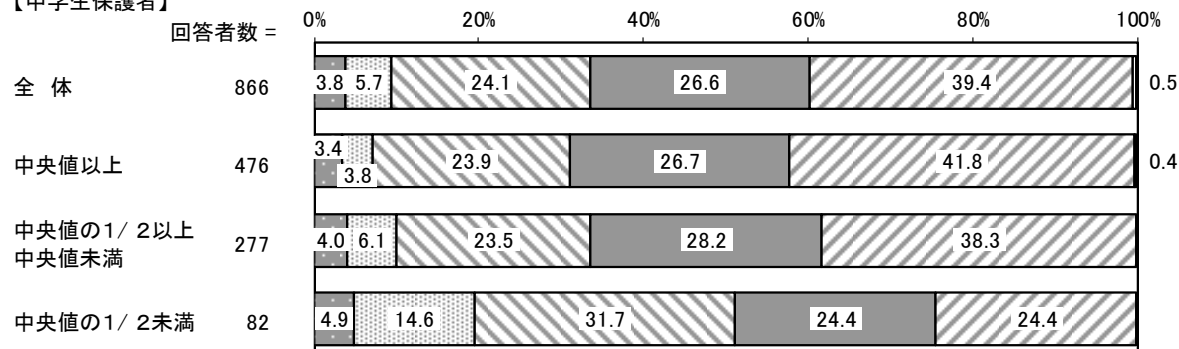
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

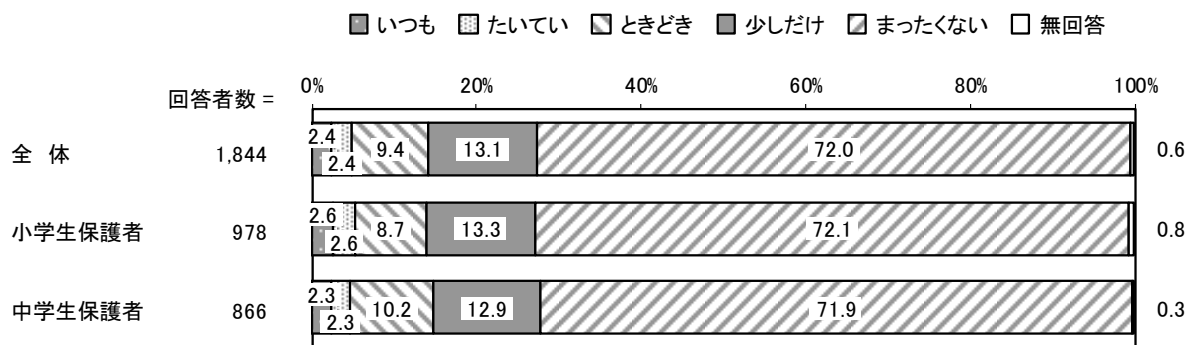


f)自分は価値のない人間だと感じた

全体では、「まったくない」の割合が72.0%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が13.1%となっています。

小学生保護者では、「まったくない」の割合が72.1%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が13.3%となっています。

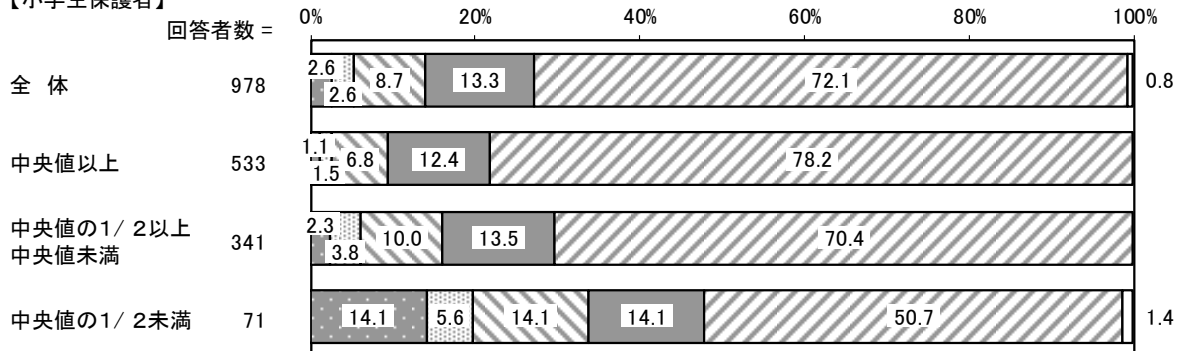
中学生保護者では、「まったくない」の割合が71.9%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が12.9%、「ときどき」の割合が10.2%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

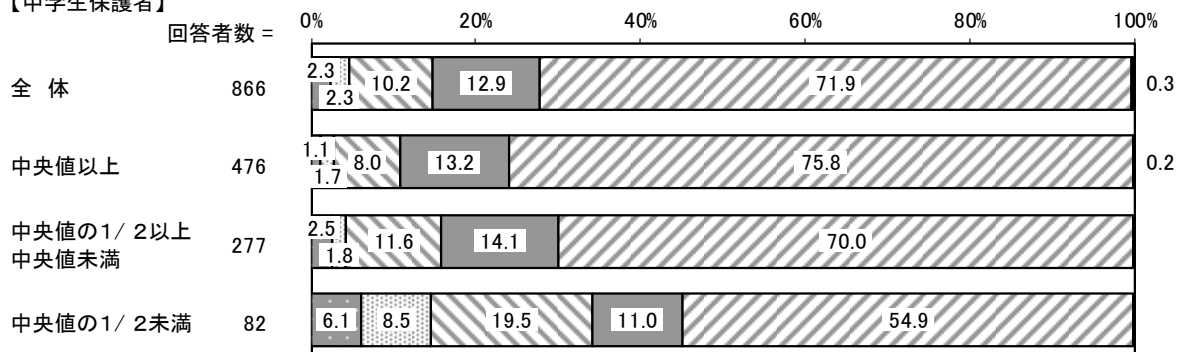
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「いつも」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「まったくない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「たいてい」「ときどき」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】



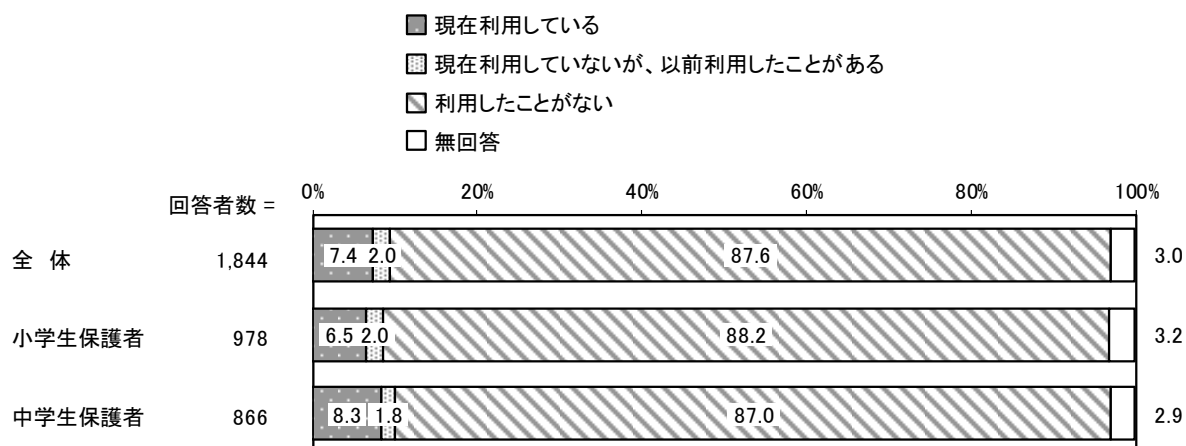
問 31 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
(a ～e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a 就学援助

全体では、「利用したことがない」の割合が 87.6%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「利用したことがない」の割合が 88.2%と最も高くなっています。

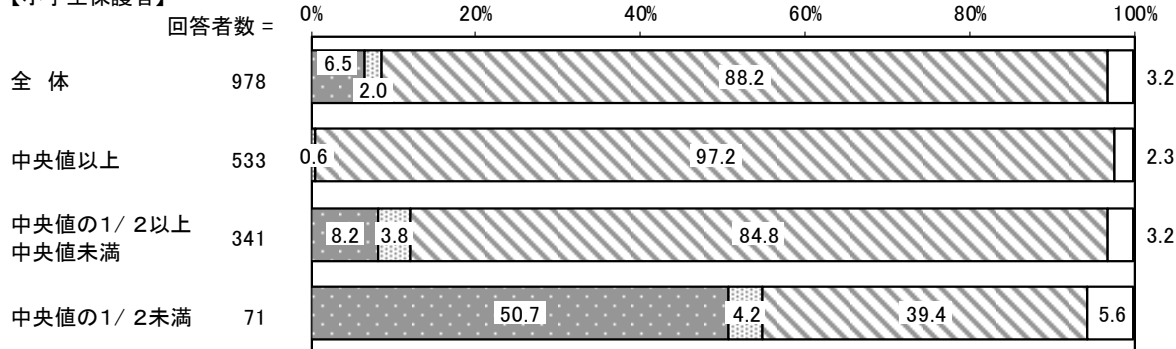
中学生保護者では、「利用したことがない」の割合が 87.0%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

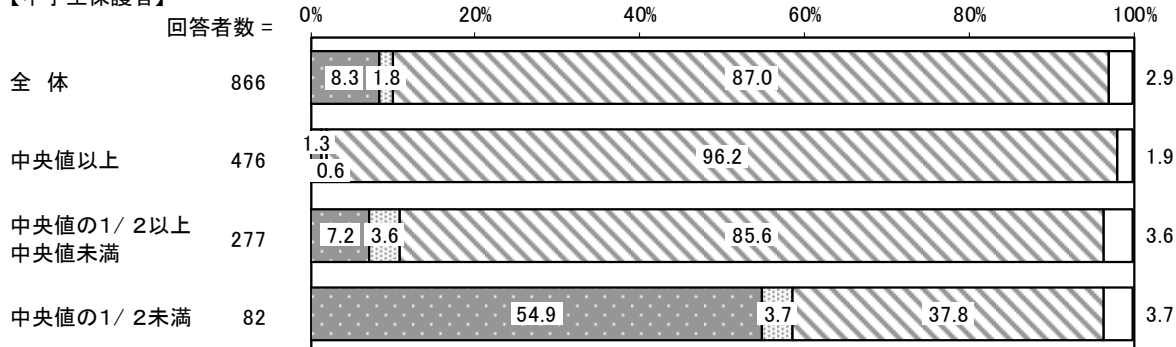
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

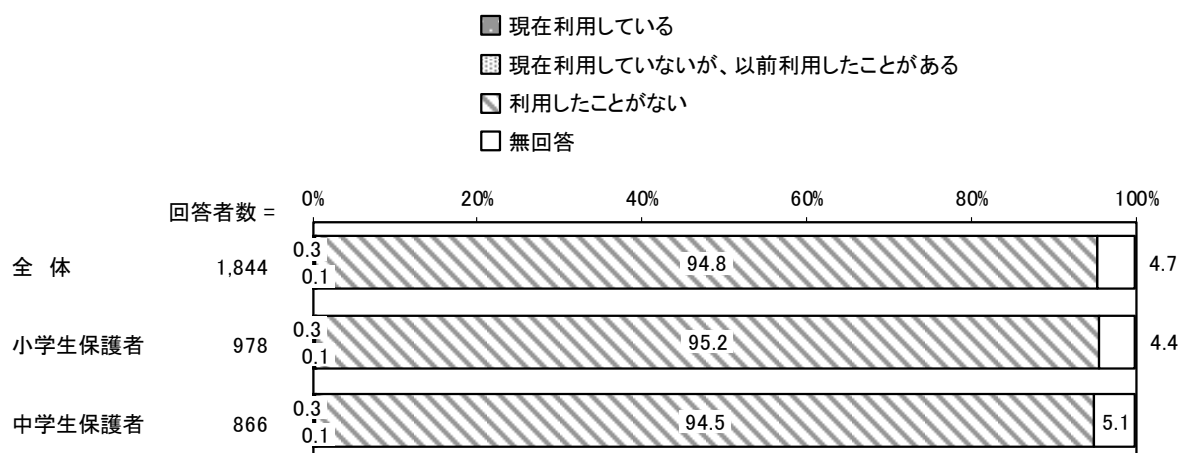


b 生活保護

全体では、「利用したことがない」の割合が94.8%と最も高くなっています。

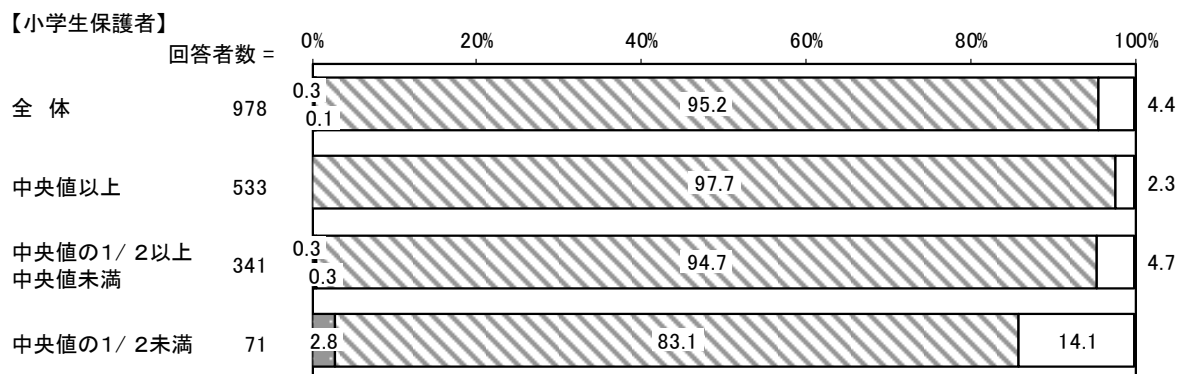
小学生保護者では、「利用したことがない」の割合が95.2%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「利用したことがない」の割合が94.5%と最も高くなっています。

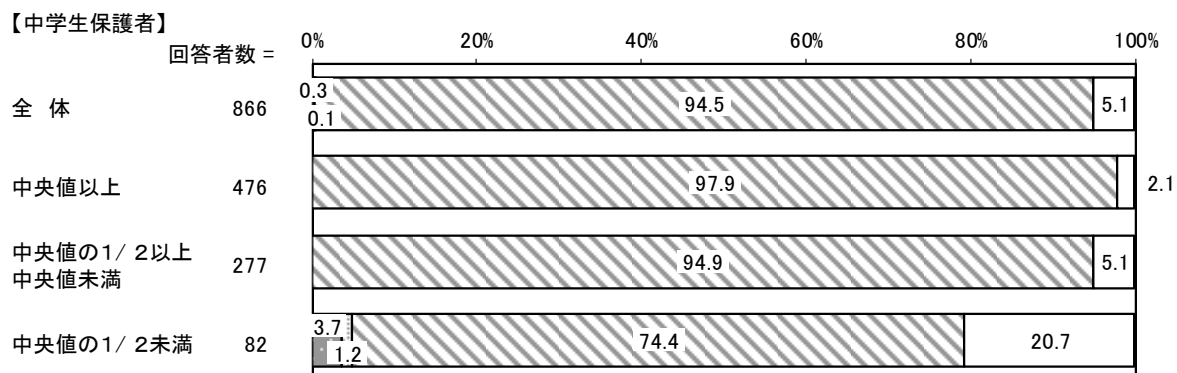


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「利用したことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「利用したことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。

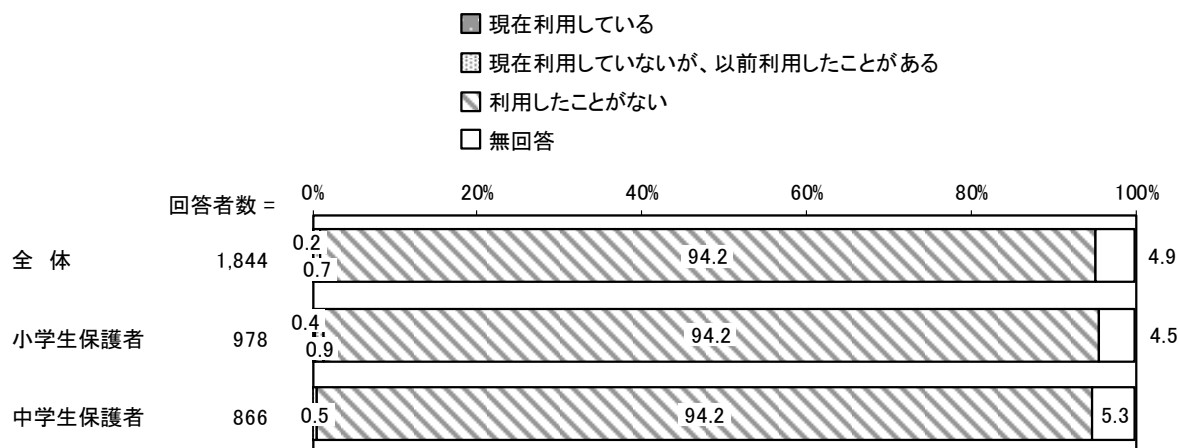


c 生活困窮者の自立支援相談窓口

全体では、「利用したことがない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

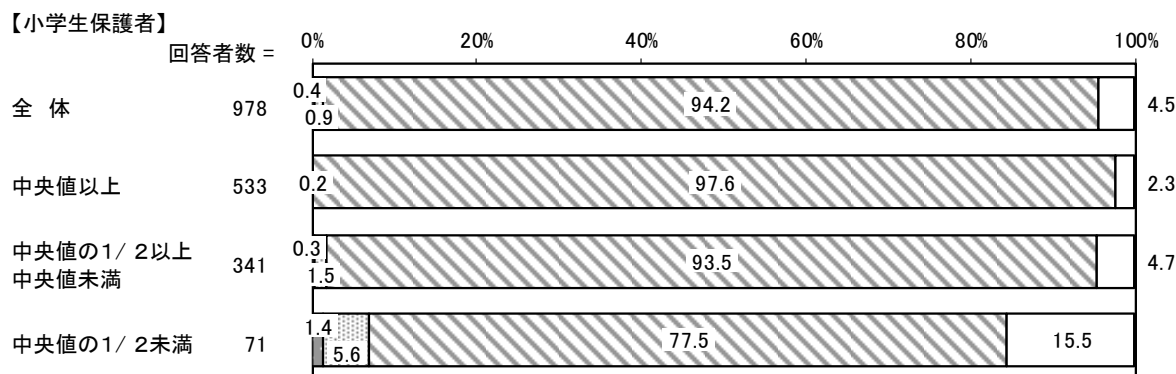
小学生保護者では、「利用したことがない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「利用したことがない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

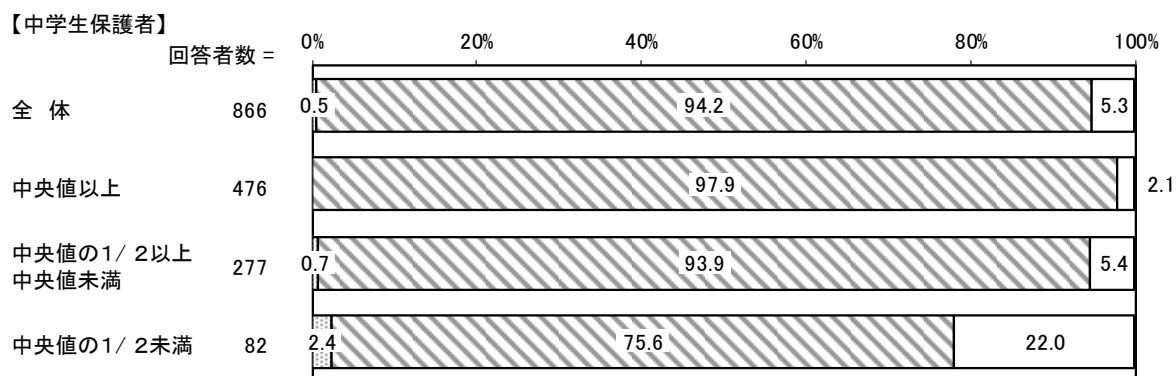


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「利用したことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。



等価世帯収入の水準別でみると、等価世帯収入の水準が高くなるにつれて「利用したことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。

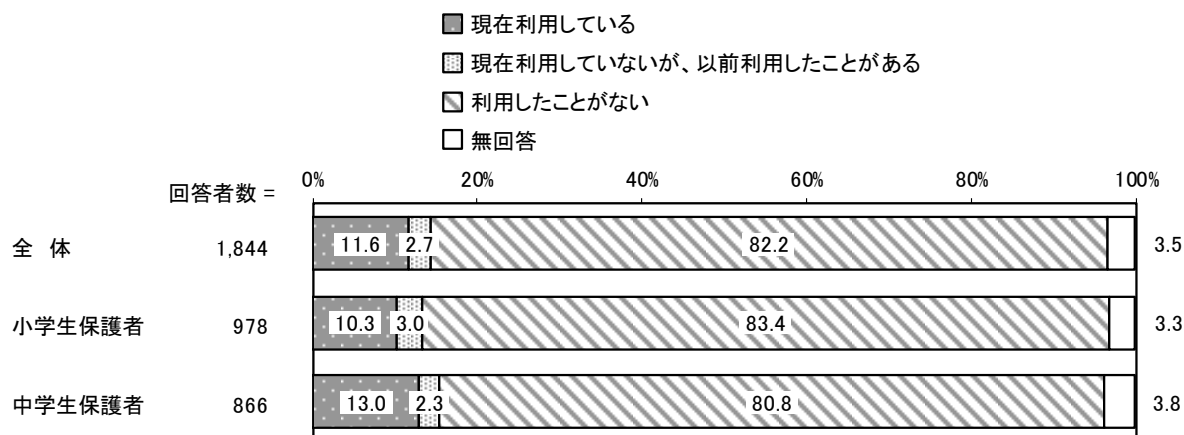


d 児童扶養手当

全体では、「利用したことがない」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「現在利用している」の割合が 11.6%となっています。

小学生保護者では、「利用したことがない」の割合が 83.4%と最も高く、次いで「現在利用している」の割合が 10.3%となっています。

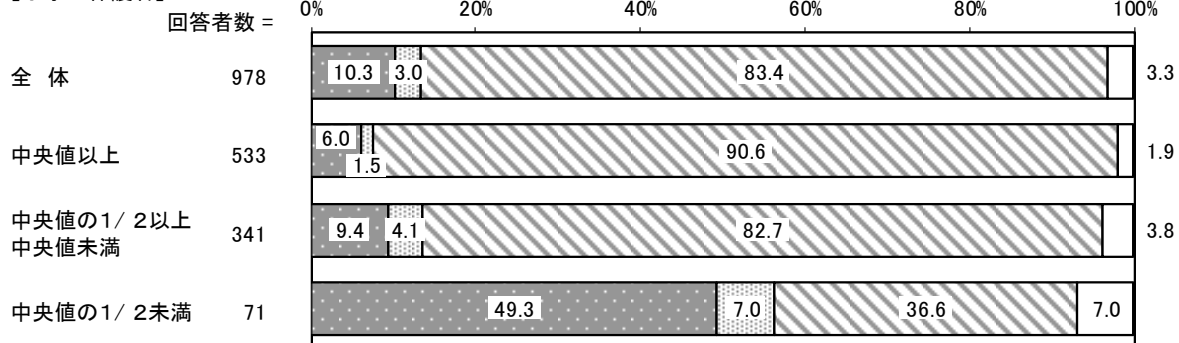
中学生保護者では、「利用したことがない」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「現在利用している」の割合が 13.0%となっています。



【等価世帯収入の水準別】

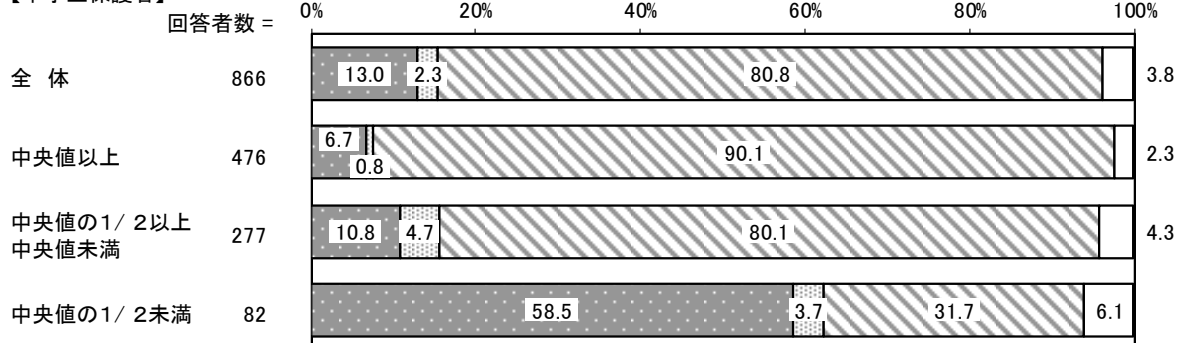
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の 1/2 未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

【中学生保護者】

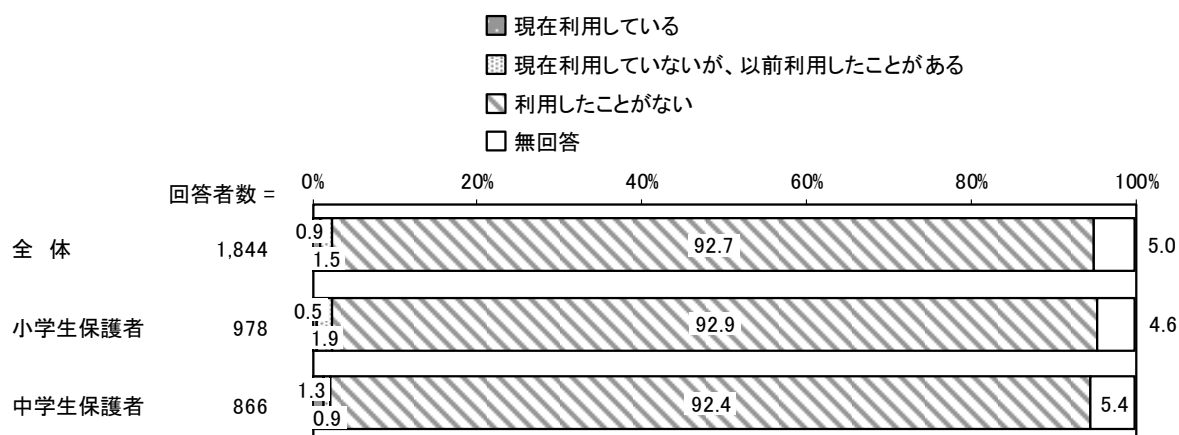


e ひとり親家庭自立支援相談窓口

全体では、「利用したことがない」の割合が92.7%と最も高くなっています。

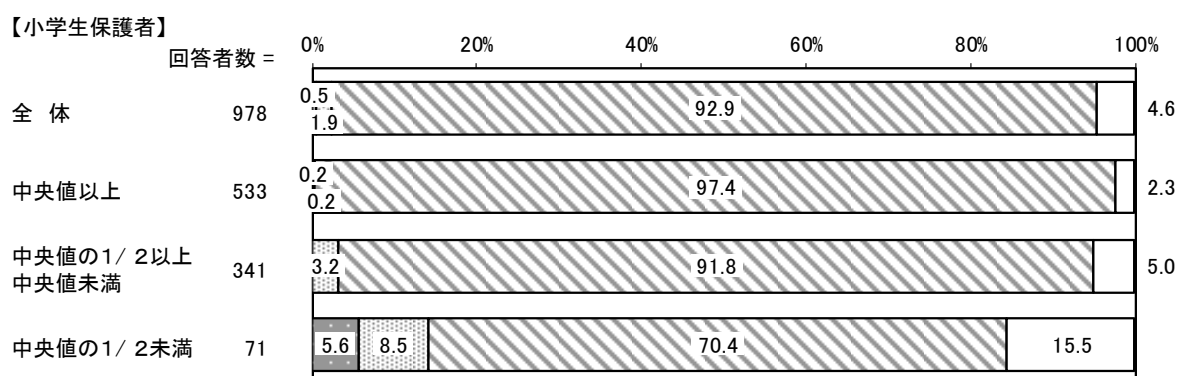
小学生保護者では、「利用したことがない」の割合が92.9%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「利用したことがない」の割合が92.4%と最も高くなっています。

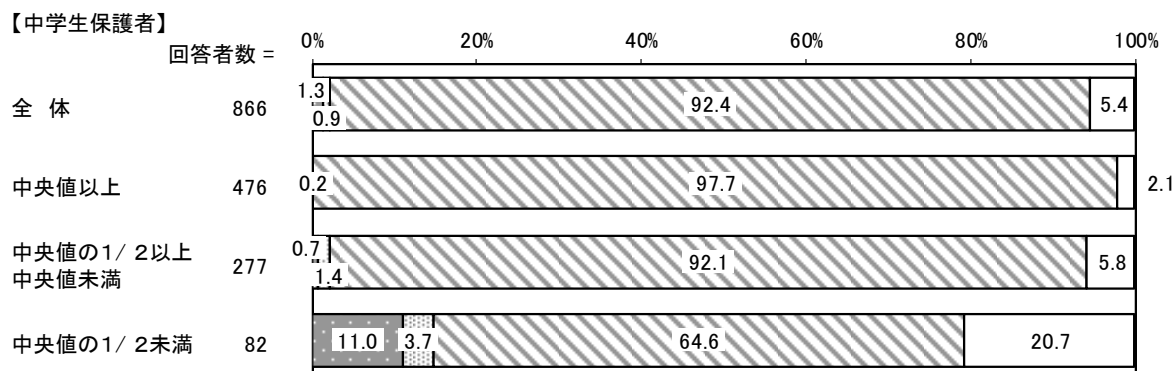


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。



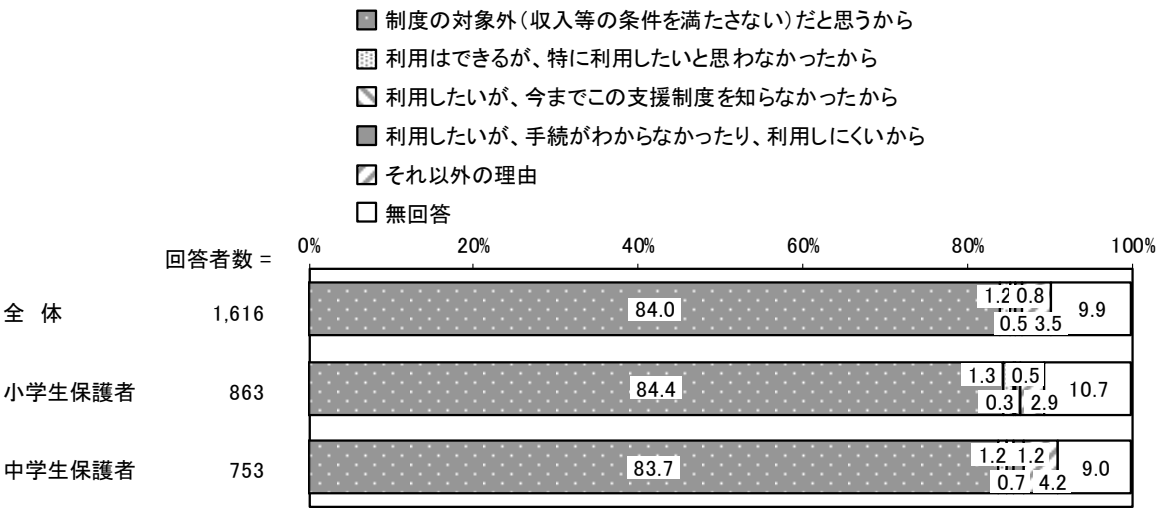
問 31-1 また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。
(あてはまるもの1つに○)

a 就学援助

全体では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 84.0%と最も高くなっています。

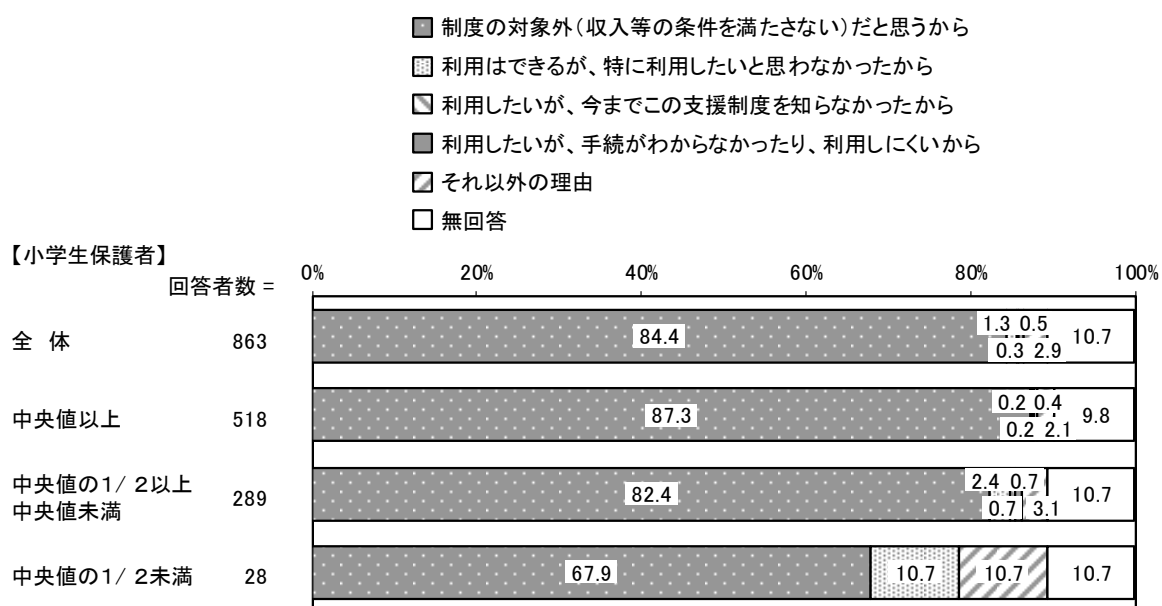
小学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 84.4%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 83.7%と最も高くなっています。

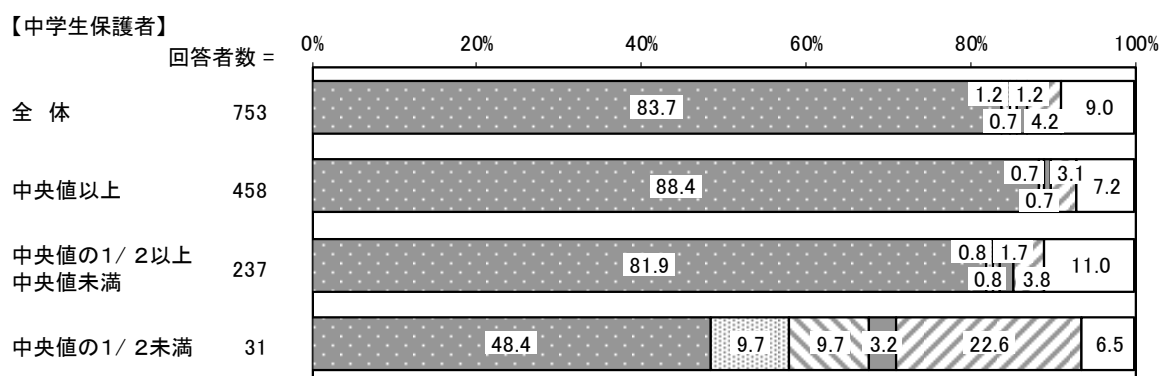


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の割合が低くなっています。

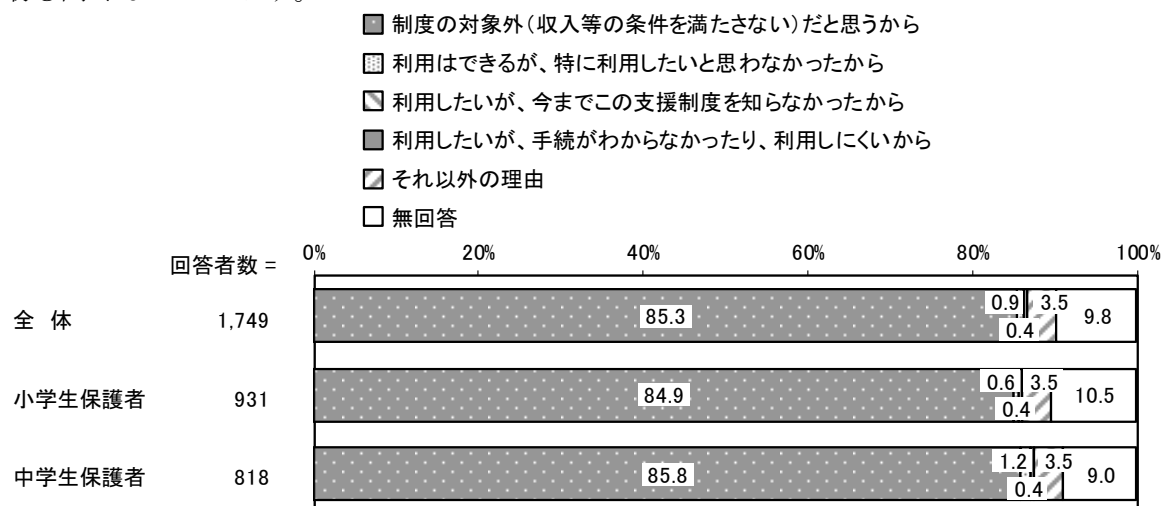


b 生活保護

全体では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 85.3%と最も高くなっています。

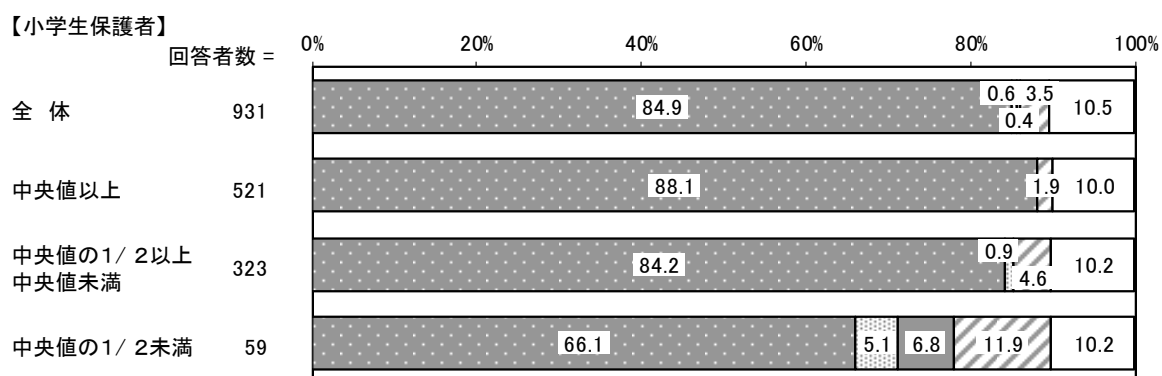
小学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 84.9%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 85.8%と最も高くなっています。

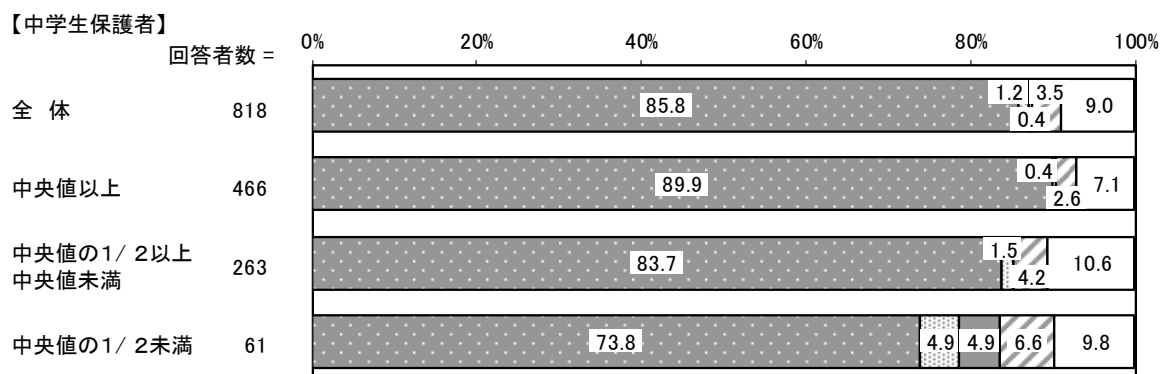


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が低くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が低くなっています。

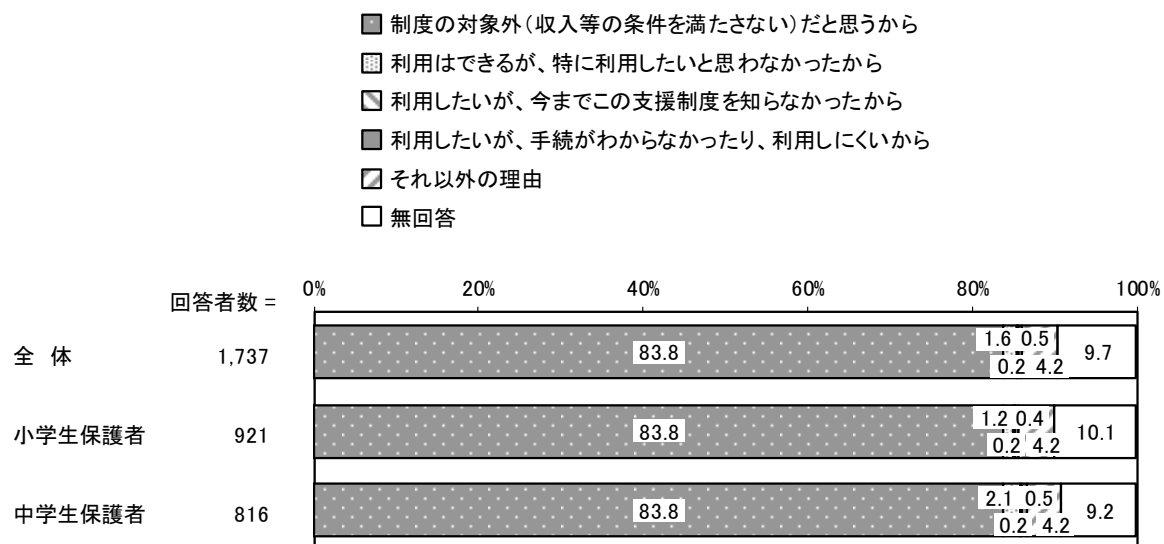


c 生活困窮者の自立支援相談窓口

全体では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 83.8%と最も高くなっています。

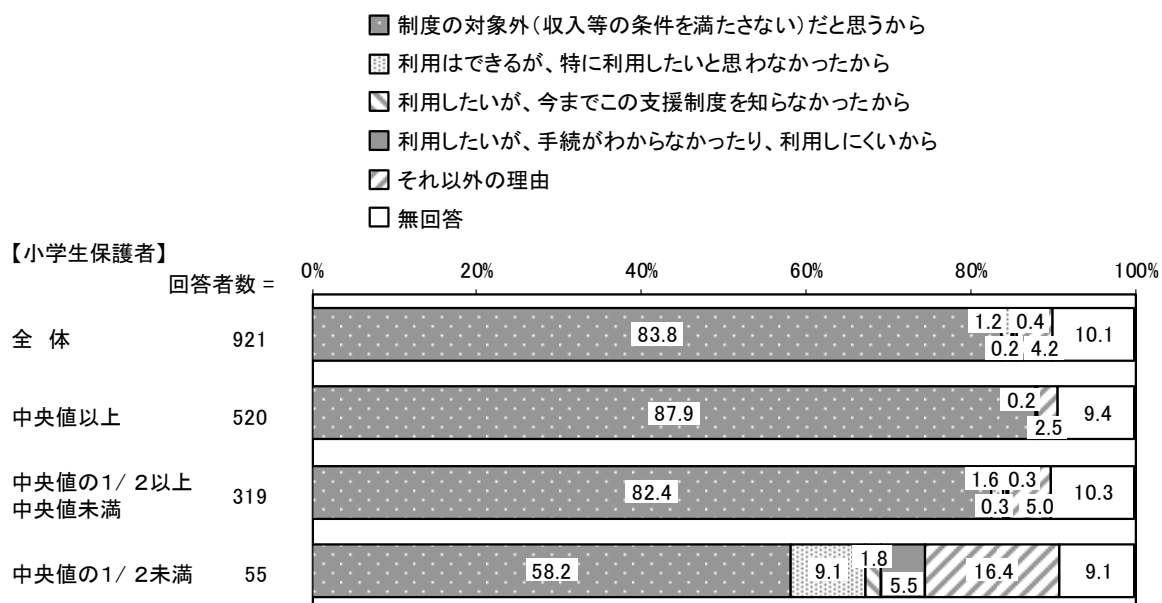
小学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 83.8%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 83.8%と最も高くなっています。

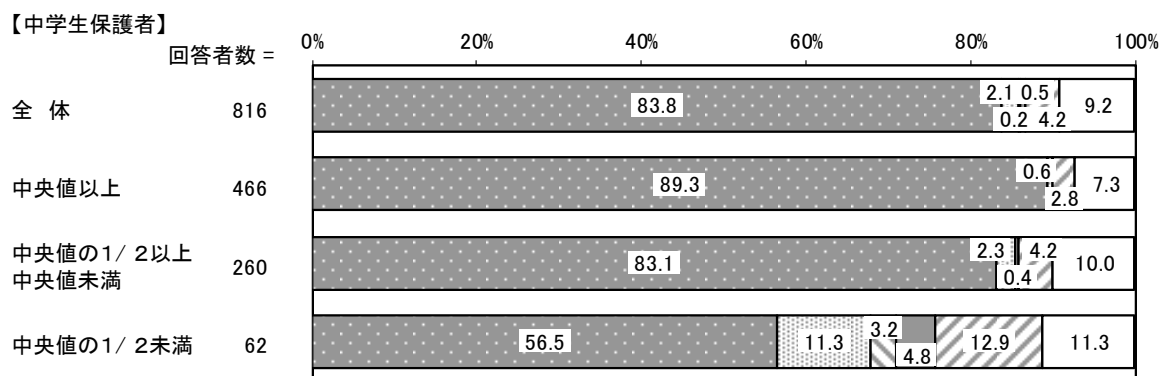


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 未満で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 未満で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」の割合が高くなっています。

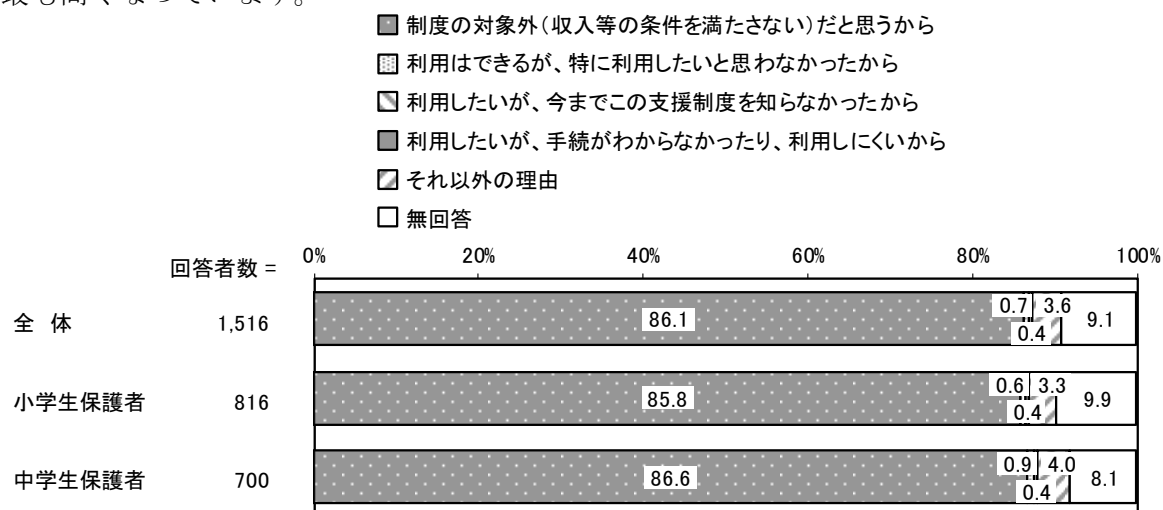


d 児童扶養手当

全体では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 86.1%と最も高くなっています。

小学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 85.8%と最も高くなっています。

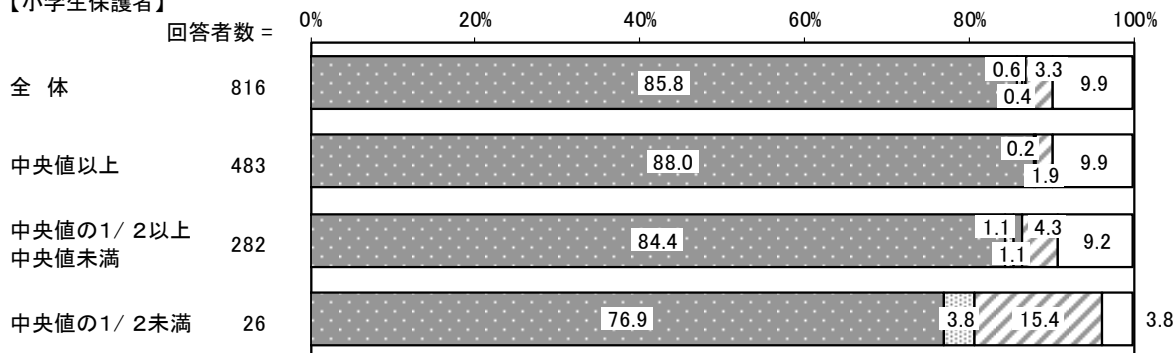
中学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が 86.6%と最も高くなっています。



【等価世帯収入の水準別】

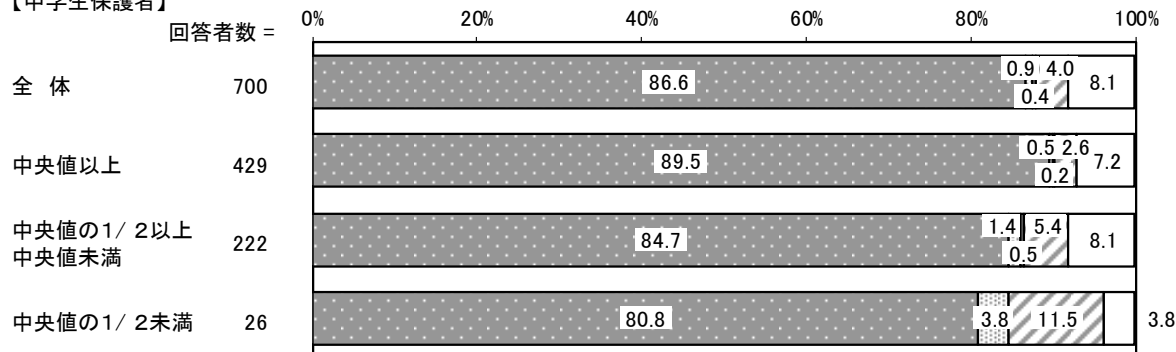
等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が低くなっています。

【小学生保護者】



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値の1/2未満で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が低くなる傾向がみられます。

【中学生保護者】

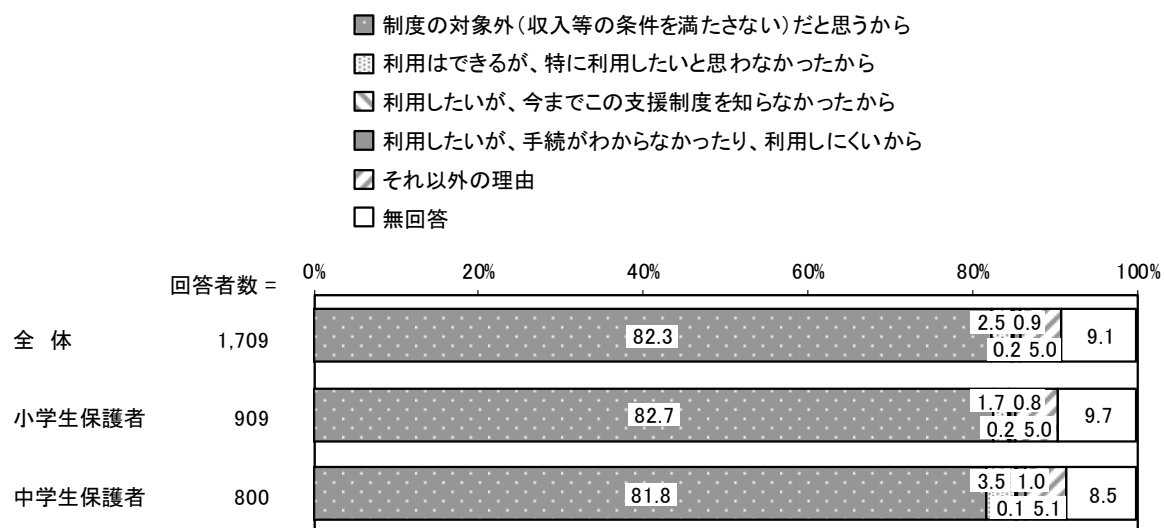


e ひとり親家庭自立支援相談窓口

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が82.3%と最も高くなっています。

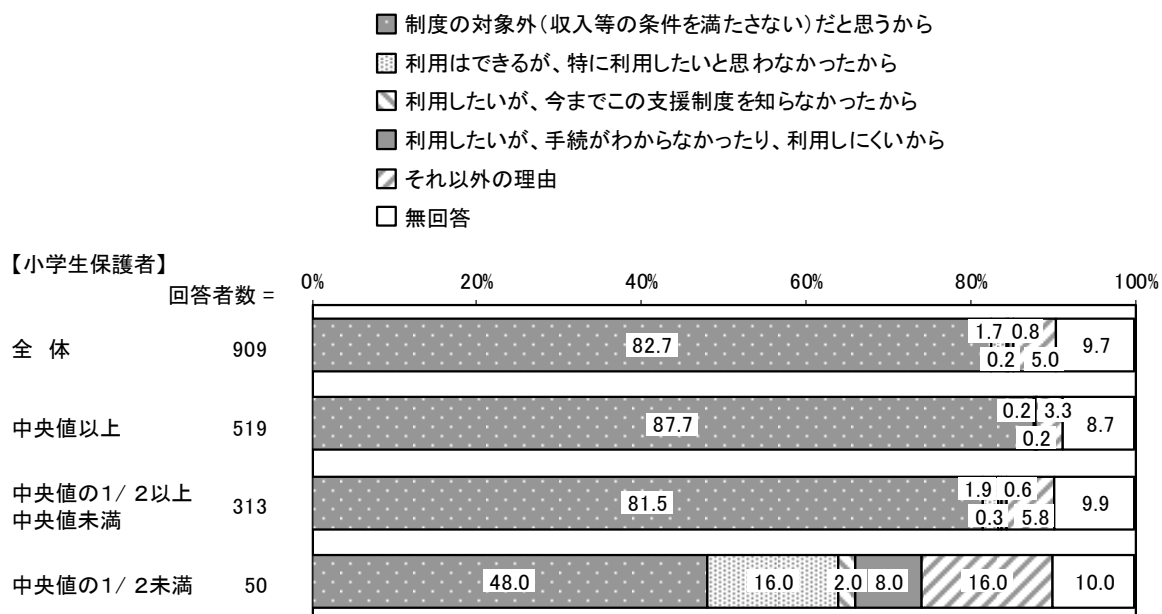
小学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が82.7%と最も高くなっています。

中学生保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が81.8%と最も高くなっています。

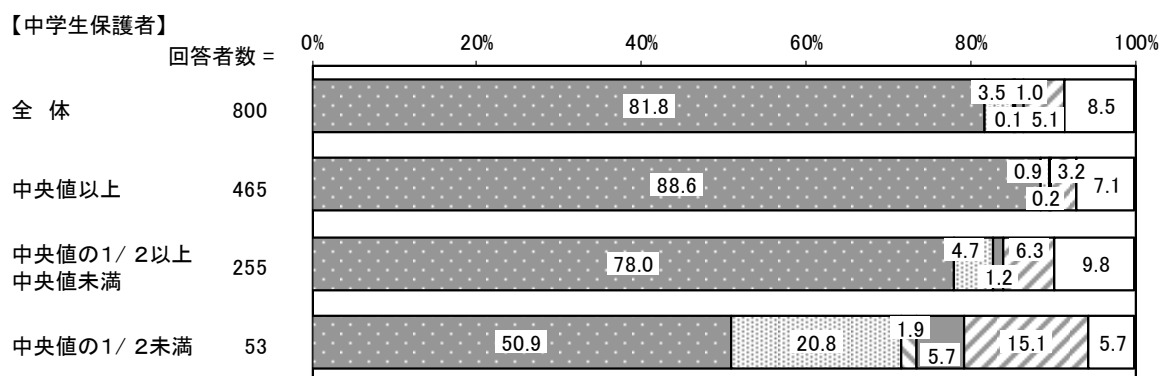


【等価世帯収入の水準別】

等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」の割合が高くなっています。また、中央値の 1 / 2 未満で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」の割合が高くなっています。



等価世帯収入の水準別でみると、他に比べ、中央値以上で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」の割合が高くなっています。中央値の 1 / 2 未満で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」の割合が高くなっています。



Ⅳ 資源量調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの貧困対策計画策定に向け、関係する支援者に、支援対象となる子どもやその家庭の状況について把握することを目的として実施したものです。

2 調査対象

市内の関係機関及び団体

社会福祉協議会、保育園、学童保育所、児童センター、子育て支援センター、
ファミリーサポートセンター、教育センター、民生委員・児童委員、幼稚園、
小学校、中学校、高校、子育て支援施設、子ども食堂、学習支援団体、
スクールソーシャルワーカー、障がい者福祉施設、地域包括支援センター

等 100 施設

3 調査期間

令和3年11月17日から令和3年11月30日

4 調査方法

- (1) 郵送による配布・回収
- (2) 電子メールによる配布、電子申請システムによる回答
- (3) 庁内の事務連絡による配布・回収

5 回収状況

63 団体

6 調査結果

問1 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○(「10 わからない」の場合は1つ))

「家族が子どもに虐待をしている(ネグレクトを含む)」の割合が20.7%と最も高く、次いで「保護者が子どもへの関心が薄い」の割合が18.9%となっています。

回答	件数(件)	割合(%)
1. 家族が子どもに虐待をしている(ネグレクトを含む)	35	20.7
2. 家族がDVを受けた経験がある	5	3.0
3. 保護者が子どもに必要以上に干渉している	5	3.0
4. 保護者が子どもに過度の期待をかけている	3	1.8
5. 保護者が子どもへの関心が薄い	32	18.9
6. 子どもが食事を十分にとれていない	29	17.2
7. 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない	26	15.4
8. 住環境が劣悪である	21	12.4
9. 子どもが病院にかかるのを控えている	4	2.4
10. わからない	2	1.2
11. その他	7	4.1
合計	169	100.0

問2 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。（あてはまるもの3つまで○（「10 わからない」の場合は1つ））

「保護者自身の生活能力が低い」の割合が26.1%と最も高く、次いで「保護者が不安定な就労状態にある」の割合が20.6%となっています。

回答	件数（件）	割合（％）
1. 家庭が社会から孤立している	24	14.5
2. 両親が離婚（再婚）している	19	11.5
3. 保護者自身の生活能力が低い	43	26.1
4. 保護者に障害や疾病がある	28	17.0
5. 親が若年出産をしている	3	1.8
6. 外国人世帯である	4	2.4
7. 多子世帯である	4	2.4
8. 保護者が不安定な就労状態にある	34	20.6
9. 保護者がアルコールやギャンブル等に依存している	0	0.0
10. わからない	3	1.8
11. その他	3	1.8
合計	165	100.0

問3 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。（あてはまるもの3つまで○（「10 わからない」の場合は1つ））

「進学を断念している」の割合が21.4%と最も高く、次いで「学校の授業が理解できていない」の割合が20.8%となっています。

回答	件数（件）	割合（％）
1. 学校の授業が理解できていない	33	20.8
2. 進学を断念している	34	21.4
3. 非行や非行につながる問題行動がある	22	13.8
4. 不登校を経験している	32	20.1
5. 学校や職場に友人がいない	12	7.5
6. 学校や職場でいじめを受けている	9	5.7
7. 自傷行為をしたことがある	3	1.9
8. 学校を中退している	8	5.0
9. わからない	3	1.9
10. その他	3	1.9
合計	159	100.0

問4 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。（あてはまるもの3つまで○（「12 わからない」の場合は1つ））

「健全な生活習慣・食習慣」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「心の状態の安定性・心身の健康」の割合が 24.6%となっています。

回答	件数（件）	割合（%）
1. 読み書き・計算等の基礎的な学力	12	6.9
2. 心の状態の安定性・心身の健康	43	24.6
3. 健全な生活習慣・食習慣	45	25.7
4. コミュニケーション能力	9	5.1
5. 他者への共感性・他者への信頼感	12	6.9
6. 自己表現力	2	1.1
7. 自己肯定感	31	17.7
8. 生活自立能力	7	4.0
9. 意欲・チャレンジ精神	10	5.7
10. わからない	3	1.7
11. 特に問題は見られない	0	0.0
12. その他	1	0.6
合計	175	100.0

問5 あなたの所属する機関では、貧困状況にある子どもや親に対し、どれくらいの頻度でどのような支援を行っていますか。（(1)～(14)のそれぞれについて、1つに○）

「子どもの居場所（遊びや読書等の場）の提供」「子どもの学習支援」で、「週に1回以上」の割合が3割以上と高くなっています。

(1) 家庭訪問

回答	件数（件）	割合（%）
週に1回以上	8	12.7
月に1～数回程度	8	12.7
年に1～数回程度	7	11.1
まったく行っていない	7	11.1
該当せず（所属機関では実施できない等）	33	52.4
合計	63	100.0

(2) 保育サービスの提供（病児保育、送迎支援等も含む）

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	7	11.1
月に1～数回程度	3	4.8
年に1～数回程度	3	4.8
まったく行っていない	6	9.5
該当せず（所属機関では実施できない等）	44	69.8
合計	63	100.0

(3) 子どもの居場所（遊びや読書等の場）の提供

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	21	33.9
月に1～数回程度	7	11.3
年に1～数回程度	1	1.6
まったく行っていない	7	11.3
該当せず（所属機関では実施できない等）	26	41.9
合計	62	100.0

(4) 子どもの食事の提供

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	5	7.9
月に1～数回程度	8	12.7
年に1～数回程度	5	7.9
まったく行っていない	5	7.9
該当せず（所属機関では実施できない等）	40	63.5
合計	63	100.0

(5) 子ども自身の相談

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	15	23.8
月に1～数回程度	13	20.6
年に1～数回程度	12	19.0
まったく行っていない	4	6.3
該当せず（所属機関では実施できない等）	19	30.2
合計	63	100.0

(6) 親の相談（育児、発達、教育、生活相談など）

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	17	27.0
月に1～数回程度	19	30.2
年に1～数回程度	12	19.0
まったく行っていない	4	6.3
該当せず（所属機関では実施できない等）	11	17.5
合計	63	100.0

(7) 乳幼児健康診査、予防接種等の勧め・受付

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	1	1.6
月に1～数回程度	3	4.8
年に1～数回程度	11	17.5
まったく行っていない	5	7.9
該当せず（所属機関では実施できない等）	43	68.3
合計	63	100.0

(8) 親子のつどいの開催

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	3	4.8
月に1～数回程度	9	14.3
年に1～数回程度	9	14.3
まったく行っていない	11	17.5
該当せず（所属機関では実施できない等）	31	49.2
合計	63	100.0

(9) 経済支援（就学援助費、児童扶養手当など）の勧め・受付

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	1	1.6
月に1～数回程度	5	7.9
年に1～数回程度	18	28.6
まったく行っていない	7	11.1
該当せず（所属機関では実施できない等）	32	50.8
合計	63	100.0

(10) 子どもの学習支援

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	19	30.2
月に1～数回程度	3	4.8
年に1～数回程度	1	1.6
まったく行っていない	12	19.0
該当せず（所属機関では実施できない等）	28	44.4
合計	63	100.0

(11) 子どもの進学指導

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	6	9.5
月に1～数回程度	2	3.2
年に1～数回程度	11	17.5
まったく行っていない	9	14.3
該当せず（所属機関では実施できない等）	35	55.6
合計	63	100.0

(12) 子どもへの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	9	14.3
月に1～数回程度	7	11.1
年に1～数回程度	14	22.2
まったく行っていない	7	11.1
該当せず（所属機関では実施できない等）	26	41.3
合計	63	100.0

(13) 親の就労支援

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	1	1.6
月に1～数回程度	3	4.8
年に1～数回程度	6	9.5
まったく行っていない	12	19.0
該当せず（所属機関では実施できない等）	41	65.1
合計	63	100.0

(14) その他

回答	件数（件）	割合（％）
週に1回以上	1	1.6
月に1～数回程度	6	9.5
年に1～数回程度	1	1.6
まったく行っていない	0	0.0
該当せず（所属機関では実施できない等）	55	87.3
合計	63	100.0

問6 貴機関・団体（個人の場合、あなた）は、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携することがありますか。（1つに○）

「年1～数回程度」の割合が39.7%と最も高くなっています。

回答	件数（件）	割合（％）
1. 週1回以上	8	12.7
2. 月1回～数回程度	16	25.4
3. 年1～数回程度	25	39.7
4. まったくない	14	22.2
合計	63	100.0

問7 前の質問で「1 週1回以上」「2 月1回～数回程度」「3 年1～数回程度」と回答した方にお聞きします。連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。（あてはまるものすべてに○

「こども家庭課（家庭相談員、母子父子自立支援員・婦人相談員等含む）」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「小学校・中学校・高等学校」の割合が 12.0%となっています。

回答	件数（件）	割合（%）
1. 小学校・中学校・高等学校	26	12.0
2. 教育センター	16	7.4
3. 指導課	16	7.4
4. 保育所・幼稚園・認定こども園	6	2.8
5. 学童保育所	9	4.1
6. 社会福祉課（生活保護ケースワーカー）	12	5.5
7. 社会福祉協議会（貸付事業、フードバンク等）	9	4.1
8. くらしサポートセンター佐倉（生活困窮者自立支援事業）	11	5.1
9. 民生委員・児童委員	13	6.0
10. 保健センター（保健師）	12	5.5
11. こども家庭課（家庭相談員、母子父子自立支援員・婦人相談員等含む）	39	18.0
12. 児童相談所	14	6.5
13. 障害福祉課	6	2.8
14. 障害者相談支援事業所	2	0.9
15. 中核地域生活支援センター	5	2.3
16. 障害者就業・生活支援センター	2	0.9
17. 医療機関	7	3.2
18. ハローワーク	2	0.9
19. 民間企業	0	0.0
20. 子ども食堂	5	2.3
21. 無料・定額学習支援（無料塾）	1	0.5
22. 子ども関連NPO法人	1	0.5
23. その他	3	1.4
合計	217	100.0

問 8 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「連携をとるのに時間がかかってしまう」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい」の割合が 28.8%となっています。

回答	件数（件）	割合（%）
1. 他の機関で受けられるサービスが不足している	11	13.8
2. 支援に対する考え方の違いがある	17	21.3
3. 各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい	23	28.8
4. 連携をとるのに時間がかかってしまう	24	30.0
5. その他	5	6.3
合計	80	100.0

問 9 貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」の割合が 21.5%と最も高く、次いで「支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れない」の割合が 19.8%となっています。

回答	件数（件）	割合（%）
1. 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい	37	21.5
2. 子どもとの信頼関係づくりが難しい	13	7.6
3. 支援に用いることができる制度（資源）が少ない	11	6.4
4. 支援者側の人手が不足しているため、支援ができない	8	4.7
5. 支援者間での連携が難しい	18	10.5
6. 保護者が支援制度を知らない（知ろうとしない）ため、支援が行き届かない	21	12.2
7. 支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れない	34	19.8
8. 支援が必要であるのに、支援を拒まれる	18	10.5
9. わからない	5	2.9
10. 特にない	4	2.3
11. その他	3	1.7
合計	172	100.0

問 10 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

世帯や相談者の課題や解決策を一緒に考えつつ、自己決定を促しながら対応するように心がけています。
信頼関係が壊れて関係を断ち切られることがないように、言葉を選んでお話をしています。安心して甘えられる存在でいようと心がけています。
子どもたちと同じくらい、ママパパの気持ちを大切にしたいです。 虐待など児童のワーカーが関わると保護者が悪者になりがちなので、味方でいたいです。
〈子どもの支援〉 ○子どもの状態の把握 ・身長体重など身体的発達や栄養状態のチェック ・顔色の良さ、表情の豊かさ ・甘えてくるか、意欲的か、分離不安があるか ・清潔にしているか、（衣服、髪の毛、爪、スプーンセット、お弁当箱） ・打撲や火傷はないか ・忘れ物、提出物の遅れがないか ○集団生活なので、状態に合わせた個別の対応をする。 ○栄養状態が悪く、発達に遅れがみられる場合、栄養士と相談して給食おやつの提供する。 ○運動遊びの提供をし、発達を促す。 ○愛着関係に問題がある場合、担任と相談しながら特定の保育士が無理のない関わりを持つなどの対応をする。 ○貧困を理由とした保育の援助について、その子だけが目立つことの無いようにする。 〈親への支援〉 ○他の課と連携をとったうえで、親へ支援する。 ○要支援報告を毎月入力し、児童青少年課へ報告する。
何が正しいかわからないが、保護になってしまうと子どもが不幸になることを保護施設で働いている職員から聞いています。子どもの安心の基地になることを大切にしています。クラス担任と二人だけの時間を作ったりしています。そのことを園全体でバックアップしていきたいと思っています。そして子どもたちが幸せであること、大切に思っていることを保護者にも伝えていきます。
日常から子どもの良いところを伝えるなどしながらコミュニケーションを図り、信頼関係を築くようにし、話しやすい雰囲気づくりをしておく。
・プライドを傷つけないようにする。 ・相談者が望まない支援は極力避け、やりたい気持ち、できることを可能な限り遂行してもらい、出来ない部分を支援するようにしている。 ・支援者側の提案を受け止められない様子がみられた場合は、その要因を相談者とのコミュニケーションの中で明確化し、相談者が受け止められるタイミングを見極め、再提案する。 ・相談者の希望を叶える為、フォーマルサービス、インフォーマルサービス含め複数の社会資源を提案する。 ・相談者が困っていることが何かについてコミュニケーションを深めながら明確化し、解決すべき課題の優先順位をつけ、見通しがもてるよう支援する。できたことは評価し、問題解決へ向けた意欲を後押しする支援をする。 ・関係機関に繋いだ場合もミスマッチが起きていないか確認し、問題が生じている場合はその要因を特定し、関係機関側に配慮を求めたり、相談者の受け止め方に偏りがある場合は、受け止めやすい言葉で受け止めの修正を図る。
・様々な状況を持つ子ども達なので、個々に寄り添い、時間をかけて信頼関係を築いていくことが重要と考えています。 ・長い間、同じ場所、同じ時間に学習教室を開いているので、卒業後もふらりと又問題を抱えて訪ねてくる子ども達がいるので、長く続けていくことの大切さを感じています。
情報を共有することと、守秘義務。
貧困に係わる行政や団体からの依頼や情報提供等の要求があれば、可能な範囲で協力いたします。
潜在的な訴えのないニーズをどう汲み取り、アンテナを張っていくかということは常に念頭にあります。 また、それを汲み取れたとしても 「本人が（或いは親御さんが）大丈夫だと言っている」や、「それは業務の範囲ではない」と言う見解や方針のもと、支援が進みにくい事があるので、支援が必要であるとご理解頂ける根拠を示すようには心がけています。

子どもや親の生活や成育歴を調査・分析し、「だれが」・「どのくらいの頻度で」・「何をするか」の支援計画をたててから支援している。
<回答の補足> 法律相談事業の中で、借金の相談を受けることがあり、必要な場合は、社会福祉課や社会福祉協議会へつなげている。 ただし、相談者が「親」であるかどうかは把握していないため、貧困状況に置かれた子どもやその保護者への支援となっているかについては不明。 同じく、ミウズで女性の相談を受ける際に子どもの貧困に関わる相談を受ける可能性はあるが、基本的に経済状況・子どもの有無の把握はしていない。
根郷地区で学習支援を週一回のペースで、公民館を借りて実施している。 月に一度、ボランティアが調理した弁当を家庭に届けている。その時に家族との会話ができる。
教育相談アンケートを実施し、実態の把握に努めている。
貧困家庭という枠で考えず、ねっこの会(学習支援)、ねっこ食堂の延長として企業や地域でいただいた食材を配布するなど心がけている。また、ねっこ食堂の時に弁当を取りに来るので、その時に話を聞くようにしている。活動を長く実施しているので、色々と相談されることも多くなった。信頼関係ができていと感じている。 ねっこの会は民生委員や主任児童委員がほとんどなので守秘義務もあり、また、関係機関との連携も取りやすい。一人で抱え込まないように相談し合いながら活動している。
市のご担当者さま、事業所コーディネーター、現場へ行くシッターさんの連携が最も大切で、気づきや変化は些細なことでも、報告、連絡、共有しています。
実務対応していないため、回答不可。
高齢部門のため、直接支援に関わることはできないが、子どもの両親や祖父母などに適切な関わりを持つことで、間接的に子どもの生育環境が改善されるよう、心がけています。世帯の高齢者の支援時に気づいたことは、こども家庭課や健康管理センターの担当につないでいます。
その子その子にあった学習方法を考えながら、その子の速度に寄り添う事をいつも頭に置いています。
可能な限り正確な情報を関係機関と共に連携しながら把握する 相手（相談者）の意見を否定せずに聞いたところから対応を考える
登降園時に子どもと保護者の様子をよく観察し、何か悩みがありそうであれば、保育園での普段の子どもの様子（特にポジティブな面）をこちらから話しつつ、家庭での様子を聞くようにしている。問題がありそうであれば、園長に報告するとともに他職員にも共有し、ご家庭にさりげなく声をかけるようにしている。
状況の変化に気付くことが出来るようなコミュニケーションをとる。
子どもとの関係作りのために LINE を活用している。車でのドライブ、畑作業、スポーツ等を通じた交流の機会を作っている。
支援を受ける必要性を理解していない場合、関係性が途切れない距離感で関わること。
行政所管部署として、親及び子どもに必要な社会資源に適切に迅速につなぐこと。その際、親及び子どもが納得して制度等を利用すること。
みんなと同様に支援をしていくように特別扱いしない。

問 11 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

スタッフでもある民生委員が関わったケース。 コロナ禍での収入源で夫婦関係が悪くなり、金を家に入れてもらえなくなり、市に相談。 関係改善した。
○園へ通っていることが、子どもやその家族にとって良い状態だと意識して、丁寧にかかわっている。
心臓に大きな疾患を持った子どもが虐待を受けているかもしれないという状況でした。1時間歩いて子どもの命を繋ぐ願い事をお参りに行き、自分の子どものように大切に思っていることを伝えました。それ以降あざができて幼稚園に登園することはなくなっています。保護者に子どもの素敵な部分を伝え大切な存在であることを伝えていくことで、少し変化が出ているのかもしれませんが。まだ、支援途中で結果はわかりませんが…
貧困自体を改善にもっていくのは難しいが、必要な機関につなげ、連携しながら継続して支援ができた。どこかの機関とつながっていられるようにすることで、前向きでいられることはできていたようだった。
・支援途中のケースばかりである
・小、中学校と学習支援を行った子どもが高校に進学することが出来、その後もアルバイトをしながら家計を支えて卒業し、就職していくケース。 ・高校に進学してからも学習支援や日常生活の様々な話を聴いたりしながら卒業して行った子どもが、本格的に自立していったケース。
不登校の背景に貧困によるパワーレスがみてとれるケースで、経済的な支援につながる制度を紹介し、関係機関と繋がったことで、保護者の方の負担感が軽減し、本人も学校に足が向くようになったケースがあります。
2年前、児童青少年課や社協からの依頼でねっこ食堂に2人のお子さんと来られた、うつ病の母親(母子世帯)、最初は表情もよくなく心配でしたが、今では、毎回ねっこ食堂に取りに来るし、食材を届けると(助かります)と喜んでくれ、表情がとても明るくなり、学習支援にも時々来ています。 地区の民生委員さんとも連携しながら見守っています。
実務対応していないため、対応不可。
歳の差夫婦で、夫が包括の支援対象となる世帯の未就学児について。 包括が介入して、児が適切な生育環境にないことを健康管理センターの保健師に伝えることで、支援につながった。
他部署と情報共有し、連携することにより、保護者に客観的にまた、適切に対応する事が出来 これにより問題点を除去し、支援を行うことにより状況の改善がはかられた。 1、虐待の防止 2、子どもの生活環境の改善 3、無関心の改善
アフガニスタンから来て二年で受験期を迎えた子がいました。 日本語にまだ慣れないなか受験をし、無事合格しました。 その後もアルバイトの際の履歴書書き、面接の練習にも寄り添い、今は専門学校に通っています。 ある意味、私たちも彼から力をもらいました。
家庭・学校・学童(当施設)子どもの環境すべてと連携して同じ方向性で取り組めればブレが生じにくい為、比較的、改善方向に向かうことが多いと感じます。 しかしどこかの環境が連携出来ないなどのブレが生じた場合、振り出しに戻る事が多く継続的な対応が必要だと思いますが学年が上がる・担任が変わる・親の仕事が変わる等により関係機関の連携が継続できなくなり完全なケースに至るのはなかなか難しいと考えます。
親との関係づくりを通して生活困窮窓口へ案内して諸制度へつながった。
子どもが親から早期に自立した、できた場合。

問 12 貧困状況にある子どもや親に対する支援について、今後、佐倉市に必要な施策は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「訪問による早期発見や生活支援」の割合が 15.6%と最も高く、次いで「親の就労の支援」の割合が 11.1%となっています。

回答	件数（件）	割合（％）
1. 訪問による早期発見や生活支援	45	15.6
2. 親の就労の支援	32	11.1
3. 経済的支援	3	1.0
4. 子どもの居場所（遊び・読書等の場）の提供	26	9.0
5. 学校での専門家（スクールソーシャルワーカー等）による支援	29	10.0
6. 子どもへの学校以外での学習機会の提供	29	10.0
7. 子どもの進学・就労の支援	21	7.3
8. 保育サービスの提供（病児保育、送迎支援等も含む）	17	5.9
9. 相談担当者の質的向上	14	4.8
10. 相談担当者の増員	19	6.6
11. 総合相談窓口の設定	18	6.2
12. 子どもの受診勧奨	9	3.1
13. 子どもへの食事の提供	11	3.8
14. 子どもへの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供	10	3.5
15. わからない	1	0.3
16. その他	5	1.7
合計	289	100.0

問 13 前の質問において回答した支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

行政には行政でしかできないことをしてほしいです。 子ども食堂に紐付きのお金をつけるより、ワーカーの人件費に当てた方が、支援は充実すると思います。
子どもの居場所だけではなく、親の居場所作りも必要な気がします。 繋がることで、気持ちが共有できたりすることで安心できることもあると思います。
・現物給付の支援（ランドセル、学習用品など）。親が使ってしまうかもしれないので。 ・就労以外でも月複数日利用可、複数の子がいる場合の利用料減免等
総合相談の窓口設置は大変有効だと思います。ご本人や保護者の訴えを根拠にしたアセスメントだけでなく、総合的にそのケースの背景についても聴き取りとネットワーキングができるような体制が望まれます。
困り事はひとつではなく、重なりあっています。 行政の縦割りをもう少し横断的に連携して対応して頂けたらと思います。
スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室とも、十分な職員体制をつくってほしいです。 また、親が高齢だったり、祖父母に養育されている（養子縁組されている場合も含む）ケースなど、親の就労支援や、世帯の経済的支援だけでは解決できないこともたくさんあります。 親が高齢であるということは、成人前にひとり親もしくは親がいない状態になる可能性もあり、生活費、進学費用などのお金の面はもちろん、頼れる身内がいない中で進路を決めざるを得ないなど、さまざまな困難を抱えることが予想されます。 ケースとしてはきわめて少ないと思いますが、事例検討の場をつくる、児童と高齢、生活困窮、教育分野などとで研修を一緒に受けることで問題意識を共有するなど、行政の枠を超えたつながりづくりがあればいいな、と感じます。
当社は、家事代行サービスで、働く親御さんの支援などができます。市の補助などが適応できれば活用できる方がいらっしゃるかもしれません また「訪問介護事業」では慢性的な人材不足が発生しております。「資格取得の補助制度（返済不要）の拡充」などが行われたらよいのではないのでしょうか 前記にともない、すでに資格保有されている方は、ご家庭のご事情に合わせて就労が可能となっておりますので、ぜひご相談いただきますようよろしくお願いいたします
今、四街道市、佐倉市とアフガニスタンからの居住者が急増してきています。 できれば、学校もしくは教育委員会と共に地域の学習支援団体とで今後について話せる場がほしいです。
この様な問題の場合、お子さんの問題の前に保護者さんの生活環境や気持ちにゆとりがない または保護者さんの対人関係能力が低いなどが根本的な原因になっていると感じます。 その為、緊急性がある場合は別ですがまずは保護者さんの支援・相談を充実させて必要があると思います。 これができないとお子さんは支援しても効果が薄いと感じます。 この様なご家庭は市の広報などはほとんど見ていない様ですので駅やスーパーにポスターを貼るなど普段の生活で 目につく場所に相談機関の告知をして周知させると良いと思います。
睡眠不足で、朝食を食べずに登園する児童が多い。現状、園で午前中仮眠はさせてあげられるが、牛乳以外の朝食の提供はしていないため、バナナやパンなど簡単な食事を提供できれば、子どもが午前中の活動に積極的に参加できるのではないかと考えている。このような取組みのなかで、子どもの基本的生活習慣の確立がその後の就学に良い影響をもたらすということを保護者が理解できるよう支援したい。 卒園後、小学校の学童でなじめる子はいいが、なじめないまたは弟妹が園に在籍しているなら、園で卒園児を預かり宿題の支援などをしてほしいと考える。保護者も時間の節約になるであろうし、小1なら保育園の年長と一緒に遊んだり、少し年上の感覚を味わうことで自己肯定感も育まれるのではないかと。
子どもの居場所を提供する際、いくつかの事業所（法人）が合同で開催できると良いと思います。ひとつの事業所が運営するには運営費、場所、マンパワー的な課題があるため。
子どもへの学校以外での学習機会の提供の確保のために、元教師、教員採用待ち者、大学生などへ声掛けを行っている。
12月から始まる大手門前広場の子育ち広場での相談事業（民間だけにまかせない）行政やほかの団体の支援が必要。

V 資源量調査におけるヒアリング調査

1 調査の目的

本調査は、資源量調査の結果を踏まえ、さらに支援対象となる子どもやその家庭の状況を掘り下げて聞き取りを行い、子どもの貧困対策計画策定の基礎資料とするため、実施したものです。

2 調査対象

＜調査機関・団体＞

- 学童・児童センター
- 教育センター
- ファミリーサポートセンター
- スクールソーシャルワーカー
- 民生委員・児童委員
- 子ども食堂
- 社会福祉協議会
- 障害福祉施設
- 認定こども園
- 地域包括支援センター

3 調査期間

令和4年2月8日から2月21日

4 調査方法

対面もしくはWEBによるヒアリング

5 ヒアリング内容について

① コロナ以前と、現在で子どもや親の生活状況の変化について

- ・まず、子どもの貧困という定義が難しいところがある。子どもの貧困について、4人に1人が貧困状況にある中で、何が貧困なのか。経済面なのか、心の貧困なのか。
- ・コロナで子ども親が密になり、長い時間があることにより悪い面に働き、相談件数が増えてきている。
- ・家にいる時間が長くなっており、虐待や追い詰めたりすることが見受けられる。
- ・コロナの影響は、子どもの貧困に影響は出てきている。高校でも子どもが必要以上にバイトしたり、中退したりしている。年代が上がってくると、本人に影響を及ぼしてきている。

② 貧困状況にある親と子どもの関係性について

- ・ひとり親家庭はダブルワークで家計を支えていることが多く、お弁当をつくる余裕がないこともある。精神的な余裕も親にはない。コミュニケーション不足で、子どもの心にも余裕がなく、いじめがあったり、SOSを出せないこともある。

③ 他の子ども（友達など）との関係性について

- ・いい意味でこだわらない子どももいれば、お母さんが頑張っているから私も頑張ると、無理をしている子どももいる。頑張りが限界にきている。
- ・コロナで密を避けて学習を行っているので、子ども同士のコミュニケーション等に影響は出てきていると思う。
- ・子ども同士の関係性については、貧困状況にあるからといって、関係性ができていない、悪いという感じてはいない。

④ 貧困状況にある子どもの自己肯定感について

- ・子どもも親も、自分自身についてよいイメージを持っていない。
- ・夢や希望は持っているかもしれないが、キラキラしたような話はしづらい。出てこない。
- ・貧困の疑い等がある子どもは自己肯定感は低く感じる。
- ・幸せに生きている子どもは、自信に満ち溢れている。厳しい環境で生活している子どもは、あっているのか、間違っているのかを考えてしまっている。親や周りの目を気にする子どもになってしまう。
- ・達成したり、褒められたりすることは少ないと思う。社会で生きていけるようにと考えて活動をしている。達成感や肯定感は低いように感じている。

⑤ 保護者の生活状況と子どもへの影響について

- ・小さい子どもは、親の影響はあると思う。
- ・家庭内暴力が大きな問題。家庭内暴力は、コロナになって多くなっている。貧困に追い打ちをかけた。保護者の心も逼迫されて、家庭内暴力が多くなってしまう、矛先が子どもに向かうこともある。家庭内暴力が、収入や子どもの将来、食事の質の低下につながっていくと思う。

⑥ 部署・機関・団体との連携について

- それぞれの機関、団体が一方通行ではなく、情報共有ができるよう、まとめるところが必要である。
- 総合的に、今、抱えている家庭で、1つの家庭で1つの問題であれば、解決できるが、複数重なると、高齢者、障がい者、子ども、病気など重なるとどうにもならない。縦割りではなく、家庭の問題として包括的に関われる機関があればいいと思う。
- 医療にかかっている子どももいるので、医療機関との連携もとっていききたい。

⑦ 行っていきたいと考えている支援、子どもの貧困対策に効果的であると考えられる支援について

- 研修が必要ではないか。自分の分野に関する研修は行っているが、障がい者、児童虐待などのことはわからない。総合的な研修があればいい。
- 誰かが気づく、共有して、どこにつないでいくかが見えてくるといいのではないかな。
- 団体によっては、いろいろ包括の関係で活躍されているところがあるので、横断的に、他分野他領域のことを知ってもらうために、連絡会を開催するなども考えられる。
- 一般企業で、社会貢献の部分で、経済的にバックアップしてくれるのであればいい。企業の強みを活かした、気持ちを上げることができる支援を行って欲しい。衣食住に関係ない、音楽や文化などへの支援が、豊かさや余裕につながってくるのではないかな。
- 最新情報を、共有していく必要がある。支援者が自分ごとで捉えることが必要である。
- 保護者も子どもも、本当に困った時に行き場所があるかどうか。地域とのつながり、近所づきあいなどがあるかどうかは大きいと思う。

**佐倉市
子どもの生活状況調査及び資源量調査
結果報告書**

令和４年３月

佐倉市こども支援部こども政策課
〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町 97

TEL 043-484-6139

FAX 043-486-2118